

稲門フィラテリー 41 号～ 50 号目次

2011 年 9 月～ 2013 年 12 月

号番号をクリックで目的号が表示、最終ページクリックで目次に戻る

41 号

インド・リーと INDIPEX2011	642
大隈講堂が描かれた新宿北郵便局の新風景印	648
帰ってきた 50 年前のノート	651
切手偏見 人物切手	657

42 号

日本国際切手展見学会大成功	662
カナダ・アドミラル・イシュ 1911-1925	666
PhilaNippon 出品作品解説	
テーマチック作品における稀少性の観点から	676
2011 年日本切手発行状況	680

43 号

早稲田キャンパスに設置された杉原千畝のレリーフ	686
再独立期リトアニア印刷切手について	689
日本国際切手展に出品して	
震災切手 1923-1924	694
日本国際切手展 (1971 ～ 2011) と私	699
中国・無錫アジア国際切手展 2011 参観記	703
一枚起請文	709
フィラテリスト梅棹忠夫をよむ	711

44 号

金井宏之顧問追悼特集号	
金井・手彫切手コレクションの思い出	718
金井さんを偲びつつ	725
方寸院釋孝仁	726
切手デザイナー 森田基治氏の講演開催	728

45 号

箱根駅伝のコースをたどる旅	730
東京スカイツリーに魅せられて	
写真と風景印と記念カバー	740
リトアニア郵趣誌に稲門フィラテリー登場	746
古怒田さんマスターズレガッタ出場	748

46 号		
	早大切手研究会会報電子化について	750
	稲門フィラテリー第 1 3 回総会報告	752
	会長挨拶 「親睦」と「若返りを」	753
	奥多摩の山からヒマラヤ 6000 m 峰へ	754
	インドネシア・ジャカルタ “Indonesia 2012” 参観記	762
	切手偏見 切手の外国語表示	766
	2012 年日本切手発行状況	772
	JP タワーの東京中央郵便局	776
47 号		
	郵趣失敗ばなし	778
	切手から切符へ	782
	UAE と Sharjah2012	785
	京の片隅に住まいして	789
	愉しみな切手冊子	795
	絶滅危惧趣フィラテリーの保護	796
48 号		
	神楽・まつり・そして神楽	802
	竜切手に用いられた用紙の分類	808
	新潟県の花鳥	813
	両神山、秩父の切手など	816
	切手偏見 寄付金付き切手	819
	小熊 忠三郎さんを偲ぶ	824
49 号		
	切手教室 100 回を振り返って	826
	切手教室 100 回の講義内容	829
	ここは地の果てアルジェリア	830
	エンタィアを二度楽しむ	
	—東京・深川と小津安二郎—	835
	Australia 2013 参観記	837
	渡辺 勝正氏 新聞一面で語る	841
	ネット徘徊老人の切手鑑賞	842
50 号		
	稲門フィラテリー第 1 4 回総会報告	847
	「早稲田大学キャンパス巡り」の旅	849
	南部めくら暦	853
	フランス語でないフランス語	854
	2013 年日本切手発行状況	864
	Thailand 2013 参観記	870
	推薦図書「キッテデカ」？！	873

稲門フィラテリー 第41号

2011年9月1日発行

インド・デリーと INDIPEX2011

和田 文明

はじめに

インドの首都ニューデリーで2月12日から一週間のスケジュールでFIP（国際郵趣連盟）後援の国際切手展INDIPEX2011（写真1）が開催されました。ここ3年間海外の国際切手展への出品や参観をしていなかったし、仕事の関係でも「BRICs」の一員として経済発展を続けているインドのクレジットカードやデビットカードの状況を見聞してみたかったこともあり、初めてインドへ行って来ました。

インドの国土面積は328万キロ平方メートルで、日本のおよそ9倍もある大きな国です。人口も約11億9,000万人（2008年）で中国に次いで多く、人口年間増加率は1.95%となお高い数値を維持しています。一人子政策により高齢化が今後急速に進むと予想されている中国に比べ、インドは特に若い世代が多く、総人口に占める生産年齢人口は若く、今後の経済成長が期待されています。

国民のおよそ80%がヒンズー教徒で、連邦政府の公用語はヒンディー語ですが、英語が準公用語となっています。筆者のヒヤリング力の問題か、あるいはインド英語の独特のアクセントのせいか、大変聞き取りづらく、難儀しました。

2009年度のインドの名目GDPは1兆2,369億ドル（約105兆円）（世界11位）で、2009年の実質GDP成長率は7.4%と新興国である



写真1
INDIPEX2011のロゴマーク

「BRICs」中でも中国に次いで高い成長を示していますが、一人当たりのGDP（名目）は、未だ僅1,033ドル（約8万7,800円）に過ぎません。アメリカの最大手の投資銀行ゴールドマン・サックスは、2003年に新興国

「BRICs」に関する報告書を発表し、世界の工場として輸出が好調な「中国」、長い眠りから覚めた「ブラジル」、資源価格高騰の波に乗った「ロシア」、IT産業が経済を牽引している「インド」の4ヶ国について21世紀において急速な発展を予想しています。

インドの国際切手展

アジアでは、イギリスの植民地であったインド（写真2）やアメリカの植民地であったフィリピンは戦前から一部知識人や富裕層の間で切手収集が盛んに行われていたようで、インドは独立後間もない1954年（筆者の生まれた年）に初めての国際切手展を開催し、その後1973年INDIPEX1973、1980年のFIP国際展INDIA1980、1889年のFIP国際展INDIA1989、1997年のFIP国際展INDIPEX1997と続き、今



写真2
ニューデリー市の中心部“ノートンプレイス”の
イギリス植民地時代の建物



写真3 インド門

回のFIP国際展INDIPEX2011はインドにとって6回目の国際切手展の開催となります。他にもインドでは1977年のASIANA1977と2000年のASIANA/INDEPEX 2000という2回のFIAPアジア国際切手展も開催しています。

1977年10月にインドのバンガーロールで開催された“ASIANA1977”は、記念すべき第一回アジア国際切手展でした。この“Asian1977”には、当時大学の4年生であった筆者が、大学郵趣連盟のメンバーから誘われて、初めて挑んだ国際切手展でした。“ユース”クラスに「フィリピン占領切手1941～45」を3フレームで出品し、“ブロンズメダル”を頂いた思い出があります。また、フィラ東京1981開催の前年に開催されたINDIA1980にも成人クラスで「フィリピン占領切手1941～45」を5フレームで出品し、銀賞を頂いております。1977年と1980年にはインドへ行くことは適いませんでした。今回は会期後半の2月16日から18日の3日間観展を果すことができました。(写真3)は、大一次世界大戦にイギリスの植民地軍として参戦し、亡くなったインド兵約8万6,000人を追悼する高さ48メートルのアーチで、ニューデリーの中心部にあり、“インド門”(India Gate)と呼ばれています。

“Pragati Maidan”

今回のインド国際切手展は、“Pragati Maidan”(進歩の大地)(写真4)という1970年代にオープンしたニューデリー市内中心部にある国際展示場で開催されました。これまでニューデリーで開催された国際切手展はいずれもこの会場で開催されていますが、晴海の国際展示場を思い出させる30年以上の古い施設で、会場内には複数のレストランやフードコートがあるようになっていますが、何れも閉館状態で閉口させられました。会場近くには食事をするような場所も無く、毎日昼食時には地下鉄でホテルに戻り、食事をとってまた会場に戻るといった状況でした。しかし、



写真4 “Pragati Maidan” ゲート



写真5 航空郵便100周年記念切手を貼付した
INDIPEX2011の記念カバー

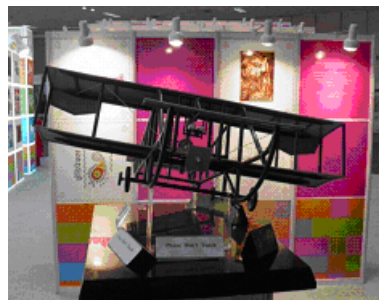


写真7 初飛行の複葉機の模型



写真6 INDIPEX2011の会場

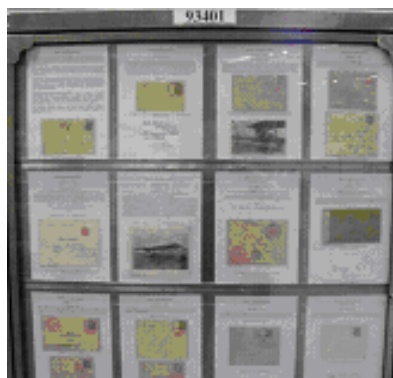


写真8 ワンフレームコレクション
『The World's First Airmails 1911』

この会場も毎年11月に開催されるインド国際見本市の際には、レストランやフードコーナーはオープンするとのことでした。

公式航空郵便100周年記念

インドの航空郵便は今年の2月18日で、100周年の記念日を迎えました。1911年2月18日にフランス人パイロットのアンリ・ペケによってインド北部のヤムナ川を挟んだアラハバードからナインまでの僅か5マイル間をおよそ6,500通の郵便物を複葉機に搭載して運んだ“世界初”の公式航空郵便とされています。インドでは、公式航空郵便100周年を記念したいくつかの切手や小型シートの発行が行われ、INDIPEX2011でも最終日の『2月18日』は、“航空郵趣の日”とされ、ナショナルフラッグのインド航空による記念カバー(写真5)の発行など公式航空郵便100年を記念したいくつかのイベントが開催されていました。また、INDIPEX2011の会場(写真6)には、初飛

行の複葉機の模型(写真7)が展示されていました。

競争展示においても、この世界初の公式航空郵便をテーマとした『The World's First Airmails 1911』(ゴールドメダル、90点)(写真8)という素晴らしいワンフレームコレクションも出品されていました。また、今回の国際切手展には航空郵趣(エアロフィラテリー)部門(クラス7)には26点もの優れたコレクションが世界中から出品され、大金賞もオーストラリア人のRymond Todd氏のインドの「Indian Air Mails 1911-1934」、中国人のDavid Lu氏の中国の「Chinese Airmails & Forerunners」、シンガポール人のSa Bee Lim氏のマレーシアの「Malayan Airmails」といったアジアの初期航空郵便の3つのコレクションに授与され、航空郵趣部門でも大金賞や金賞が狙えるようになってきています。

サブコレクションとして、アメリカ郵政の

公用航空郵便史やアメリカ航空郵便20周年記念“National Air Mail Week”などを専門的に集めている私としては、2018年のアメリカなど、今後各国で公式航空郵便100周年を次々と迎え、“航空郵趣”(エアロフィラテリー)が注目されるようになるのではと期待しています。これからは、フィラテリックカバーを含まずに、公用の航空郵便で展開する「アメリカ郵政の航空郵便史,1911~1945」で国際切手展に挑戦していきたいと思っています。

パルマレース

INDIPEX2011のパブリシティによると、7日間の会期中におよそ10万の人々が会場を訪れ、62ヶ国からおよそ2,500フレームのコレクションが出品され、600個もの金・銀・銅の各メダルが各出品者に贈呈されたとのことでした。今回のインド展ではたくさんのインド関連のコレクションが出品されていて、ナショナルグランプリの選出は大変だろうなと思っていましたが、なんとナショナルグランプリは“無”という結果になったようです。国際グランプリは、ブラジルの外国郵便コレクションのPaul Commeli氏に、グランプリドヌールは、ボリビアのクラシックコレクションのM.V. Peredo女史に、それぞれ授与されました。日本からの出品作品並びに受賞結果は、文献部門を除いて(表1)の通りです。

パルマレースは、2月17日にインド有数の高級ホテルであるタジパレスホテル(写真9)の“ダルバルホール”で開催されました。大金メダルと金メダルは雛壇でメダルが授与さ

れる旨が予め伝えられており、緊張と期待に胸を躍らせていたのですが、式典のスタートが90分以上も遅れ、メダルや受賞者目録の作成も間に合わなかったとかで、二つの“グランプリ”のみの授賞式となってしまいました。(写真10)のように、スーツやネクタイ、靴などをわざわざ日本から持参してこの式典に臨みましたが、雛壇でのメダルの授与がなされなかったのは大変残念且つ心残りでした。尚、前回のインドの国際切手展INDIPEX1997のパルマレースでもスタートが大幅におくれ、参加者の輦蹙をかったと当時の参観記に記されていたことを思い出したしだいです。

インドで金、銀、銅

INDIPEX2011に私が出品したのはアメリカの“郵便史”のコレクションで、そのタイトルは『Post Office Forms, Including Envelopes Created for Conducting the Registered Mail Process, 1842-1929』と大変長



写真9 パルマレースが開催されたタジパレスホテル

表1 日本からの出品作品並びに受賞結果(文献を除く)

和田 文明	Post Office Forms, including envelopes created for conducting the Registered Mail Process, 1842-1929	93点	金賞
山崎 好是	Courier Mail and Opening of the Japan Post	92点	金賞
祖父江義信	Japan 1871-1876, Hand engraved stamps	92点	金賞
内藤 陽介	Japan and the 15 years' War 1931-45	90点	金賞
石澤 司	RYUKYUS 1945-52	89点	大金銀賞



写真 10 パルマレース会場にて

いのですが、これはアメリカの切手展出品者協会（AAPE）の無償の“批評サービス”で、国内外の切手展の審査員を兼ねている複数のアメリカの郵便史の専門家のアドバイスを受けて付したものです。このAAPEの“批評サービス”では、展示リーフを全て2部コピーしてAAPEの“批評サービス”の責任者に切手貼付した返信封筒を添えて送付し、アドバイスを受けるのですが、私の場合スペルミスを含む“英文添削”の状態で、リーフのコピーは添削で一面真赤になりました。

このコレクションは、これまでの最高位が大金銀賞（87点）であった「アメリカ郵政の公用郵便史、1778～1900」から派生させたコレクションです。“公用郵便”の郵便史は、FIPの郵便史の“例示”にも挙げられていますが、日本のみならず海外でもあまりなじみのあるテーマではないようです。

郵便料金や通送ルートを中心とした一般の郵便史の展開とは異なり、私の公用郵便の郵

便史のコレクションは、アメリカにおける国内外向けの書留郵便の通送プロセスを公用郵便物や実際に使用された関連フォームで展開しています。郵政庁や郵便局をテーマにした公用郵便や書留郵便（Registered Mail）業務に係る公用郵便と関連フォームで構成した“公用郵便”の郵便史のコレクションはアメリカでも見かけることはほとんどなく無く、2009年にコート・オブ・ホナー（Court of Honors）で出品したアメリカの国内切手展“Ameripex2009”では、オリジナリティで高い評価を得ています。

このコレクションのこれまでの“歩み”は、（表2）のように、2004年の香港アジア展で初めて国際展にデビューし、大銀メダル（76点）を獲得、翌年の台北アジア展で点数は2点アップしたものの、メダルの色は変わらず、大銀メダル（78点）でした。2年後の2007年のタイ・バンコックでのアジア国際切手展では一挙に7点もアップし、大金銀メダル（85点）を獲得することができました。本来なら、次の国際展は8フレームで挑戦しなければなりません。既に5フレームでエントリー済みであった2008年のルーマニアのFIP世界切手展Efiroでは、再び5フレームで出品し、バンコック展と同じ大金銀メダル（85点）を獲得しました。

3年のブランクを経て、今回のインドのFIP世界展では初めて8フレームに挑戦しました。コレクションの対象期間も従来の“1842年から1899年”までの57年間で1929年までの87年間に30年ほど延ばし、“書留切手”や“書

表2 これまでの受賞歴

国際切手展	フレーム数	評点	メダル
FIAP香港2004（香港）	5	76	大銀
FIAP台北2005（台湾）	5	78	大銀
FIAPバンコック2007（タイ）	5	85	大金銀
FIP・Efiro2008（ルーマニア）	5	85	大金銀
FIP・INDIA2011（インド）	8	93	金



写真 11
INDIPEX2011 で獲得した金メダル



写真 12 インドの国際切手展で獲得した
金、銀、銅の各メダル

留ラベル”、“AR”(Avis de Reception)などの新しいアイテムを加え、前回より8ポイントアップの93点で金メダル(写真11)を獲得することができました。

今回の INDIPEX2011 で「金賞」を獲得し、

1980年の India で「銀賞」、1977年の ASIANA で「銅賞」を獲得し、34年の年月を経て、インドで開催された国際切手展で、(写真12)のように金・銀・銅の三つのメダルを揃えることができました。

私は海外の国際切手展へ参観に出かけた際は、できるだけ“写真切手”(日本では“フレーム切手”と呼ばれています)を記念に作ってお土産に買って帰ったり、記念カバーを作成するようにしています。INDIPEX2011 の会場では、“フレーム切手”である“マイ・スタンプ”(My Stamp)がインド郵政によって作成・販売されていました。“マイ・スタンプ”のベースのフレームは10種類ほど用意されていましたが、全部作るのは大変なので、その中の“タージマハル”(Taj Mahal、ユネスコの世界遺産にも指定されているインド北部のアグラにある総大理石で造られた霊廟)が印刷されたフレームをチョイスして作成したのが(写真13)の“マイ・スタンプ”とその記念カバー(写真14)です。



写真 13 “マイ・スタンプ”

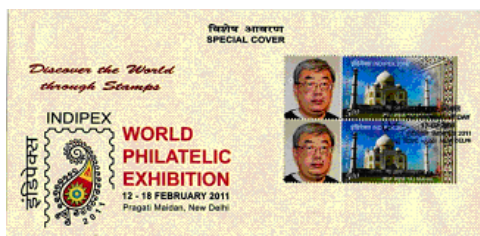


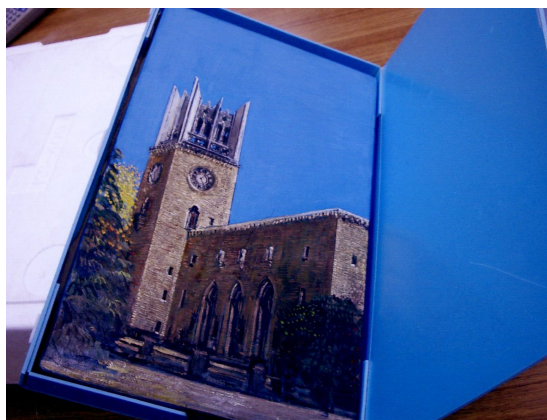
写真 14 “マイ・スタンプ”の記念カバー

大隈講堂が描かれた新宿北郵便局の新風景印 (原画：藪野健画伯) の秘密

磯野 昭彦

平成22年10月15日から新宿北郵便局風景印の図案が変更になりました。図案原画は藪野健画伯によるものです。画伯は早稲田大学大隈講堂切手（平成13年発行）、早稲田大学創立125周年記念（平成19年）の稲門フィラテリー作成の記念官製はがき、記念カバー（封筒）の原画作者です。画伯は早稲田大学理工学術院基幹工学部表現工学科教授、早稲田大学會津八一記念博物館長です。また、日本芸術院から平成20年度日本芸術院賞を授与された日本を代表する画家で、日本芸術院会員、二紀会副理事長です。

この新しい新宿北郵便局風景印図案について、いくつかの秘話を紹介しましょう。



藪野健画伯の大隈講堂切手原画

1 大隈講堂の時計塔は1時25分を指している

大隈重信が「人生125歳説」を唱えたことに由来して大隈講堂は125尺の高さに建てられたのは周知のことで、藪野画伯は大隈講堂切手原画作成時当時の奥島総長と相談して大隈講堂時計塔の時刻を1時25分にしたそうです。

藪野画伯は、早稲田大学創立125周年記念の記念カバー、記念官葉の原画を、大隈講堂切手原画を描いた場所と同じ位置から描きましたが、このときの新装大隈講堂時計塔も1時25分にしました。

そして、この新しい新宿北郵便局風景印に描かれた大隈講堂時計塔も1時25分となりました。

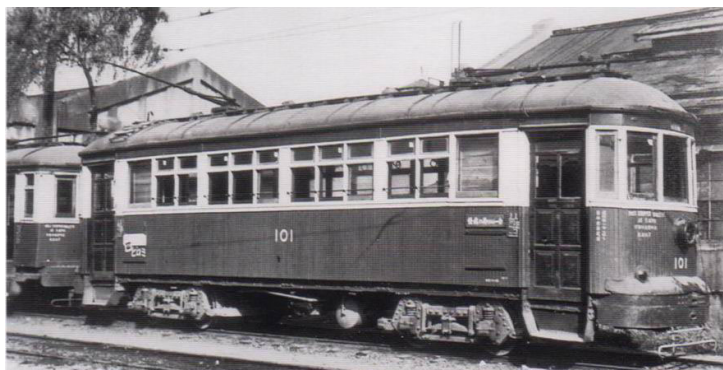
2 都電荒川線のモデルになった車両は王電

風景印に描かれているレトロ都電のモデルはもともと王子電気軌道のもので形式は100形と呼ばれる車両と私は推定しました（多分正しいと信じています）。

その理由は以下の通りです。



大隈講堂切手と時計部分拡大



100形車両、後に見える車両は120形 [「都電車両総覧」(大正出版)から転載]

①都電荒川線は昭和17年に王子電気軌道から引き継がれたもの、したがって、レトロ車両は当然ながらすべて王子電気軌道の車両

②この引き継がれた車両の形式は、100, 120, 150, 160, 170形の5種類、車両数は合計53。これら車両の写真(「都電車両総覧」大正出版)と風景印の図柄を比べて、次の点で一致するのが大正14年製造の100形

- ・出入口と前面との間の窓幅が狭い
- ・出入口から前面にかけて大きなカーブになっている
- ・木造車両で羽目板の目地の縦線が前面にもある
- ・ヘッドライトは大きく前に突き出ている
- ・前面最下部は前に突き出ている、その下部に排障器がある
- ・トロリーポールはシングルである

3 新風景印に藪野画伯のサインが...

風景印や記念小型印に原作者のサインなどをいれることは郵政の規定により許されません。平成11年11月11日早大切手研究会50周年記念のとき、横山隆一画伯にフクチャンの原画を描いていただき、早大切手研究会50周年記念事業実行委員会が記念小型印図案に「隆一」という自筆サイン付で構成して新宿北郵便局に提出したところ、規定により「隆一」の文字を削除しますと連絡を受けました。

平成22年、新宿北郵便局風景印図案変更の原画を藪野画伯に描いていただいたことはご存知の通りですが、その風景印に描かれている図柄に藪野画伯のサインが隠されているという噂があちこちでささやかれています。ほんとうだろうかと風景印を丹念に観察してみました。画伯はサインを通常「Yab」と記しています。図柄のどこにもこのように見えるものは見あたりません。しかし、目を凝らしてよく見ると「Y」に見える葉っぱがありました。多分これが隠れサインと思われるてきました。みなさんどう思いますか。



新風景印に描かれたサイン？



早大切手研 50 周年記念小型印の原画と小型印印影

4 新風景印の都電の上方にある波線は？

風景印に描かれている都電荒川線の上方にある3本の波線は一体なにかという疑問をもたれる方が多いようです。

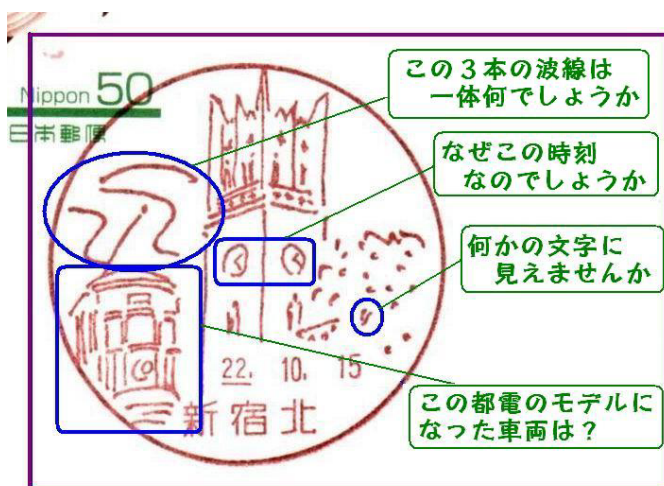
原作者藪野画伯から原画をいただいたときに「これは、神田川をイメージしたんです」と説明を受けました。

神田川は新宿区と豊島区との境界付近を新宿区に入ったり豊島区に入ったりしながら流れています。すなわち新宿北郵便局の集配エリアを流れているのです。

付：新宿北郵便局常設展でも展示

この秘話の内容を「新宿北郵便局風景印の秘密」と題して、平成23年9月7日から12月初旬まで、新宿北郵便局第16回常設展（稲門フィラテリー主催、新宿北郵便局後援）にて展示いたします。

以上



帰ってきた50年前のノート

諸田 志郎

震災により4月の切手教室を中止したため、4月16日に渋谷にある英国海外郵趣の事務所で幹事会を開催した。

その際、石井克忠君が「これ返します」と言ってかなり茶色くなった一冊のノートを差し出した。何だろう、連絡帳かなと思いつつ受け取りページをめくる、私の書いたノートらしい。

家に帰りあらためて開いてみた。表紙には、事業記録、昭和36年度、早大切手研究会、文責諸田と書いてあり、昭和36年4月から37年3月の切手研の活動を記録したノートであることがわかった。50年前のノートが帰ってきたのである。

まったく忘れていたが、その年度の代表幹事を任せ活動記録していたノートを次の代表幹事池山眞彦君に引継ぎそれが石井君に渡り保管してくれていたと思われる。

ノートには昭和36年4月の新入会員募集から37年4月の新幹事選出までが記載されている。一年の活動、行事を結果だけでなく検討過程や参加者名も記録されているので、一部の会員には懐かしい思い出ではないかと思われるので抜粋して紹介したい。

大半のことがまったく忘れ去っていたことであり記憶をよびもどそうにも不確かなことしか思い出せない。誤った記述があるかもしれないがご容赦願いたい。

この一年の重要な活動、行事は、早稲田大学創立80周年記念切手発行、大学郵趣連合(UPU)切手展、早稲田祭であった。80周年記念切手発行計画、記念シールの発行については「早大切手研50年」に記載しているので詳

細は省略したい。

日付にしたがって紹介する。

4月17日 新入会員募集開始。

4月28日 新入会員歓迎会、昭和36年度第一回総会開催。

新幹事の承認と「早大切手研50年」で述べたが早稲田大学創立80周年記念切手発行の申請をすることを決定した。

出席者 OB 古川 村上 杉山 大谷 竹柴 大年 甲斐 横堀 横山(?)

(以下敬称を省略させていただきます) 会員46名(内新入会員20名)

5月4日 上田君と小生、大杉先生の研究室に新幹事の挨拶。

5月10日 中津川溪谷ハイキング。

小田急新宿駅に集合し本厚木に、本厚木からバスで宮ヶ瀬に行った。今ダムがあるあたりだろうか。小林君は自家用車で参加と書いてある。赤いブルーバード。参加者27名

5月11日 新入会員講座開始。

初回講師は横山さん。以後週1・2回のペースで計8回おこなっている。

5月13日 慶応大学切手交換会に招待される。馬場 上田 小生参加。

三井高陽先生が参加されており挨拶した。

5月15日 第二回総会開催。

80周年記念切手の件、合宿の件、図書購入の件等諮った。切手交換会を実施した。

出席者 大杉先生 OB 立花 大年 会員26名

5月18日 UPU連絡会を切手研会室にて開催。

青山 共立 慶応 東京 法政 明治 早



雄国沼夏季合宿（昭和36年7月31日～8月4日）

稲田参加。杉山（行大）上田 占野 小生出席。

8月22～27日開催予定の第三回大学切手展に向けて数回連絡会がおこなわれている。この年は東大が幹事で新井紀元さんがUPU会長であったが、多忙とのことで副会長の上田君、小生が協力した。

会場は郵政省、毎日新聞の協力をあおぎ丸善、白木屋等に依頼したが、池袋三越となった。

5月30日 大杉先生教授昇進祝賀会開催。於やぶき。

大杉先生がかくし芸を披露したと書いてあるが、覚えていない。どなたか覚えておられたら教えていただきたい。先生とOBの方は新宿方面へ二次会に行かれたらしい。

出席者 大杉先生 OB 小熊 古怒田 杉山 住吉 会員22名

6月15日 第三回総会開催。

夏季合宿の件、大学切手展の件等諮った。合宿場所は投票の結果、横磐梯（雄国沼）に決定。出席者 会員26名

6月18日 切手研、童話研、童謡研対抗ソフ

トボール大会開催。場所多摩川グランド。

学生会館19号室の仲間交流、当然切手研連勝。例会にはあまり出席しないが、ソフトボール大会には必ず参加する会員もいた。原先輩にお世話になったと書いてある。

7月31日～8月4日 夏季合宿開催。

上野駅を夜行列車で出発、朝、喜多方駅に到着。喜多方でしばらく観光した。この年の年賀切手のデザインに採用された、赤べこを買う人が多かった。

バスで途中まで行き、その後、雄国沼まで歩く。さえぎるもののない山道を登るのは暑くきつかった。皆疲労困憊。前年の合宿、三宅島でも雄山登山をしたが、海風のおかげかそれほど暑く感じなかった。夕方、雄国沼到着。床に穴の開いたひどいロッジだった。

3日午前、早稲田祭の件で臨時総会開催。記念カードの原画はトシコムトーに決定。まじめな合宿でした。

午後、細野キャンプ場に移動。4日、船で松原湖を渡り五色沼をハイキング、その後猪苗代駅から帰京。猪苗代では野口英世の生家を見学した。



雄国沼夏季合宿（切手研旗を囲んで記念撮影）



雄国沼のひどいロッチ

参加者 OB 小西 住吉 会員23名
8月7日 第四回総会開催。

大学切手展分担を決定した。出席者17名。
夏休みで少ない。

8月22～27日 UPU第三回切手展開催。

副題は「正しい切手収集のために」として
入門的な展示にした。参加校9校。

早大切手研は「世界の現行通常切手」として
15ヶ国の切手を展示した。完全に揃えるの
は意外に難しく、大使館にお願いするなどし
たが穴が開いたところもあったような記憶が
ある。

最終日に、反省会を池袋で開催。東大が幹

事であったので三島良績先生が出席、講評を
述べられた。切手研出席者 上田 小林 池
山 中川 森 小生

9月30日 第五回総会開催。

早稲田祭の件について語る。出席者26名

早稲田祭について文連の体制変化か、従来
になく難しい問題が生じた。ひとつは、切手
展会場の問題、21号館（共通教室）は政経ブ
ロックの会場にすると理由で移動を求めら
れたこと。従来から継続して使用してきたと
して移動を拒否、数度の交渉を経てやっと確
保できた。もうひとつは、物品販売の件、物
品販売は認めないとの方針により、切手即売、
記念カードの販売が危うくなったこと。実行
委員会に何度も説明したが、切手即売は却下
され中止せざるを得なかった。

記念カードの原画依頼、講演会の講師依頼、
小型印の申請は順調にいった。

11月22～26日 早稲田祭開催。

切手展は、共同作品「郵便90年の歴史」・個
人作品・他大学賛助出品を展示した。

26日、講演会開催。講師 逋信博物館資料官

山下武夫氏 都立城南高校教諭 谷信勝氏。
夕方から講師を囲み、共立 東京 明治のメ

ンバーも交え座談会をおこなった。出席者
山下、谷氏ほか 15 名

12 月 18 日 忘年会兼クリスマスパーティ開催。

出席者 大杉先生 会員 27 名

37 年 2 月 15 日 卒業生送別会開催。

卒業生 青木 杉山 角 清田 野島 長
谷川 畑川 馬場 府川 福井 宮鍋（清田
宮鍋欠席）出席者 大杉先生 OB 立花
大谷 住吉

送別会終了後、大杉先生を交えてマージョ
ン卓を囲んで二次会。なんと 6 卓と書いてあ
る。

4 月 14 日 幹事会開催。

新幹事候補を投票で決定した。 新代表幹

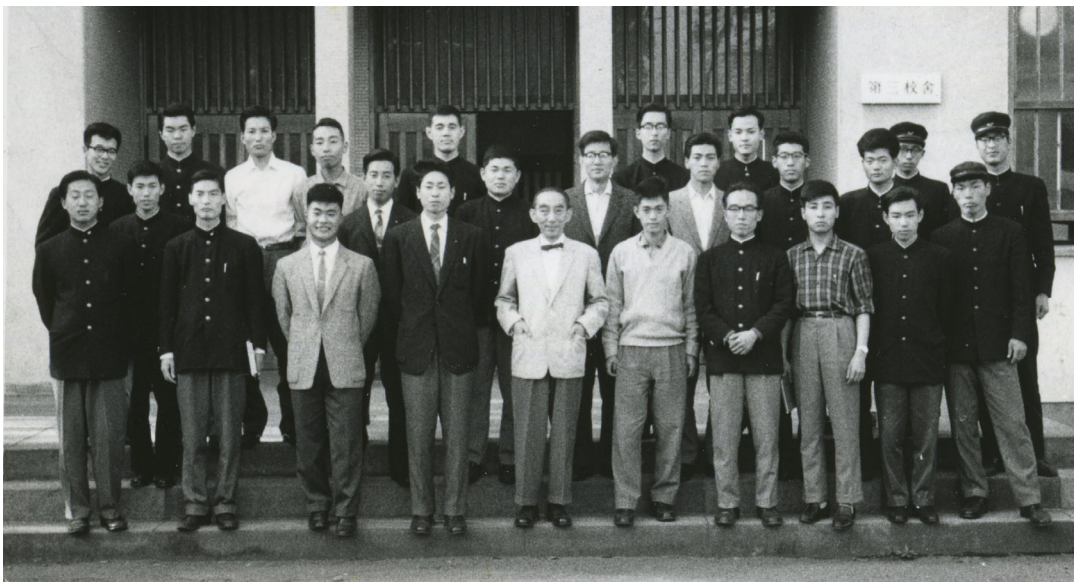
事候補 池山眞彦 副代表幹事候補 嶋村邦
高 中川孝昭。

最初に述べたがここでノートは終わっている。

最後に、大杉先生についてお話したい。

80 周年記念切手発行申請にあたって総長名
の申請書が必要になると、事前に 80 周年記念
募金局に根回ししていただき、また、記念
シールの印刷費支払いの必要が生じると学校
当局からの資金借入の話をまとめていただき、
切手研の活動を支えていただいた。しかも私
たちにたいしては表立った行動はしていない
ようにふるまい配慮してくださった。

その間、叱責はもとより厳しい言葉を一度
も聞くことはなかった。本当に感謝している。



慶応切手交換会にて（三井高陽先生を囲んで）



2011年1月ふるさと切手であるが、大隈重信が切手に描かれた。この切手、シートでみるかぎり氏名が記載されているので誰が描かれているか判断できる。しかし、1枚の切手として見せられた時、この老人を大隈重信と判断できる者がわが会員の中にどれだけいるであろうか。

このようなことから個人を特定できる我が国の切手を整理してみようと考えた。特定するには顔と氏名があるので、顔から個人を特定できるもの、氏名が印刷されたものを人物切手として選択してみた。(浮世絵等に描かれた役者等は除外した。)

人物切手としては、1. 顔と氏名が印刷されたもの 2. 顔だけの印刷されたもの 3. 氏名だけが印刷されたもの 3種類を対象として整理した。

2011年3月末で整理対象切手としては約5550種があり、上記の3種に該当する切手は324種、特定できる個人は398名(重複あり)が切手になっていた。種類としては特殊切手276、ふるさと切手23、普通切手25種であった。

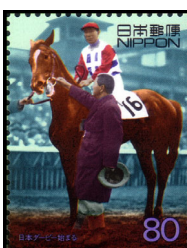


特定できた個人は一部調べが十分でなく確認できなく不明とした者を含めて295名の個人が切手になっていた。(不明と扱ったのは20世紀シリーズの日本サッカー飛躍、箱根駅伝、甲子園球場開場、日本ダービ開始、プロ野球結成の切手に使用された写真の人物である。)

どのような切手シリーズに人物が登場しているかを10人以上を整理したのが表1である。過去の歴史的事象、社会的動き等を取り上げた切手が複数の個人を扱っており、必然的に20世紀シリーズ、戦後メモリアルシリーズに多くの個人が画像で表現されている。一方、映画シリーズにおいては映画のタイトルが文字で表現されているが、個人名はまったくくない。逆に、歌舞伎シリーズでは画像から個人を特定するのが困難であるためであろうか歌舞伎演目等と個人名が文字で表現されている。近代美術シリーズでは氏名と描画作品で扱われており、他の切手等の扱いを加味すると画家の人物像が切手に使用されることは稀であると考えたい。新旧文化人切手シリーズは人物像と氏名を明記してあるのは本

表1 人物が多く見られるシリーズ

シリーズ	人数
20世紀シリーズ	79
ふみの日(百人一首)	50
近代美術シリーズ	34
第2次文化人切手	31
文化人切手	18
日本映画Ⅰ	14
歌舞伎シリーズ	13
戦後50年メモリアル	13
日本映画Ⅱ	12
世界陸上競技選手権大阪大会	10
郵便切手の歩み	8
近代俳句のふるさと 松山	5
笑門来福落語切手	5



個人を特定できずにいる切手

表2 個人別切手の種類

氏名	氏名のみ	人物画像	種類
前島密		15	15
神功皇后		8	8
乃木大将		6	6
正岡子規	2	3	5
東郷元帥		5	5
キヨソネ		4	4
夏目漱石	3	1	4
野口英世	1	3	4
源頼朝		3	3
坂本竜馬		3	3
竹久夢二	1	2	3
美空ひばり		3	3
福沢諭吉		3	3
渥美清		2	2
金子みすず	1	1	2
皇太子		2	2
皇太子妃		2	2
佐藤一英	1	1	2
佐野常民		2	2
三船敏郎		2	2
手塚治虫		2	2
狩野芳崖	1	1	2
松尾芭蕉		2	2
上村松園	1	1	2
森鷗外		2	2
石原裕次郎		2	2
千代女		2	2
川端康成		2	2
前皇太子		2	2
前皇太子妃		2	2
速水御舟	1	1	2
長岡半太郎		2	2
湯川秀樹		2	2
藤原鎌足		2	2
梅謙次郎		2	2
白瀬中尉		2	2
樋口一葉		2	2
菱田春草	1	1	2
平山郁夫	2		2
北白川宮		2	2
木村榮		2	2
有栖川宮		2	2
与謝野晶子		2	2
力道山		2	2
藤原定家		1	1
アイゼンハワー		1	1
デュナン		1	1

イサムノグチ		1	1
クラーク博士		1	1
シーボルト		1	1
シャープ		1	1
ビートたけし		1	1
ブキャナン		1	1
ヘレンケラー		1	1
ベートーベン		1	1
安井曾太郎	1		1
安田靫彦	1		1
安藤広重		1	1
伊東深水	1		1
伊能忠敬		1	1
為末大		1	1
井伊大老		1	1
一万田尚登		1	1
稲葉義男		1	1
榎本健一		1	1
横山大観	1		1
王貞治		1	1
岡鹿之助	1		1
岡倉天心		1	1
岡田三郎助	1		1
加東大介		1	1
夏目雅子		1	1
河東碧梧桐	1		1
華岡青洲		1	1
芥川龍之介		1	1
笠智衆		1	1
葛飾北斎		1	1
関孝和		1	1
岸恵子		1	1
岸信介		1	1
岸田劉生	1		1
岸恵子		1	1
岩崎弥太郎		1	1
吉永小百合		1	1
吉岡彌生		1	1
吉川英治		1	1
吉田松陰		1	1
吉田茂		1	1
吉野作造		1	1
宮口精二		1	1
宮城道雄		1	1
宮沢りえ		1	1
宮沢賢治		1	1
京マチ子		1	1
近藤真琴		1	1
金丸祐三		1	1
金栗四三		1	1
九代團十郎		1	1

桂文案		1	1
桂米朝		1	1
原節子		1	1
古賀政男		1	1
古橋広之進		1	1
志ん生		1	1
幸田露伴		1	1
高橋是清		1	1
高橋由一	1		1
高村光雲	1		1
高村光太郎		1	1
高浜虚子	1		1
高峰秀子		1	1
黒川瞳		1	1
黒田清輝	1		1
黒澤明		1	1
佐田啓二		1	1
佐伯祐三	1		1
斎藤茂吉		1	1
坂井義則		1	1
坂東妻三郎		1	1
坂本龍馬		1	1
三遊亭円正		1	1
山本有三		1	1
司馬遼太郎		1	1
市川団十郎		1	1
市川雷蔵		1	1
志村喬		1	1
紫式部		1	1
児島善三郎	1		1
寺田虎彦		1	1
室伏広治		1	1
宗像志功		1	1
重光		1	1
小栗忠順		1	1
小出樫重	1		1
小泉八雲		1	1
小村寿太郎		1	1
小沢征爾		1	1
小津安二郎		1	1
小林トシ子		1	1
小林旭		1	1
小林綾子		1	1
小林一茶	1		1
小林古径	1		1
小林多喜二		1	1
松井須磨子		1	1
松坂慶子		1	1
松田優作		1	1
松本白鸚		1	1

松本幸四郎		1	1
上原謙		1	1
常陸山		1	1
織田幹夫		1	1
新見正興		1	1
新渡戸稲造		1	1
新島襄		1	1
森雅之		1	1
深田久弥		1	1
真田広之		1	1
人見絹江		1	1
仁科芳雄		1	1
杉原千畝		1	1
成瀬仁蔵		1	1
成迫健児		1	1
星島二郎		1	1
正力松太郎		1	1
聖徳太子		1	1
西周		1	1
西田幾太郎		1	1
青木繁	1		1
千秋実		1	1
川上音二郎		1	1
浅井忠	1		1
前田青邨	1		1
双葉山		1	1
相馬御風		1	1
村垣範正		1	1
村上華岳	1		1
大河内伝次郎		1	1
大隈重信		1	1
大江健三郎		1	1
大槻文彦		1	1
醍醐直幸		1	1
滝沢馬琴		1	1
沢村英治		1	1
池田久美子		1	1
池田勇人		1	1
竹内栖鳳	1		1
竹本義太夫		1	1
中井朝一		1	1
中村歌右衛門		1	1
中村勘三郎		1	1
中村吉右衛門		1	1
中村錦之助		1	1
中村汀女		1	1
中村梅玉		1	1
中村鴈治朗		1	1
中谷宇吉郎		1	1
長嶋茂雄		1	1

鳥居清長	1		1
津田梅子		1	1
坪内逍遙		1	1
壺井栄		1	1
鶴田義行		1	1
鶴田浩二		1	1
貞奴		1	1
鍋木清方	1		1
田中館愛橘		1	1
田中絹代		1	1
渡辺崋山		1	1
島崎藤村		1	1
嶋村抱月		1	1
東郷青児	1		1
棟方志功	1		1
藤原義江		1	1
藤島武二	1		1
徳川光圀		1	1
徳川宗敬		1	1
苦米地義三		1	1
内村鑑三		1	1
内藤真人		1	1
二宮金次郎		1	1
梅ノ谷		1	1
梅津美治郎		1	1
萩原守衛	1		1
塙保己一		1	1
尾崎行雄		1	1
尾上菊五郎		1	1
尾上松之助		1	1
尾上松録		1	1
尾上梅幸		1	1
富井政章		1	1
富岡鉄斎	1		1
風間杜夫		1	1
福士加代子		1	1
福田平八郎	1		1
平田満		1	1
片岡仁左衛門		1	1
穂積陳重		1	1
北里柴三郎		1	1
本居宣長		1	1
末續慎吾		1	1
万鉄五郎	1		1
木村功		1	1
役所広司		1	1
薬師丸ひろ子		1	1
柳家小さん		1	1
嵐寛寿郎		1	1
林芙美子		1	1

鈴木梅太郎		1	1
實川延若		1	1
澤野大地		1	1
紀貫之		1	1
小野小町		1	1
藤原道長		1	1
小野道風		1	1
未特定人物		9	9
総計	46	302	348

来の人物切手の姿であるが、新シリーズでは生誕年、没年、横文字氏名(一部なし)、関連画像が加わっているが、何か重厚さを欠いたものを感じるがこれは印刷方法も関連だろう。なお、このシリーズに人物像資料を確認できないのか人物像でなく浮世絵作品だけで発行されたものがある。鳥居清長切手である。

ふみの日切手の百人一首歌人を除き切手になった個人を枚数順に示したのが表2である。いささかうんざりの前島密を除くと戦前の国威、国情をしめす、軍人、神功皇后が普通切手にのみ多く見られているのが注意される。戦後に発行されたものにはあまり数的には差は無いようである。

しかし、内容的は夏目漱石のように人物像より氏名文字の方が多く切手に表現されているような人物がいる。

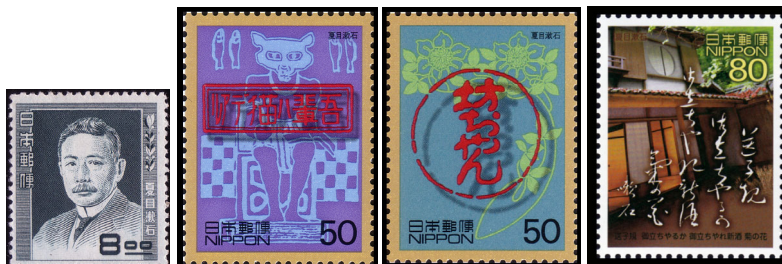
さらに、一見しただけでも、聞いたことのない人物名が目につくであろう。これは1枚の切手に画像が複数で存在した人物である。1枚の切手に6人の人物を特定できるものも存在した。特に、日米修好記念切手ではブキャナン大統領以外は推測で特定させた。ついで



文化人切手で唯一人物像がない鳥居清長切手と原画



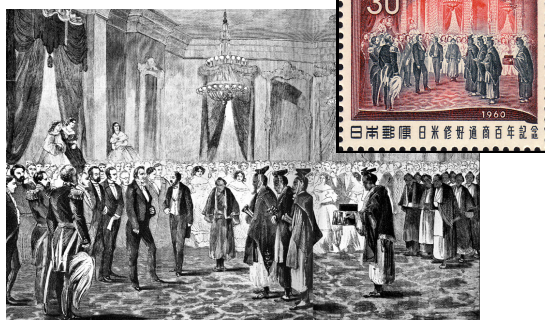
個人別切手種類数ベスト4



夏目漱石関連の切手4種類

ながら、意外に外国人が少なく、しかも、欧米人に限られているようである。

文化人切手を頭に人物切手を考えると故人でないと切手には？と、思いきやなんと存命中の方が多いのには驚いた。皇太子、妃は別格とし、切手発行時点で存命中の人物を整理したのが表3である。歌舞伎、中村歌右衛門が最初に、あとはスポーツ、映画俳優、舞台関係がほとんどであり、大江健三郎、小沢征爾といった文化人切手に該当すると思われる人物が例外的感じを受ける。また、岸恵子が2種類の切手になっている。新旧文化人切手の両方に顔を見せている人物正岡子規の扱い



多くの人物を特定できた切手

には疑問が生じる。

表2全体を通じて活動した分野によって人物表現に差があるように感じたので、無理は承知で活動分野を別にして表現方法を整理したのが表3である。文化人切手の活動分野によるのであろう、学術分野の人は人物画像と

氏名をしっかりと表示されているが、映画、スポーツ分野では氏名表示は少ない。これは発行目的である映画作品、国際大会との関連の度合いからと一定の理解はできるが、少なくとも人物像を大きく使用しているのであれば氏名を小さくとも表示するの

が、切手使用者、くわえて人物像の当人への優しさ、こころ配りではないだろうか。現に、商船教育100年、女子高等教育100年切手には氏名を複数にもかかわらず表示して目にする者に知識、関心を抱かせてくれている。

表4を更にこれも無理を犯して専門領域別



最初に生前切手になった
六世歌右衛門

生前唯独り二種の切手に
なっている岸恵子



表3の中では例外的な人物 小沢征爾、大江健三郎



氏名を小さくとも表示した商船教育
100年と女子高等教育100年切手

表3 切手発行時点で活躍中の人物

通称	氏名	職業
20世紀シリーズ	大江健三郎	文学者
落語切手	桂米朝	落語家
落語切手	柳家小さん	落語家
20世紀シリーズ	岸恵子	俳優
20世紀シリーズ	小林綾子	俳優
日本映画Ⅰ	岸恵子	俳優
日本映画Ⅰ	吉永小百合	俳優
日本映画Ⅰ	京マチ子	俳優
日本映画Ⅰ	原節子	俳優
日本映画Ⅰ	高峰秀子	俳優
日本映画Ⅰ	小林トシ子	俳優
日本映画Ⅰ	小林旭	俳優
日本映画Ⅱ	ビートたけし	俳優
日本映画Ⅱ	宮沢りえ	俳優
日本映画Ⅱ	黒川瞳	俳優
日本映画Ⅱ	松坂慶子	俳優
日本映画Ⅱ	真田広之	俳優
日本映画Ⅱ	風間杜夫	俳優
日本映画Ⅱ	平田 満	俳優
日本映画Ⅱ	役所広司	俳優
日本映画Ⅱ	薬師丸ひろ子	俳優
20世紀シリーズ	小沢征爾	指揮者
歌舞伎シリーズ	中村歌右衛門	歌舞伎俳優
歌舞伎シリーズ	尾上梅幸	歌舞伎俳優
歌舞伎シリーズ	片岡仁左衛門	歌舞伎俳優
20世紀シリーズ	王貞治	スポーツ
20世紀シリーズ	長嶋茂雄	スポーツ
戦後50年メモリアル	坂井 義則	スポーツ
第11回世界陸上	為末 大	スポーツ
第11回世界陸上	金丸 祐三	スポーツ
第11回世界陸上	室伏 広治	スポーツ
第11回世界陸上	成迫 健児	スポーツ
第11回世界陸上	醍醐 直幸	スポーツ
第11回世界陸上	池田 久美子	スポーツ
第11回世界陸上	内藤 真人	スポーツ
第11回世界陸上	福士加代子	スポーツ
第11回世界陸上	末續 慎吾	スポーツ
第11回世界陸上	澤野 大地	スポーツ

新旧二種の文化人切手に登場
正岡子規

に整理したのが表5である。学術、伝統芸能領域にやや配慮があるかなと感じるが、人物表示に明確な線引は無いようである。

このように人物切手をながめてきて、人物の作品、業績でなく、趣味、生活習慣病・メタボのおかげで切手になった人物を笑いをもって触れねばなるまい。野球を楽しんだ正岡子規と贅沢の極め糖尿病と付き合ったという藤原道長の切手である。

以上、とりとめもなく整理してみた人物切

表4 分野別 人物表示

分野	人物画像	氏名だけ	人物画像と氏名
スポーツ	65%	0%	35%
学術	8%	15%	77%
芸術	35%	26%	38%
皇室	50%	0%	50%
政治、社会	67%	0%	33%
総計	43%	12%	46%

表5 専門領域別 人物表示

領域	人物画像	氏名だけ	人物画像と氏名	種類
画家	0%	73%	27%	48
俳優	90%	0%	10%	48
スポーツ	65%	0%	35%	34
文学者	15%	11%	74%	27
政治家	85%	0%	15%	20
郵便	42%	0%	58%	19
歌人	16%	26%	58%	19
皇族	50%	0%	50%	16
軍人	100%	0%	0%	16
歌舞伎俳優	0%	0%	100%	14
科学者	8%	0%	92%	12
教育者	36%	0%	64%	11
武士	57%	0%	43%	7
医師	17%	17%	67%	6
詩人	0%	33%	67%	6
落語家	0%	0%	100%	5
法律家	0%	0%	100%	4
志士	100%	0%	0%	4
歌手	0%	0%	100%	3
実業家	67%	0%	33%	3
国学者	0%	0%	100%	2
探検家	0%	0%	100%	2
哲学者	0%	0%	100%	2
漫画家	0%	0%	100%	2
外交官	50%	0%	50%	2
作曲家	50%	0%	50%	2
映画監督	100%	0%	0%	2
言語学者	0%	0%	100%	1
指揮者	0%	0%	100%	1
宗教家	0%	0%	100%	1
浄瑠璃太夫	0%	0%	100%	1
数学者	0%	0%	100%	1
声楽家	0%	0%	100%	1
測量家	0%	0%	100%	1
福祉家	0%	0%	100%	1
邦楽家	0%	0%	100%	1
映画カメラマン	100%	0%	0%	1
思想家	100%	0%	0%	1
書家	100%	0%	0%	1
農政家	100%	0%	0%	1
総計	43%	12%	46%	398

手、多くの見落とし、誤りがあると思います。お笑いだき、ご指摘いただければさいわいです。(編集子)



切手教室

- 第81回 8月6日 「くらべてみると I」
講師：野口喜義氏
- 第82回 9月3日 「くらべてみると II」
講師：野口喜義氏
- 第83回 10月1日 「新宿北郵便局風景印の
秘密」講師：磯野昭彦氏

稲フィラ総会

2011年度の第46回ホームカミングデー・稲門祭の開催にあわせ、稲フィラでは以下の日程で第12回総会と講演会を開催いたします。

開催日時：2011年10月16日(日)

講演会：坂下泰一氏「手彫切手の楽しみ」

稲フィラ常設切手展

第15回 ウィリアム王子とキャサリンさんのご成婚切手

開催日時：2011年6月8日～9月6日

場所：新宿北郵便局

第16回 新宿北郵便局風景印の秘密

開催日時：2011年9月7日～12月上旬

場所：新宿北郵便局



展示コーナーと郵便局窓口の間のシャッターが4月から常時開になり常設展が見やすくなりました。

会員計報

平成23年7月23日 立花卓氏
謹んでご冥福をお祈りいたします。

日本国際切手展開催

7月28日から8月2日にかけて、パシフィコ横浜にて東京国際切手展「PHILA NIPPON 2011」が開催された。稲門フィラテリー会員諸氏も、スタッフや出品者として活躍された。稲門フィラテリー次号は、参観記や出品者の記事で特集を組む予定。



出品者による作品解説（国際展会場にて）

編集後記

猛暑と節電モードの中、横浜での国際切手展が無事終了し、一息ついておられる方も多いのではないのでしょうか。10年前、20年前のPHILA NIPPONに比べて、今回は女性や子供の姿が多く目についた気がします。趣味が多様化し、収集人口も高齢化が進むと言われる昨今ですが、新しい楽しみ方を模索していくことで、切手というメディアも十分存続する意義があるように感じました。

次号は国際展に出品された方の原稿で特集号を組む予定です。皆様の玉稿をお待ちしております。（池）

発行日：2011年9月1日
発行：稲門フィラテリー
発行人：小西 邦彦
〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4F
(株)英国海外郵趣代理部内
稲門フィラテリー事務局
編集担当：吉沢 忠一 池澤 克就

稲門フィラテリー

第42号

2011年12月1日発行

日本国際切手展見学会大成功

宮鍋 益治

6月の切手教室終了後の幹事会で、今回の国際展に稲門フィラテリーの幾人かの会員が出品を計画していることが判ったので、分科会として見学会を行ったらどうかの提案があった。8月・9月の切手教室の案内葉書を7月下旬に差し出す予定であったので、見学会を7月31日(日)午後に実施する方向で案を作り、7月の幹事会で承認を受け、7月15日発送で全会員に案内した。

その後の情報で当会から6人(坂下、稲葉、鎌倉、小林、和田、榎沢)7作品が出品されていることが判り、見学会参加者に判るよう日本人出品目録のコピー8部を作成、当日午前中に展示場所を確認して、午後1時会場入場口の集合場所に持参した。

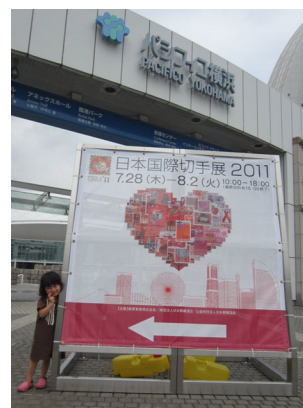
国際展の作品はレベルが高く、専門外の部外者には作品の素晴らしさを理解できず見過ごしてしまうケースが多いので、出品者に作品の解説がお願いできれば最高であるが、

今回事前にお願ひできたのは坂下会員と小林会員の2名だけで、小林会員はカルトール社のブースの手伝いもやっているので確約をとれない状況で実施となった。

7月31日(土)

午後1時会場入口に集合。既に10人程が集まっており、その中に坂下さん、小林さん、和田さん、鎌倉さんの4人の姿を見てホッとして直ちに見学会に入った。

クラス2(伝統郵趣部門)は歴史の古い順に展示されているので、坂下さんの「手彫切手 1871-1876」(大金銀賞)の解説から始まった。



国際展会場となった
パシフィコ横浜



出品者による作品解説

坂下作品の解説では、カタログ上で見ながら高額の手切がリーフ上に展示されていたが、手彫切手の希少な組合せの使用例など一歩踏み込んだ解説をいただき、はじめて、理解させていただいた。

続いて、鎌倉会員の「震災切手 1923-1924」(大金銀賞)5フレームの解説。版別では、大阪版3・東京1の割合で東京印刷の残存が少ないこと、特に東京版低額のブロックの使用済みが少ないことを教えていただいた。

小林会員の「カナダ・アドミラル・イシュー 1911-1925」(大金銀賞)では、本人がカナダ駐在中にこのシリーズを収集の対象として選んだことなどを話された。

クラス3 郵趣史部門の和田会員作品「米国書留業務郵便史 1842-」(大銀賞)の作品では、過去外国での出品実績と今回出品作品との比較などを聞いた。

クラス7(テーマチック部門)に出品された榎沢会員「都市の公共交通 - 発展の背景と役割 -」(大銀賞)は当日来場がなかったので作品解説はしていただけなかったが、A4版カラー用紙をリーフとして使用している点について話題になった。

この段階で一応見学会の終了かと思ったが、当日コミッショナーとして忙しい稲葉会員が駆けつけて下さったので、早速「満州郵便史 1876-1945」(金賞)と「旧小判切手 1871-1879」

(大金賞)の解説をお願いした。「満州郵便史」は満州国の建国から消滅に至るまで、中国とロシア、そして日本の関与を郵便物で構成した大作で、皆で解説に聞き入った。

「旧小判切手」は、稲葉会員が学生時代のバイトで入手したマテリアルのエピソードに始まって、今回の作品を作り上げるにいたる経緯について解説いただいた。

以上、稲門フィラテリー関係の6人7作品のうち5人の出品者に6作品を1作品10分強で解説いただき、1時間30分にわたる大変勉強になる見学会とすることができた。ご協力いただきました出品会員の方々にお礼申し上げます。

見学会の後、会場内での稲門フィラテリーの連絡場所にさせていただいた小西会長の外国郵政ブース(C-4：英国・イスラエル)へ移動。その後は各人の興味で見学して頂くため解散となった。

参加者氏名 坂下、小林、諸田、小熊、村井、占野、鎌倉、恩田、池澤、野島、和田、岸、宮鍋、小西ほか14名

C-4ブースの手伝いで甲斐・五十野、E-6ブースの手伝いで島村は見学会には参加できず。



小西会長が活躍した外国郵政ブース



カルトール社のブースでは目打機械の実演が行われた

エキスパートグループの一員として

根岸 昭二

私と日本における世界切手展とのかかわりは、'81年、'91年、'01年、そして今回の'11年の4回にわたります。晴海、ビックサイト、みなとみらい横浜と場所も変わりましたが、いつも新たな気持ちで対処してきました。

'81年は出品者と作品部の助つ人として参加しました。'91年は事務方としては審査部長とジュリーアペレンティスに挑戦と云う難関を果たしました。'01年は審査員として、'11年の今回はエキスパートグループの一員として参加した次第です。ジュリーメンバーの中では最高齢のため、仲間の方々には何かと気を使っていたきました。

何せ10年近くは活動らしい事もしていませんでしたが、幸いにも旧知のお二人の仲間の指導にもとづくサポートにより、大過なく無事にその任を務めあげられたと安堵しているところです。

日程表の通知が遅れていささか不安でしたが、オープンの前日の午後2時にジュリールームに集合して、私にとってのフィラ日本'11の仕事が始まりました。展示館の2階に、ジュリールームとエキスパートルームが並んで設けられました。50名近いメンバーが出入りするジュリールームに反して、既に文献の部の審査が25日から始まり終了後のエキスパートルームは、3名のメンバーと2日目からの事務方の助手2名をいれてもゆったりとしていて夏の時季ですので大分助かりました。

ジュリールームでの最初のロールコールの終了後に、早速50名近いメンバーが夫々の任務に着きました。

私の場合は、今回は直接ジャudgingは担当しませんでした。予め配布されていた全出品者表にもとづき、一番多い日本人出品者を

赤マークしておきましたところ、その中の数名は前回迄の世界展出品の祭に、フィプ当局より通告を受けているアイテムを含むコレクションの出品者であり、今回それに対してきちんと対処しているかをチェックするのが初仕事でしたが、さすが皆さん無事問題を処理していて一安心でした。

この間、各部門に分かれたジュリーチームは、受け持ち部門の出品作品を慎重にチェックし、問題のあるアイテムに対し、その理由を記入した書類を作成し、エキスパートチームに回送してきました。エキスパートチームはそれにもとづき、該当する作品のフレームをひとつひとつ確認してゆきました。

短期間に審査を進行せねばならないため、オープンセレモニー終了後、直ちにエキスパートグループは通知を受けた資料を持参して、建物の反対側にあるコミッショナルームにおもむき、集っていた各国コミッショナルーの中、今回ジュリーチームリーダーから指摘を受けたアイテムに関する資料を、夫々関係するコミッショナルー達に手渡し、該当する出品作品展示フレーム前にて指定時刻に待機する様指示しましたが、一部コミッショナルーの中には、案外と時間にルーズの人がいて、立会い時刻を守らず、今回は日本人コミッショナルーとアシスタントの方々に、最後までお付き合いいただき、フレームからのリーフを取りはずす作業は終わりました。マウンティングされたリーフをフレームから取りはずす作業の事故防止にコミッショナルーは深くかかわっている事に自覚がと、当方が心配するのは、本来すじ違いと思った次第でした。取りはずした問題のリーフをエキスパートルームに持ち帰り、前日事務方に依頼してお

いた英語を理解できて、パソコンによるスキャナリングに強い助っ人として若い学生男女2名がエキスパートルームに加わり、メカに弱いロートルぞろいには大助かりでした。高価なアイテムが含まれているリーフの取り扱いには、慎重な心遣いが必要でしたが、彼らはのみこみが早く、夫々3部のコピーを作るスキャナリングは午後3時過ぎに完了。ランチタイムを大きく過ぎてまでの若者の頑張り、ご苦労様でした。

一度スキャナするために、取りはずした問題のリーフを再マウントする際に各コミッショナーに2部ずつコピーを交付して、今後、出品者の対応を要望するドキュメントとして、各1部ずつ出品者と夫々の国の機関に保持を要請。

ジュリールームで、各グランプリの投票前にエキスグループのリーダーからレジストレーションフォームの数字を発表して、任務から開放される事になりました。

私にかかわる部門での感想としては、作品の中にカバー類を展示する出品者は、その消印が切手にタイしていないアイテムはなるべく避けること、まぎらわしい時は必ず鑑定書を添付する事を実行したいものである。

今回のフィラ日本'11は横浜の地、成功であったと思う。前に日本郵趣連合の監査を担当していた者としては、フィプ並びにフィアップの年会費を払って来た連合の負担を心配する程好成績の日本人出品者の皆さんを祝福したい。

ホームカミングデー・稲門祭に臨時出張所開設

10月16日に開催されたホームカミングデー・稲門祭では、今年も新宿北郵便局および大学周辺郵便局が臨時出張所を開設し、大隈講堂切手の販売や新宿北局の風景印押印サービスを実施した。現在工事中の3号館の向かいに設置された出張所のテントは正門から比較的近かったためか、人通りも多く盛況だった。3号館を囲む工事用のフェンスには、大隈講堂切手の原画作者である藪野健画伯のイラストがアレンジされ、道行く人の眼を楽しませていた。



盛況だった臨時出張所



大学構内の工事用フェンスに描かれた
藪野健画伯のイラスト

カナダ・アドミラル・イシュ 1911～1925

小林 彰

はじめに

商社勤めで1974年から1983年の10年間に2度、アルジェリアの首都アルジェに駐在し計8年を過ごしました。東京に戻っていた2年間も、また2度目の駐在を終えた後もアルジェリアに関わっていたので、同国とは13年ほどの付き合いになります。アルジェリアは旧仏領でフランスとの関係が深く、ほぼ毎月パリに出ていましたので、収集はフランス切手に注力するようになりました。特に在横浜フランス郵便局に興味を持ち、同局発着カバーと同局で使用されていた1862～1880年発行の切手を収集対象としたのです。パリ・オペラ通りの切手店には足しげく通いました。

1986年、カナダ・モントリオールに赴任。カナダ、特にケベック州とフランスとの歴史的関係からモントリオールではフランス切手が容易に入手できると想像していましたが、現地に行くとむしろ東京よりフランス切手の入手はむずかしいことが分かりました。フランス切手は相変わらずパリの切手商から取り寄せる始末でした。

このような状況からモントリオールで容易に入手できヴァラエティも豊富な、しかも資金的に無理なく集められるカナダ切手をサブコレクションにしたいと思い6ヶ月ほど各種文献を渉猟した結果、アドミラル・イシュを対象とすることにしました。ところが収集が進むにつれ、当初の予想を遥かに超えむずかしいシリーズであることを認識せざるを得ませんでした。

アドミラル・イシュの概要

カナダでは1911年12月22日、英本国に先駆けてジョージ5世の世界最初の切手として



【図1】シート形式 2c Carmine

1c Green と 2c Carmine の普通切手が発行されました。その後、他額面や改色を含め同図案切手の発行が1925年まで続けられました。

海軍提督正装姿のジョージ5世が描かれているこのシリーズはアドミラル・イシュと呼ばれます。基本は18種です。発行が長期に及んだため原版や実用版の数も多く、技術の進歩もあり、加えて1914～1918年の間は第1次大戦で多くの技術者が徴兵されたため熟練工不足、ドイツ製インクの輸入途絶、製版用良質鋼材の入手難などの問題がありました。これら要因から数多くのヴァラエティが出現し今日ではこのような多くのヴァラエティの存在が収集対象として人気を博しています。専門書もかなり発刊されています。

本項では製造面を中心にアドミラル・イシュの概要を紹介いたします。

1. 基本18種

	額面	刷色	発行日
(01)	1c	Green	1911.12.22
(02)	1c	Yellow	1922. 6. 7
(03)	2c	Carminc	1911.12.22
(04)	2c	Yellow Green	1922. 4. 5
(05)	3c	Brown	1918. 8. 6
(06)	3c	Carminc	1923.12.18
(07)	4c	Olive Bistre	1922. 7. 7
(08)	5c	Dark Blue	1912. 1.17
(09)	5c	Violet	1922. 2.22
(10)	7c	Yellow Ochre	1912. 1.12
(11)	7c	Red Brown	1924.12.12
(12)	8c	Blue	1925. 9. 1
(13)	10c	Brown Purple	1912. 1.12
(14)	10c	Blue	1922. 2.20
(15)	10c	Bistre Brown	1925. 8. 1
(16)	20c	Olive Green	1912. 1.23
(17)	50c	Black Brown	1912. 1.26
(18)	1\$	Orange	1923. 7.22

2. 原画

W.&D.Downie と W.Barrett の 2 人の写真家の作品を基に R.Savage が原画を作成した。

3. 印刷所

印刷はオタワの American Bank Note Co. 同社は 1923 年に Canadian Bank Note Co. と社名変更した。

4. 発行形式

シート形式、切手帳ペーン形式、コイル形式、シート状コイル形式の4発行形式がある。

a. シート形式

窓口シートは通常 10 x 10 の切手 100 枚構成で目打はすべて単線12 [図1]。1c Yellow, 2c Green, 3c Carminc には郵趣窓口だけで発売された無目打シートがある[図2]。他方、4c, 5c Violet, 7c Red Brown, 8c, 10c Bistre Brown, 20c, 50c, 1\$ にも無目打シートが知られているが、これらはプルーフの流出品と言われている。

b. 切手帳ペーン形式



[図2]シート形式 2c Yellow Green 無目打



[図3] 切手帳 6枚ペーン・4枚ペーン

切手帳ペーンには切手 6 枚 (3 x 2) と切手 4 枚 1(2 x 2) の 2 種類がある[図3]。

1c Yellow, 2c Yellow Green の 6 枚ペーンと 3c Carminc の 4 枚ペーンには無目打ちのテートベッシュ・ペーンが存在する。1c と 3c はそれぞれ 7 組、2c は 8 組のみ存在し、アドミラル・イシュで最難関。これらはプルーフ製作時に裁断を誤ったものと言われている。



【図4】 縦コイル・横コイル



【図5】 シート状コイル 2c Yellow Green

テートベッシュ・ペアーやブロックも数例が知られている。

c. コイル形式

コイル切手には目打8と12の縦コイルと目打8の横コイルの3種類がある【図4】。縦コイル、横コイルともに1巻は500枚。コイル切手用のシートを裁断した20枚ストリップを糊づけして500枚とするので1巻には24の継目がある。

d. シート状コイル形式

シート状コイルは Part Perforate Coil (Sheet Form)と表現される横コイルの一種。目打8の横コイル製造用に縦の目打だけを施したシートをシートのままで主にモンリオールのディーラーを通じて収集家用に販売したと言われている。1c Yellow, 2c Yellow Green, 3c Carmine がある【図5】。

5. 製造工程

すべて彫刻凹版で製造された。

1) 製版

各額面に共通する図案部分を母版 Master

Die 用の鋼板に彫刻する。初期は直刻法であったが後期にはエッチング法も併用された。母版を焼き入れ後、転写ロール Transfer Roll を介して鋼板に転写し額面（文字と数字）を加刻する。これが原版 Original Die で American Bank Note のニューヨーク本社で製造された。焼き入れ前の原版による試刷品 Die Proof をオタワの郵政省に送り承認が得られると原版には登録番号などが加刻されオタワの American Bank Note 支社に送付される。支社ではこれを焼き入れし転写ロールを介して実用版用の鋼板に必要な数の印面を転写する。銘版を加刻した後、焼き入れして実用版 Plate とし所要数を組み合わせて刷版を構成する。

2) 平面版と輪転版

平面版は刷版構成 10 x 10 x 2、輪転版は 10 x 10 x 4。良質鋼材入手難の状況下、輪転版は焼き入れ後に円筒状に曲げられるため肉眼では見えない微小なクラックが発生し、これが印刷時に微細な線 Hair Line となっ

て印面上に現れることがある。

3) 原版と実用版の補修

使用を重ね摩耗した原版や実用版は全面的あるいは部分的に補修されることがある。新たに彫刻しなおした原版は再刻原版 Re-Engraved Die と呼ばれ、この再刻原版により印刷された切手は別種とされる。部分的に軽度の補修を行ったものが補刻原版 Retouched Die で、補刻が数次に及ぶ場合は一次補刻 First State、二次補刻 Second State と言う。実用版の場合も同ように補刻実用版 Retouched Plate、一次補刻、二次補刻と表現する。また、実用版の一部を転写ロールで補刻することを再入刻 Re-Entry と言う。再入刻された印面には特有の二重線が見られ、変種として珍重される。アドミラルで最も顕著な再入刻は 1c Green PL 12 の LR 35 に見られる [図 6]。

摩耗した線を補修することを線補刻 Redrawn と言い 5c、7c、20c に線補刻された枠線 Redrawn Frame Line が見られる。

通常2個ないし5個の印面のある転写ロールを介して実用版に転写するが、複数印面を一度に転写する場合強力な転写圧が必要でしばしば圧力不足で再刻や線補刻による修正が必要であった。このため、むしろ印面1個ずつ転写の方が効率的と考え、すでに用済みの原版を印面1個分の転写ロール製造用に再生し使用した例がある。これを用済原版 Worked Over Die あるいは 再生原版 Reworked Die と呼ぶ。



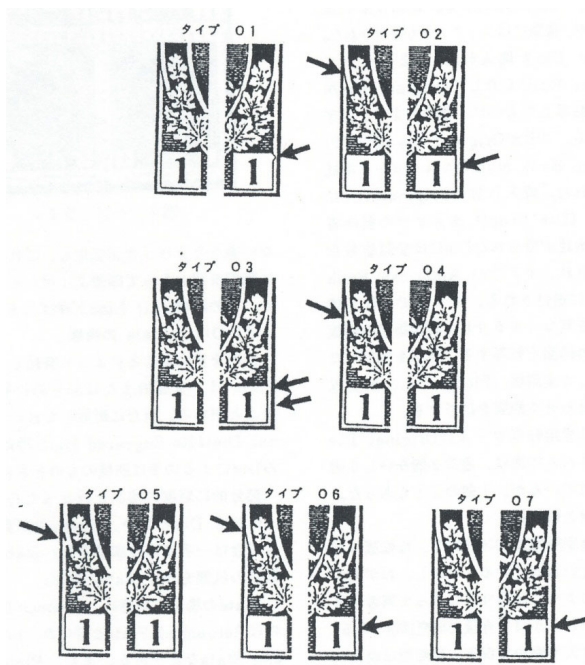
[図 6] 1c Green Re-entry

4) 印面タイプ

アドミラルは額面ごとに印面の特徴によって多くのタイプに分類することができる。印面の特徴は原版や実用版と印刷条件によるので、タイプと版番号 Plate Number とは密接な関係がある。モントリオール駐在時タイプ分類のため約3万枚を25倍の顕微鏡で覗き各タイプの特徴を図示したが、それまで全タイプを図示した例はなく、初めての試みだったと自負している。本稿では参考にシート形式の 1c green の原版のみタイプ別特徴を示す [図 7]。

6. 用紙

用紙は透かし無しで0.09～0.11 mm厚の白色無地紙で漉き目がある。1924年、2c Green と5c Violet に試験的に薄紙が試験的に使用されたことがある。用紙の漉き目は縦で印刷も縦方向にセットするため、切手は通常縦目になるが、初期の切手帳ペーンには横目のものが見られる。



[図 7] 1c Green 原版 Original Die
タイプ分類

7. 印刷方式

1922年末まではすべての切手が湿式で印刷されたが1923年に乾式印刷が導入された。

湿式では適度の水分を含ませた用紙に印刷し、印刷後に乾燥・糊付・裁断・目打する。他方、乾式ではあらかじめ糊づけされた用紙に印刷される。湿式では印刷後に用紙が収縮するので湿式と乾式では切手の印面寸法に差異が認められる。未使用の場合は裏糊の状態が湿式と乾式の区別に役立つ。湿式では糊は光沢なく茶がかっており、また印刷後に糊づけされるので印刷圧で表の図案が裏糊部にエンボスされることはない。乾式では糊は湿式に比べ白く光沢があり、糊づけ後に印刷圧を受けるため図案の楕円部がエンボス状になる。

8. 銘版、彩紋、作業マーク

1) 銘版

実用版の余白には銘版・彩紋や目安のための各種作業マークが加刻される。銘版や作業マークはシート形式ではシート余白に見られるが、切手帳ペーンやコイル切手では製造の過程で裁ち落される。銘版には インプリント Imprint と言われる OTTAWA-NO. と版番号PL が加刻される。その後、発注番号Order Number

も加えられ、発行後期には転写番号Transfer Number と転写技師のイニシャルも加えられた。アドミラルではこれらを総称して銘版と呼び12タイプある[図8]。

2) 彩紋 Lathework

1917年1月から1924年後半まで自動紋様彫刻機 Lathe による彩紋 Lathework と呼ばれる機械模様がシート余白に印刷された。彩紋には A、B、C、D の4タイプとB、C、Dで天地が逆のB-Inv (Inverted)、C-Inv、D-Inv 3タイプがある[図9]。また、3c Brown の PL77 のプルーフシートだけに存在する彩紋タイプ E も知られている。

3) 作業マーク

作業マークとは転写・目打・裁断の正確な位置決めの目安として版面の要所に刻まれる記号・細線・点線などを言う。

a. アローガイド Arrow Guide

窓口シートに裁断する際のカッター位置を示すアローガイドが付けられた [図10]。ただし、切断面がストレートエッジとなる印刷シートのみで、切断面がガッター付の印刷シートにはない。



[図8] 1c Green 銘版



[図9] 彩紋 Lathework A, B, C, D, C-Inv, D-Inv



【図10】 2c Carmine アローガイド



【図11】 3c Carmine 無目打 ピラミッドガイド

b. ピラミッドガイド Pyramid Guide

目打作業のためのガイドマークでその形からピラミッドの名が付けられた【図11】。1922年3月に採用されたが乾式印刷の導入で不要となった。

c. R-GAUGE

1922年12月末頃、3c Carmine の PL116 と 117 に R-GAUGE の文字が加刷された【図12】。その後、5c Violet や 10c Blue などにも加えられた。Registration Gauge の略と言われるが、その目的は不明である。

d. ガイドライン Guide Line とガイドドット Guide Dot

転写ロールによる製版作業の目安の線や点である。これらの線や点は印面内部や周辺部に現れることがある。

9. 暫定切手

1) 発行の経緯

1926年7月1日に郵便料金が改定され、国内書状は3c から 2c に値下げされた。郵政



【図12】 3c Carmine 無目打 R-GAUGE



【図13】 暫定切手1行加刷 King's Printer 社



【図14】 暫定切手 2行加刷
Canadian Bank Note 社

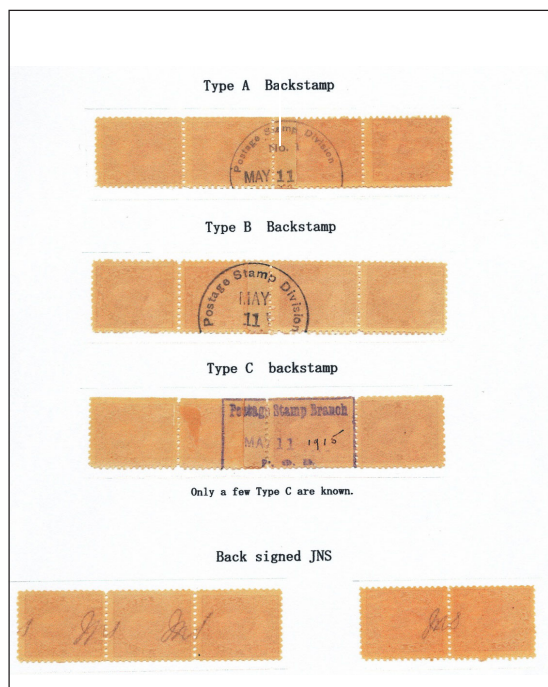
当局は当時大量に在庫していた 3c 切手に 2c の加刷をして、もっとも需要の多い国内書状用として利用することにした。

2) 加刷印刷所と加刷形式

a. 1行加刷 King's Printer 社【図13】

b. 2行加刷 Canadian Bank Note 社【図14】

最初、King's Printer 社に発注したが、その出来具合に不満があったため、発注先を Canadian Bank Note 社に変更した。Canadian Bank Note 社は King's Printer 社と一目で



【図15】試験コイル

区別できるよう、2 CENTS を2行で加刷することを要求し承認された。

10. 試験コイル

シート形式の2c 切手を縦10枚ストリップにし糊で継ぎ合わせ、1巻500枚とした試験コイルが1915年5月11日に発行された。継目部の裏面に3種の印、タイプ A・B・C が押印されている。この他、継目にJNSと鉛筆で署名されているタイプもある。各タイプを示す[図15]。

11. トロント・コイル

1918年7月頃、自動販売機のテスト用に目打部に3.3～3.5mm径のパンチ穴2個をあけたコイル切手を発行した[図16]。このテストがトロントで実施されたため、トロント・コイルと呼ばれる。

全日本切手展および JAPEX への出品

1990年にモントリオールから東京に帰任。当時のメインコレクションはフランス横浜郵便局と同局で使用された切手で、アドミラルはあくまでサブコレクションに過ぎませんで



【図16】トロントコイル

した。それまで切手展には無縁でしたが、1991年の全日本切手展にまずアドミラルを露払いとして出品し、その様子を見て1年後にはフランスのクラシックを、2年後には本命のフランス横浜郵便局を出品する計画を立てました。初陣のアドミラルは銀賞でした。これが縁で早大切手研の大先輩・根岸昭二さんが会長を務める「とつくに会」と早大出身の西村壽一郎さんが代表の「切手研究会」に入会させていただきました。

計画どおり1992年には「フランス 1862～1876」を出品し郵政大臣賞を受賞、翌1993年には「フランス横浜郵便局」でもまた郵政大臣賞をいただきました。1994年の全日展ではシート形式のみでアドミラルに再挑戦しましたが銅賞とランクが下がってしまいました。

余談ながら、全日展には伝統郵趣・郵便史・文献の3分野に時をおいて出品し、競争部門での金・金銀・銀・銀銅・銅の各賞と特別出品での金賞とすべてのメダルをいただくことができました。

1994年、今度はマダガスカル首都アンタナナリヴ駐在となりました。フランス横浜局を韓国、フィンランド、フランスで開催の国際切手展に出品しましたが大金銀賞止まりでした。これらはマダガスカルに在住しながら出品したので、西村さんには作品を東京から開催地に送付あるいは持参いただくなどたいへんお世話になりました。

国際展では初回は5フレーム80リーフ、大金銀賞以上を受賞すると次回から8フレーム128リーフの出品が要求されます。ところが3フレーム48リーフを増加するためには5フレーム80リーフの作品に費やした以上の投資が必要と言われます。また、フランス横浜局という狭い範囲の郵便史では128リーフの作成が困難という事情もあります。フランス横浜局の第一人者・松本純一氏でさえも「フランス横浜郵便局とその時代」と“その時代”を加え一部フランス横浜局以外のカバーを作品に入れておられます。このようにフランス局では進展が望めないし、またフランス・クラシックでは資金がもたないという事情で両コレクションは10数年前のレベルで止まったままわが家の片隅に眠っています。他方、アドミラルは今日まで継続してコレクションの充実に努めてきました。

マダガスカルでの駐在を終えて帰国した2006年頃から日本国際切手展 PhilaNippon 2011 を意識して、アドミラルを2008年のJAPEXに8フレーム128リーフで初出品し金賞と住野賞を受賞し国際切手展への出品資格を得たのです。

日本国際切手展 PhilaNippon 2011

アドミラル・イシュの出品を申請し、日本コミッショナーである稲門フィラテリーの稲葉良一さんから国際切手展事務局により許可されたという連絡を受けたのは2011年3月末のことでした。この時点ではまったく作品制作に手がついていませんでしたが、7月26日

に会場のパシフィコ横浜に持ち込まねばなりません。この時期、業務多忙を極めており趣味に時間を割ける状態ではなく、焦りを感じつつもいたずらに時だけが流れて行きました。

JAPEXの時はパソコンで切手をリーフにレイアウトし説明を加える方法を知らず、切手をリーフに目測で適当に貼付し説明は別の用紙にタイプし切り貼りしたのです。図版もコピーしてリーフに貼りつけました。これでは余りにも見栄えが悪かったので切り貼りリーフをさらに別のリーフにコピーするという苦肉の策を取りました。

同展で米国フランクリン大統領シリーズの出品者はパソコンでレイアウトし直接リーフにプリントされており、そのリーフの美しさはわがアドミラルとは比べようありませんでした。悪いことに米国とカナダは同じアメリカ部門のため、かの作品はわがアドミラルと通路を挟んだ反対側に展示され、見学者は否応なく両作品を見比べられたのです。フランクリンはアドミラルより高得点でした。涙・・・

この反省から日本国際切手展では切手のレイアウトもその説明文や図版もすべてパソコンで処理してプリントしようと心に決めたのです。しかし悲しいかなその方法が分かりません。「とづくに会」の斉藤環さんから種々指導を受けました。アナログ人間の筆者では一朝一夕に技術が習得出来る訳もなく週末になるとパソコンの前に座るのが億劫でビールで憂さを晴らしていたのです。

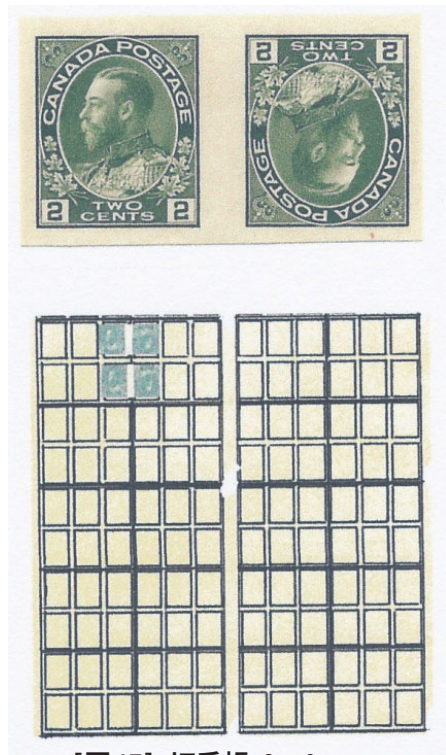
またJAPEXでは8フレーム128リーフで出品しましたが、アドミラル初出品の国際展では5フレーム80リーフに削減しなければなりません。これがなかなか厄介で、展示する切手やカバーを直ぐには決めかねました。アドミラルは20数年来カナダの同じ切手商から入手していますので、この切手商はわがコレクションの全容を熟知しており毎月のように未

収集品のオフアがメールされて来るのです。許す範囲で入手に努めたので JAPEX 出品時に比べコレクションはかなり充実しました。

しかしながら、あれこれ頭の中で案を練るものの作品制作に取り組む意欲がなかなか湧かず時間にも追われ、国際切手展への出品申込をしなければよかったと後悔の念にかられました。「とづくに会」の席上、慶応義塾郵研三田クラブ所属で稲門フィラテリー会員でもある日本国際切手展の審査員・正田幸弘さんから、許可を受けたに拘わらず出品しないとブラックリストに載せられて以後国際展への出品はできなくなるのでかかる不名誉な事態は避けるべき、パソコンが無理なら切り貼りでも何でも体裁を気にせずとにかく出品される方がよい、との助言をいただき励まされました。そして作品制作に取り掛かったのは5月末のことでした。2か月弱で作品を仕上げねばなりません。

パソコンでのリーフ作りを試行錯誤で進めていましたが、6月末にはどうにか80リーフをパソコンに取り込むことができました。ところがいざリーフを印刷という段になって、すでに入手していた大判リーフは横幅が広すぎ手持ちのプリンターにはかからないことが分かり急遽リーフ変更という緊急事態に見舞われました。種々検討の結果、郵趣用ではなく一般用A4サイズの厚手で黄味がかかった用紙を使用することにしたのです。

とにあれ80リーフができあがった時、突如カナダの切手商からなんと切手帳 1c Yellow、2c Yellow Green、3c Carmine のテートベッシュ・ペーンのオフアが舞い込んできたのです。価格は日本円換算で約500万円、支払は12ヶ月の分割払い可。アドミラルの収集を始めて25年、千載一遇のチャンスです。なにしろ世の中に7セットしか実在しないのです。テートベッシュ・ペーンで作品を飾れば初出品で金賞も夢ではない、アドミラル・コレクションでは世界一になるかも知れぬ、などな



【図17】切手帳 2c Green
テートベッシュ・ペアー

ど色々な想いが頭をよぎりました。しかし、筆者にとって余りにも高額で直ぐには決心が付きません。3日ほど熟慮を重ねた末、断腸の思いで断りのメールを送りました。従来からコレクションに入っている2c Yellow Green 切手帳のテートベッシュ・ペアー [図17] だけで我慢せざるを得ません。

タイトル・ページは最後に作成しましたが、英文の添削は稲門フィラテリー会長の小西邦彦さんをお願いいたしました。小西さんは元都立高校の英語の先生で、英国人によれば英国人以上の英語の使い手だそうです。とにかく数度にわたりリーフを作り直し、最終的に作品が完成したのは提出期限の2日前7月24日のことでした。

7月26日、作品をパシフィコ横浜の事務局に提出し一安心。審査の結果、大金銀賞を授与されることになりました。1986年から収集を始めたアドミラルが25年目にして国際展に

デビューし相応の評価を受けたのです。継続は力というところでしょうか。審査は時として正しい評価がなされないと仄聞いたしますが、今回の国際展ではアドミラルは正しい評価をいただいたと感謝しています。

おわりに

今回の出品に際し下記の方々から暖かいご協力をいただきました。皆さまのご支援なしには大金銀賞を受賞することは不可能でした。改めて御礼申し上げます。

とつくに会：根岸昭二さま、西村壽一郎さま、正田幸弘さま、斉藤環さま。

稲門フィラテリー：小西邦彦さま、甲斐正三さま。

10年に一度の日本国際切手展も予想以上の来場者を集め成功裏に閉幕したと聞いています。国際展の期間中フランスの印刷会社のスタンドで来場者の対応に当たっていたため、他の出品者の作品を見学する時間はまったく取れませんでした。稲門フィラテリー会員作品の見学会だけでは参加して出品者の解説を拝聴することができたのは幸いでした。10年後にまた日本で国際展が開催されるか分かりませんが、引き続きアドミラルのレベルアップに努めたいと思っています。

なお、本稿の「アドミラル・イッシュの概要」は「切手研究会」会報1992年376号と377号に掲載いただいた「カナダ・アドミラル・イッシュー」(1) (2) を要約したものです。

「完」



筆者による作品解説
(2011年7月31日)



PhilaNippon 出品作品解説

ーテーマティック作品における稀少性の観点からー

榎沢 祐一

本稿では、私の PhilaNippon 出品作品の紹介を稀少なマテリアルという観点から行います。他部門の方にとっては、一笑に付すようなマテリアルばかりかもしれませんが、テーマティック分野において、どのように稀少性が意識されているのかを感じていただければ幸いです。

まず、簡単に自己紹介をしますと、私は、テーマティック部門において、ストーリーの範疇は変更しながらも「都市の公共交通」というテーマで、過去 JAPEX に 2 回、全日展に 1 回出品し、昨年の JAPEX で国際展出品資格を得ました。元々、自分の作品を通じて海外の方と交流したいという思いを作品制作の動機として、国際展を目指していたので、感無量でした。これが初めての国際展出品となります。

テーマティック作品は、ありふれたマテリアルで作品が作れることが強調されがちですが、よくよく見ると、稀少性の高いマテリアルを使用されていることがあります。例えば、後述するように必ずしも経済的価値と稀少性に相関はありませんが、今回の PhilaNippon でのテーマティック作品の大金賞作品の一つにおけるマテリアルの評価総額は、過去の国際展での手彫切手の大金賞作品と同程度の評価額という噂を聞きました。テーマティック作品で稀少性が追求される理由は二つあります。1 つ目は「審査において加点要因を得るため」、2 つ目は「ストーリー展開上、必要な郵趣マテリアルがたまたま、稀少だった」というものです。私は、後者の経緯で得た郵趣マテリアルが心情的には好きで、これは伝統や郵便史だけでなく、オープンやトピカルとも異なるテーマティックならではの要素と言えるかと

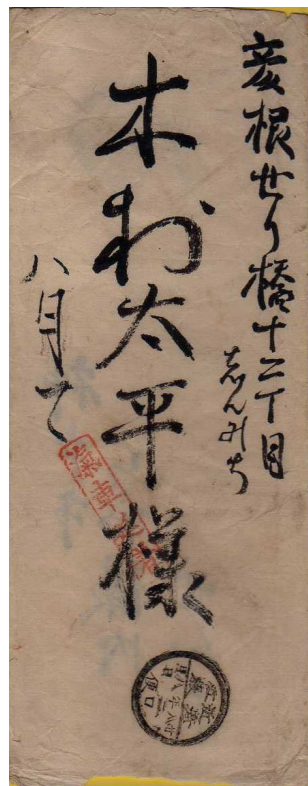


図1 汽車延着印の使用例

思っています。ちなみに今回の私の作品では、「稀少性」の項目（満点 20 点）での獲得点は 13 点であり、FIP（国際郵趣連合）テーマティック委員長ダミアン・レーゲ氏が国際展のセミナー等で発表している審査基準に当てはめると「稀少品が作品全体にあり、超稀少品がいくつか含まれる」と言うレベルでした。ちなみに、評点が満点の場合は、「トップ・クラスの超稀少品が作品全体にあり、格別にトップ・クラスの超稀少品がいくつか含まれる」というレベルになります。「トップ・クラスの」や「格別の」など抽象的な言葉の意味の違いは、誌面の都合上、割愛しますが、端的

に言えば、数量としては同じ稀少性でも、伝統郵趣や郵便史の審査と同様に、稀少性には国や時代などのインポートランスが考慮されるということです。

私の作品でも、今回国際展に出品するにあたり、稀少性を意識しましたが、今回、この場を頂きまして、いくつかマテリアルに的を絞って本稿を進めたいと思います。

図1は、「汽車延着」印における過去報告事例が無いと思われるタイプの印です。日本の明治時代の事故郵便と言うと「雪支」、「川支」が思い当たりますが、これらは数が多く、今回の国際展でも気象をテーマにした作品で用いられていました。その他に事故印には、マイナーな種類が数多くありますが、その中でも「汽車延着」印は、マイナーかつ、人気があると思われます。「汽車延着」印は名の通り、鉄道郵便において汽車の故障等で延着した場合に郵便物に押印されたものです。ヤフーオークションで金沢の骨董品店が出品しており、2回ぐらい不落札になっていました。したがって、私も当初、気になりながらも買い気は強くなかったのですが、国際展作品の「埋め草」程度の気持ちで、いざ入札してみたら、瞬く間に伝統郵趣か郵便史コレクターと思われる方の入札がありました。結果、案外競ることになり、当初入札額の2.5倍の額で落札することになりました。そして、品物が届いてから入念に文献を片手にマテリアルを調べてみて、驚きました。この事故印が押印されていた局の一つ、摂津局としての最後期使用例を更新し、かつ、印影も未発見のものでした。元々、母数が稀少であると、新発見の確率が高まると言う事例です。

図2は、Privatepostkarteです。プライベートと言っても、私製はがきではなく、企業や個人の注文に応じてドイツの郵政が印刷した官製絵入りはがきです。美しい図案が多く、テーマチック作品では、良くマテリアルとして活用されますが、他部門の競争展では、お

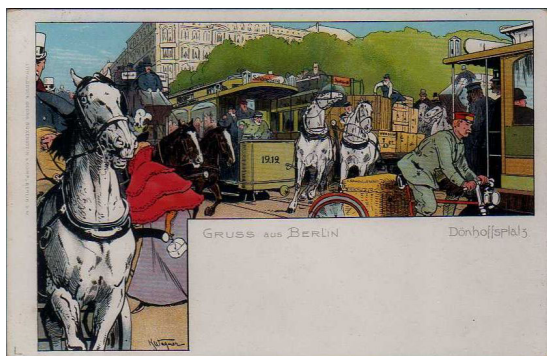


図2 Privatepostkarte

目に掛からないマテリアルかと思います。価格は、数千円から数万円までと大きな差異があります。この点、私も不勉強ではありますが、海外の切手商やオークションの動向をみている限りでは、経済的評価は、端的に言えば図案の珍しさや人気のある図案だと高くなるようです。ここで紹介するのは、馬車と、路面電車がひしめく路上を鮮やかな色味で表したものです。時折、「収集対象として「都市の公共交通」をテーマとしており、路面電車も、その対象の一つとしている」というと、多くの方からは「古いマテリアルが沢山あって良いね」とお話を受けることが多いのですが、実際のところ、都市部の交通車両そのものに焦点を当てた戦前マテリアルは、稀少です。ドイツに限らず、路面電車が図案に含まれるステーションナリーの多くは、街の風景の中に路面電車・路面馬車が写りこんでいるものが殆どであるからです。対して、このマテリアルは交通機関そのものにスポットを当てており、作品に説得力と迫力を与えるマテリアルだと思っています。

図3は、ロシア地下鉄開業記念切手4種セットのうち20k額面のプレートプルーフです。この切手自体は、4枚組で発行されたものですが、最高額面の地下鉄駅のホームの切手は、国内でも様々な機会に出版物に掲載される機会が多いので、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。ここでご紹介するのは、そのプ



図3 ロシア地下鉄開業記念プレートブルーフ

プレートブルーフです。緑色の色味が本刷切手より鮮やかで、しかも2枚ブロックというのも稀少（単片は、過去3組ほどオークション誌や作品で見たことがあります）、かつ、迫力があるので、個人的に愛情を持っています。今年のスタンプショウの鉄道切手関連の例会に私が来ると思って、わざわざ遠方から会いにいらっしゃった方がおり、その方から入手しました。その方は、去年の私の JAPEX 出品作品制作記を「郵趣研究（公益財団法人 日本郵趣協会刊）」でご覧になり、私に会いたいと思われたそうです。その方ご自身は、日本伝統郵趣やマルコフィリーの大コレクターですが、テーマティック分野の珍品をお持ちだとは思ってもみませんでした。私は、テーマティックコレクターは、作品のストーリー展開を豊かにするためには、ゼネラルな郵趣知識が不可欠なため、どの部門のコレクターよりも、他部門のコレクターと親交を深める必要があると考えています。このような方とお会いできたのは、大変ありがたいことで、その後も親交を深めながら、貴重な助言をいただいています。

最後にご紹介するのは、図案左側の橋上に小さく路面電車が描かれた1番切手、トランスミシシippi博覧会記念「イース橋」2ドル切手のバイカラードエッセイ（図4）と、本刷切手（図5）です。

まず、バイカラードエッセイについてご紹介します。「バイカラー」というのは、名の通り2色刷りということですが、本当に2色のコントラストが美しく、100年以上前の印刷物とは信じられません。そして、意外な点として、バイカラードエッセイは、本刷切手よりスコット評価額が安いという点です。ただし、大抵、バイカラードエッセイは、トランスミシシippi博覧会切手としてのセット売りしかしていないので、いざ入手しようとする、むしろ本刷切手1枚を買う数倍もの出費となります。今回、たまたまイーベイで、バイカラードエッセイがバラ売りしていたのを見つけ、二度とないチャンスと思い、購入しました。

一方の本刷切手ですが、この記念切手のシリーズ最高額面でありましたが、私の試算では、今の貨幣価値で2〜3千円程度もするものであり、それ故か当時は大量に売れ残り廃棄されてしまったものです。しかも、発売局は大規模な郵便局だけでした。したがって、アメリカの記念切手でも最高クラスの稀少性があります。まず、カバーは、滅多に御目にかかれませんか。ところが、この本刷切手、お世辞にもこのエッセイよりも、単純な印刷物としての魅力があるとは言えません（主観ですが、多くの人は賛同されるものと思います）。私は、ずっと、このことが解せないまま、正直、本刷切手を入手したいと思いませんでした。さらに困ったのが、この切手はノーヒンジでウェルセンターのものと、ヒンジ跡ありでセンターが悪いものを比較すると、極端に数十倍もの評価額の差異があります。つまり、入手にあたり、高値掴みしないよう、余計に慎重にならざるを得ないのです。

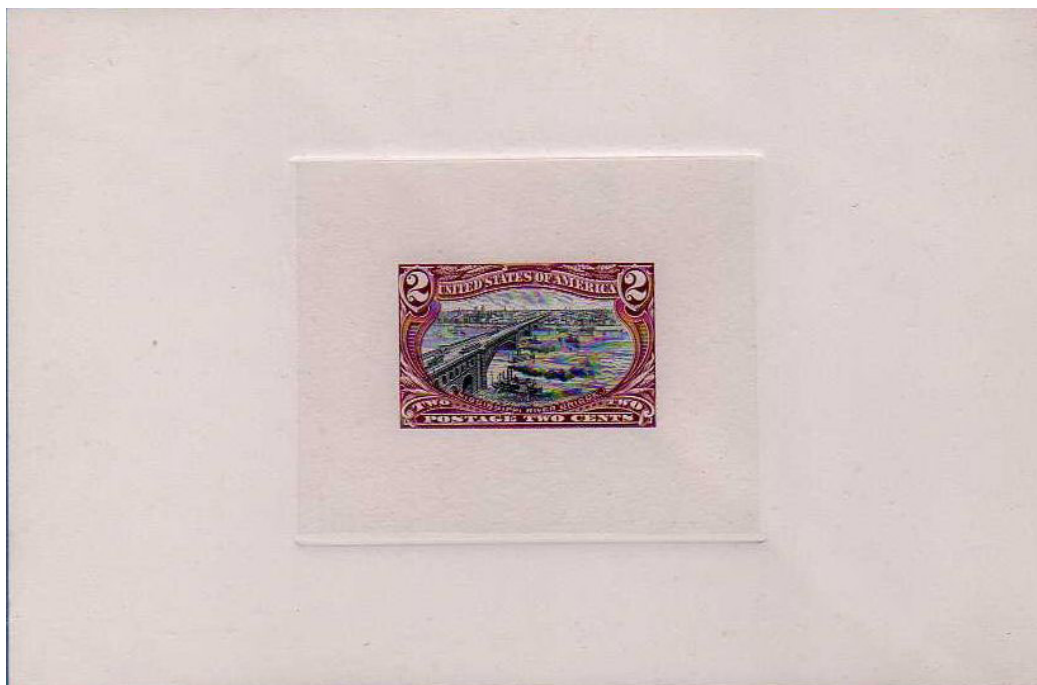


図4 トランスミシシッピ博覧会記念「イース橋」 バイカラードエッセイ



図5 トランスミシシッピ博覧会記念 本刷

あるアメリカ切手の大御所の先生にバイカラードエッセイを持っていることを話したら、「本刷切手を持ってないと感心されないし、あなたは損な買い物をしたね」と言われました。しかし、バイカラードエッセイの美しさは、私にとっては正直、本刷切手を完全に凌駕しており、結局、私が本刷切手を入手したのは出品の1か月前でした。

それからしばらくしてわかったのは、本刷切手は、当初計画されていた印刷製造工程を米西戦争の戦費調達のための印紙製造に譲っ

たため、本来の印刷からグレードを落とした印刷プロセスで発行されたという事実でした。こういう歴史的背景を知ると、「高いだけ」と思っていた本刷切手にも、なぜか愛情が湧いてきました。

「コンテキスト（背景）がマテリアルに価値を与える。」これがフィラテリーの面白いところであり、日本人には分かりづらいところなのかもしれないと思いながら、これからも私のテーマにそぐった稀少品に出会えるのを楽しみにしています。最後に、私の作品を審査した審査員が話していた言葉をご紹介します。それは、「稀少品は必ずしも高額ではない」ということです。ここでも、1番目に紹介しました「汽車延着」印は、骨董品屋さんが一律の値段で雑多に小判切手時代のカバーを出品していた中の1点であり、高額ではありませんでした。しかし、現存1点モノということですので、インポートランスは別としても稀少という認識を審査員から頂く結果になりました。

2011 年日本切手発行状況

2011年は41件340種類の切手が発行されている。(表1、表2) 去年と比較すると2件、約30種類少なくなっているが、まだ、発行状況が多いと考えられる。

因みに、本年末現在、小型シート上の切手も含めて本稿で扱っている日本切

表1 2011年発行切手件数と種類

種類	件数	種類
ふるさと切手	18	139
特殊切手	24	202
年賀切手	1	4
計	43	345

手の種類は正確さに若干不安はあるが5795種、小型シート210種になっている。

今年、特記されることは、1979年から

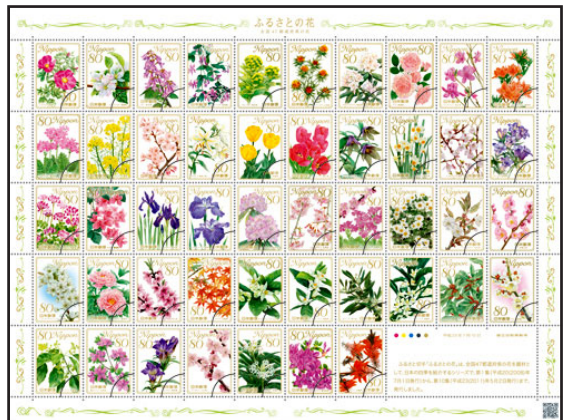
35年間220種類の切手が発行されてきたふみの日切手がなくなったこと。小型シートとはいえ、500円という高額切手が特殊切手として発行されたことであろう。この小型シート切手2枚額面1000円に対して売価が1200円と4円額面鉄道75年弁慶号切手小型シート(1947年)の売価5円以来のことであり営利を感じるものである。更に、正規の発行とは考えられないが5月で47都道府県の発行を終ったふるさと花切手、50, 80円共に47種を1シートにして7月に再発行した(シート価格、2種で6110円)。しかも、この切手はシートでしか販売せず、切手としては購入できないという理解に苦しむ形で再発行がさ



4円額面鉄道75年弁慶号切手小型シート(1947年)
賣價五圓が印刷されている。



日本国際切手展2011小型シート額面価格1000円に
対して売価1200円は外カバー裏面にシール貼付で表示



シートでしか購入を出来なくした
ふるさと花切手47種シート2種

れた。この2件の切手発行の形態は、今後、郵便会社の営利に切手発行を利用する傾向を強める一端を垣間見る思いがしてならない。

表2を参考に発行内容をみると、日本国際切手展2011の1件で32種類と過去最高の発行であることが特記される。本来の記念切手になる東京国際空港開港80周年、

表2 2011年発行切手内容と種類

	通 称	種類
特 殊 切 手	日本国際切手展2011	32
	グリーティング切手ピーターラビット	20
	夏のグリーティング	15
	冬のグリーティング	15
	2011グリーティング・干支文字	10
	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ 第15集	10
	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ 第16集	10
	春のグリーティング	10
	星座シリーズ 第1集 新規	10
	日独交流150周年	10
	日本のスポーツ100年	10
	日本の山岳シリーズ 第1集 新規	10
	東京文化会館50周年	6
	南極条約発効50周年	6
	自然との共生シリーズ 第1集 新規	5
	東日本大震災寄附金付	5
	東京国際空港開港80周年	4
	2011年切手趣味週間・郵便創業百四十周年	3
	国際文通週間にちなむ郵便切手	3
	行政相談委員制度50周年	2
ふ る さ と の 切 手	第43回世界体操競技選手権東京大会	2
	地上テレビ放送の完全デジタル化	2
	農林水産祭50回	2
	ふるさとの花 第9集	10
	ふるさと心の風景 第9集	10
	ふるさと心の風景 第10集	10
	季節の花シリーズ 第1集 新規	10
	江戸名所と粋の浮世絵	10
	国土緑化・国際森林年	10
	旅の風景シリーズ 第11集	10
	旅の風景シリーズ 第12集	10
	旅の風景シリーズ 第13集	10
	旅の風景シリーズ 第14集	10
	ふるさとの祭 第7集	6
	第66回国民体育大会	5
	地方自治法施行60周年記念 熊本県	5
	地方自治法施行60周年記念 佐賀県	5
	地方自治法施行60周年記念 滋賀県	5
	地方自治法施行60周年記念 岩手県	5
	ふるさとの花 第10集 終了	4
	ふるさとの祭 第6集	4
	年賀平成24年用	4

行政相談委員制度50周年のような内容のものは種類が少なく、シリーズ、グリーティング切手の発行種類の多い傾向がますます感じられる。グリーティング切手70種とシリーズ切手164種（江戸名所と粋の浮世絵切手含む）とで年間発行種類の70%をしめている。これでは切手カタログから記念切手という言葉が消え、特殊切手という言葉を使わざるえないのであろう。今年から新たに星座、山岳、自然との共生シリーズが特殊切手に加わり、ふるさとの花に代わって、季節の花シリーズという、ふるさとがわかりにくいシリーズがふるさと切手に加わったことを考慮すると、今後ますますシリーズ切手オンパレードを覚悟しなければなるまい。グリーティング切手も昨年に比べて、ふみの日切手に代わって発行したものもあるのか多くが発行されてきている。そして、干支文字切手以外はすべてシート単位販売のシール式切手になっている。このシール式切手が昨年の倍近い80種が発行された。

シール式切手の使用の便利さとシート単位での購入を強いられることをどう評価したらよいか悩むところである。目打ち式切手だとその切り取りに苦労することを考慮して変形切手32種がすべてシール式であったことは実際の切手使用者には歓迎すべきことである。変形切手の内訳は楕円形13、陸上競技トラック形7、ハート形5、円形5、具体物形2であった。

切手の額面別の発行をみると50,80円の比率は例年とほぼ同じであった(表3)。本年発行切手をすべて購入するための必要額は26916円(額面)となり、さらに、前述再発行47都道府県ふるさと花切手シート求めると6110円が必要となり、昨年と同じく3万円を超える金額になる。

表3 2011年発行切手の額面と種類

額面	ふるさと切手	割合	特殊切手	割合	年賀	合計	割合
50	37	28%	25	12%	1	63	18.3%
80	97	72%	168	81%	1	266	77.1%
90			6	3%		6	1.7%
110			1	0.5%		1	0.3%
500			2	1%		2	0.6%
50+3					1	1	0.3%
80+3					1	1	0.3%
80+20			5	2%		5	1.4%
合計	134		207		4	345	

2年ぶり年賀切手以外の寄附金付き切手、東日本大震災寄附金付切手が発行された。過去、寄附金付き切手が116種発行されている中で、寄附の額は阪神淡路大震災切手と同じく寄附金としては最高額の20円で災害規模から当然の数字であるが、発行枚数に目を移すと阪神淡路大震災は1種で5000万枚、今回の東日本大震災5種で7000万枚であり、1種当たり1400万枚となる。この花と小鳥をデザインした寄附金切手シートを見て感じたことが



東日本大震災切手5種 のうちの2種



市街に迫る火山爆発 1975年アイスランド発行切手

2つある。1つは郵便会社以降、普通になった10種に複数の連刷切手を用い、シート余白へ関連デザインを美しく印刷し、シートでの購入を半ば当然と受け止めさせる発行をなぜしなかったのか。2つ目はデザインの点である。花、小鳥、ハートとほのぼのとした、当初のふみの日切手を思わせるものでなく、被災地風景の前後の比較、津波の威力の表現、被災地域の地図、地震発生メカニズムなどを切手とシートにしたらもう少し援助、助け合いの気持ちだけでなく、防災への関心等を高めることができたのかと考える。アイスランドの灼熱の溶岩に包み込まれていく住宅の切手が思い起こされる。被災者の心情への配慮、期限付き販売等の制約（今回、販売期間を9月末まで1ヶ月延長）等あるが、阪神淡路大震災切手も考慮して、もう少し多くの発行枚数、売れ行き（寄附金）を、期待できたのではないだろうか。なお、1件1回の寄附金付切手で2009年動物愛護週間制定60周年記念1,000万枚(100万シート)の10種発行の例がある。

次に、全体の発行枚数をみると、昨年に比べいくつか気になる点がみられる(表4)。まず、600万枚以上発行の切手が多くなっている。これは前述の1400万枚の寄附金付切手の発行以外に、最後のふるさと花切手（静岡、愛媛）の2種が他のふるさと花切手と同じく200万シート発行され、他の切手より600万枚多く1000万枚発行されていることによる。また、同じシート内で枚数が極端に異なる種類で発行されることによる発行枚数の多さということが明らかに目立ってきた年であった。6種10枚1シートで130万シート、1300万枚発行の南極条約発効50周年切手に見ると5種類のA、この枚数の差が評価額等に影響を与えてくるものなのであろうか。

表4 2011年切手の発行枚数の発行枚数

発行枚数 万枚	種類
10	2
60	5
80	2
100	24
120	35
130	17
140	5
150	70
160	25
180	10
185	1
200	34
250	10
300	66
320	2
400	15
500	2
540	2
600	5
650	1
720	1
1000	4
1400	5
1500	1
2300	1
合計	345

次に、印刷方法、印刷機関を整理すると表5のようになり、ますますオフセット印刷がおおくなり、加えて金箔に代表され

この他、年賀切手が多くなったりしてで、発行総数が昨年62000万枚程度であったのが、83000万枚に増加している。

また、南極切手に関してはもう1点、シート構成に問題がある。右図の如く、6種を各1枚揃えるにはシートをすべて切り離す必要があり、セット購入する時など手間と時間を要し、局窓口で局員、他の利用者にうしろめたさを感じてしまう。これはシートでの購入を強いる構成であり、昨年の国民体育大会シート構成もこのようになっており、ぜひ、検討をお願いしたいことである。

るようにきらびやかさを加える印刷がふえて、切手の素晴らしさを見せてくれる凹版印刷の切手が発行されなかったのは残念である。昨年と同じく半数近くの切手はフランスで印刷されている。

最後に、切手に描かれたものに文化財、美術工芸品が年々少なくなってきた感

を拭えない気がする。例年の浮世絵等の芸術品もの以外では500円切手になった豆兔蒔絵螺鈿硯箱と鳥獣人物戯画の部分ぐらいであろう。豆兔蒔絵は写真のように硯箱の裏側の蒔絵螺鈿図が用いられている珍しい例である。また、鳥獣人物戯画の鹿に乗る兎図は縦横比をすこし変えて円におさめたようである。



表5 2011年発行切手の印刷方式と印刷施設

印刷方式	切手種類			印刷機関			合計	割合
	ふるさと切手	特殊切手	年賀切手	Cartor Security Printing	国立印刷局	凸版印刷		
オフセット	75	157		143	13	76	232	67%
オフセット・エンボス加工		10		10			10	3%
オフセット・ホログラム・箔押し		10				10	10	3%
オフセット・ホログラム箔		12		2		10	12	3%
グラビア	64	13	2		79		79	23%
グラビア・凸版			2		2		2	1%
			割合	45%	27%	28%	345	100%

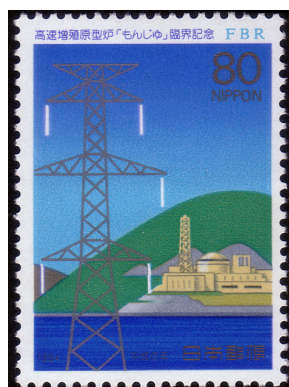
2011年の発行された切手全体をながめて、児童と若い女性をターゲットに発行された傾向と写真が多く使用されていることを例年に増して強く感じる。

また、大変多くの被災者と被害者が生じ

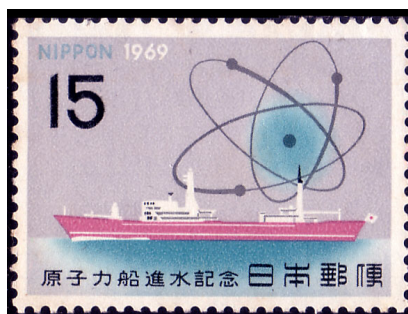
た大災害の2011年、切手に関心を持つ者として過去に発行された数枚の切手に複雑な思いを持たざるを得ない。切手の発行も人災を促してしまった一面を持つ事を考えさせられる。



切手になった豆兔蒔絵螺鈿硯箱 鳥獣人物戯画 東京国立博物館蔵
オフセット・金箔・アルミ箔・エンボス加工の日本国際切手展2011の500円切手



負の記念切手になってしまった負の切手

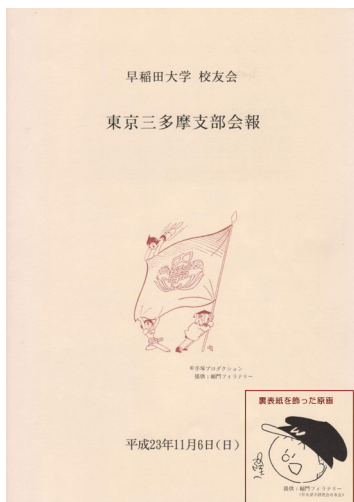


消費量以上の燃料を生み出す高速増殖炉「もんじゅ」は15年間運転不能、「むつ」は海洋研究開発機構(JAMSTEC)のディーゼル船「みらい」に化けた。

(編集子)

校友会三多摩支部大会のプログラムに 切手研まんが絵はがきの原画採用

去る11月6日、国分寺早実の講堂で「早稲田大学校友会東京三多摩支部大会」が開催されたが、そこで配布されたプログラムに、切手研で作成したまんが絵はがきの原画が採用された。これは、支部本年度役員である黒川会員の発案で、磯野会員の協力にて実現したもの。表表紙はカラーで、作成当時の絵はがきの色まで再現した労作。また、裏表紙は、切手研50年の小型印刷原画である。当日の出席者は300名ほどで、プログラムは好評を博した。



プログラムの表紙と
裏表紙の部分(右下)

切手教室

- 第84回 11月5日「世界の国際切手展」
講師：小西邦彦氏
第85回 2月4日「日本の少年団運動」
講師：五十野和男氏

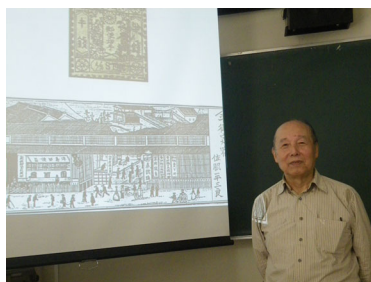
※おわび

稲門フィラテリー41号 17ページの画像を以下に置き換えます。お詫びし、ここに修正します。



稲フィラ総会開催

2011年10月16日、第46回ホームカミングデー・稲門祭の開催にあわせ、7号館205教室にて総会を開催した。坂下泰一氏による講演「手彫切手の楽しみ」の後、高田牧舎に場所を移して懇親会を開催、親睦を深めた。



好評だった坂下会員による講演

新入会員

荒木 寛隆氏 昭和41年第一法学部卒
収集分野：リトアニア切手

稲フィラ常設切手展

第17回 世界のクリスマスと新年の郵便(仮題)
開催日時：2011年12月7日～2012年3月初旬
場所：新宿北郵便局

編集後記

今月号は、日本国際切手展に出品された皆様からの原稿を中心にまとめました。引き続き出品者による原稿を募集しておりますので、1月末までにお寄せください。

来年こそは明るい話題の続く一年となるよう期待しましょう。(池)

発行日：2011年12月1日
発行：稲門フィラテリー
発行人：小西 邦彦
〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4F
(株)英国海外郵趣代理部内
稲門フィラテリー事務局
編集担当：吉沢 忠一 池澤 克就

稲門フィラテリー 第43号

2012年3月1日発行

早稲田キャンパスに設置された杉原千畝のレリーフ

渡辺 勝正

「早稲田の小山宙丸総長が、千畝への顕彰状を持っていらっしゃるのを見て下さい」

杉原幸子さんから電話を受けたのは1994年8月、猛暑の続く夏であった。

小山総長は、電車で鎌倉に独りで来られたという。現職の大学総長でありながら、いかにも哲学の教授らしい行動である。

杉原千畝(ちうね)は早稲田に在学中、外務省公費留学生試験に合格したため、早稲田大学を中退したのだが、「校友」として総長に功績が認められたのである。

1999年の「早稲田学報」6月号に「早稲田の誇り杉原千畝」と題して、私は命のビザについて発表した。

杉原の郷里である岐阜県八百津町には、「人道の丘公園」がすでに出来ている。

「母校早稲田大学は、杉原千畝顕彰碑を人道の丘に建てるなど、何らかのアクションを起こしてほしい」と書いたところ、「牛賛郵趣」の切手収集仲間である小渕恵三総理から、賛同の電話が入った。

また、「学報」が奥島孝康総長の目にとまり、「人道の丘公園」に、早稲田カラーのイン



杉原遺族と早稲田出身の国会議員とともに 除幕式にて
碑文「外交官としてではなく人間として当然の正しい判断をした」

ド赤御影石による記念碑が建てられた。ビザ発給の舞台であるリトアニアにも、奥島総長の尽力によってウクライナ赤御影石の記念碑が建立された。

杉原千畝生誕百年を2000年に迎え、12月に国会近くの憲政記念館に各政党党首、幹事長が集まり、杉原の美德を称えた。

2001年には、NHKの松平定信司会による「その時歴史が動いた」で杉原を取り上げることにになり、担当ディレクターが早稲田出身だったので、杉原千畝は早稲田であることを番組に組み込んでもらった。そうすれば、早稲田大学諸兄弟の杉原応援が広がるに違いない、と私は考えたからである。

今でこそ、杉原の「6千人の命のビザ」の話



「人道の丘公園」の杉原顕彰碑



リトアニアに建立された顕彰碑

はよく知られるところとなり、教科書、副読本、単行本は60種を超えている。私も3冊上梓した。

2007年5月には、天皇皇后両陛下が、リトアニアの杉原顕彰碑に立ち寄られることが決まり、事前に皇室記者の取材を受けたが、石碑は母校早稲田が建立したことを明記するよう頼んだ。記者たちはこの約束を守った。

2011年10月16日の稲門祭では、加藤剛と秋吉久美子の「命のビザ」が上映され、奥島元総長が拙著『杉原千畝の悲劇』を持参してトークに参加された。

近年、早稲田大学の入学式に当たっては、白井克彦総長も鎌田薫総長も、新入生式典の祝辞には杉原の功績が話されるという。

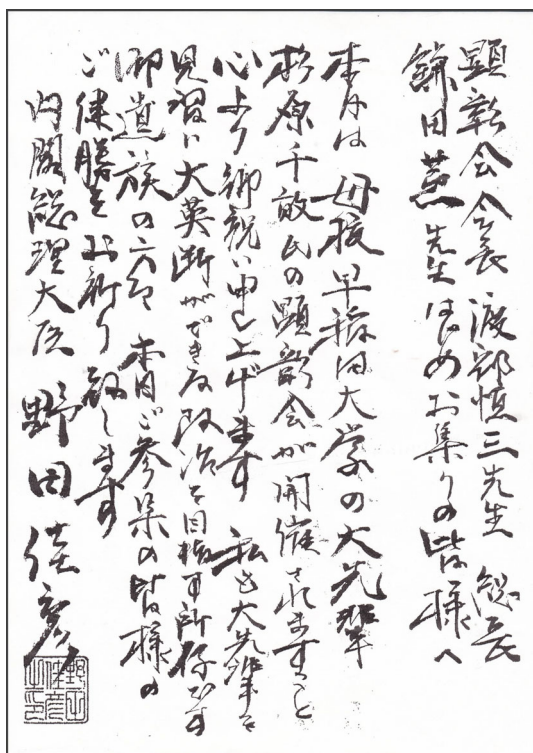
2011年秋、杉原千畝没後25年を記念して、早稲田出身の国会議員を中心に資金を集め、千畝のレリーフを早稲田キャンパスに設置し



2011年10月16日に開催された「稲門祭」

ようという話が急きょ持ち上がり、顕彰実行委員会から相談を受けた。

大隈重信侯の銅像のあるキャンパスには、功績ある卒業生の記念碑建立の申請がいろいろあるそうだが、すべて却下されているという。そんな厳しい状況の中、杉原のレリーフ設置が実現した。早稲田大学が杉原テーマをいかに大切に扱っているかが読み取れる。10月24日、14号館近くに設置された杉原像の除



野田総理から届いた直筆の祝辞

幕式が、リトアニア、ポーランド、イスラエル各国大使参列のもとに行われた。

また野田佳彦総理からは直筆の祝辞が当日届けられた。

私の長年の念願だった“早稲田キャンパスに杉原千畝の顕彰碑を!!”が叶ったことは、望外の喜びである。



千畝の故郷を訪ねて（2011年11月）



2011年7月に八百津町郵便局より発売されたフレーム切手（発行数：1000シート）

再独立期リトアニア印刷切手について

荒木 寛隆

入会早々の新人です。小学5年生頃から日本切手のカタログ収集をしていました。その後、1991年からリトアニアを始めとする旧ソ連独立諸国の独立初期切手を集め初めて20年近くなります。再独立以降のリトアニア現代郵便史の知識と切手収集歴の長さだけが取り柄で、郵趣知識に関しては素人同然です。

皆様のご指導を心からお願い申し上げます。

1. はじめに

リトアニアは1990年3月11日にソ連からの再独立を宣言しました。再独立一番切手の発行は同年10月7日ですが、リトアニア郵便復活の動きは再独立宣言の前後から始まりました。リトアニア再独立期の郵便史は1990年からハイパーインフレが収束する1994年迄が対象になりますが、残念なことに、リトアニア国内では第一次独立期（1918－1940年）の研究と作品が主流で、1990年以降の現代郵便史に関しては系統だった研究も作品もありません。幸いなことに、20年近い付き合いのリトアニア郵趣専門家のLeonas Verzbolauskas氏と

Ricardas Vainora氏に加えて、リトアニア郵趣協会（シカゴ）会長の John Variakojis 氏とリトアニア国内唯一の郵趣誌『PHILLIT』編集長Antanas Jankauskas氏の支援と協力のお蔭でリトアニアの現代郵便史と作品にまで進むことが出来ました。

一昨年（2019年）のJAPEXと昨年の日本国際切手展に初出品した『LITHUANIA Stamp of the Angel and the Vytis 1990-1993』は再独立初期のリトアニア国内印刷切手に絞って纏めた作品です。リトアニアは1990年10月から1993年3月までに69種の切手を発行しましたが、リトアニア国内印刷切手は加刷切手を含めても14種類だけです。それ以外の55種類は第一次独立期（1918－1940）と同様に大半がドイツ印刷ですが、Angel切手、Vytis切手、更に加刷Vytis切手は夫々に、国内印刷をしなければならない理由が存在しました。これらの観点から3種類の国内印刷切手作品を組み立てましたので、紙数の許す範囲で概略の説明をいたします。尚、リトアニア再独立期前半（1990－1991年）の郵便史に関しては2月発

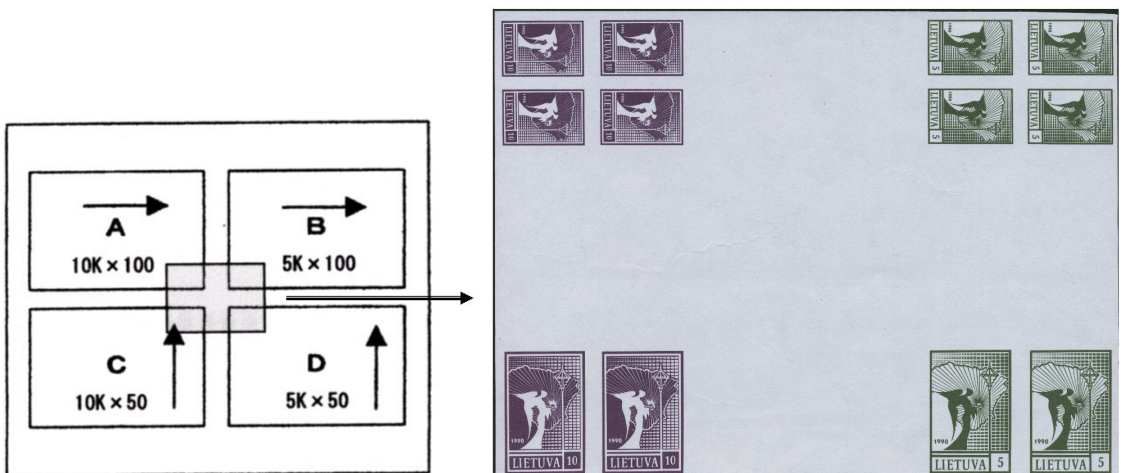


図1 不発行切手実用版（835 × 690mm）とクロスガッターブロック

行の「郵趣研究 104 号」に詳説しましたので、ご覧いただければ幸いです。

2. Angel (灯火を掲げる女神) 切手

リトアニアの再独立一番切手は、ロシアを除く他のソ連独立諸国の一番切手と異なり、「独立の可能性が不確かな中で発行された切手」と言う意味で極めて存在意義は大きいと云えます。また、切手図案の Angel は第一次独立期(1918～1940)時代にもリトアニア切手の図案として使用されていましたが、ソ連という大国の前に何時消えてしまうか判らない「独立」と云う灯火を「何としても守り抜きたい」と云うリトアニア国民の意志を国内外に強く訴えている切手とも云えます。

(1) 不発行切手

切手発行の準備は独立宣言と共に始まりました。不発行切手はその目的と印刷時期が公表されていませんが、形状から判断する限り、独立宣言から最初の切手付封筒「再生の櫂の木」が発注された4月12日までの間に印刷されたものと考えられています。印刷実用版プレートは5コペイカの Angel 切手2種と10コペイカの Angel 切手2種から構成(図1)されています。この小型の5コペイカ Angel 切手



図2 リトアニア一番切手(Angel)初日特印付

が切手付封筒に、そして、大型の5 & 10 コペイカ切手が一番切手に採用されました。

(2) 一番切手 (第一次 Angel)

1990年10月7日発行の再独立一番切手4種(図2・額面5・10・20・50コペイカ)は、目打ちも裏糊も無い単色オフセット印刷です。5及び10コペイカ切手は夫々別の実用版プレートで印刷されましたが、20コペイカと50コペイカは同一実用版(図3)で印刷されました。又、同日付で国内普通封書料金は4倍の20コペイカに値上げとなりました。

(3) 再版切手 (第二次 Angel)

12月22日には第二次 Angel 切手(図4)が発行されました。第二次 Angel 切手は第一次 Angel 切手の実用版を使用した(図5)ので再

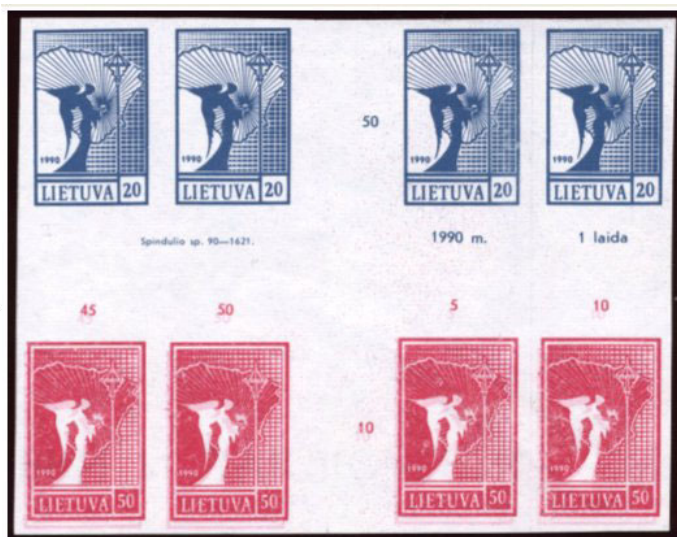
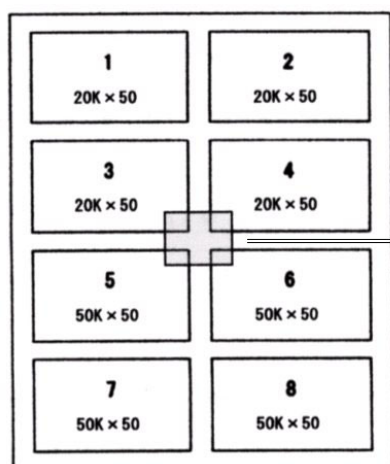


図3 Angel 切手実用版(690 × 830mm)とクロスガッターブロック



図4 第二次Angel 切手初日特印付

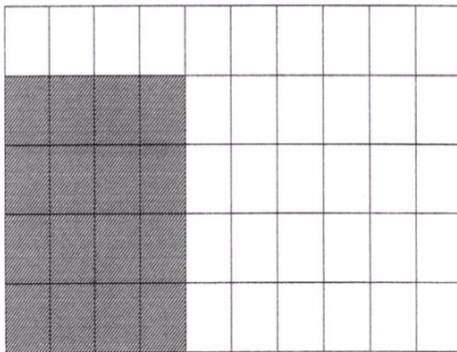


図5 第一次Angel 切手カウンターシート (10×5)と第二次Angel 切手(斜線部分)の位置関係

版切手とも呼ばれ、切手シート5列目のタブには上から露、英、仏、独の順で「リトアニアの一番切手」と印刷されています。又、透かし入りで目打ち模様が印刷されているので第一次Angel 切手との区別は容易です。

第2次Angel 切手はソ連による長期間の経済封鎖による物資不足を反映して、試刷(Color Proof)は印刷済みの辞書類の裏面が利用されましたので、「Book Proof」とも呼ばれています。また、額面印刷洩れ(オリーブ色洩れ)、額面入り共に、シート単位の試刷(図6)は本件以外には報告されていません。

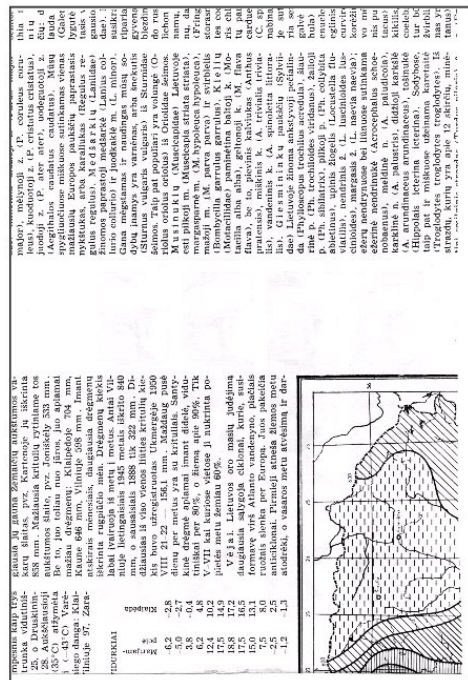
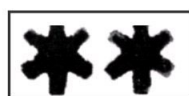


図6 第二次Angel 切手試刷(Color Proof sheet) (右は裏面)

4. 暫定通貨加刷 Vytis 切手

1992年10月1日暫定通貨タロナ(Talona)が導入されました。ハイパーインフレが亢進する中で、社会主義経済システムから脱却して市場経済型の民主国家の再建を図る政府は、先ず、ルーブル経済圏脱却の第一歩として暫定通貨を導入しましたが、ルーブル通貨とのリンクを一挙に解消することは出来ませんでした。国内普通封書料金も2倍に値上げとなり、従来の切手は100コペイカ(1ルーブル)=1タロナに換算して読み替えることになりました。さらに、リトアニア郵政はフィンランドの協力を得てバルト三国共同発行の無額面切手を発行したり、ドイツやハンガリーでの切手印刷を増やしましたが、国内普通封書料金3タロナに相当する切手供給が間に合いません。そこで、1993年1月19日ドイツ印刷のVytis切手(40コペイカ)に国内普通封書料金に相当する3タロナ(300)を加刷して供給しました。更に、同月28日にはドイツ印刷のVytis切手(50コペイカ)に、3月10日にはリトアニア印刷のVytis切手(30コペイカ)に夫々1タロナ(100)を加刷して、既往の2タロナ切手との併用を奨励しました。



初版(plastic plate)



再版(metal plate)

図9 ドイツ印刷Vytis切手の加刷星印

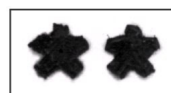


図10 リトアニア印刷Vytis切手の加刷星印

ドイツ印刷切手への加刷には初版と再販があり、額面を抹消する星印(図9)で区別は容易です。また、リトアニア印刷切手の加刷星印は1種類で、ドイツ印刷切手の加刷プレートとは異なっています。(図10)

これらリトアニア印刷の初期切手は、Angel切手が1994年2月28日に、Vytis切手は加刷切手も含めて1994年12月31日で使用停止(図11)となりました。(完)

参考文献

『SPECIALIZUOTAS LIETUVOS PASTO ZENKLU KATALOGAS 1990-2005』(by ANTANAS JANKAUSKAS)



図11 Vytis切手と加刷Vytis切手(最終使用日印付)
(左3枚の加刷切手のうち、左端と左から3番目のVytis切手がドイツ印刷)

日本国際切手展 2011 に出品して

— 震災切手 1923-1924 —

鎌倉 達敏

1. 国際切手展出品への道

国際切手展へ出品する事など、5年前まで私には全く無縁だと思っていました。JAPAX'06に「英国ペンスブルー」のテーマで1フレーム作品を出品した所、学生時代の知人・先輩・仲間の皆様から声を掛けられ、本格的に切手収集を復活する事になりました。特に、魚木五夫先生には、震災切手の最新の研究情報の御教示を頂き、学生時代から最も興味があった、「震災切手」を中心に収集する事にしました。

まず、JAPEX'07には震災1銭5厘切手(3フレーム)で初出品し、金銀賞を受賞しました。翌年全日展'08には震災切手全額面(9種、3フレーム)に挑戦し、企画部門が「震災切手」という幸運もあり、金賞(日本郵趣協会賞)を受賞し、国際切手展への出品資格を獲得しました。しかし、国際切手展では5フレームの作品にする必要があり、同年のJAPEX'08に「震災切手1923-1924」(6フレーム)を出品し、金賞(JAPEX実行委員会賞)を受賞し、国際切手展出品の準備が整いました。

2. 国際切手展初挑戦

国際切手展への初挑戦は韓国ソウルで開催されたFIAP展のPHILAKOREA09でした。5フレームの出品で、金銀賞を受賞しました。初出品で、1900年代(大正時代)の切手ですから、自分自身としては満足の評価でしたが、更なるステップアップが難しい事も実感した初出品でもありました。ソウルの切手展は、家内との韓国旅行も兼ね、見学する事も出来ました。国際切手展への参加には、このような副産物もあるようです。しかし、観光旅行が中心となり、切手展が疎かになった反省もあります。



図1 5厘みほん(100面シート)



図2 8銭みほん
(20面小型シート、横マージン狭い)

3. PHILAKOREA09での課題への対応

韓国展では、「稀少性」が課題とされました。つまり、珍しいもの(高価なもの)が少ないという事なのです。サラリーマン収集家にとって、とても辛い所です。独自の研究成果で、稀少性をアピールしているのですが、一般的になっていないのが弱点なのです。

そこで、今回は網羅的な展示をやめ、得意な部分で、稀少性をアピールする作戦に切り替えました。具体的には、前回、大阪印刷版3フレーム、東京印刷版2フレームの構成を、今回の日本国際切手展では前者4フレーム、後者1フレームに変更しました。バラエティが多く、得意な大阪印刷版をより強化し、難しい東京印刷版については、稀少なものに絞ることにしたのです。これは、東京印刷版を大阪印刷版並に、課題である「独自の研究成果及び稀少性」を充実させる事が現時点では難しいとの判断からです。

4. 2回目の国際切手展での成果

初出品の韓国展では「金銀賞」であり、今回は一つランクアップの「大金銀賞」獲得が密かな目標でした。多数の方のご支援で、今回目標を何とかクリアする事ができ、大金銀賞を受賞する事ができました。関係の皆様には厚く御礼申し上げます。

実は、この差は単にランクが一つ違うだけではなく、展示作品構成上大きな違いがあるので。それは、5フレーム出品から8フレーム出品が可能になる事なのです。次回出品から、8フレーム出品にチャレンジできる事は、更なる苦労のタネにもなりそうですが、大変嬉しく思っている次第です。

5. 作品解説

各フレーム毎に、注目して頂きたいリーフの解説を簡単に行います。

第1フレームでは、見本用小型シートで、ひらがな「みほん」のペアーセット(図1・2)の初登場です。ひらがな「みほん」のベース切手は100面シートが基本と云われていましたが、小型シートに加刷されたものの存在(5厘以外の8額面)を初めて示しました。



図3 20銭見本
(小型シートからの12枚ブロック)



図4 震災切手 最早期使用例
船場 大正12年10月28日

小型シートからの「見本」12枚ブロックを低額(0.5銭)に高額(20銭)(図3)を追加しました。

震災切手の使用例として現在知られている中で、最も早い大正12年10月28日付けの1銭5厘・3銭貼り外信書状(図4)を作品に加えました。

1.5銭第5版(タイプI)では、未使用最大ブロック(21枚)を追加しました。(図5)第1~4版(タイプI)までは、従来からのプレーティング情報でポジショニングが可能です。およそ100枚に1枚ポジショニングが出来ないグループが有り、それを第5版と定義しています。稀少度は1.5銭東京印刷版(タイプIV)と同等以上と考えられています。



図5 1銭5厘タイプI第5版 21枚ブロック



図6 2銭大阪印刷第3版 第2次版欠点

第2フレームでは、2銭の版別に関するオリジナル研究の成果を示しました。従来1～3版までの分類でしたが、4版以上の可能性がある事が分かりました。第3版(新分類)については主要な第2次版欠点を示しました。(図6)

第3フレームでは、4銭を8リーフにまで展開しました。難しい額面により多くのリーフ数を割く構成で稀少性の課題をカバーする展示プランです。その中でも、4銭第2版5枚ブロック貼りの外信カバー(図7)は状態も良く、貴重な適正使用例です。

5銭では、この切手の面白さを伝えるため、敢えてカバー類を省略し、第2・3次版欠点及びリタッチ類を示しました。花欠け変種



図7 4銭5枚ブロック貼り外信書状 (KOB2 1924.5.24 ドイツ宛)

(Pos. 48)でも、多くの第3次版欠点があります。(図8)

第4フレームでは、8銭を4リーフにまとめています。Pos. 36のサブタイプ特異点を含むブロック(図9)、使用済ブロック及び第2次版欠点を示しました。大花卉のPos. 33では使用例のカバーとともに、特徴的な第3次版欠点を示しました。

第5フレームは、東京印刷版ですが、1.5銭未使用12枚ブロック及び第4コーナー縦ペアーを示していますが、第4コーナーは現在



図8 5銭 花欠け変種 (Pos. 48・98)
(3次版欠点バラエティ)

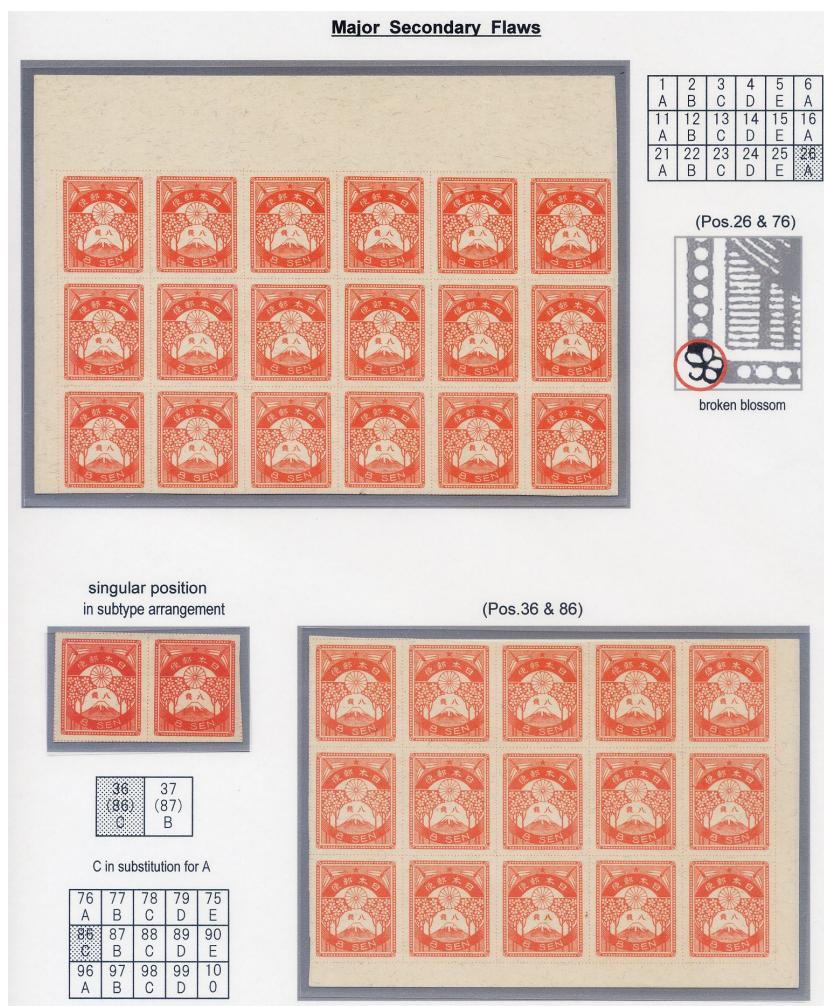


図9 8銭 第2次版欠点と特異点

の所、唯一のものです。SHINYO-MARUの船内郵便使用例も耳紙付きで示しました。(図10)

8銭東京印刷版の未使用ブロックは稀少です。第2コーナーを加えました。(図11)

20銭の未使用田型(図12)、ペアー貼り外信書留便(図13)ですが、東京印刷としては、共に難しいものです。特に、カバーの方は、欧文ローラー印が鮮明で、小包便使用以外では貴重なものです。

6. 最後に

今回、大金銀賞を頂いたので、次回からは、8フレームの出品が可能になりました。大阪印刷版6フレーム、東京印刷版2フレームにチャレンジしたいと思っていますが、同質以上で、

合計3フレーム増やすには、かなり時間を要しそうです。これまでは、30年間の遅れをハイスピードでキャッチアップしてきましたが、これからは、じっくり時間を掛けて、身の丈に合わせ、楽しみながら充実させて行くつもりです。

なお、「震災切手の楽しさ」を広く知って頂くために、本作品を作品集(A4版オールカラー80ページ並製本、送料込4000円)として、オンディマンド印刷を利用して作りました。残部少数ですが、ご興味のある方は、下記宛連絡をお願いします。

kamakura@mx.mesh.ne.jp



図10 1銭5厘 東京印刷版



図11 8銭 東京印刷版未使用田型



図12 20銭 東京印刷版田型



図13 20銭東京印刷版外信書留便ローラー印

日本国際切手展(1971～2011)と私

坂下 泰一

日本最初の国際切手展 '71

わが国最初の国際切手展 PHILA TOKYO '71 は、今からちょうど40年前の1971年、日本郵便創業百年を記念して通信総合博物館で開催された。しかし、その時はまだ、FIP（国際郵趣連盟）の承認が得られなかったため、競争出品は日本切手だけと言う変則的な形態で始まった。しかし、そのためにかえって、日本切手の収集家にとっては日本切手の珍品や稀品をより多く鑑賞する機会に恵まれた。手彫切手を始めとする初期の日本切手の大コレクションのほとんど全てが一堂に会するという、まさに壮観なものとなった。私は、雅味に富み、芸術味豊かな手彫切手に心惹かれ、また大きな刺激を受けた。これによって、私の切手収集もどうやら一つの方向を見いだせたような気がした。これまで、私の収集の対象は、日本切手全般であり、その中にはハガキ類や封書等も含まれていた。沖縄の切手も入っていた。従って、手彫切手に関しては、まだわずか数十枚しか持っていない全くの初心者であった。

市田左右一博士を訪ねる

手彫切手を専門に集めることに決めてから7,8年経った頃、市田博士に手彫の消印や、色調また印刷についていくつかお伺いしたいことがあったので、市田氏の東京の事務所に電話した。専属の秘書が出て、2時に事務所に来るように、との市田氏の言葉を伝えてくれた。市田氏は、言うまでもなく、手彫切手に関する数々の名著によって世界的に名前を知られた手彫切手の研究家であり、収集家でもあった。私は博士の著した手彫に関する本はほとんど持っていた。

指定された時間に大手町にある日本ビル5階の市田氏の事務所に行くと、もう秘書が



図1. 竜半銭2版の最初期使用例 明治5.6.23
松阪より四日市宛 (25里以内100文〈半銭〉料金)

待っていて、応接間に案内してくれた。まるで面接試験を受ける学生のような気持ちだった。まもなく博士はにこやかな顔をして現れた。挨拶もほどほどに二人は数枚の小さな切手を前に夢中になって話し合った。「これですが」。私は小さな紙片に貼られた一枚の切手を差し出しながら言った。それは竜百文で、はっきりと大型の「検査済」の検の字が読めた。いわゆる三文字「検査済」の頭消しだ。ずいぶん高い値段で渋谷の切手商から購入したものであった。しかし、よく観察すると印刷がいまひとつ最初期の感じがしないので、気になっていた。「竜百文の「検査済」には最初期印刷でないものもある。」と言われたので安心した。先生は、手彫も製造面と使用面の両面から追求することの必要性を説かれた。先生との話は、われわれが初対面であることや年の

差や立場等を忘れて、いろいろなことに話が及んだように思う。気が付いてみると、もうすでに2時間が経っていた。帰りは、先生の自宅のある渋谷まで、車に同乗させてもらった。

郵趣会への加入

2,3日後、秘書さんから、今度の土曜日に九段下にあるフェアモントホテルで手彫研究会の例会があるから、手彫のリーフを持って来るように、との連絡を受けた。「これは弱った」が思わず口を衝いて出た言葉だった。他人に見てもらおうような見栄えのする手彫切手はないし、何よりもリーフにきれいに整理してないという気恥しさがあったからだ。カタログは切手商組合のものを利用して分類しているが、カタログ分類の45種の半分も持ってなかった。リーフの数は30数ページがやっと

だった。

当日は、在京の6,7名のメンバーが集まった。メンバーは、みな手彫切手の大家だった。市田先生から私の簡単な紹介があり、それからリーフの回覧が始まった。「桜と比べると竜の方がよく集まっている」、「洋紙はまだこれからだね」、「ネギ5銭は手彫の最後の切手だから、文章で言うところピリオッドに相当するので、抑えとなるような布告か外郵カバーが欲しい」等、いろいろな助言やはげましの言葉をいただいた。夕食が始まる頃には、私もすっかり緊張が解けてメンバーの一人になっていた。

この会は市田先生が中心になって次回に何をするか(テーマ)を決め、テーマに関連した切手や封書を各自が持参して、それについて調べたり、話し合ったりする、というもの

だった。珍品にもしばしばお目にかかれた。目打、紙質、色調や消印等いろいろなことをこの会で学んだ。

手彫切手研究会の他、神田の平岡ビル地下食堂で行われていた千代田会にも、市田氏の紹介で入会させてもらった。これまで、学生時代や社会人になってからも切手収集はどの会にも属さず一人で楽しんでいたが、この2つの会に入会して、同好の士を得てから収集も一段と進んだ。切手を入れた盆を順番に回す、いわゆる盆回しというのがあって欲しいものがあれば、抜いておけばよい。清算は3カ月後の清算月まで待ってもらえた。重品や要らないものがあれば出品すればよい。また切手に関する新しい情報や知識を得ることができて、とても楽しい会だった。また、5,6年前に入会した稲門フィラテリーという会は早稲田大学の切手研OBが中心になって創立した会であるが、この会ほど現在も活発に活動している

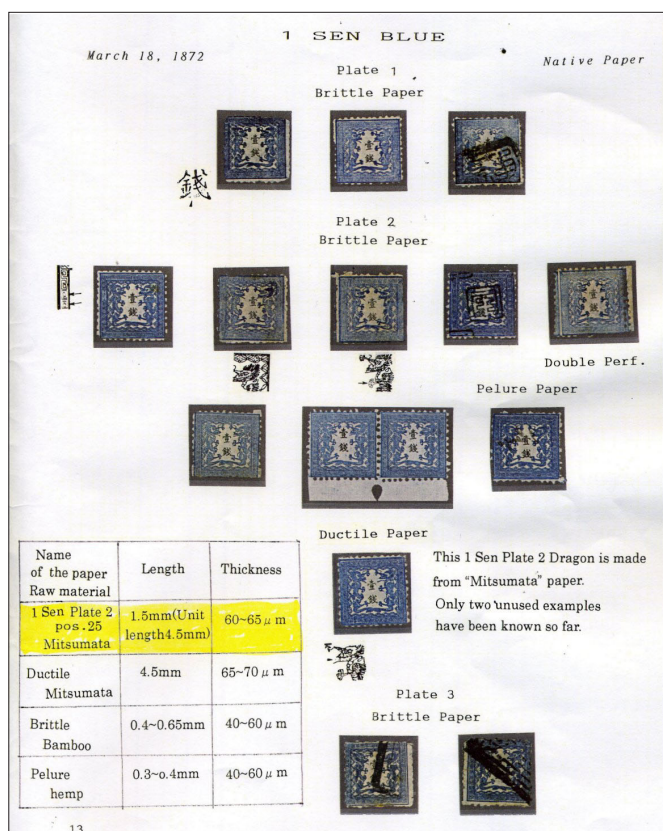


図2 竜1銭のリーフ

1列目右側 1版の「大型東京検査済」は「角検」時期の例外的な使用例で、珍しい。下から2列目は2版の強靱紙未使用(現在まで2枚が知られている)

会をあまりしらない。毎月の切手教室、年4回の会報、早稲田大学での総会、年1度の見学旅行等。また幹事会の後、“びあぐら”で、一杯飲みながらの話は楽しいものである。が、どうしても内輪の者の集まりと思われたり、若い層の参加が少ないのは考えるべきことだろう。

全日展 '80 に初出品

何回目かの手彫研で市田先生から、「4月の全日展に出品しないか。全日展で賞をもらっておかないと、今度の国際展には出せないぞ」と、言われた。国際展出品はともかくも、ここで全日展に出品することは大いに勉強になるだろうと思い出品を決意した。リーフに切手を並べてみて初めて分かることがあるものだ。ブロックやカバーがいかにリーフに映えるかもその一つである。書き込みはすべて手書きであった。エラーなどを示す図も同様。初めてにしては何とかなるものだ、が実感である。心配していたリーフの数も会員始め多くの仲間の協力のおかげで、何とか3フレーム、48リーフまで増やすことができた。平均

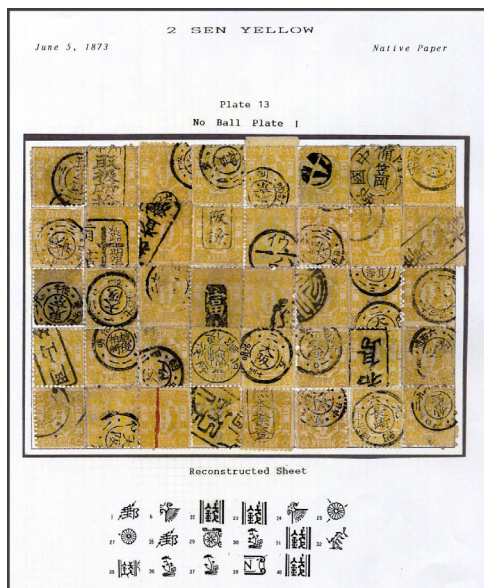


図3 和紙黄色2銭13版（無シート版）の完成した最初のリコンストラクション
1列目 pos3,4,5,6 の4枚が欠けた36枚の大ブロックより再構成

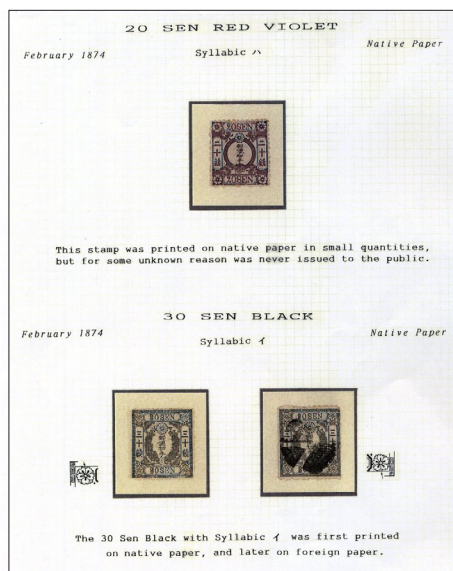


図4 過度期シリーズ
和紙赤紫20銭仮名入(ハ)、和紙黒色30銭仮名入(イ)

的なサラリーマンの私でも、切手展に出品できる、と言うことを証明できたのがとてもうれしかった。その結果は僥倖にも金賞をもらうことができた。（市田先生は1986年6月30日逝去、享年75歳）

過去4回の日本国際切手展(1981～2011)への出品とその結果

東京国際切手展 '81 (4フレーム) 銀賞

'81年のときはまだ3,4フレームでも9,10フレームでも出品可能だった。大銀賞や大金銀賞という賞のランクはなかった。

白井二実氏(スタンプ・レーダ No.274)の感想「和紙半銭がエンタイヤも含めてよく揃っていた。竜のリーフがしっかりしているのに比べると、桜は相対的に力不足。書き込みが間に合わせ的印象を与えたのが惜しまれる。」

日本国際切手展 '91(5フレーム)大銀賞

T.S生氏(スタンプ・レーダ No.396)の感想「じっくり育ててきたコレクションという感じを受ける。81年の時から竜の切手はよく揃っていたが、今回は桜切手もずいぶん充実させての出品である。これで大銀賞とは割が合わないを見た人は多だろう。そのポイント



図5 洋紙黄色2銭仮名入
不統一印による仮名全揃え (数組が知られている)

はおそらく書き込み下手とカバー不足ではな
かろうか。マテリアルはそのまま書き込み
をよくしただけで1ランク、目立ったカバー
を3本入れればさらにもう1ランク上がりそ
うに思える。」

書き込みが手書きであることはいくら丁寧
に書いたつもりでも間に合わせ的に見えるも
のである。また、目を惹くカバーが不足して
いることを的確に指摘された。

日本国際切手展'01(5フレーム)大金銀賞(88点)

石川勝己氏(郵趣研究42増刊号)評「出品
者の年季を感じさせるコレクションで、収集
知識は専門課程に進んでいる作品。持ってい
る知識、スタディを若干抑えて出品されてい
る感じがしたが、改色20銭チ9S目打の未使
用等、本当は手彫切手のひとつのハイライト
になりうる切手などが含まれており、もうワ
ンランク上でもよいと思うが、派手さと金賞
入賞に必要な定番切手が若干欠けているの
かも知れない。ただ、非常に好感が持て、さ
らなる飛躍を期待したくなる作品であった。」

国際切手展'01の後、秋のJAPEX'01に6フ
レームで出品。チャンピオン・クラスで金賞



図6 洋紙茶1銭仮名なし 4枚の最大多数貼

と最高位の特別賞グランプリをもらう。うれ
しかった。

日本国際切手展'11(8フレーム)大金銀賞(88点)

2001年に大金銀賞をもらったので、今回は
8フレームが義務づけられた。5フレームから
8フレームは負担が大きい。出品を断念しよ
うかと一時迷ったが、これが私にとって最後
の国際切手展になるかもしれない、と思い、
金賞を目指して頑張ったが、残念ながら目標
を達成できなかった。

長野行洋氏の評「丹念に集められた定評の
ある作品も、8フレ拡張に苦戦。竜で1フレ+
1リーフ。各リーフの切手も少なめで、空白部
がやや目立ちがち。十年前同様LVに留まり残
念。」言っているのかもしれない。

いままで外国には、次の2回出品している。

- ・バンコク切手展(1983) 銀賞
- ・カナダ切手展(1996) 金銀賞

しかし、2001年からか2011年の10年間に
1度も国外へ出品しなかったことが賞に影響
したのでは、と言ってくれる人もいる。現役
を退いてからの10数年、私としてはこれが精
一杯だったと思っている。

中国・無錫アジア国際切手展2011 参観記

和田 文明

(表1)のように、2月にインド・デリーで開催されたINDIPEX2011、7月に日本・横浜で開催されたPHILANIPPON2011、11月に中国・江蘇省無錫市で開催されたCHINA2011というアジアで2011年に開催された三つの国際切手展にそれぞれ“出品”し、“参観”し、インド展で金賞(93点)、中国展で大金銀賞(87点)を獲得して三つの“パルマレス・ナイト”(受賞晩餐会)に“出席”してきました。

また、無錫アジア国際切手展の参観に併せて、仕事の関係で上海・浦東のホテルで開催された中国の電子決済のカンファレンスへの参加と昨年上海万博で上海を訪れた際に見逃した上海郵政博物館を見学するスケジュールを立てました。

上海郵政博物館

上海郵政博物館は、旧“上海郵政大楼”(写真1)の中に2006年1月1日にオープンしています。このビルは中国邮政(China Post)の“郵便局”として現在も活用され、中国のゆうちょ銀行である“中国邮政諸蓄銀行”の支店もこのビルの中で営業をしています。また、“郵趣コーナー”も設営され、沢山のコレクターで賑わっていました。

中国邮政は、2007年1月に郵政行政の管理監督を行う“国家郵政局”(State Post Bureau)と実務を司る“中国邮政集团公司”(China Post Group)に分割されています。また、2007年までは中国の郵便貯金は過っての郵政事業の中で運営されていましたが、郵政事業の企業化により、2007年3月に“中国郵



(写真1) 旧“上海郵政大楼”



(写真2) 上海郵政博物館の入口

政諸蓄銀行”(Postal Savings bank of China)として別組織となり、日本と同様に一つの郵便局の中に郵便サービスを行う“中国邮政”と金融サービスを行う“中国邮政諸蓄銀行”の双方の窓口が同居するようになっています。

中国の重要文化財にも指定されている旧“上海郵政大楼”の設計はイギリス人の建築家が行い、当時のお金で360万元が費やされたといわれています。当時、中国には1915年に天津に建てられた「天津車站郵政大楼」、1922年に北京に建てられた「北京天安門広場郵政大楼」、そして1924年に上海に建てられた「上海郵政大楼」の“三大郵政大楼”がありました。

上海郵政博物館はこの“上海郵政大楼”の

表1 2011年にアジアで開催されたアジア展・国際展

切手展	開催期間	開催場所		受賞
INDIPEX2011	2月12日～18日	インド・デリー	FIP 国際展	金
PHILANIPPON2011	7月28日～8月2日	日本・神奈川県横浜市	FIP 国際展	N/A
CHINA2011	11月11日～15日	中国・江蘇省無錫市	FIAP アジア展	大金銀



(写真3)

“上海郵政大樓”内



(写真4)

江沢民前国家主席による
「上海郵政博物館」の題字

2階にあり、その入口に掲げられている「上海郵政博物館」の題字(写真4)は前国家主席で上海閩出身である江沢民氏の筆によるものだそうです。博物館の展示は中華人民共和国、初代郵電部部長で上海出身の朱学範の展示から始まるそうですが、実は、私が訪れた11月11日は無錫でアジア国際切手展がオープンされている関係か、休館で中に入れず、展示物を見学することができませんでした。大変残念でしたが、次の機会には是非見学をしてみたいと思います。ちなみに今回のアジア国際切手展の“コート・オブ・コーナー”には8フレームで北京市にある“中国邮政郵票博物館”の収蔵品のコレクションが展示されていました。

2006年5月にアメリカのワシントンDCで開催された国際切手展WASHINGTON2006を参観した際にも旧ワシントン郵便局を改装した“スミソニアン郵便博物館”を訪れ、見学をして来ました。日本では、現在東京中央郵便局が建て替えられていますが、外装の一部が保存されており、アメリカや中国に負けない“郵便博物館”がオープンすることを期待しています。尚、韓国もモダンな高層ビルであるソウル中央郵便局の地階に郵便博物館を2007年にオープンさせています。

中国の郵便制度の歩み

中国の近代郵便制度は清朝政府によって公文書を送達する機関である“文報局”が設立された1876年を始まりと考えられており、125年の歴史を有しています。(表2)のように、清朝時代には公文書を送達する“駅站”と日

本の“飛脚”制度に近い民間の通送組織である“民信局”がありました。清朝が次第に開国し、外交上の文書などの通送の必要正が高まるにつれ、従来の“駅站”制度では機能不全となり、1876年に“文報局”が設立されました。

一方、アヘン戦争に中国が敗れて以来、西欧列強が中国に“客郵”という外国の郵便局が開設されるようになりました。1861年にはイギリスは“大英書信館”を開設し、中国への“郵政侵略”は加速されていきました。1897年に清朝の光緒帝は、“大清郵政”という新しい郵便制度を発足させ、近代郵便の基礎を固め、1911年には“郵伝部”を設立し、郵政部門と税関部門の分離がおこなわれています。100年前の1911年に始まった辛亥革命により新しく誕生した孫文らの中華民国政府は、清朝の“大清郵政”を“中華郵政”に改編し、民国政府の交通(通信)部に郵政局を設置しました。1914年にはUPU(万国郵便連合)に正式に加盟し、1922年までにはチベットのイギリスの郵便局と南満州鉄道沿線の日本の郵便局を除いて、“客郵”を全て排除しました。

1949年10月1日に毛沢東の中国共産党が主導する中華人民共和国が建設されると、郵便と電信事業を統括する「郵電部」が創設され、“中華郵政”は“中華人民郵政”に改編されました。1972年にUPUへの再加盟を果し、1970年代後半からの改革開放政策により、中国の郵便制度は飛躍的な発展・成長を遂げてゆきました。2006年末現在で“中国邮政”の郵便局数は6万2,800局、ポスト設置数も約20万個にも及んでいます。そして、2007年1月に郵政行政の管理監督を行う国家郵政局と実務を司る中国邮政集团公司に分割され、現在に至っています。

尚、中国の切手の国名表示は、1992年から英文の“CHINA”が加わり、“中華人民郵政”から“中国邮政”へ変更されています。

中国式新幹線に乗車して

上海の紅橋(ホンチャオ)駅から“北京—上海線”の上海発南京行の中国式新幹線である

表2 近世における中国の郵便制度

	時期	主体	業務対象
駅站	19 世紀中頃	清朝政府	政府の公文書
文報局	1876 年～1897 年	清朝政府	政府の公文書
大清郵政	1897 年～1912 年	清朝政府	公文書及び一般平民
民信局	1360 年～1934 年	商人	民間
客局	1840 年～	外国政府	外国政府と外国商人

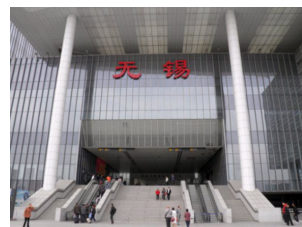
高速鉄道“和階号”(写真5)に乗車してアジア国際切手展が開催された江蘇省の無錫市(写真6)へ行ってきました。“北京―上海線”の沿線には、蘇州市や無錫市、南京市などの大都市があり、上海から無錫迄はおよそ150キロで40分足らずで着いてしまいます。2011年7月に上海近郊の浙江省温州市で起きた高速鉄道事故の大惨事の記憶が残っていただけに一抹の不安を感じましたが、揺れや音はほとんどなく日本の新幹線と同様の乗り心地でありましたが、乗車した一等席(ファーストクラス)の座席の質感は今一つという状況でした。一等席(ファーストクラス)の上海―無錫間の高速鉄道の運賃は95元(約1,200円)で、高いJR新幹線のグリーン料金を知る日本人には大変割安感があります。また、高速鉄道の切符を購入するには、中国人の場合コンタクトレスICカードを用いた“中華人民共和国居民身份证”などのIDカードの提示が必要であり、外国人の場合はパスポートの提示が求められます。

無錫市

アジア国際切手展が開催された江蘇省の無錫(ウーシー)市は長江デルタにあり、太湖に面し、その人口は2008年度で600万人以上。地名の由来は、もともと錫(スズ)の産地で「有錫」と呼ばれていたが、漢の時代には堀つくしてしまい「無錫」となったという説もあるそうです。1981年には無錫市は全国15ヶ所の“経済中心都市”の一つに指定され、1985年には“開放都市”となり、工業団地が整備され、外国資本の投資を受け入れるなどの改革開放政策により、工業化が急速に進み経済が発展しています。ソニーやパナソニック、



(写真5)中国新幹線、高速鉄道“和階号”



(写真6)新装オープンされた無錫駅

シャープ、ブリジストンなど1,000社を超える日系企業の工場が無錫市に進出していて、JAL(日本航空)ホテルも2010年に北京、上海、大連、広州、天津、蘇州、厦門に次いでこの地にオープンさせています。私も今回の旅でこの新装オープンして間もない無錫JALホテル(写真7)に4泊しました。このように無錫市は日本との関係も深く、兵庫県の明石市と神奈川県相模原市が同市と姉妹都市となっています。

第27回アジア国際切手展2011

第27回アジア国際切手展は11月11日より15日の5日間、2010年にオープンしましたコンベンションセンター“太湖国際博覧センター”(写真8)で開催され、20万人以上が訪れたといわれています。中国での国際切手展の開催は、1993年の北京アジア展、1999年の北京国際展、2003年の成都アジア展、2009年の



(写真7)
無錫 JAL ホテル



(写真8)会場の“太湖国際博覧センター”



(写真9)会場入口



(写真10)江蘇省郵政会社のブース

洛陽国際展に次ぐ5度目の開催で、今回はUPU万国郵便連合の会議も併せて開催されています。

中国ではこのように10年間にFIP国際展とFIAPアジア展を交互に開催しています。実は、私にとって初めての外国で開催された国際切手展を参観したのが1999年8月に開催された中国初のFIP国際展であるChina1999で、勤務先の上司3人と2泊3日のJTB北京観光ツアーに参加して、ツアーの自由時間における数時間の限られた参観でした。

アジア国際切手展の会場内には、江蘇省郵政公司や上海市郵政公司、北京市郵政公司、江蘇省郵政公司(写真10)など中国の各地から30もの郵政公司が独自の切手や公式グッズを販売するためにブースを設け、日本のJPSなど内外の切手商も多数のブースを出展していたが、会場外にも自然発生した無許可の露天商による“青空切手市”(写真11)が2ヶ所形成されていました。この“青空切手市”をひやかしてみると、毛沢東語録やポスター、バッジ、コイン、紙幣、テレフォンカード、IC乗車券カード、各種プリペイドカードなど切手以外の品を売捌く業者も多くいました。こうした青空市の露天商で、中国のバンクカードである銀聯カードや日本のSuicaのようなIC乗車券を見つけ、仕事の関係で



(写真11)青空切手市

いくつかの興味あるICカードをゲットすることができました。私が何枚もカードを買うので、最初5元(約65円)程度であったカードの価格を20元(約260円)、50元(約650円)、100元(約1,300円)と吊り上げてくるのには閉口しました。

切手展の開催場所である無錫市のコンベンションセンターである無錫太湖国際博覧センターは2010年5月にオープンし、1階と2階合わせて4つの展示ホールがあり、各ホール幅66メートル長さ117メートル7,833平方メートルで、総工費9億元といわれています。実は今回の会場と全く同じものが隣にもう一棟建設中で、中国の凄まじい経済発展の一端を垣間見た気がしました。

また、アジア国際切手展の開催に間に合わせて新しい“無錫グランドワールドホテル”を会場近くに仮オープンさせています。このホテルは、自称“六つ星”ホテルで、無錫市人民政府の迎賓館ともいえる立派なホテルでしたが、ロビーとラウンジ、セミナー会場、一階のメインレストランのみの仮オープンで、当初予定されていたパルマレスは別のオフィシャルホテルで開催となりました。私は日本のコミショナーの計らいで予め“関係者ID”のカードを入手できていましたので、このホテルにはフリーパスで入れ、一日に数回ホテルラウンジでコーヒーを飲みながらゆっくりとくつろぐことができました。

インド、日本、中国での三つの国際展を比較すると、会場並びにその立地においては日本の横浜が最高でしたが、私にとってはアジ



(写真12)無錫グランド
ワールドホテルで開催
された郵便史セミナー

ア国際展に合わせて会場近くに
仮オープンした
ホテルの存在は
高く評価できま
す。願わくは、切
手展の会期に間
に合わせてこの
ホテルを正式に
オープンし、パル
マレスもこのホ

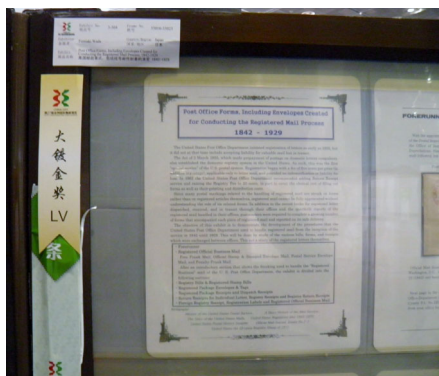
テルで行われていれば最高であっと思う次第
です。尚、郵便史のセミナーは、(写真12)のよ
うに、このホテルの300人以上収容できる真
新しい大宴会場で行われました。

Class 13 “プロモショナル・クラス”

今回のアジア国際切手展の総展示フレーム
は、およそ1,400フレームで、アジア・アフ
リカから50数ヶ国の競争出品への参加があり
ましたが、インドや日本のFIP国際展と比べ
ると小ぶりの感否めませんでした。

今回の切手展の特徴としては、“Class 13”と
して“プロモショナル・クラス”が設定され
ていました。“プロモショナル・クラス”
とは、『現代郵趣の最高水準の作品を展示し
て、この分野の収集を促進するとともに、郵
政当局に対して過去20年間(1991-2010)に
発行されたマテリアルを収集・研究している
フィラテリストが相当数存在していることを
示すためのクラスで、国別伝統、郵便史、郵
便ステーションナリー、航空郵趣、テーマティ
ク、印紙の各分野での出品が可能です。但し、
作品は1991年以降に郵政当局によって発行さ
れたマテリアルで構成されていなければなり
ません』と案内されていました。今回のプロ
モーション・クラスは試行段階のため、メダ
ルは授与されず、賞状のみの授与となり、
FIP/FIAPの受賞記録にも登録されないとのこ
とでした。

“プロモショナル・クラス”には、中国、香
港、澳門、韓国、マレーシア、タイ、シンガ
ポール、マレーシア、ニュージーランド、アラ



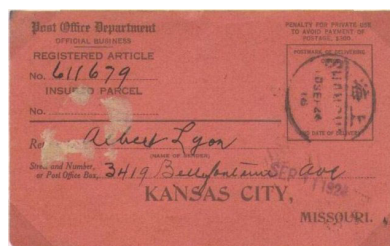
(写真13)大金銀賞を受賞した私のコレクション
のタイトルリーフと大金銀賞のリボン

ブ首長国連邦から12点の作品が出品され展示
されていました。審査結果は、ワンフレーム
エキシビションと同様に評価点数が作品毎に
張り出されていましたが、今回最高得点と
なった87点を獲得したのは、香港のコレク
ターによる1997年発行の50分の万里の長
城切手の専門コレクションでした。また、残
念ながら澳門からの作品は審査対象外とな
っていました。

アメリカ書留業務郵便史

私が今回の無錫アジア国際切手展に出品し
たのはインドFIP国際切手展で金賞(93点)を
獲得した「アメリカ書留業務郵便史1842～
1929」で、今回は残念ながら(写真13)のよ
うに大金銀(87点)に止まりました。

このコレクションには、1点のみ中国物が
含まれています。それは(図1)の上海局の消
印が押された米国の書留郵便受取通知 - RRR
(Return Receipt Requested) はがきです。本
来ならば、中国-アメリカ間の国際書留郵便
受取通知 - AR(Avis de Reception)が使われ
るところですが、アメリカ国内用のRRRが使



(図1)1924年の上海局欧文印の消印が押された
米国の書留郵便受取通知(RRR)はがき

われ、上海郵便局の1924年12月16日付の欧文印の消印が押印されているユニークな使用例です。

このコレクションは今後にも充実を図っていくつもりですが、国際切手展への今後のエントリーは控え、2016年にニューヨークで開催が予定されているアメリカの国際切手展“NY2016”で再び金メダルを目指して挑戦したいと思っています。「アメリカ書留業務郵便史1842～1929」以外にも国内展で金銀賞以上を受賞した航空郵趣の「米国郵政公用航空郵便1918～1945」と「National Air Mail Week, 1938」、郵便史の「米国Registry System 1880～1910」という3つの国際展出品資格を有するコレクションを持っておりますので、これらを今後アジア・オセアニアで開催されるジャカルタ、バンコック、メルボルンなどのFIP国際切手展や香港などで開催されるFIAPアジア国際切手展に順次出品をしたいと考えています。

評価される無錫アジア国際切手展

11月14日に6つあるオフィシャルホテルの一つである無錫インターコンチネンタルホテルで、夕刻の6時から“パルマレス・ナイト”(写真14)が開催されました。インドや日本の国際展のパルマレスにおける料理はbuffet式であったのに対し、中国の場合は円卓による中華料理のフルコースでゆったり食事をとることができました。また、受賞目録も変形A4版のオールカラー100ページ建ての立派な“受賞カタログ”がパルマレスの開始までに刷り上がり、晩餐会出席者全員に対して配布されました。インド展のパルマレスでは受賞者リスト類は一切無、日本展では正式版は後日配布され、パーティにはA4の数



(写真14)パルマレス・ナイト(晩餐会)



(図2)公式カタログ



(図3)ニュース誌
「中国2011」

ページの受賞者リストのコピーが配布されたのに比べて、中国展の対応は高く評価できると思います。

公式カタログ(図2)もA4版の100ページ以上の立派なものを作成し配布・販売していました。日本展のカタログは1981年展以来A5版の小型サイズが用いられ、文字が小さく、年配者が多い切手収集家にとっては中国の大判サイズの方の方が有り難いと思われました。

中国展で一番評価できたのは、事務局サイドで予め提出させておいた各コレクションのフロントページをベースに作品の内容を中国語で解説し、(写真15)のように各コレクションに添付していたこ



(写真15)中国語による
“作品解説”

とです。中国人の参観者の多くは、この中国語の解説に目を通していました。事務局はさぞかしい大変であったろうと想像できますが、中国の参観者にとっては難しいコレクションを理解するのに役立ったと思われます。

また、中国展では、前日の切手展に関するニュースを広報するために「中国2011」(図3)というオールカラーで8P立てのニュース誌を会期中毎日刊行していました。インド展でも同様にオールカラーで4P立てのニュース誌を毎日刊行していました。

黒川 清知

1999年10月4日、ミクロネシア連邦で「千年紀」シリーズの中の1枚として、12世紀での主な出来事、人物を描くシートが発行された(図1)。ヘンリー4世の死去はじめ18種の切手が収められている。日本は源平の合戦と浄土宗開祖の法然上人が採り上げてられている。法然上人の説明には「法然隠者となる」と示されている。因みに次のシリーズ1920年代にはヒロヒト昭和天皇の即位が含まれている。

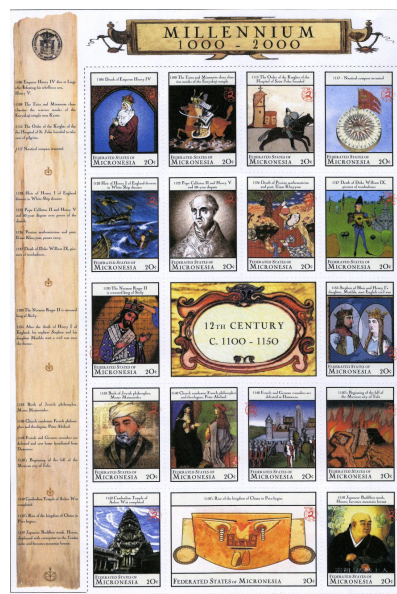


(図2)法然上人肖像

ミクロネシア連邦はフィリピンの東に浮ぶカロリン諸島に属する607の島からなる。島は3,000kmに渡って広がっている。かつて日本の統治下にあったが、第2次世界大戦での米軍の猛攻撃を受け陥落した(1944年2月)戦後アメリカの信託統治領となるが、1986年11月3日に独立を遂げた。人口10万強、通貨表示は米ドル。

さて法然上人(図2 法然上人御影・総本山知恩院蔵)であるが、長承2年(1133年)4月7日美作国久米(現在の岡山県久米郡久米南町)の押領使(地方の治安維持にあたる在地豪族)・漆間時國と母・秦氏君との子として生れる。幼名は勢至丸、両親、一族の深い寵愛に囲まれますこやかに成長した。ところが保延7年(1141年)父が日頃より反目していた源内武者明石定明の夜襲に会い、非業の死を遂げる。父は臨終間際、勢至丸を呼び寄せ「決して仇を討ってはならぬ。仇は仇を生み、憎しみは絶えること無い、どうか全ての人が救われる道を探し、悩み多き人々救え」との遺言を残し、息を引き取った。時に勢至丸9歳。

その後漆間家は四散し勢至丸は叔父観覚に預けられ、この叔父から仏教の手ほどきを受ける。6年余の修学で叔父は勢至丸の非凡な才能に気づき、このままでは惜しいと思い、当時の最高学府(今でいう仏教大学院)比叡山へ昇ることを勧めた。別れがたき母と別れ、単身比叡山に昇った、時に久安3年(1147年)15歳。その後数ヶ月して正式な僧侶の登壇



(図1)ミクロネシア「千年紀」切手

門、授戒会の儀式を受け、正式な出家の身(僧侶)となる。しかし当時の比叡山は名誉や派閥など俗世間的な争いが多く、また出家のための仏教であって一般民衆は置き去りにされていた。勢至丸は高僧が集まり、より修行、修学に励めて、貴重な全ての経典が書かれている「一切経」がある、これを読めば全ての人が救われると思ひ、叡山でも奥深い谷底の黒谷青竜寺にいる叡空の門をたたいた。ここで叡空から法然房という房号を貰いまた源空という名前も授かった。久安6年(1150年)18歳。厳しい修業を勤めると同時に一切経と向かい合い、常人では一生かかっても読破できない膨大な一切経を5度も読み返したという。貧、寒、湿で多くの修行僧が病に倒れ亡くなるなどの悪条件の黒谷の修行は28年間に及んだ。(このことが切手の説明にある「法然隠者となる」だと思ふ)だが求める教えは見つからず苦悩は晴れることが無かった。法然は唐の善導大師が書いた「観経疎」を8度読み返し、それには「南無阿弥陀仏と念仏を唱えれば、全ての人が漏れなく救われる」と書かれていたのに導かれ長年の苦悩が晴れた。こうして承安5年(1175年)43歳の春浄土宗を開いた。そして法然は身分の上下を問わず念仏の教え

を説いた。上は後白河など3人の法王、天皇、九条兼実などの貴族、熊谷直実などの武士達、諸衆の僧侶、弟子達など言うに及ばず、下は盗賊や遊女に至るまで平等に教えを説き聞かせた。

この教え(専修念仏)が仇となり、比叡山から敵視されまた後鳥羽法王の怒りをかい、建承2年(1207年)讃岐の国に流罪となる。しかし10ヶ月の滞在で承元元年(1207年)赦免された。

建暦2年(1212年)1月25日に死去、当時としては高齢の享年80歳(満78歳)、亡くなる2日前の1月23日に弟子の源智の願いに応じて、遺言書「一枚起請文」を記す。

一枚起請文「唐土我が朝に、もろもろの智者達の沙汰し申さるる、観念の念にもあらず。又学問をして念のこころを悟りて申す念仏にもあらず。ただ往生極楽のためには、南無阿弥陀仏と申して、疑ひなく往生するぞと思ひ取りて申す外には別の仔細候はず」(中国や日本で大勢の智者、学者が論じたような、仏の姿や極楽浄土の有様などを心に思い浮かべて念ずるといった観念の念仏ではありません。また、学問をして念仏の意味を理解して唱える念仏でもありません。ただ極楽に往生するためには南無阿弥陀仏と唱えれば必ず往生することが出来ると信じて唱えるほかに、別にいわれはなにもありません)

これを骨子として法然上人は、才智学問をひけらかすような態度をとらないで、ただひたすらに念仏を唱えなさい(「智者のふるまひをせずして、ただ一向に念仏すべし」との遺言を残した。厳しい修行も勉強もしなくて良い、ただ「南無阿弥陀仏」と唱えればよいとの教えは、平安時代末期から鎌倉時代、大地震や台風などの天変地異に加えて戦乱が相次ぎ、仏の教えがすたれる末法の世が到来したと信じられていた時、特に救済の対象から見放されていた庶民に希望を与えた。「浄土宗の安心起行この一紙に至極せり」(浄土宗の信心の決め方、実践の方法はこの一枚の紙に誌したことに尽きています)

2011年3月16日、800年遠忌を期して天皇から法然上人に「法爾」という大師号が下賜された。大師号は高僧に時の天皇から勅許されるもの(空海の弘法大師が有名)法然上人は元禄10年(1697年)に円光大師をはじめ昭和天皇からの和順大師と今回の法爾大師で7つ目の大師号となる。過去の高僧の大師号では

最多である。

昨年2011年は死後800年になる。総本山知恩院はじめ各地の浄土宗の大本山では4月に大遠忌の大々的な法要が予定されていたが、東日本大震災のため、知恩院は昨年10月、他の大本山は本年4月に延期されている。

奇しくも、法然の門弟で40歳年下、法然に帰依し慕い尊敬し、その教えを継ぎ尚自分なりの教義を広めた浄土真宗開祖親鸞聖人は昨年750忌を迎え、昨年10月25日から12月4日まで、上野の国立博物館で開催された「法然と親鸞、ゆかりの名宝展」には多くの国宝、重文の仏像などが展示され、入場者は212,150人にのぼったそうだ。なお総本山知恩院では記念のフレーム切手が作成販売された(図3)。



(図3) 法然上人八百年大遠忌法要フレーム切手

《参考文献》

- [1] お経(浄土宗) 藤井正雄(講談社)
- [2] Wikipedia
- [3] コンサイス人名辞典(日本編)(三省堂)
- [4] 小説「親鸞」 五木寛之(講談社)
- [5] 月刊「浄土」(法然上人讃仰会)
- [6] 「貞源寺だより」(平成23年夏号)

なお切手シートに関しては、小西邦彦会長の多大なご協力を頂いた。感謝いたします。

フィラテリスト梅棹忠夫を読む

小川 義博

昨年の夏、長女が“お父さんが読んでおけ”といった本の著者でお父さんを厠オタクにした人の追悼特集を組んだ本がでてたわよ”と、いって1冊の雑誌を手に来宅した。『考える人』No.37 追悼特集“梅棹忠夫「文明」を採検したひと”新潮社であった。戦後思想の古典である『文明の生態史観』を著し、豪華なイス便器をみせて排泄習慣への興味を起こさせてくれた大阪千里の国立民族学博物館の創設に尽力、初代館長であった梅棹忠夫氏の追悼特集号であった。読んでいく中に「収集癖と放下（ほうげ）」という章があり下記のような文章が目に入ってきた。

……著作『メディアとしての博物館』（平凡社）を取り出し、あるページを開いた。「爽快なる無所有」という一節に、彼は高校在学中、所蔵していた数千個体の昆虫標本を全部、屑箱に捨てたと書いている。……「コレクターというものの根本にある情熱は、やはり所有欲であろう。あるいはそれを所有しているのが自分であるという、私有欲である。わたしにはそれが欠落していた。昆虫の標本も植物の葉も、自然界にわたしの目をひらかせてくれたきっかけにすぎなかった。あとはぬげがらにすぎない」

梅棹は、博物館長になって二万冊ほどの蔵書を博物館の図書室に寄贈した。「わたしは本のコレクターでさえもなかった。本もよんでしまえば、あとはぬげがらである」梅棹は、苦勞して集めたものを、ある時期になるとすべて放棄する。コレクションがある閾値に達すると、収集を通して得たものが量から質に転化し、新しい次元に到達する。そのとき梅棹は「脱皮」して、新たな地平に向けて歩き始める。集めたものは、抜け殻にすぎない。禪でいう「放下」の精神である。（外岡秀俊「無所有」貫いた孤高のハンター）

ふと頭に故大谷博会員と梅棹氏との切手収

集について対談が思い浮かんだ。「月刊みんな」1985年12月号に載った「切手は知識の巨大な宝庫」と題した対談である。これは他の対談と一緒に編集され1989年『梅棹忠夫対談集「知」のコレクターたち』になり講談社から発行されている。さっそく、読み返してみても大阪市立大助教授時代の病気で2年間の療養中に友人たちから切手をもらって集めだしたと話している。水原賞をうけた大コレクター大谷会員と対等に話されている内容からかなりの切手の知識を持っていることと、使用済み切手をジェネラルに集めていることがうかがわれた。さらに、1枚の切手から話される内容の豊かさを感じ取れる、そして、切手収集とは児童でなく、大人の趣味であること、美的対象から知的対象として切手発行が近代史、現代史を反映している知識の泉に成りうることをお二人は指摘している。この対談を読みおわって、30数年前にこの対談内容を知りながら自分の切手収集は所詮、児童に過ぎなかったかと反省させられると同時に、梅棹氏が切手を集めていたこと、そしてこの対談内容が稲フィラでの会合、飲み会で耳にしたことがないことが気になった。そこで下ネタから学際的に広く知識を持つ青柳会員に問うと意外にもご存じないという。それではぜひ会員に知っていただこうとキーボードに向かった次第である。

“月刊うめさお”と称されるほど多くの著書を発行している氏の文章をすべて読むことは不可能なこと、切手を学術的な文章の中にさり気無くふれているものをいくつか目にしているのでフィラテリストとしての梅棹忠夫を紹介してみたい。

前述した『知のコレクターたち』でナイフのコレクターとの対談の中で氏が“それから有名な刃物に、ネパールのククリという刀がありますね。湾刀の一種ですが、ネパールの

ひとつのシンボルになっていまして、切手の図柄にもなっています。”と発言している。

さっそくスコットに目を通したが見つからない。よくよく見るとなんとネパール一番切手の説明に Sripech and crossed Khukris の説明があり、とてもスコットの写真からでは探せる切手ではない。かなり切手をていねいに扱っているフィラテリストであることを教えてくれている。

京都大学霊長類研究が戦後大発展をしたことから日本人の自然観を論じた論文『高崎山』の中にも見いだせる。日本人の意識の中に神の存在が西洋人に比べ薄いことで動物との断絶感がなく、サルにはある種の親近感を持っていること、そして、その背景にヨーロッパ、中近東にサルが生息していないことを述べているのが印象に残っているものである。その『高崎山』のはじめのほうに「高崎山の運命」という章がありその中に次のような文章がある。

わたしはじつは、妙なことから高崎山の名をまえからしっていた。戦後に発行された日本切手のなかに、収集家仲間で「別府」と略称されているのがある。凹版、二ど刷、おなじ図がらで、色のちがうのが二種類でた。現代の日本切手にしてはめずらしく、幅ひろの額縁がとってあって、その額縁の色が、二円のが濃紅、五円のが暗緑だった。精密な線のうえに、凹版特有のインキのもりあがりがつくしかった。

額縁のなかは、別府湾だった。山を背景に、しずかな海と、その海にうかぶ船があった。船は、瀬戸内海をかよう遊覧船であろうか。

背景の山は、いまにもむっくりとたちあがろうとしている恐竜の背なかのように、特徴



のあるもりあがりをみせていた。山は、まわりから孤立して、海岸ぎりぎりにたっていた。

切手にはもちろん、山の名なんかはかいてない。わたしは地図をしらべた。わたしは別府にいったことはないけれど、このかっこうの山なら、地図の等高線から、すぐに判定がつく。それは、高崎山にちがいがなかった。

「別府」の切手が発行されたのは一九四九（昭和二四）年の春である。それは戦後の日本切手における観光地シリーズのはしりであった。耳紙に英語の宣伝文句をいれた、ずいぶん露骨な観光宣伝切手であった。そのまんまに、おおきくえがかれているのだから、その当時においてすでに、高崎山は、観光地別府における代表的風景と見なされていたのだろう。しかし、それはどこまでも、大観光地「別府」の背景のひとつというだけのことであって、だれも高崎山の切手をつくろうとしたのではなかったはずだ。山自体には、なにも特別の意味はなかったのである。

切手の原画は中村研一画伯がえがくところの油絵であるといわれる。その中村画伯も、別府市長も、郵政審議会の切手図案審査委員たちも、郵政大臣も、要するにこの切手の発行に関係したすべての人たちが、この山がまさか今日のようなことになるうとは、だれひとり夢想もしていなかったにちがいない。10年たらずのあいだに、高崎山の運命はまるきりかわってしまったのである。

高崎山の運命をかえたのは、サルである。野生のサルの大群があらわれたのである。人びとは、わきたった。サルは、たちまち天然記念物になった。高崎山は、たちまち国立公園になった。日本唯一の、国立自然動物園になった。おびたしいひとが、毎日この山のサルをみにくるようになった。高崎山はもはや別府の高崎山ではない。温泉の別府とならんで、サルの高崎山は、それ自体がユニークな観光地になったのである。

わたしがここにやってきたのは、もちろん切手の図がらを実地にたしかめるためではない。高崎山の運命をかえた、そのサルたちをみるためにやってきたのであった。

そして、霊長類研究から科学史におよび、この研究が伝統的、土着的科学であること、

そして、ヨーロッパの状況を「中立化と参与」という題で

・・・ヨーロッパの場合にも、おなじように、狩猟者のナチュラル・ヒストリーの体系的科学への昇華ということはあった。というより、それは生物学の本流のひとつでさえあったかもしれない。

たとえば、イギリスはむかしからトリの愛好者のひじょうにおおい国であるが、その、トリに関するナチュラル・ヒストリーの膨大な知識の蓄積のうえに、伝統的なイギリスの鳥学、あるいは鳥類保護学と、あたらしい現代の動物行動学がたっているのである。先日、日本で国際鳥類保護会議がひらかれ、記念切手まで発行されたが、それはまったくイギリスの土着科学のみごとな開花であった。

哺乳類に対するときも、もちろんおなじようなことがある。(後略)

もちろん 日本切手だけではない。大谷会員との対談で中国の 1980 年発行古代科学者



3次切手シリーズ
4種のうちの1種
黄道婆に関してその
生い立ちから紡績技
術をひろめた経緯ま
で詳しく語っているよ
うに外国切手にもか
なりくわしくしらべ

られていることがわかる。京都府の綾部市に戦前生まれ大弾圧を受けながら戦後力強く復活し、綾部市が日本で最初に世界連邦平和都市宣言を行う背景になった大本教（おおもときょう）について著した「綾部・亀岡 ー 大本教と世界連邦」（1960年）の中で自分はフィラテリストであるとのべて1枚の切手を題材に宗教について文章を著わしている。

ブラジルにて——『精霊の書』

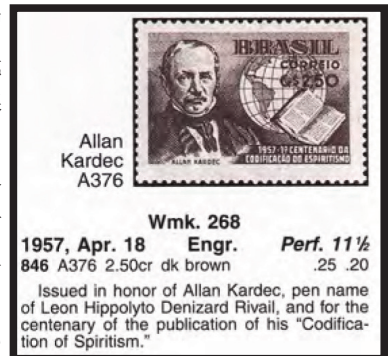
話は、南米にとぶ。わたしは、ひとりのフィラテリストとして、世界で発行される切手に、いつも関心をもっている。ブラジルという国は、あんまりうつくしくもない切手を、むやみと発行する国だが、一九五七年に、ひとり

の人物の肖像と、地球儀と、書物の図案の、一枚の記念切手を発行した。人物は、アラン・カルデックというひとである。スコットの『標準郵便切手カタログ』をしらべてみると、「アラン・カルデック」——本名はレオン・イポリート・ドニザール・リヴェイル——をたたえ、その著『心霊主義（スピリティズム）の法典』の出版百年を記念して発行」とある。(中略)

霊の世界の存在を信ずる心霊主義者たちは、世界各国にいますが、とりわけブラジルでは、ひじょうな勢力である。100にあまる心霊主義の雑誌が発行されているという。そして、ついに政府にせまって、前記のアラン・カルデック切手を発行させるにいたった。もちろん、ブラジルはカトリック国であるから、その教団との摩擦なしというわけにはゆかない。とくに、僧職者たちの妨害ははげしいようである。しかし、一般大衆は、カトリックといえば単なる宗旨であって、無信仰というのと同義にちかい。宗旨と信仰はべつのものである。

参考文献に Scott カタログ 1959 年版 vol.1 を記している。

さらに切手収集が氏の知識の基礎になったことを大谷会員との対談の14年も前に明らかにしている。



海外旅行が盛んになってきた 1971 年朝日新聞主催の公開講座「朝日ゼミナール 海外旅行と私」で本多勝一、松本清張、平山郁夫氏等ともに講演をしている。

テーマは「海外旅行入門」。のちに文化勲章受章した民族学者の知の巨人梅棹忠夫がその地理、歴史の知識が切手収集に負うところが大きいと講演後の受講者からの質問に答えた中で述べている。

問 先生は『知的生産の技術』というような

著書をだしていらっしゃるんですが（註）、海外旅行の技術論としていちばんたいせつなポイントはなにか、いくつかお話をくだされば……ということなんです。たとえば知的生産についてのいわゆる「京大式カード」というような、物的なアイデアだとか、あるいは準備だとかいうふうなもののおありになるか、どうか、おうかがいしたいとおもいます。

答 いろいろ具体的な技術も開発されているんですけども……。そうですね、ちょっとかわったことをひとつ、わたしがやっている方法をもうしあげましょうか。あのね、わられるかもしれませんが、切手をあつめているんです。これは、ひとつの技術ですね。世界じゅうの切手を、とにかくあつめるんですね。

切手というものは、どこの国でも、自分のところはこれを世界にだしたいんだという一種のセリング・ポイント（売りこみの要点）を切手にしているものなんです。あれをひとつずつ、これはいったいなんであるかということをしらべてゆく。そうすると、日常のたのしみと同時に、いつのまにか世界のそれぞれの国の特徴とか、あるいは状況、世界になにをうったえたいかというようなことがひじょうによくわかるんです。歴史もわかるんです。

これはまあ、じつはうちあけ話ですけど、わたしは、仕事との関係もありますが、世界じゅうの地理と歴史にかなりつよつもりですがね、それは切手のせいなんです。すこし日常気をつけて持続的にやれば、ずいぶんの知識が頭にいつの間にか蓄積される、たのしみながら。そういうのもひとつの技術になるんじゃないですか。海外旅行をして切手を買うのを、ただ単にそのときそのときのおみやげとして、あるいは、おもいでとして買うというのはね、ほんとはもったいないんです。

だいたい切手がではじめたのはいまから100年ほどまえ、各国とも100年しか歴史がないんですが、その間に発行されたのを断片的でもいいですから、すこしずつあつめてゆく。そうすると、われわれがすんでいる世界の全体像が、かなりはっきりと頭のなかでできます。わたしはそういう方法で、たとえば、アフリカの、あのひじょうにややこしい新興諸国家ですね。どの国はどのような格好をして、

どの国の隣がどうなって、どこが首府だというようなことは、だいたい全部しらん間に頭にはいつていますわ。こういうのも、外国旅行の、なんといいますか、準備のためのひとつの技術になるかとおもうんですが……。 （後略）

さらに、『行為と妄想--わたしの履歴書』中公文庫で比較文明論という章の”肺結核になる”という文章の次に氏の切手収集を著している。

切手あつめ

仕事は禁じられていたが、床にふすことはなかった。退屈をまぎらわせるために、わたしは郵便切手をあつめることをおもいついた。これにはエスペラントがおおいに役にたった。わたしはエスペラントの雑誌の文通希望欄からアドレスをひろいだして、せっせとエスペラント語で手紙を書いて世界じゅうにおくった。

わたしは家じゅうにある郵便物から切手をはがして、まず日本切手のコレクションをつくった。これで外国の切手と交換しようというのである。やがて海外から続々と反響がきて、わたしのコレクションは急速にふくれあがっていった。このたのしみごとは現在にいたるまでつづいている。切手あつめにはふたつの流儀がある。ひとつは植物とか鉄道の機関車とか、テーマをきめてあつめるやりかたでトピカルという。それに対して、テーマをきめずになんでもあつめるやりかたをゼネラルという。わたしのやりかたは徹底ゼネラルであった。世界じゅうの切手をあつめて、国別、発行年代順に配列するというやりかたである。市場価値からいえば、未使用切手は使用ずみのものより高価なのがふつうである。わたしは未使用か使用ずみかには、まったくこだわらないことにした。ストックブックもアルバムもすべて自分でつくった。時間はじゅうぶんにあった。

切手は世界の地理と歴史についての巨大な知識源である。一枚の切手にはおびただしい情報がもりこまれている。それをながめているうちに、わたしは世界の地理と歴史にひ

じょうにつよくなった。全世界の切手を網羅した大部のカタログも出版されている。各国別のもある。専門の雑誌も何種類もあった。収集家の会もいろいろある。わたしはそのひとつ日本郵趣協会というのに入会した。そして、ずっとのちのことだが、その顧問になった。

切手あつめにはお金がかかるというが、それは高価な切手を買うからである。わたしのようなりかたをすれば、多少の参考書と小道具類をかえば、あとはほとんどただである。そのかわり、できあがったコレクションも資産価値はほとんどゼロにちかい。わたしは、趣味はなにかと聞かれたら、「駄切手収集」とこたえることにしている。

郵便物から切手をはがしてあつめることのほかに、わたしはひとつの奇妙なコレクションをもっている。世界じゅうからわたしあてにおくられてきた手紙の封筒を、そのまま保存しているのである。宛名は、当然すべてわたしになっている。世界のすみずみから手紙はきていて、なかには南極点や昭和基地からというものもある。わたしはこのコレクションを「世界がわたしを呼んでいる」と名づけて、大切にしている。こんなものは、わたし以外のひとにはなんの価値もない。まさに自己満足のきわみである。

加えて、1971年『変革と情報 日本史のしくみ』中央公論社の中の「情報網の建設者」の章で前島密についてあまり知られていない業績を著わしている。

日本人で、その肖像画がいちばんたくさん複製されているのは、だれか。一〇〇〇円札の伊藤博文、一〇〇円札の板垣退助などがかんがえられるが、じつはもうひとりいひそかる。前島密がそのひとである。伊藤や板垣にくらべて知名度はややひくいかもしれないが、その顔をみたら、ああこのひとかと、だれもがうなずくにちがいない。その肖像は、現行の一円切手で、お目にかかることができる。現在までに切手に登場すること約一〇回、



枚数にすれば何億枚印刷されたか見当もつかない。

郵便の世界でこれほど前島密がもてるのは、なぜか。それはかれが日本における郵便制度の創始者であり「郵便の父」といわれる人物だからだ。郵政省内では、

かれはいまでも前島先生と先生づけてよばれている。かれは一八三五（天保六）年、越後高田の下級藩士の家にうまれた。赤貧のなかでみずからを形成した立志伝中のひとといってよい。徳川家につかえ幕臣の系譜につらなるが、洋学をまなび英語をマスターしていた開明派であった。江戸城あけわたし後、徳川家とともに静岡にしりぞき、その公用人（マネジャー）となった。一八六九（明治二）年の暮れ、明治政府によびだされて民部省改正局に出仕した。

維新のとき、かぞえて三四歳。このころのかれの面目をつたえるおもしろいエピソードがある。いよいよ新国家の樹立をひかえて、大久保利通は首都を大阪にうつすつもりであった。そのとき、京都にいた大久保に一通の書状がまいこんだ。さしだし人は無名の書生らしいが、江戸遷都論を堂々とした筆致で勧告している。地政学的・経済的・社会的要因を個条がきにして論理はきわめて明快である。これをよんで大久保はたいへん感心し、一夜で江戸遷都をきめたという。

この無名の投書主が、じつは前島密であった。後年、かれが新政権下で活躍しだしてから、大久保が雑談でこのおもいで話を前島にはなしたとき、投書主が前島であったことをはじめてして、なっとくしたというのである。

さらに、郵便が日本で奇跡的な速さで完成したことを前島密によせて論じている。

・・・ゼロから出発してわずか数年で、全

国的に郵便網を完成できたのは、なぜか。その秘密は「郵便」と「切手」というふたつのことばに象徴的にあらわれている。どちらも、前島自身の発案である。「郵便」というのは、むつかしい語である。前島がわざわざこの字をえらんだのは、民営の飛脚便のイメージとの断絶をはかり、郵便は官営事業であることを権威的にしめそうとしたのだろう。地方の名望家をピックアップして、官吏という国家的地位をあたえ、そのひきかえに、ただで郵便局を自宅につくらせたのも、この手である。いっぽう、民衆の積極的利用がなければ、この制度は定着しないから、前島は庶民的な施策もおこなう。すでに関所の通行証などで庶民におなじみの「切手」ということばを、あたらしい意味でつかいだし、また、世界にさがけて郵便貯金という独特の庶民サービスをおこなったりした。官の権威と民の支持とのあいだの微妙なバランスをたもつことに



昨年末から2月末まで有明の日本科学未来館で「ウメサオタダオ展」が開かれ、そこに自作のルーズリーフを使用したアルバムと受け取った海外からの郵便物を投函地の地図とともに整理したポケットファイルが展示されていた。また、日本民族学博物館梅棹アーカイブズ担当者より次のようなおはなしをいただいた。

「梅棹アーカイブズのなかに、京大型カードに硫酸紙をはり、袋に加工したものがあります。そこには、封筒筒からはがした使用済みの切手が、同種をひとつの袋に入れて保管されています。京大型カードというひとつの規格で切手を整理してその後どうしようとしていたのか、家族も聞いていなそうです。京大型カードに切手の発行情報などが書かれたものは現在のところ見つかっていません。

じっさい、切手に関しては、1986年に失明するまで、みずから手で自宅でおこなっていた作業で、アルバムに整理されていました。アルバムは、地域別、国別、発行年順に整理されていたようで、最後まで手もとにあ

より、この新システムの奇跡的な進展および定着を可能にしたのだ。前島のおどろくべきプラグマチズムである。この二面的な政策は、その後、伝統として日本の郵便局、郵政省にひきつがれているといつてよい。

このように梅棹論文のごく一部を見ただけでもフィラテリストとして切手をいかに大切に扱っていたかが想像される。ここで考えさせられるのが梅棹コレクションのゆくえである。蔵書や他の収集品と同じように量から質への転化をなして「放下」にいたったのであろうか。かりに「放下」をしたにしてもかなりの枚数の切手がB6版の京大式カードに添付されて視覚的情報として知的生産に寄与したのではないだろうか。

数回、国立民族学博物館の食堂で実に上品でもの静かに会話をされながら食事をされていた梅棹氏の姿を目に食事ができたことをなつかしく思い出される。



りました。いまでもそれらは捨てることなく、家族のもとに保管されています。」

引用論文

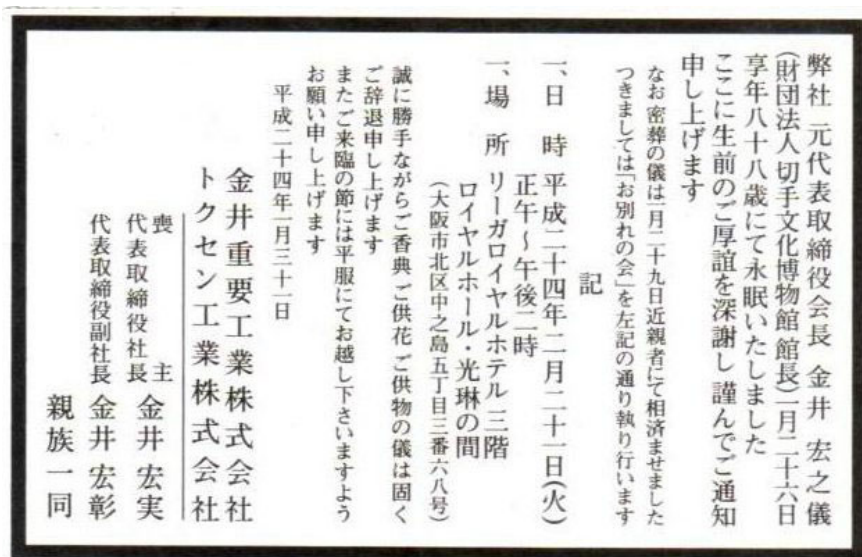
「大本教」『日本探検』1960年11月 中央公論社
「高崎山」『日本探検』1960年11月 中央公論社
林屋辰三郎、梅棹忠夫、山崎正和（編）『日本史のしくみ－変革と情報の史観』1971年中央公論社
『海外旅行入門』週刊 朝日ゼミナール通巻第45号 1971年 朝日新聞社
『行為と妄想 --- 私の履歴書』中公文庫 2002年

金井宏之顧問逝去

早大切手研究会設立者（会員番号1）であり、稲門フィラテリー顧問の金井宏之氏が、去る1月26日、88歳で逝去された。2月21日には、大阪のリーガロイヤルホテルでお別れの会が開かれた。稲門フィラテリー誌は、次号を金井顧問の追悼特集とし、会員から募集した原稿にて構成する予定。



お別れの会にて(2月21日：大阪)



日本経済新聞（2012年1月31日）に掲載された訃報

切手教室

第86回 3月3日「郵便切手の原画とデザイン」
講師：森田基治氏

第87回 4月7日「国内郵便料金の変遷と切手」
講師：宮鍋益治

編集後記

編集作業中に金井さんの訃報が飛び込んできました。次号は追悼特集としますので、金井さんにまつわる思い出、特に写真がございましたら、4月末までにお寄せください。

今月号では、新しく早稲田キャンパスに設置された杉原千畝のレリーフについて、渡辺会員から興味深いお話をお寄せいただきました。また、新入会員からの寄稿もあり、盛りだくさんの内容となっております。引き続き一般の原稿も募集しておりますので、よろしくお願いします。(池)

稲フィラ常設切手展

第17回 世界のクリスマスと新年の郵便

開催日時：2011年12月7日～2012年3月6日

第18回 イギリスのエリザベス女王在位60年展

開催日時：2012年3月7日～6月初旬

場所：新宿北郵便局

発行日：2012年3月1日

発行：稲門フィラテリー

発行人：小西 邦彦

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4F

(株) 英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉沢 忠一 池澤 克就

稲門フィラテリー 第44号

2012年6月1日発行

金井宏之顧問追悼特集号

金井・日本手彫切手コレクションの思い出

橘 喬一

金井さんが逝ってしまった。寂しい。

金井さんと初めてお会いしたのは、私が末だ学院生（第一早高理科）だった昭和22年（1947年）の事だったから、あれから65年、半世紀以上の時が流れました。

時には一緒に生活した青春時代、関西に連れてこられて60年。時にはけんかをし、時には怒られ、飛び出した、あの時、この時のことが思い出されます。

今にも、電話が鳴って「おい、すぐ来てくれ」と召集がかかる錯覚にとらわれる昨今です。

「追悼特集」になにか「思い出」を書くようにとのお話をいただいて、机に向かいましたが、ただ思い出にふけるのみで、筆は一向に進みません。そうも言っていられないので思いつくまま、取り留めのないことを「金井・手彫切手コレクション」を中心に書いてみたいと思います。

× × ×

「俺の切手を見せてやろう」と団子坂上の駒込林町の金井さんの東京の家に連れて行っていただいたのは、昭和22年（1947年）、早高2年生の秋の事でした。（金井さん22歳、私は19歳）



金井宏之氏(切手文化博物館にて)

「何が見たい」ということで、「昭和切手の銘版を」とお願いすると、分厚いストックブックを数冊持ち出して来て下さいました。

まず、第1次昭和では、銘版10枚ブロックが各額面数枚ずつ並んでいました。平台、ゲーベル濃色、淡色と揃えているのです。鎌足の5円、梅の10円がこれもまた、濃色（初期）、明色各2ブロックあったのはど肝を抜かれました。

その後、第2次昭和、第3次昭和と各額面、紙

質違い、透かし違い、銘版違いと、10枚ブロック、6枚ブロック、田型ブロックが延々と続くのです。富士桜橙10銭の銘付など数えきれない程ありました。青色勅額10銭の銘付6枚ブロックは始めてお目にかかりました。

そして、現行（第1次新昭和）、これは未整理で無造作に入っていました。この年発行された最高額切手、無目打能面50円、無目打梅花100円の銘付田型は未集だったように思います。もしあったら覚えていないはずはないからです。というのも、この時の400円は初任給程の金額だったのです。

その後「日本の記念切手」を拝見しました。各、未使用単片、使用済（黒活）単片、銘付田型ブロック（未使用）と収集されていました。「東宮御婚儀」不発行切手は別格に取扱っていたのか、この時は見かけませんでした。田型ブロックでは銘版のないものは、版番号入耳紙付田型ブロックを代わりに集めた凝ったものでした。関東神宮鎮座記念だけは単に下耳付田型ブロックで、ついでにいうと使用済単片も黒色日付印でなく特印でした。

さて、このコレクションで欠けていた銘付田型ブロックは、1）日清戦勝5銭（有栖川宮）、2）同5銭（北白川宮）、3）飛行試行3銭、以上3ブロックだけであとは完揃でした。昭和立太子10銭の銘付田型ブロックが集められていたのには驚きでした。（立太子10銭〔俗に冠（かんむり）〕は我々の垂涎的でした）

この日は切手談義で時間の経つのも忘れ終電車がなくなってしまっ、泊めていただくはめになりました。

この4、5ヶ月後、昭和23年（1948年）の春、私は金井さんにアルバイトとして勤めることになります。そして家に帰るより泊まるが多くなりました。（切手と麻雀で! ?）

× × ×

岡田スタンプ商会の岡田勝夫さんが、立派な青

革表紙のフランク・ゴットン製のアルバム1冊に収まった未使用ばかりの、みごとに手彫切手のコレクションを持ち込んで来たのは、昭和24年（1949年）のことでした。

このコレクションは、戦前の「明鑑」に従って「版」別、紙質（無地、縞紙）、シェード違いと貼り込まれていました。勿論、完全に揃ってということはないわけですが、未集の個処は一目で判るように空けてありました。

そして、各々の切手の状態がとても良いのです。しかも、変種やバラエティーの切手が多いのです。これは時間をかけて良い物へ、より良い物へと入れ換えていった、洗練されたコレクションであることは一目瞭然でした。

岡田勝夫さんの謳い文句は「『墨六』（和紙仮名入り紫褐色6銭）のこれだけの仮名揃は、これを逃すともう一生のうちに入手するのは不可能に近いでしょう、なぜなら、これは伏見宮家から出た品でこのようなことは二度とないからです」とのことでした。たしかに、伏見宮博恭（ひろやす）王は有名なコレクターでウッドワード（A.M. TRACEY WOODWARD）とも親交があったとのことですし、戦後多くの宮家から骨董品、美術品が巷（ちまた）に放出されたというのも事実ですから、この話は信頼が置けました。

このコレクションには別勘定で、鳥15銭（ロ）の「書き十」と「玉六」（ヨ）（洋紙仮名入橙色6銭、仮名（ヨ））の使用済2枚がついていました。金井さんはこの幻の「玉六」（ヨ）に大変興味があり、「これはどうしても入手しなくては」と金策に走り出しました。

（ずっと後になって知ったのですが全部で150万円だったそうです）

さて、この時、岡田さんはもう1冊アルバムを持って来ていました。それはフランク・ゴットンのアルバム・リーフを綴るようにした手製のバインダーでした。それに陸原保編集の「南方切手カタログ（マライの部）」（1948年11月刊）が1部ついていて、「馬來軍政部印」加刷切手そのカタログ

グ分類の通り、ずらりと貼り込んでありました。これもまた、当時、人気の高い切手のコレクションでしたが、金井さんは手彫切手コレクションで手一杯でどうにもなりません。そこで急遽義兄の荻田英二さん呼びました。荻田さんは金井さんの一番上のお姉様のご主人、東大工学部卒の秀才で会社の技術担当の取締役でした。この方が切手収集家で小学生高学年の頃、金井さんに収集の手ほどきをした人で、北支六省加刷切手では一家をなし「京都寸葉」に分類の論文を投稿しています。芦屋郵趣会の会長をつとめています。

金井さんは手彫切手の購入資金の相談もしただろうが、こちらまでは荻田さんは力になれず、南方切手の購入を岡田さんと約束して、帰ってしまい、結局、芦屋のお母様を泣き落として全額出していたいただいたことになるのです。

これが「金井・日本手彫切手コレクション」の基礎になりました。

数週間後、南方切手で取引があった陸原保さんが訪ねて来ました。龍文500文、初期緑色の大きな未使用ブロックを買ってくれというのです。そしてなんと、「岡田から買われた手彫切手コレクションと同じコレクターからのオファーなんですよ」とのこと、その方は猪飼昌一さんとのことでした。

猪飼さんのご実家は江戸時代からの近江（滋賀県）の素封家で、明治初期、琵琶湖畔に鉄道を開設した一族で、ご自身は通産省のキャリア官僚でした。明治38年（1905年）生まれですからこの時44・5歳だったはずです。

すでに高校時代に「郵楽」に懸賞論文「和紙仮名入6銭」で応募して、第二席に入賞しています。昭和24年（1949年）戦後最初の本格的型録、日本郵趣文化協会発行「日本郵便切手型録」（手彫の部は山崎義雄氏担当）の出資者に猪飼昌一の名があります。また、クガハラの「南方切手カタログ」（昭和23年（1948年）刊）の実質的の執筆者、出版者も猪飼さんだったことが判明しました。

陸原さんの話によると、猪飼さんはこの度お役人を退職し、“人工ゴム”だか“プラスチック”だ

かの事業を起こすことになり、全コレクションを手放すことになった、とのことでした。

昭和42年（1967年）頃、有馬温泉「古泉閣」に一夕猪飼さんを招待しました。成長しつつある手彫切手コレクションを見ていただき、今後の収集方法についてのご意見を聞くためでした。しかし実際の最大の意図は「玉六」(ヨ)についてどう見ておられたかということでした。これより前、市田博士と谷喬博士が英文『桜切手』（1965年刊）の写真版を選ぶため、コレクションを拝見に来られ、同じ「古泉閣」に泊りました。翌朝、これとこれとを写真に撮って送ってくれと頼まれた中に、「玉六」(ヨ)はありませんでした。

「どうしてだい」と谷君（谷喬君と私は中学校の同窓生です）に聞くと、気の毒そうに「君あれは駄目だよ」とのことでした。仮名変造だということです。

猪飼さんと金井さんは手彫切手談義に花を咲かせていました。猪飼さんは小島勇之助さんと和紙の無地紙か縞紙かの言い当て競技について話してくれました。「晝一晝はなした位置に切手を置いて紙質を言い当てるのだが、これは色が違うのだよ、「青一」なら濃い青は無地、白っぽい青は縞というようにね」

さて、話が一段落したところで、私が（いやな事を聞くのは私の役でしたから）「わけていただいたコレクションと別に「玉六」(ヨ)をいただきましたが、あれを別にされたのは、どういうことだったのですか」「あれはいけません、小島さんにも見ていただいたのですが、他の仮名の色だと言っておられました、岡田にはそう言って、参考にコレクションを買って下さった方に差し上げるようにと、言っておいたのですがね」ということでした。

「書き十」は気の付いていない切手商から、鳥15銭(ロ)の値段で買ったので、仲介者にお礼としてあげたものだとのことでした。

（「もういいだろう」と手彫切手の処分価の元となる1点ごとの評価額を記入した手帳を送って下さいました。その合計額と、岡田さんの言って来た

『むこうさんの処分希望値』とは相当の開きがありました)

この時、猪飼さんは、ニッサン・プリンス自動車販売の常務で、金井さんに大阪地区の販売代理店になるよう勧めましたが、金井さんはことわりました。(先見の明のある猪飼さんはプラスチック事業に手を出したところ、時期尚早で失敗、親分？のブリヂストンの石橋さんがプリンス自販に推薦したのだとの岡田さんの話でした)

× × ×

未だに、金井・手彫コレクションには「玉六」(ヨ)が抜けています。最近発見された改色「20銭(リ)」を除いて、カタログに番号の付いている切手で未集はこれ1枚です。

これには色々経緯があって、金井さんは信念として入れようとしませんでした。

一昨年(2010年)夏に、この「玉六」(ヨ)のオフアーがありました。「金井個人としては今さらいらないが、博物館としては必要なのではないか？、話を進めてくれ」ということでしたが、先方から気が変わったからと、この話はなかったことになりました。

昨年(2011年)秋、北欧のオークションハウスから「玉六」(ヨ)が発見され、明年(2012年)初夏オークションにかけるから」と写真と同封で、知らせて来ましたが、もう金井さんと相談することもできず、逝かれてしまったので、遂に、金井コレクションには「玉六」(ヨ)は欠けたままとなりました。

× × ×

手彫切手のうちで一番の希少品で、従って入手も困難であるといわれている「和紙20銭(イ)」が昭和33年(1958年)10月開催の、キャスパリーコレクションのオークションに出品にされました。早速、アメリカの切手商リービングストーンに代行を頼んで、落札しました。

市田左右一博士は、昭和34年(1959年)に英文『龍切手』を、昭和40年(1965年)には英文『桜切手』を刊行し、「手彫切手」を世界中に紹介しました。なかでも『桜切手』では、市田さんの提案した“民間印刷”、“政府印刷”という新しい分類法を詳解し、また、版別、仮名別の特徴による分類を説いています。

金井・手彫切手コレクションは、この分類法に従って飛躍的に充実をしました。

市田博士は続いて、昭和43年(1968年)に『墨六』、昭和45年に『青一』を刊行し、仮名別、版別のリコンストラクションの研究結果を発表しました。

現在、金井コレクションでは、「青一」は、未使用単片では7版と19版の2枚のみ「欠」です。(8版A・B、26版輸出用後期印刷はあります)

使用済は、各版マルチプルで完揃、エンタィヤーも完揃です。(26版輸出用後期印刷は共に「欠」なのは当然です)

金井・手彫コレクションで最も力を入れて集めた「墨六」では、(イ)～(リ)、(ヌ)(ル)、(ヲ)12仮名のうち、未使用単片では、現在未発見といわれている(ヌ)のみ「欠」で、未発見といわれている(ル)は「既集」(ある)、使用済、エンタィヤーとも完揃です。

40ポジションでは、(イ)2欠、(ロ)1欠、(ハ)6欠、(ニ)完揃、(ホ)完揃、(ヘ)3欠、(ト)1欠、(チ)1欠、(リ)2欠、(ヲ)7欠、(ヌ)19欠、(ル)21欠、合計63欠。実に、約87%の既集率です。(417/480)

昭和30年代から昭和50年代にかけては、まさに「手彫切手」の黄金時代でした。丁度世代変わりにあっていたのでしょうか。海外で日本手彫切手の専門オークションが開催され、また、手彫切手のコレクションや日本切手のアキュムレーションが売りに出ました。

一方、日本経済も驚異の発展をみせ、世界第2の経済大国の道を歩み始めた時です。金井・手彫コレクションもより良い状態に差し換えられ、質、量とも充実していきました。

日本切手の主なオークション記録

- Copt.E.J.Allen 昭和33年(1958)9月24日
 A.H.Caspary 33年(1958)10月28・29日
 R.S.Levy 37年(1962)2月20日
 ○M.Burrus 38年(1963)10月12日
 R.S.Levy 39年(1964)11月18日
 ○F.H.Gloeckner 42年(1967)4月29日
 ○ " " 6月25日
 ○ " " 12月3日
 H.G.Fletcher 43年(1968)9月11日
 J.K.Lilly 43年(1968)12月5日
 F.J.Peplow 45年(1970)3月16日(手彫シート)
 " 50年(1975)12月14日(手彫コレクション)
 ○O.Koreywo 53年(1978)12月23日
 ○ " 54年(1979)1月27日
 ○ " " 4月21日

○印 金井スタンプオークション

主な切手は海外から買入れたものが多いのですが、記憶に残る国内での譲り受けた切手が2つあります。

一つは、和紙黄2銭(イ)縞紙です。ごく早い時期に市田さんから譲り受けたものですが、これには一通の念書が付いているのです。「この切手は今後鑑定技術が進歩して、未使用でないと判明した場合は無期限にその時の時価で引き取る」というような文面で、市田左右一の署名と仲介人西岡辰二の署名があります。これは朱消を消した疑いがあったからでしょう。(現在はキャスパリーで落札した「無地紙」と並んで貼ってあります)

もう1枚は、洋紙紫褐色6銭(ヨ)です。水原明窓さんから譲り受けたもののなのです。

水原さんが、笹塚から新宿の貸ビルに事務所兼お店を移してすぐの頃でした。「桜切手のコレクションを一括処分したいので見に来てくれ」とのこと、2人で拝見にいったところごく基本的な桜切手の貼込帳を見せてくれました。抜けている場所が多いくらいでした。ところが洋紙の6銭の

(ヨ)未使用が貼ってあるではありませんか、少々しょぼくっていますが、正しく(ヨ)の未使用でした。金井さんは見おわると、全部でいくらかと聞き、値切ることもなく、現金で買うことを約束しました。水原さんの方が嘖然としていました。値切ることで有名だった金井さんの事だからと、相当の値切り代を上積みしてあったのでしょう。この切手は今でも金井コレクションに入ったままです。

× × ×

今、「手彫切手」の人気は、以前程ではありません。そして、徹夜で議論し、オークションで争った方が一人、一人と逝ってしまう昨今です。「金井・手彫切手コレクション」は、栄光を秘めて有馬の切手文化博物館の大金庫に眠っています。何時の日かの出番を夢見ながら。

【金井さん著書一覧】

- ・「モーリシャスの切手 1847－59」
1976年12月発行 発行所 外国切手研究会
- ・“Classic Mauritius－The Locally Printed Postage Stamps 1847-59－”
Stanly Gibbons London 1981
- ・「方寸の魅力」 昭和55年11月発行
発行所 創元社
- ・「方寸一途」平成7年11月発行
発行所 財団法人 郵趣文化センター
- ・「収集に魅せられたわが人生の物語
一枚の切手を手にして八〇年」
2010年5月16日発行
発行所 財団法人 切手文化博物館

金井宏之氏 国際切手展出品履歴

	国際展名	年月日	開催都市(国)	出品作品	受賞
1	S.G.Catalogue Centenary Exhibition	1965	London (UK.)	Mauritius & Japan	(Invited only)
2	SIPEX '66	1966.5.21-30	Washington (USA)	Japan, 1872	Vermail
3	AMPHILWX '67	1967.5.11-21	Amsterdam (Netherland)	Mauritius	(Court of Honour)
4	PRAGA '68	1968.6.22-7.7	Praha (Czechoslovakia)	Mauritius	(Court of Honour)
5	SOFIA '69	1969.5.31-6.8	Sofia (Bulgaria)	Eary Japanese hand engraved stamps and	Large Gold
6	PHILYMPIA '70	1970.9.18-26	London (UK.)	Japan	Large Gold
7	PHILYMPIA '70	1970.9.18-26	London (UK.)	Mauritius	Grand Prix of British
8	PHILATOKYO '71	1971.4.20-30	Tokyo (Japan)	Eary Hand Engraved Stamps and on cover	三笠宮賞
9	BUDAPEST '71	1971.9.4-12	Budapest(Hungary)	Japan	Large Gold
10	ANPHILEX	1971.11.26-12.1	New York (USA)	Mauritius	(Invited only)
11	BELGIA '72	1972.6.24-7.9	Brussel (Belgium)	Trinidad	Gold
12	IBRA MUNCHEN '73	1973.5.11-20	Munchen (West Germany)	Trinidad 1847-1909	Large Gold
13	IBRA MUNCHEN '73	1973.5.11-20	Munchen (West Germany)	Japan 1871-76	(Court of Honour)
14	INDIPEX '73	1973.11.14-23	New Delhi (India)	Province of Canada	Large Gold
15	STOCKHOLMIA '74	1974.9.21-29	Stockholm (Sweden)	Finland	Silver
16	ARPHILA '75 PARIS	1975.6.6-16	Paris (France)	Mauritius (1847-1862)	Grand Prix International
17	INTERPHIL '76	1976.5.29-6.6	Philadelphia (USA)	Mauritius Pence Issues	Large Gold
18	HAFNIA '76	1976.8.20-29	Copenhagen (Denmark)	Finland 1856-1875	Gold
19	AMPHILWX '77	1977.5.23-6.5	Amsterdam (Netherland)	『Mauritius 1847-59』	Silver Bronz
20	AMPHILWX '77	1977.5.23-6.5	Amsterdam (Netherland)	Mauritius 1847-1863	Large Gold
21	ASIANA '77 (FIAP)	1977.10.19-23	Bangalore (India)		(Cout of Honour)
22	CAPEX '78	1978.6.9-18	Tronto (Canada)	Mauritius	Grand Prix D'Honneur
23	CAPEX '78	1978.6.9-18	Tronto (Canada)	Nova Scotia	Gold
24	PRAGA '78	1978.9.8-17	Praque (Czechoslovakia)	Mauritius	(Court of Honour)
25	INDIA '80	1980.1.25-2.3	New Delhi (India)	Finland	(Court of Honour)
26	LONDON 1980	1980.5.6-14	London (UK.)	Classic Mauritius 1847-1859	(Court of Honour)
27	LONDON 1980	1980.5.6-14	London (UK.)	Finland 1856-71	Large Gold
28	PHILATOKYO '81	1981.10.9-18	Tokyo (Japan)	Japan	(Court of Honour)

	国際展名	年月日	開催都市(国)	出品作品	受賞
29	PHILATOKYO '81	1981.10.9-18	Tokyo (Japan)	『Classic Mauritius 1847-1859』	Vermail
30	PHILATOKYO '81	1981.10.9-18	Tokyo (Japan)	『Hosun-no-Miryoku』	Silver
31	AUSIPEX '84	1984.9.21-30	Melbourne (Australia)	New Brunswick & Nova Scotia	Large Gold
32	STOCKHOLMIA '86	1986.8.28-9.7	Stockholm (Sweden)	Finland Classical Issues	Large Gold
33	FINLANDIA '88	1988.6.1-12	Helsinki (Finland)	Classic Finland	Grand Prix National
34	INDIA '89	1989.1.20-29	New Delhi (India)	Classic Finland:1856-1874	FIP Championship Class
35	LONDON '90	1990.5.3-13	London (UK.)	Finland:Classics	FIP Championship Class
36	PHILANIPPON '91	1991.11.16-24	Tokyo (Japan)	Japan	(Court of Honour)
37	GRANDIA '92	1992.4.24-5.3	Granada (Spain)		Jury memmber
38	BANGKOK '93	1993.10.1-10	Bangkok (Thailand)	Japan	(Court of Honour)
39	PHILAKOREA '94	1994.8.16-25	Seoul (Korea)	1856-1875 Classic Finland	FIP Championship Class
40	PHILAKOREA '94	1994.8.16-25	Seoul (Korea)	Mauritius Postal History	Large Vermail
41	FINLANDIA '95	1995.5.10-15	Helsinki (Finland)	Mauritius Postal Stationery	Vermail
42	Rare Stamp of the World	1995.7.6-8	London (UK.)	Finland	(Invited only)
43	JAKARTA '95 (FIAP)	1995.8.19-25	Jakarta (Indonesia)	1861-1900 Mauritius Postal Stationery	Vermail
44	SINGAPORE '95	1995.9.1-10	Singapore (Singapore)	Finland	(Court of Honour)
45	SINGAPORE '95	1995.9.1-10	Singapore (Singapore)	1861-1900 Mauritius Postal Stationery	Vermail
46	Zen-Nitten '96	1996.4.13-21	Tokyo (Japan)	Japan	Special Prize
47	ISTANBUL '96	1996.9.27-10.6	Istanbul (Turkey)	Classic Japan	Large Gold
48	ANPHILEX	1996.11.28-12.2	New York (USA)	Japan	(Invited only)
49	NORWEX '97	1997.4.16-21	Oslo (Norway)	Mauritius Postal History	Vermail
50	PACIFIC '97	1997.5.29-6.8	San Francisco (USA)	1856-1875 Classic Finland	FIP Championship Class
51	PACIFIC '97	1997.5.29-6.8	San Francisco (USA)	Classic Japan	(Court of Honour)
52	INDEPEX '97	1997.12.15-22	New Delhi (India)	Classic Finland:1856-1875	FIP Championship Class
53	INDEPEX '97	1997.12.15-22	New Delhi (India)	Japan Classics	Large Gold
54	SINGPEX '98 (FIAP)	1998.7.23-26	Singapore (Singapore)	Mauritius Postal History 1770-	(RDP Court of Honour)
55	AUSTRALIA '99	1999.3.19-24	Melbourne (Australia)	Finland	(Court of Honour)
56	CHINA 1999	1999.8.21-30	Beijing (China)	Classic Japan, 1871-1876	Grand Prix International
57	PHILANIPPON '01	2001.8.1-7	Tokyo (Japan)	Japan	(RDP Court of Honour)
58	BANGKOK 2003	2003.10.4-13	Bangkok (Thailand)	Japan Hand Engraved Issues From 1871 To 1876	Grand Prix D'Honneur

金井さんを偲びつつ

根岸 昭二

金井さんの訃報を郵趣連合と稲門フィラテリーの関係者から知らされた時に、真っ先に思い浮かんだことは、日本郵趣会の巨星を我々は失ってしまったのだと云う現実でした。

後日執り行われたお別れの会にお伺いして、温顔あふれるお写真に献花すると、60有余年にわたるなき先輩とのご交誼の様が走馬灯の流れとなって私の頭の中を過ぎりました。

早大切手研究会の発足当時、確か千駄木にあった金井重要工業の東京支店長宅で行われた例会が思い出されました。橘さんの奔走による童話会の会室の利用と云う、会としての存在が問われる時代のひとこまでした。

学生時代の先輩との係わり合いは、私の病欠による休学で、ブランクのまま過ぎてしまいました。

3年間の足止めの後、復学を果たし、社会人となつての1981年のフィラ日本の国際展で、先輩との係わり合いが復活しました。

日本郵趣連合の責任者としてのお立場からご指導を受け、連合の監事、理事を経験した私は1991年にFIPの審査員見習を何とかクリアする事が出来ましたのも、当時、私のパートのチームリーダーであった先輩のおかげだったことにほかなりません。

日本郵趣連合の理事として、また、FIPの審査員活動を何とか務められたのも、金井さんの日本郵趣界に対する惜しみない情熱に触発され、その足跡を必死に追いかけて来た結果でした。

金井さんの二大著書“方寸の魅力”と“収集に魅せられたわが人生の物語”をお読みになれば、自然と切手に親しんだ生活の全貌を知ることが出来ます。一日のうち、何時間かは必ず切手とのかかわり合うとおっしゃったお言葉は、今でも忘れません。

1999年、オーストラリアのメルボルン世界展にコミッショナーとして出かけた際に、招待作品、金

井さんのフィンランドコレクションが、あまりにも高額のため、税関通過の折、トラブリ、出発ぎりぎりまで絞られ、冷汗をかいたのも、今は私にとって、懐かしいエピソードのひとつです。

何事にも正面から取り組んだ金井さんが建設した切手文化博物館の平成17年のオープニングセレモニーにお招きいただき感激しましたが、その時、私だけの喜びを味わいました。私の守備範囲である、ウエスタン・オーストラリアのブラックスワン切手を天然の貝にはったエンタィアー？が展示されていたのには感服脱帽。

お冥福をお祈り申し上げます。 合掌。



お別れの会にて(2月21日：大阪)

方寸院釋孝仁

小西 邦彦

故人の業績なり、人となりを云い現わすのが戒名とされていますが、早大切手研を創始、更に長年に亘り日本の郵趣界を牽引された金井先輩にこれほどふさわしい法名はないと思われます。

2月21日、大阪リーガロイヤルホテル「光琳の間」でとり行われた「お別れの会」に、稲門フィラテリーを代表して参席致しました。現地に詳しい五十野和男会員にも同席願いました。

式はまず裏千家による献茶式で始まりました。私共は、祭壇の写真を撮る必要からも、一般参列者の先頭に並び、花に埋もれた先輩の遺影をカメラに収めました。特筆すべきは遺影の額縁です。巨大なものでしたが、額全体が切手で覆われているのです。出棺に立ち会われた方のお話では、通常遺体の周りには花が敷き詰められるのですが、金井先輩の場合は切手が花に代わって敷き詰められていたとか。故人の生前からの願いだったかと思われます。

弔電は内外代表で2名のみ。そして麻生太郎とビル・クリントンの弔電が読み上げられました。

献花が終わると列は隣室へと進みます。その大広間の正面には、日本切手の手彫りの名品がガラ

スペースに並び、沢山のメダルや賞状・写真が展示され、長年の偉業をしのばせるものとなっており、残る三面には名だたる大阪の名店の模擬店が並び、30人もの美しいコンパニオンがサービスに努め、我ら両人は故人を偲び、式の最後まで長居をしました。

会場で出会った顔は、橘・根岸両先輩はもとより、五十野会員の小学校時代の恩師、ボーイスカウトでは後輩にあたるという郵趣協会理事長の福井氏、私のなじみでは昔の切手商組合のトップや、沢山の切手界のお歴々。かつての切手収集全盛時を彷彿とさせるにぎやかなものでした。

帰路、夕暮れの中、シルエットとなって浮かぶ富士山があざやかでした。

会場で配られた方寸一途の目録と2枚のクオカードをご覧ください。また2010年刊の金井先輩の自叙伝「収集に魅せられたわが人生の物語」（非売品）を、切手文化博物館学芸員・長嶋和重氏よりご寄贈いただきましたので貸し出しを行っております。英国海外郵趣内の稲フィラ事務局宛にお申し込みください。



切手で覆われた遺影の額縁

粗 供 養



切手収集家としての金井宏之の名を世界に広めた2種の切手
「モーリシャス “Post Office” 1ペニーと2ペンス完全揃カバー」



金井宏之が設立した切手文化博物館
明治四年三月一日、日本で初めて発行された竜をデザインした切手

方 寸 一 途

故 金井宏之
～社業の傍ら、切手収集に人生を捧げた男～

5歳の頃、ギリシャから来た手紙に貼られていた切手をきっかけに収集が始まった。

- 昭和52年 (1977年) ● 日本郵趣連合会長に就任。同連合の財団法人化を進め、昭和54年3月、日本郵趣連合は財団法人の認可を受け、平成14年まで会長を務める。
- 昭和53年 (1978年) ● モーリシャス・コレクションにてグランプリ・ヌール (最高名誉賞) を受賞 (カナダトロント)
- 昭和58年 (1983年) ● 国内で発行される切手の選定審議決定をする郵政審議会専門委員に任命される。
- 昭和59年 (1984年) ● 多年にわたる郵便事業への理解と、郵趣文化振興への貢献により郵政大臣表彰を受ける。
- 昭和63年 (1988年) ● フィンランド・コレクションにてグランプリ・ナショナルを受賞 (フィンランド・ヘルシンキ)
- 平成元年 (1989年) ● 財団法人郵趣文化センターを設立。理事長となる。
- 平成5年 (1993年) ● スコットランド、エジンバラにて郵趣界において最高の名誉とされる「ロール・オブ・ディステイニング・フィラテリスト」に署名。
- 平成11年 (1999年) ● 郵趣普及への貢献により、勲四等瑞宝章を受章。
- 平成15年 (2003年) ● 日本手彫切手コレクションにてグランプリ・ヌール (最高名誉賞) を受賞 (タイ・バンコク)
- 平成17年 (2005年) ● 神戸市有馬温泉に切手文化博物館を開館、館長となる。
- 平成19年 (2007年) ● 財団法人の名称を「財団法人切手文化博物館」に改称。郵趣文化振興のため、博物館の運営に尽力する。



フィンランドコレクション / 授賞式



「辰切手紙二十銭(イ)」



平成22年 著書
「収集に魅せられたわが人生の物語」



お別れの会参列者に贈られたクオカードと方寸一途

切手デザイナー 森田基治氏の講演開催

去る3月3日に開催された切手教室は、「特殊鳥類シリーズ」や「水辺の鳥シリーズ」など数多くの切手の原画を手がけたデザイナー、森田基治氏を講師に招いて開催された。切手教室始まって以来の31名の参加者が集まり、切手デザインの苦労やさまざまな技術背景などを興味深く拝聴した。

デザイナーという仕事は、従来は与えられたお題目で図案を描くだけと見なされていたが、森田さんは「特殊鳥類シリーズ」以降、芸芸官によるシリーズ全体の企画に積極的に取り組まれたとのこと。時には印刷局の滝野川工場に自ら出向き、200人の技術者を前に話をしたこともあったという。「原画は地図」であり、この色とこの色を使うとこんな色になるだろう、ということを考え、色を読みながら描く、という。4～5回は試し刷りを行い、デザイナーが印刷所に出向いて出張校正を行う、という話からは、一枚の切手にかかる情熱が感じられた。外国ではデザイナーがそこまで口を出すことは少ないそうである。日本の技術力の高さを

感じさせるエピソードであった。

森田さんが手がけた「自然公園50年記念」はオフセットであるが、20枚シートを良く見ると各切手で背景の色合いが微妙に異なること、平成の普通切手は季節感のない題材を選んでいることなど、改めて切手を見直してみたいくなる話題も多く、一時間半があつという間であった。(編集部)



森田さんデザインの『自然公園50年記念』講演後、サインをいただいた。

稲門フィラテリー主催

第86回切手教室：「郵便切手の原画とデザイン」 元切手デザイナーの森田基治さんを講師に迎えて開催

●切手教室始まって以来の混雑ぶり

3月3日(土)、東京・新宿北郵便局会議室で、元日本郵政・切手デザイナーとして多くの業績を残した森田基治氏を講師に迎え、稲門フィラテリー(早稲田大学切手研究会OBの会)による第86回切手教室が開催された。

森田氏といえば、手がけた多数の切手の中でも、「特殊鳥類シリーズ」や「昆虫シリーズ」、「水辺の鳥シリーズ」をはじめとした細密な原画にファンも多い。当日は会議室に30数名の参加者が集い、切手教室始まって以来の最多

人数を記録。静かな熱気の中、森田氏による切手デザインの軌跡が語られた。

郵政省(当時)入省直後の1977年、「万国郵便連合加盟100年記念」などから始まった森田氏のデザインだが、大きなターニングポイントとなったのが1983年から発行された「特殊鳥類シリーズ」全5集で、芸芸官が企画から関わった最初のシリーズだったという。

また、代表作の1つといえる平成切手では、「日本の自然」をテーマに、「統一感を持たせる」、「明るい感じで」、「あまり季節感が出過ぎず、通年で使用して違和感がないもの」など普通切手ならではのさまざまな制約の中でデザインし、いろいろな苦労を重ねたそうである。

●切手制作秘話の後はサインを求める姿も

そのほか、数々の切手デザインにまつわる貴重なエピソードが1時間半ほど披露された後は、質疑応答の時間。

森田基治氏：元日本郵政切手デザイナー。1976年に郵政省入省以来、普通切手など多数のデザインを手がけ、2011年3月退社。現在フリーのデザイナー。



熱心な参加者から意欲的な質問が多数寄せられた。

また講演終了後は、森田さんの原画がデザインされたはがき(当日無料配付)にサインを求める参加者の姿も見られ、賑わいの中、貴重な講演は幕を閉じた。



▲会場の様子。右端奥が森田さん。



▶会場では、森田さんの切手原画をデザインしたはがきが数種類配付された。サインをしてもらったラッキーな人もちらほら。

金井宏之追悼切手展開催

1月26日に88歳で逝去された金井宏之顧問の追悼切手展が、5月16日から21日にかけて有馬の切手文化博物館で開催された。展示では、手彫切手やフィンランド切手のコレクションが公開された。5月16日は金井さんの誕生日。



▲▶
展示案内のポスターと
小型印



稲フィラ見学旅行開催

2012年4月20日から21日にかけて、恒例の稲フィラ見学旅行が開催された。今年は箱根駅伝のコースとたどる、大手町から箱根へのバス旅行であった。途中、駅伝の中継所に近い局で押印を楽しみながらの旅行となった。詳細は次号にて会員の旅行記を掲載予定。



箱根駅伝栄光の碑にて

訃報

会員の武田文也氏(昭和41年文学部卒)は昨年9月23日に68歳にて逝去されました。

切手教室

第87回 4月7日「国内郵便料金の変遷と切手」
講師：宮鍋益治



第88回 6月2日「郵便に見る元号
—明治・大正・昭和」講師：野口喜義氏

第89回 7月7日「外国向け郵便料金の変遷」
講師：宮鍋益治氏

稲フィラ常設切手展

第19回 ロンドン・オリンピック7月27日開幕！

開催日時：2012年7月11日～9月上旬

第20回 ロンドン・オリンピック終わる！

開催日時：2012年9月上旬～12月上旬

場所：新宿北郵便局

第13回オープン切手展入賞記録

金・特別賞「National AirMail Week, May15 - 21, 1938」(和田文明会員)

銀・特別賞「六千人のユダヤ人を救った日本人
杉原千蔵」(荒木寛隆会員)

会期：4月27日～29日

会場：都立産業貿易センター台東館

編集後記

今月号は、早大切手研の顧問である金井さんの追悼記事で特集としました。今回の編集を通じて、あらためて大先輩の偉業に触れた思いがしました。引き続き、一般の原稿も募集しておりますので、よろしくお願いします。(池)

発行日：2012年6月1日

発行：稲門フィラテリー

発行人：小西 邦彦

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4F

(株) 英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉沢 忠一 池澤 克就

稲門フィラテリー 第45号

2012年9月1日発行

箱根駅伝のコースをたどる旅

—— はやく こいこい お正月 ♪♪ ——

・・・参加したみんなの今の気持ち・・・

磯野 昭彦

平成24年度稲門フィラテリー見学旅行は、アイデアから旅行当日のガイド、会計にいたるすべてを諸田さんにおんぶしてしまった。参加者一同感謝のひとつで、かつ全員が大いに満足できたすばらしき旅となった。

そのわけ。出発後わずか1時間ほどの鶴見中継所でみんなが駅伝選手気分になりきってしまったからだ。その詳細は後述する。

参加者は以下の通り。

小西邦彦、杉山光雄、坂下泰一、磯野昭彦、宮鍋益治、高橋仁、諸田志郎、占野靖長、村井悌二、稲田比島志、の10名。

●旅のはじまり

4月20日、改築中の東京中央郵便局がすぐ近くから見える場所に集合。嶋村さん（不参加）幹旋の貸切帝産バスに乗り込む。定員27名なので贅沢至極。諸田さんから旅を楽しめるようにとこの日のために作成した地図などの資料を、坂下さんからは各区間にあった明治時代の郵便局の切手付消印コピーが配られた。このコピーは、これから立ち寄る郵便局で風景印など押印の台紙に使用できるようになっていた。

まずは、バスで走破した駅伝往路コースと主な出発・到着・通過時刻を記そう。

4月20日

8:45 東京海上日動ビル本館前出発



箱根駅伝栄光の碑にて

- 8:52 往路スタート地点通過
(大手町読売新聞社旧東京本社前)
- 9:54 鶴見中継所到着
- 10:04 駅伝記念像前で記念写真撮影し出発
- 10:30 横浜中央郵便局前到着
- 10:55 出発
- 11:45 戸塚中継所通過
- 12:32 平塚中継所通過
- 13:10 小田原だるま料理店到着、昼食
- 14:20 小田原郵便局に寄ってから出発
- 14:24 小田原中継所通過
- 15:15 往路ゴール地点到着
(箱根町芦ノ湖駐車場入口)
- 15:45 箱根町郵便局に寄ってから出発
- 16:15 強羅・紀州鉄道箱根強羅ホテル到着



東京中央郵便局（時計に針がない）



大手町の往路スタート地点



デラックス貸切帝産バス

4月21日もついでに簡単に。

- 8:55 ホテル前で記念撮影し出発
- 9:15 大涌谷
- 10:10 箱根神社
- 11:00 箱根駅伝ミュージアム
- 12:20 小田原鈴広、昼食
- 13:15 復路小田原中継所標識確認後出発
- 13:35 ういろう（菓子と菓の店）
- 13:50 出発、東名高速へ
- 15:40 東京海上日動ビル本館前到着、解散

● 往路（スタート・中継所・ゴール）

0. 出発

出発の定刻8時30分、早くも出発前トイレタイム。東京海上日動ビル本館トイレの混雑で15分延発。バスガイドはもちろん諸田さん。名ガイドがはじまる。

1. スタート地点

7分後箱根駅伝往路スタート（復路ゴール）地

点である大手町読売新聞旧東京本社前を確認（駐停車禁止道路なので徐行で通過）。

2. 鶴見中継所（大手町から21.4km）

大手町から約1時間。鶴見中継所は他の中継所と異なり国道上でなく国道に沿った側道で襷を中継するのである。バスも側道に入り、ゆっくり走行になったとき、誰かが「あっ、みつけた」と。襷を受け渡す選手像である。今まで駅伝のTV中継でも見たことがない。占野さんが、バス駐車はないとして、あわてて車内からパチリ。



鶴見中継所の箱根駅伝記念像



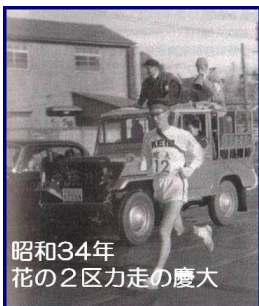
箱根駅伝記念像の前にて

バスの運転手さんは気を利かせて一旦停車してくれた。側道なので少し止まってもらうことにし、全員下車してこの像を眺めたり触ったり、子どもみたいにみんな嬉しそうに見入っていた。この予期せぬ箱根駅伝記念像発見は最大のハプニング・サプライズ。「来年からTV中継を見る目が変わるぞ。楽しみ倍増だ」（高橋さん）、「来年の箱根駅伝の中継を見るのが今から楽しみだ」（稲田さん）と盛り上がった。これで、参加者はそれぞれの想いが掻き立てられた。記念写真を撮るなどハッピータイムとなった。

この像は平成9年鶴見区制70周年記念建立の東京箱根間往復大学駅伝競走記念像「明日へ走る」である。

このたった10分間で、みんな選手になって走っているような気分になってしまった。今回の旅行成功を確証。その通りになったのはいうまでもない。記念像に名残惜しんで出発。

11時10分ごろ、渋滞する保土ヶ谷付近。ここを、昭和34年に2区を力走する慶応小池選手（実は、磯野の高校同級生）の写真と今を比べる。ユニフォーム、伴走車などずいぶん古くさい。なんといっても応援の観衆がまったく見当たらない。



昭和34年
花の2区力走の慶大



戸塚中継所



平塚中継所



小田原中継所

3. 戸塚中継所（鶴見から23.2km）

交通量が多い国道なので駐停車できず。しかし、諸田さんのわかりやすいガイドで窓越しに中継地点を見届けることができた。

4. 平塚中継所（戸塚から21.5km）

ここも、戸塚中継所と同じ、窓越し確認のみ。

5. 小田原中継所（平塚から18.5km）

小田原中継所は、往路と復路と位置が異なる。往路は戸塚、平塚と同じ、中継地点を見ただけで通過。

湯本を過ぎ塔之沢、ここからが名物山登りだ。大平台、宮ノ下になるとテレビ中継では描写されない勾配のキツさに「バスでさえ喘ぎながら登るところを、走って登る選手は人間ではないですよ」（高橋さん）という嘆息が飛び出した。言葉では表現できない体感は強烈だった。



往路ゴール地点・復路スタート地点とその標識

なお、翌日、復路の小田原中継所標識を確認できた。鈴広前にある車道からは見えにくい高さの標識であった。



復路小田原中継所の標識

6. 往路ゴール（小田原から23.4km）

ゴール間近、おなじみの箱根関所南の信号を右折すると、芦ノ湖を背景にゴール標識が見えた。箱根町芦ノ湖駐車場入口である。箱根駅伝のすごさを充分満喫して往路ゴールイン。

往路バス所要時間は6時間23分。休憩、食事、郵便局立寄時間を除くと実走行時間は4時間38分、今年第88回大会の東洋大学往路記録5時間31分に勝つことができた。

7. 国道1号線ばかりじゃなかった

スタートからゴールまでの道路はほとんどが国道1号線と思っていたのは大きな思い違いだった。走行中に道路標識を見ていたら次の通りだった。走行した道路：

- ・本郷通り（都道403号、大手町まで）
- ・日比谷通り（都道409号、三田まで）

- ・第1京浜（国道15号、横浜郵便局前まで）
- ・東海道（国道1号、藤沢バイパス分岐まで）
- ・湘南新道（県道30号、茅ヶ崎小和田まで）
- ・国道134号（大磯まで）
- ・東海道（国道1号、箱根関所南の信号まで）

● 往路ゴール付近に点在する碑、標識

芦ノ湖湖畔のゴール地点近くには、数多くの箱根駅伝の碑、標識があった。今後いろいろな建立者によって碑の数は増え続けるであろう。そして、このあたりは、箱根駅伝広場といわれるようになると予想した。

1. 往路ゴール、復路スタート地点標識

2. 箱根駅伝記念碑（以下3つからなる）

- ・東京箱根間大学駅伝競走記念碑
- ・駅伝を讃えて 詩碑
- ・箱根駅伝栄光の碑・若き力を讃えてのブロンズ像（台座に優勝校の記録）

3. 禪の石碑

裏に第5区コース高低説明図



東京箱根間大学駅伝競走記念碑



駅伝を讃えて 詩碑



東京箱根間往復大学駅伝競走優勝の記録									
大会開催年度	優勝校	記録							
第80回	2004 平成 16 年	駒 野 大 学	11:07:51						
第81回	2005 平成 17 年	慶 應 大 学	11:02:08						
第82回	2006 平成 18 年	慶 應 大 学	11:09:26						
第83回	2007 平成 19 年	慶 應 大 学	11:05:20						
第84回	2008 平成 20 年	慶 應 大 学	11:05:00						
第85回	2009 平成 21 年	慶 應 大 学	11:09:51						
第86回	2010 平成 22 年	慶 應 大 学	11:10:53						
第87回	2011 平成 23 年	慶 應 大 学	10:58:51						
第88回	2012 平成 24 年	慶 應 大 学	10:51:38						

箱根駅伝栄光の碑（台座に優勝校の記録）



絆の石碑

●立ち寄った郵便局

1. 横浜中央郵便局

局に入り、窓口で風景印などの押印を依頼したところ、別の場所できちんと押印していますといわれた。そうだ、今日は郵政記念日で特殊切手「切手趣味週間」発売日だったと、やっと気付いた。一旦外に出て別の局員専用の出入口から入り、2階の会議室のような場所にたどり着く。押印してくれる人7、8人が丁寧に押印していた。

横浜中央郵便局建物には郵便局株式会社横浜中央郵便局と郵便事業株式会社横浜支店が同居しており、郵便局会社の風景印は「横浜中央」で、事業会社の風景印は同じ図案で「横浜」だった。



横浜中央郵便局



小田原郵便局



だるま料理店

2. 小田原郵便局

だるま料理店で昼食後、ちょっと歩いたところにあった。小田原郵便局前バス停留所には小田原駅行が1分間隔位でやってくるのを見て、小田原郵便局は繁華街ど真ん中なのと思った。

「だるま料理店」は、小田原在住の古怒田さん（不参加）に推薦してもらった店。古怒田さんさいいれの鰻のたたきは天下一品、一同大いに感謝。

3. 箱根町郵便局

局員数人と局長しかいない郵便局。10人ものわ



箱根町郵便局と局舎内

れわれがどやどやと入り込むと、局員はなにごとかというビックリ顔。次々とお揃いの台紙(坂下さん作成)に風景印などの押印を頼むと、局長(と思う)は局員とともに、「こりゃ大変」という様子だった。

坂下さんが台紙を1枚取り出し明治時代の消印のことをていねいに説明した上で、この台紙を局長に差し上げたら大いに感謝された。特に小田原局や箱根町局の消印は気に入ったようで、宝物をもらったかの喜びだった。

もうひとつ驚いたことに、日本の郵便の父と題して前島密の大きな写真と木彫りの略年譜が局内壁面に飾られていたことだ。由緒ある郵便局と思い、後日、坂下さんに調べてもらったところ、次のことが判った。

日本の郵便局発祥は明治4年3月1日で65局が開局、当時の正式名称で郵便役所が3、郵便取扱所が62。今の箱根町郵便局はそのひとつで箱根郵便取扱所として開局された日本最古の局である。

箱根町郵便局の明治時代沿革

箱	根	はこね	相模
			足柄下郡
4.	3.	1	郵便取扱所(開局)
6.	一.	一	四等郵便役所
8.	1.	1	四等郵便局
18.	10.	1	貯金
19.	4.	26	三等郵便局
23.	4.	1	為替
24.	3.	21	三等郵便電信局
36.	4.	1	三等郵便局
43.	3.	11	箱根町(はこねまち)と改称

全国郵便局沿革録 明治篇 より
提供 坂下泰一

4. 立ち寄った3局の風景印と黒活印

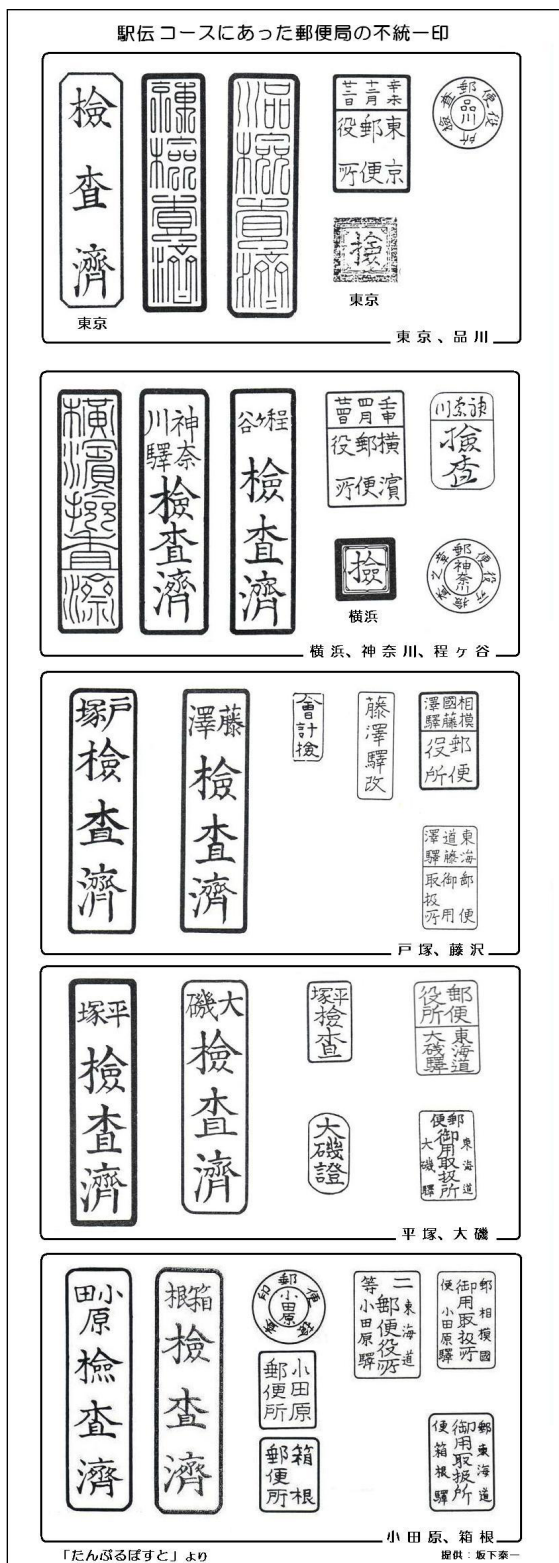
今回立ち寄ることのできた局で収集した風景印と黒活印を下に示す。



箱根駅伝コースにある郵便局のうち
立ち寄ることができた3つの郵便局

3局の風景印・黒活印
(横浜局・小田原局・箱根町局)

●駅伝コースにあった郵便局の不統一印
旅のはじまりにもらった箱根駅伝コースにあっ



駅伝コースの不統一印

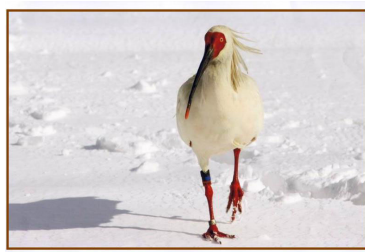
た明治時代の郵便局の切手付消印コピーにはない
明治初期の不統一印のいくつかを改めて紹介する。

●お宝拝見

夕食後、稲フィラ見学旅行毎年恒例のお宝拝見
の時間、今年は次の4つ。

1. 坂下さん：朝、バスでいただいた東京箱根間
にあった郵便局の切手付消印コピーの現物。やはり、
現物は美しい。希少価値の極めて高いものばかり
だった。

2. 宮鍋さん：台湾数字切手。太平洋戦争末期、日
本領地だった台湾が日本からの切手配給が途絶え
たことで現地印刷された日本の地方切手。発行後
すぐに中国軍に郵政が接收されたため、発売は超
短期間で中華民国政府により加刷されて使用され
たもの。その短期間の最初と最後の日付消印が
揃っている。すごい。わずか4リーフにうまくまと
めたさすがの郵趣品だった。



高橋さんのトキの写真



応援記念小旗とタオル (西村さん提供)

3. 高橋さん：新潟総合テレビ局の”大好き！にいがた！”キャンペーンフォトコンテストに入賞したトキの写真（A4）が参加者全員に配られた。コマーシャルやカレンダーにも採用されたとのこと。来年もいい写真を。

4. 西村さん：不参加でしたが、特別出品でした。第88回箱根駅伝の記念の読売新聞社応援記念小旗と早稲田大学応援タオル。以前の小旗は紙製だったが、今は雨、雪に降られてもいいように樹脂フィルム製。

● 箱根駅伝ミュージアム

箱根駅伝ミュージアムと約束した時間に、国道の方からミュージアムに近づくと、箱根駅伝沿道に見られる大学名入のぼりが多数見えてきた。どういわけか早稲田大学がない。ミュージアムに入り受付嬢に「なぜないの？」と聞いたら「早稲田大学はシード校なので表門にあります」と。芦ノ湖側の表門にまわったらいちばん目立ついい位置にあった。副館長川口賢次さんが、われわれを歓迎しようと、また、いい記念写真が撮れるようにと配置してくれていたのだった。

川口さんも早稲田大学出身で小さいときから箱根駅伝の虫だったとのこと。今年2月、日本経済新聞文化欄に箱根駅伝ミュージアムについて寄稿した有名人である。

館内の箱根駅伝ヒストリーゾーンで、川口さんはわれわれワセダマンを意識して、写真、年表、記録のパネルをもとに隠されたエピソードを多くとりいれ丁寧に説明してくださった。また、箱根駅伝最大難所宮ノ下付近の勾配15°の坂を体験できる実勾配コーナが設けられ、選手は復路一步で15cmも降りるという説明に一同驚嘆。選手が使用したシューズ、ユニフォームなど貴重品が多く展示されていた。ミュージアムショップには欲しくなるグッズがいっぱい並んでいた。





宮鍋さんの台湾数字切手



箱根駅伝ミュージアムのチケット



第88回箱根駅伝記念の缶ビール

あっという間に予定の1時間が過ぎてしまった。
また、見に来たくなった。

●観光と旅のおわり

せっかくの箱根だからということで、翌日21日、朝から大涌谷、箱根神社を巡った。

雲の多い大涌谷から裾野しか見えない富士山を拝み、少し遠くの地面から吹き出るガスを眺めながらのんびりと散策を楽しんだ。

箱根神社では、鳥居をくぐり90段もある正参堂石段を登り本殿にお参り、あるいは神奈川銘木樹高35mの矢立のスギを仰ぐなど、各自自由に周辺を楽しんだ。

そして、箱根駅伝ミュージアムを経由して、小田原名物鈴広かまぼこの里で昼食。



箱根駅伝ミュージアムにて



紀州鉄道箱根強羅ホテルにて
宿泊した紀州鉄道箱根強羅ホテルにて



大涌谷から眺める富士山



鈴廣かまぼこの里



箱根神社の矢立のスギ

次に、ちょっと風変わりなお菓子と菓の店「う
いろいろ」に立ち寄った。

帰路は心地よい東名高速、バス内では西村さん
さしいれの酒に、みんな来春の箱根駅伝のことを
考えながら最高の気分になって旅はおわりとなっ
た。

●付記

最後になりましたが、本稿作成にあたり、坂下
さんには、多くの資料提供や調査をいただきました。
大変ありがとうございました。

東京スカイツリーに魅せられて

— 写真と風景印と記念カバー —

三村 正光

時空を超えたランドスケープ 世界一の高さを誇る自立電波塔、東京スカイツリーがついに完成！去る5月22日開業したスカイツリーは2008年7月14日に建設に着工したが、写真を趣味とする私には被写体の対象として心躍るものがあった。建設中の姿は二度と撮れないと世のカメラマンは季節の写真をその風景とともに撮り、朝景、夕景、イベントの写真を撮りまくった。

私も御多分にもれず、北十間川の十間橋からの逆さツリー、近くの踏切から特急スペーシアを入れて、浅草寺の鯉のぼり、クリスマスライトアップ、お月様とツリー、隅田公園の桜、つつじを入れて、亀戸天神からのツリー、四つ木の荒川土手からは夕焼けの空にそびえるスカイツリー等を撮った。これらの撮影の為に足を運んだ回数はこの2年間で三十数回になった。撮った写真のうち、昨年末のクリスマスライトアップ時に撮影した写真が夕方のNHK番組で採用され放送された（写真1）。放送決定の電話連絡は当日放送開始直前の1時間前だったので余りお知らせも出来なかったが、多数の方から「TVで見たよ」と電話をいただいた。これもスカイツリーのお蔭だと大変嬉しく有難く思った。

また、新聞、ネットでは「遠方からだと何処の地点からスカイツリーが見られるか」と話題になり、私も高尾山、御岳山からツリーを見て写真に収めた。ツリー効果は話題が高まるにつれ便乗組を生み様々な波及があった。

そして、スカイツリーに何とか昇りたいと思い、年明けからインターネットで調べたり、旅行社に問い合わせしたり、色々画策した。東京スカイツリーのネット抽選より早く申込みを受付けたのが「はとバス」だった。開業3ヶ月前の2月23日、唯



写真1 NHKで放送された
クリスマスライトアップの写真

一第2展望台に昇るコースがあり夫婦2人でネット、自宅電話、携帯2台を駆使して5月23日のチケットを取得した。又、夜景を是非見たいと思ってスカイツリーの抽選に申込み、5月28日17:00のチケットを入手して2回昇って来た。5月23日は前日オープン日の雨模様とは違い、一転晴れて展望台からは都心は元より横浜から富士山までパノラマの絶景を満喫できた。この感動は昇った者だけが享受するもので、是非一度世界一の展望台からの風景を堪能して貰いたい。5月28日も天候に恵まれ、展望台からは東京タワー、東京ゲートブリッジのライトアップや東京の百万ドルの夜景を体感できた。勿論、両日とも写真を撮りまくったことは言うまでもない。

東京スカイツリーが初めて切手として登場したのは、平成23年4月15日に発売された「地上

テレビ放送の完全デジタル化」である。同年7月24日にアナログテレビ放送終了とデジタルテレビ放送開始を記念して発行されたもので、東京スカイツリーと東京タワーの新旧の電波塔2種を配した切手である(写真2)。勿論切手は購入したが、まだこの時点では自ら「初日カバー」を作成する気持ちはなく、スカイツリーへの熱い思いから切手商からそれを購入した(写真3)。切手商によると、今「初日カバー」は殆ど売れないと言う。理由は切手収集熱の落ち込みと最近発行される切手が周りに絵柄やデザインの入った10枚連刷のシートが多く「初日カバー」を作りにくいからだ。最近の私の切手収集は、ふるさと切手を含めて発行数が多くなったこと、またこれらの切手を毎回購入して後々どうなるんだろうなどということを考えて数年前より自分の興味、関心のあるものだけ買い求めている。これは私の趣味が写真や登山など他に移ってきただけで大いに関係していると思われる。

その後、東京スカイツリーに関する記事が溢れる雑誌類を書店の店頭で覗いていると、スカイツリー周辺の墨田区、台東区管内で「スカイツリーの入った風景印作成が予想される郵便局」という記事が目にとまった。早速、ネットで墨田区、台東区内の郵便局を調べ、現在風景印が有るか無いか、地図を広げてスカイツリーと郵便局の位置関係も確認した。この時点ではツリーの開業日も発表されておらず、どの郵便局にツリーの入った風景印が作られるのかも分からなかったが、取り敢えず、現在風景印のあるツリー周辺の郵便局に場所の確認を兼ねて出向き、押印を受けた。

日本郵便にも電話し、風景印の新設、変更は事前に日本郵便のホームページに告知されることも



写真2 東京スカイツリーが始めて登場した切手



写真3 「地上テレビ放送の完全デジタル化」初日カバー

分かった。2011年6月には開業日は2012年5月22日と発表された。2012年に入りスカイツリーの完成が2月29日と分かったが、当日記念切手は発行されない為オリジナルの「記念カバー」を作ろうと思った。パソコンで作るのだが、何せ初めてのことで戸惑ったが試行錯誤しながら作成に取り組んだ。封筒は洋7、封筒の半面には今まで撮りためたスカイツリーの写真の中からふさわしいものを取り込んだ。文字も書体、大きさ、色を工夫し、プリントは印刷位置を補正して調整し、何とか格好のつくものが出来た。初めての「東京スカイツリー竣工」オリジナル記念カバーが完成した。

2月29日、当日は東京地方は早朝よりの雪の



写真4 初めてのオリジナル記念カバー

中、スカイツリーの切手を貼りツリー地元の郵便局で従来の風景印と黒括印を受けた(写真4)。副産物だが雪模様の東京スカイツリーの写真も撮ることが出来た。

日本郵便のホームページを毎日見ていたが、ツリーの風景印の新設、変更についてなかなか告知されなかったが、4月中旬浅草支店、浅草郵便局で「4月23日からスカイツリーを入れた風景印を使用開始する」とリリースされた。風景印変更の理由は①4月27日からのスタンプショウの開催②浅草のシンボルとしてのスカイツリーのオープン③4月23日発行の浅草界隈を紹介する切手「旅の風景シリーズ第15集」に合わせたものである(写真5)。

早速、記念カバー用に封筒を作成し、同日の風景印、黒括印を貰うべく郵頼した。返送されてきた「記念カバー」を見ると浅草支店と浅草郵便局は風景印の絵柄は同じだが、日付の年号24にアンダーバーの有るものと無いものがある。これは平成19年10月1日の郵政民営化により郵政事業が4つの事業会社に分割されたが、同日より郵便局株式会社(JP郵便局)は年号の下にアンダーバーを入れることになったとのこと(写真6)。

尚、4月27日(金)～29日(日)スタンプショウ2012(於、都立産業貿易センター)では東京スカイツリーのオリジナルフレーム切手(シート型)が2種発売され、記念小型印も使用された。

そして、5月11日郵便事業(株)東京支社と

郵便局(株)東京支社が「東京スカイツリーの開業に合わせて、周辺地域における支店と郵便局の風景印を変更し、開業日の5月22日から使用する」とプレスリリースした。それは、向島支店、向島郵便局、本所支店、本所二郵便局、押上駅前郵便局の2つの支店と3つの郵便局で地域の名所やランドマークとともに東京スカイツリーを入れたデザインに変更された(但し、押上駅前郵便局は新設)。

これで先に使用開始した浅草支店、浅草郵便局と合わせて、ツリー周辺の7つの支店、郵便局でスカイツリーを入れた風景印が出来ることになった。

11日前の発表で早速記念カバー作りを開始した。7つの支店、郵便局毎に封筒の半面に入れる写真を変えて7種類の絵柄の記念カバーを作成した。



写真5 上野・浅草エリアの名所の中で紹介されたスカイツリー切手



写真6 郵便局会社の風景印(右)は年号にアンダーバーが入る

写真はその地域を配慮し、風景印の絵柄も併せ考えて取り込んだ。7つの支店、郵便局は地理的にも離れており当日は短時間では回り切れないと判断し郵頼をお願いした。

5月22日の開業日は生憎の雨になってしまったが、追加分を頼むべくさいたま市から東京まで出向いた。押上駅前郵便局についたのは午前10時頃だったが局内はTV局の取材が入り混雑して

いて30人位の行列だった。2つの窓口で対応していたので思ったより時間はかからなかったが、これでは7つの支店、郵便局を午前中に回るのは無理であった。

それにしても、スカイツリーの波及は不人気のはずの切手の世界までも動かしていた。

開業日の日付印を受けたオリジナル記念カバーは7つの支店、郵便局毎に写真、風景印が異なりな

かなか楽しいものが完成した(写真7)。(風景印は浅草支店、浅草郵便局が同じ絵柄、向島支店、向島郵便局が同じ絵柄の為スカイツリーの入った風景印は5種である)

ただ、今回の記念カバーは一般の人、記念切手等に興味のない人にはあまり関心を持ってもらえず、今回、郵趣関係の方々に紹介しようと思った。知人や子供達にも記念カバーを分けて差し上げた



写真7 7つの支店・郵便局で使用開始された風景印と記念カバー(その1)



写真7 7つの支店・郵便局で使用開始された風景印と記念カバー（その2）

が風景印やその絵柄よりも写真のきれいなものを選んでいて、そして、「この切手使えるの？」と質問され、消印になっていることも理解されていないのが現状である。

ネット情報だが、この東京スカイツリーの入った風景印記念カバーは多くの人を呼び覚まし関心を持たれたようである。風景印押印のやり方は色々あるが、各郵便局の旧風景印と新風景印を並べて押印したもの、向島局では向島百花園にちなみあやめの切手に新風景印を押印したり、本所支店では風景印がスカイツリーと国技館の絵柄である為相撲取りの切手を貼って押印を受けたものなど皆それぞれ新しい風景印を楽しんでいた。

スカイツリー人気は他の地域の展望タワーへの関心も高まり、入場者数が増加している。全国に50に及ぶ観光タワーがあり、なかでも福岡タワー（福岡市）や名古屋テレビ塔（名古屋市）、今年100年を迎えた通天閣（大阪市）等は改装を進めるなど、ツリーにあやかって需要を掘り起こしている。東京タワーも人気復活だ。東京スカイツリー効果が日本の景気回復につながり、浮揚の足掛かりになることを願いたい。

東京スカイツリー風景印記念カバーは多少在庫がありますので、ご希望の方はご連絡下さい。（三村記）

リトアニア郵趣誌に稲門フィラテリー登場

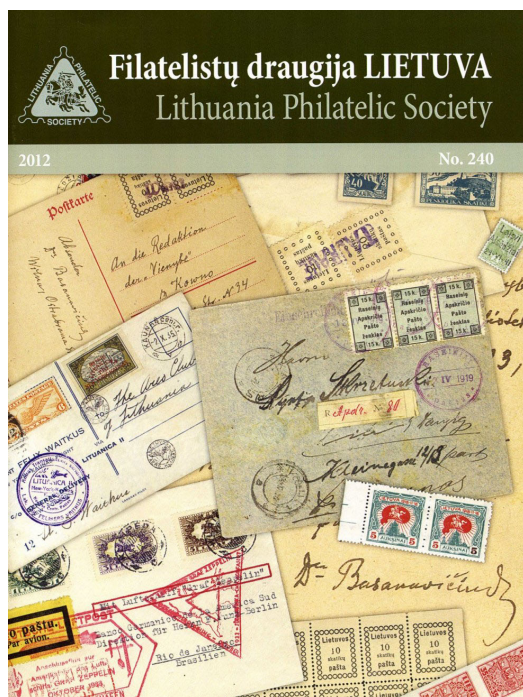
当会会員の荒木寛隆氏がリトアニアの切手について執筆した稲門フィラテリー43号が、リトアニア郵趣誌で紹介されました。荒木氏よりレポートをいただきましたので、紹介したいと思います。

現在、リトアニア郵趣協会はリトアニアとアメリカにあります。

アメリカの協会がLithuania Philatelic Society (Chicago, USA)で、毎年1回機関誌(Lithuania Philatelic Society Journal)をリトアニア語と英語のバイリンガルで発行しています。リトアニア国内にある協会はPhilatelic Society of Lithuania(リトアニア語名・Lietuvos Filatelistu Sajungai)と呼ばれていますが、定期的な機関誌はありません。唯一、郵趣グループLITHUANICAがリトアニア語と英語のバイリンガルで「PHILLIT」という機関誌を年3回発行しているだけです。

リトアニアの人口は370万人程度ですが、海外には約100万人のリトアニア人が住んでいます。ロシア・ソ連から逃れて移住した人達が多く、シカゴには40万人を超えるリトアニア人がいます。第二次大戦中のソ連併合以降、アメリカに設立されたリトアニア郵趣協会がリトアニア切手研究の要でした。1990年の再独立以降はアメリカのリトアニア郵趣協会がリトアニア国内の郵趣協会を物心両面で支えています。

荒木氏が、国際切手展に出品したリトアニア作品の解説記事を書いたことを稲門フィラテリー43号とともにシカゴ郵趣協会に送ったところ、ヴァリアコイス会長からメールが届き、次回(241号)の機関誌で稲門フィラテリーが紹介されることになったということです。



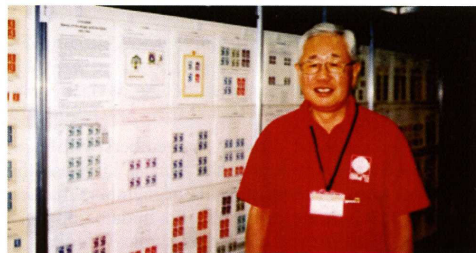
Lithuania Philatelic Society Journal 240号



PHILLIT 58号

Hiroataka Araki

John Variakojis, Chicago, Illinois



Hiroataka Araki in front of his Angel and Vytis exhibit at PHILANIPPON 2011 Exhibition.

Mr. Hiroataka Araki continues to perform excellent service in his role as a "Goodwill Ambassador" of Lithuania in Japan. He exhibits Lithuanian stamps and covers at Japanese shows, makes presentations and writes about Lithuanian philately in Japanese publications.

As narrated in LPS Journal No. 239, in November 2010 he won a VERMEIL Award at JAPEX'10, the 45th Japan Philatelic Exhibition in Tokyo for his exhibit "LITHUANIA / Stamps of the Angel and Vytis 1990-1993." His exhibit, as evidenced by copies sent to us, was superbly presented to be worthy of a high award for common and relatively recent philatelic items. This award qualified Hiroataka to enter his exhibit at the "Japan World Stamp Exhibition," PHILANIPPON 2011, held from July 28 to August 2, 2011, in Yokohama, Japan.

Hiroataka Araki's exhibit at PHILANIPPON 2011 also consisted of Lithuania's Angel and Vytis stamps and covers. Hiroataka won a Large Silver Award for his exhibit.

The PHILANIPPON Exhibitions have been held in Japan every 10 years since 1971. Over 500 exhibitors from 65 world countries participated at PHILANIPPON 2011. The FIP Jury consisted of 45 members.

Hiroataka also sent us a 127-page catalog of the show and a CD-Rom of his 80-page exhibit. He also sent a certificate that contains a stamp sheetlet with two special stamps hot-stamped with genuine 24-carat gold foil.

Only 100,000 of these sheetlets were issued and they were sold out in all post offices by noon of the day of issue.

The golden sheetlet is placed inside a colorful heavy-duty encapsulated folder. The other three sides of the folder consist of the title page adorned with gold letters, a Certificate of Authenticity, and the description of the two stamps that are part of the golden sheetlet.



Souvenir sheetlet with 24-carat gold foil on stamps

In addition to exhibiting Lithuanian philately, Hiroataka Araki recently wrote an article in "Yushu" philatelic bulletin No. 239 titled "News from Lithuanian friends" in which he describes and illustrates stamps and covers of the Christmas theme sent to him by Leonas Veržbolas and Ričardas Vainora from Lithuania. On September 25, 2011 he also lectured about his exhibit of Angel and Vytis stamps to an audience of the "Philately Friends Club" and wrote an article in their bulletin, showing the highlighted items from his exhibit at PHILANIPPON 2011. In all his articles Hiroataka shows a map and a description of Lithuania.



First day cover from PHILANIPPON' 11

Editor's Note

In Journal No. 239 an error occurred on page 60. The note below the photograph of Mr. Hiroataka Araki is incorrect. It should read as follows: SAIPEX 2009. Hiroataka Araki's exhibit "Lithuanian FDC Covers 2004-2005."

We apologize for the error.

古怒田さんマスターズレガッタ出場

当会会員、古怒田共子さんは6月3日（日）戸田オリンピックボートコースで開催された日本ボート協会主催の全日本マスターズレガッタに出場した。

当日は雨の予報であったが、晴れ間ものぞいた快適な気候となった。小林、諸田の両名が応援にかけつけた。両名とも戸田ボートコースは初めて、早稲田の艇庫で準備に忙しい古怒田さんに保管されているボートの説明をしていただいた。エイトの艇は約10メートルあるとのこと、意外と大きいのにびっくりした。

その後、ボートコースのゴール付近に移動し観戦した。古怒田さんのチーム「WKマスターズ混成エイト」出場の「カテゴリー75～79」は最終レース、「オーバー75」出場は1艇のみで、「70～74歳」と一緒にレース、距離は1,000m。スタート地点は遠くレースの状況はわかりにくかったが、ゴール付近では間近に見られた。トップ争いは熾烈で「W



Kマスターズ」は懸命に追い上げたが1艇身差で2位となった。「カテゴリー75～79歳」は1艇なので優勝。年齢を感じさせない力強いレースに感動をおぼえた。

表彰台上った古怒田さんたちクルーの勇姿を確認し帰路についた。（諸田記）



稲門フィラテリー総会

2012年度の第47回ホームカミングデー・稲門祭の開催にあわせ、稲フィラでは以下の日程で第13回総会と講演会を開催いたします。総会閉会後には、渡辺勝正会員による「命のビザ・決断と真相―早稲田大学早稲田キャンパス内に設置された杉原千畝顕彰碑について」と題する講演会をおこないます。また、講演会終了後には場所を移し、恒例の懇親会をおこないます。なお、稲門フィラテリーの集合場所は、早稲田大学ホームページ内の稲門祭・同窓会集合場所のページでも案内されます。

開催日時：2012年10月21日(日)

開催場所：7号館205教室

13:00～14:00 総会

14:00～15:00 講演会 渡辺勝正氏「命のビザ・決断と真相―杉原千畝顕彰碑について」

16:00～18:00 懇親会 場所：高田牧舎

稲フィラ常設切手展

第19回 ロンドン・オリンピック7月27日開幕！

開催日時：2012年7月11日～9月上旬

場所：新宿北郵便局



第20回 ロンドン・オリンピック終わる！

開催日時：2012年9月上旬～12月上旬

場所：新宿北郵便局

切手教室

第90回 8月4日「日本の浮世絵切手」

講師：斉藤敏郎



第91回 9月1日「風景印文学散歩」

講師：池澤克就

第92回 10月6日「日本切手のデータベース」

講師：小川義博

第93回 11月10日「ギリシャ神話の英雄たち」

講師：福元勝治

編集後記

箱根駅伝は、毎年自宅から近い藤沢の遊行寺の坂あたりで応援していますが、今回の旅行記を読むと正月が待ち遠しくなってきました。おかげさまでいくつか掲載待ちの原稿がありますが、引き続き皆様からの寄稿お待ちしております。

発行日：2012年9月1日

発行：稲門フィラテリー

発行人：小西 邦彦

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4F

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉沢 忠一 池澤 克就

稲門フィラテリー

第46号

2012年12月1日発行

早大切手研究会会報電子化について

諸田 志郎

「早大切手研究会会報」の電子化が完成した。これをCD化し稲門フィラテリー会員に配布することとなった。

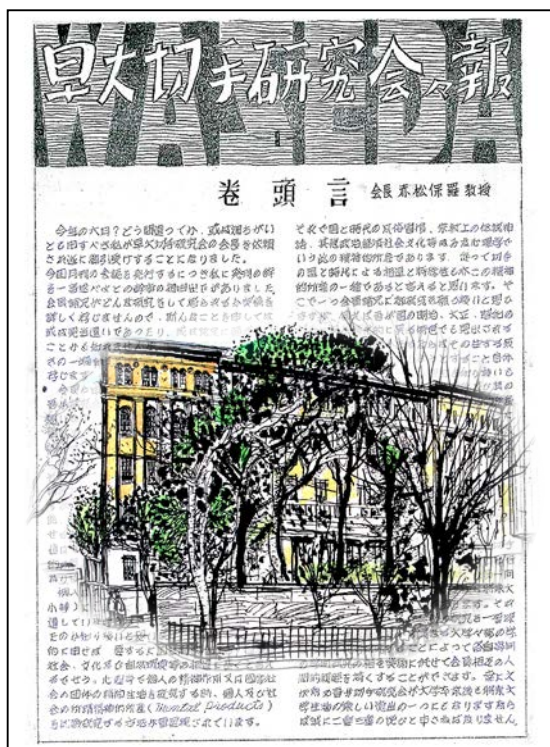
会報の電子化は、稲門フィラテリー10周年事業として黒川清知会員所有の「早大切手研究会会報」全号を早慶合併号を含めて早稲田大学図書館に寄贈する企画に始まる。

資料の整理をしている過程で、初期の会報は用紙および印刷方法の問題により劣化が進

んでいることが判明した。このまま放置すると貴重な資料が遠くない将来失われる恐れがあった。

このような状況にかんがみ稲門フィラテリーは、10周年事業に「早大切手研究会会報」全号の電子化を加えることとした。

寄贈の準備段階で磯野昭彦会員所有の号に欠けている号は黒川氏所有会報より電子化および複写しておいた。



ガリ版刷りでスタートした会報1号と
切手研創立準備会が開かれた懐かしい文学部



最初のタイプ印刷会報 31号と
3階角に部室のあった懐かしい学生会館

欠落の恐れをさけるため、会員全員に手元資料のリストを添付し、リスト外の資料があるかどうか、および資料の提供の依頼を会報電子化の趣旨をそえて文書でお願いした。結果として新資料の提供はなかった。

昨年度中に完成を目指していたが、費用およびデータの量のこともあり逡巡しているうちに一年が経過してしまった。

やっと小川義博・青柳次男両会員の協力により8月に完成した。1,300頁超える分量の処理と初期の判読の困難なものの解像度をあげる努力により実現した。

「早大切手研究会会報」第1号は、昭和25年12月1日に発刊された。書家の書いたような字体（以下旧字体とする）で背景にはWASEDAと横書きで会報名が載せられている。会長赤松保羅先生の「巻頭言」が掲載された。編集後記には、「会報題名を皆さん考えて下さい」とあり「早大切手研究会会報」は仮の名称であったようだ。用紙はわら半紙、ガリ版刷り。

8号では会報名が縦書きになり背景のWASEDAがなくなった。9号では再び横書きとなったが背景はこれ以降なくなった。

10号は創立五周年記念号、橘喬一会員が「早大切手研究会五周年に寄せて」と題して寄稿している。設立の経緯について次のように述べている。昭和24年3月中旬、文学部地下の童話会会室を借りて創立準備会を開いた、出席者は、発起人、明城興一、根岸昭二、白木朝康、橘喬一4名、「学生郵便切手会（S.P.A.N）」で知り合った人たちが発起人になった、他に、吉田稔、金井宏之、黒川清知、木村晴一氏など数名、「早大切手研究会」を正式名称に決定、

4月1日に設立し大学に届出した。

46号表紙に、この時の出席依頼のハガキが掲載されている。差出人は「早稲田大学郵便切手研究会」準備委員橘喬一、記として、3月13日日曜日、文学部地下早大童話会室と書かれている。このハガキ入手のいきさつは「表紙に寄せて一思わぬ掘り出し物」に記載されているのでご覧いただきたい。

31号からタイプ印刷となる。（34号はガリ版印刷）会報名も活字体に変わった。（32号は旧字体）

最後の発行となった55号は、内田武吉先生が定年退職し、花本金吾先生が新会長に就任されたのを期して発行された。この号には、大杉徴先生も寄稿されている。

大杉先生は「早大切手研究会会報」のほか「WASEDA PHILATLY」のことに触れているが、会報との関係は不明のまま、と述べている。今回のプロジェクトは「早大切手研究会会報」の電子化ということで、これは不明のことでもあり取り上げていない。

小川・青柳両会員が目次を作成してくれたことにより、各号の記事が一覧できるうえ、目次をクリックすると希望の号を自由に選べるので、時間の空いたときに読んでいただきたい。



早稲田祭で郵便局の臨時出張所、切手研記念カード販売コーナーを開いた旧商学部
前ページ画とも、藪野 健画伯描く商学部建物再建安全障壁画より

稲門フィラテリー第13回総会報告

稲田 比島志

抜ける様な青空の下、10月21日に開催された稲門祭・第47ホームカミングデーに参加する校友達で早稲田キャンパスは溢れかえっていた。



まだ、在庫があり、多くの人が求める
大隈講堂切手販売コーナー



7号館205号室に於いて、会員24名が出席して稲門フィラ総会が開催された。

冒頭、退任する小西会長から、在任中の会員の協力に感謝すると共に、会の益々の発展を願っているとの挨拶があった。続いて議事に移った。

第1号議案「平成24年度活動報告および平成25年度活動計画」が、小西会長から説明された。本年度活動では当会顧問金井宏之氏の逝去に伴う諸対応及び10周年関係行事があり、また来年度は概ね例年の活動を踏襲する。

第2号議案「平成24年度会計報告および平成25年度予算」は、石井幹事が説明。年々次年度繰越金が減少しているが、対応策を考える必要はないのかという質問があり、石井幹事は残高が減少しても、現在のところ活動に支障は無いが、これからの検討課題だと答えた。

第3号議案「平成24年度会計監査報告」については住吉幹事から適正・妥当と報告された。

第4号議案「役員改選」について小西会長から説明があり、「役員一覧表」に、新任・再任の表記を入れたらどうかとの意見があった。

以上で議事が終了し、全ての議案が出席者全員の拍手で承認された。

引き続き、新しく第3代会長に選出された磯野新会長から、8年間在任された小西前会長への謝意と、稲門フィラの歴史の紹介及び諸活動を推進するため、皆で声を掛け合って努力して行こうとの挨拶があった。

稲門フィラテリー役員

会長 磯野昭彦

顧問 花本金吾

アドバイザー

吉沢忠一 小熊忠三郎 小西邦彦

総務 諸田志郎 青柳次男 木元淳一郎

五十野和男 稲田比島志

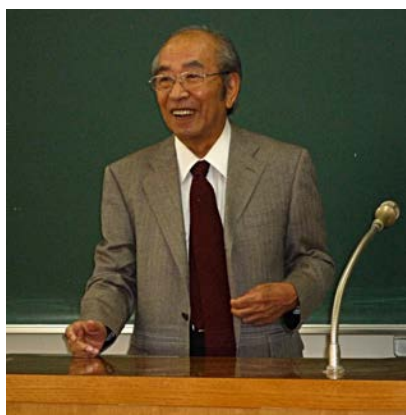
会計 石井克忠

編集 吉沢忠一 小川義博 池澤克就

部会 宮鍋益治 野島正顕 村井悌二

会計監査 坂下泰一 住吉忠男

暫時休憩の後、青柳幹事による講師紹介で講演会がスタートした。



杉原千畝を熱く語る渡辺会員

講師は渡辺会員。演題は「命のビザ・決断と真相 早稲田大学キャンパス内に設置された杉原千畝顕彰碑について」である。

渡辺会員は、杉原千畝に関する数々の興味深い秘話を熱心に披露され、出席者全員がその話に魅了された。

講演会終了後、渡辺会員の案内で、14号館近くの庭園内に設置された、杉原千畝顕彰碑を全員で見学した。



杉原千畝顕彰碑

午後4時から、高田牧舎で、24名が出席して、恒例の懇親会が開催され、渡辺会員、最年長（昭和28年卒業）の岡田会員、マスターズレガッタ出場の古怒田会員等から在学中のエピソード等が紹介された。

時間も進み、大盛況の内に、来年の再会を期して会は終了した。



高田牧舎での懇親会スナップ

会長挨拶

「親睦」と「若返りを」

会長 磯野 昭彦

稲門フィラテリー初代花本会長、第2代小西会長の後任として第3代会長を1年間努めることになった。

会長後任を決めるにあたり、後期高齢者の私が適任ということではなく、人選する時間がなくなってしまい、とりあえず中継ぎとして私が受けることになった。

平成11年11月11日、早大切手研究会50周年記念事業をOB、現役が一体となって実施できたことが、稲門フィラテリー誕生のきっかけとなった。

平成12年12月稲門フィラテリーが発会し、その後会員みなさまで多大な活動成果をあげることができた。これら成果は、日本郵便、郵趣界、早稲田大学、早稲田大学校友会などからも高く評価されたと同時に、早大切手研究会、稲門フィラテリーの存在認識もされたと確信している。

この間、大杉先生、内田先生、金井先輩など多くの実績を残された会員が他界されたことが惜しまれる。

これらのことを踏まえて、稲門フィラテリー

はこれからどう進むかである。会則にあるように、会の目的は会員相互の親睦であり、そのための必要な活動を行うことであることをここで再認識したい。

具体的な活動は、今までの路線を踏襲するのはもちろんのことである。加えて、会員数は徐々に減少し、また高齢化していくという現実を補うために、稲門フィラテリーを少しでも発展させるべく努力をすべきだと思っている。

そのひとつとして、各種活動参加者の若返り、すなわち今まであまり参加をしていない若い仲間の参加増をはかりたい。若い仲間が多く参加するようになれば新たな活動が生まれ、この新活動が更に新しい仲間を増やすことにつながると思うからである。

そのためには活動計画の工夫が必要かもしれないが、まずはみんなで活動に新しい仲間を誘い、一人でも多くの会員が参加するようにしようではありませんか。



磯野 昭彦 新会長

稲門フィラテリーの主な活動成果

年	活 動 内 容
平成 12 年	稲門フィラテリー発会、第 1 回総会
平成 13 年	会報「稲門フィラテリー」第 1 号 (現在 46 号)
	大隈講堂切手発行記念事業
	旧図書館で大隈講堂切手発行記念展
	野球部百周年記念行事に参画
平成 14 年	第 1 回切手教室 (現在 93 回)
平成 15 年	関東郵趣連盟に加盟
	第 1 回見学旅行 (現在 9 回)
平成 16 年	本庄早稲田駅開業記念事業
平成 17 年	(早大切手研究会消滅)
平成 19 年	早稲田大学創立 125 周年記念行事に参画
	早稲田学報に稲門フィラテリーをカラー紹介
	新宿北郵便局で早稲田大学創立 125 周年記念展
平成 20 年	第 1 回新宿北郵便局常設展 (現在 21 回)
平成 22 年	稲門フィラテリー 10 周年記念事業
	10 周年記念誌「手彫切手の楽しみ」作成
	会報稲門フィラテリー 1-37 号合本電子カラー版 CD 作成
	早大切手研究会会報の電子化開始 (24 年完了 CD 作成)
	早稲田大学校友会創立 125 周年記念行事に参加
	早稲田ギャラリーで稲門フィラ都の西北展
	新宿北郵便局風景印図案変更提案 使用開始

奥多摩の山からヒマラヤ6000m峰へ

— 私の山旅 50 年 —

額賀 健

初めての山歩き

今では一人で歩くことのほうが多いが、最初に山を一人で歩いたのは大学2年生のときだったと思う。早稲田大学教育学部国語国文学科に所属する国語国文学会平安文学研究会の夏合宿が長野県の蓼科であるので、多分山も歩くのだろうからその予行演習にと思って、一人で奥多摩に行った。予定のコースは、青梅線の御岳駅で降りて、御岳に登り、大岳山を経由して、馬頭刈尾根を下りてくるというものであった。

JR 御岳駅から、バスにも乗らず、さらにケープルカーにも乗らないで、歩いた。思っていた以上に時間がかかり、御岳を通過して大岳山の頂上に着いたときには、さすがに長い夏の陽も傾きかけていた。これから長丁場の馬頭刈尾根を下るには遅すぎるし、少し疲れてもいたので、予定を変更して眼下に見える秋川の谷に直接下りことにした。稜線の登山道を外れて、踏み跡をたどり、下り始めたが、だんだん傾斜が急になり、踏み跡も薄くなってきて、やがてがけの上に出てしまった。はるか下に人家が見えるが、だんだん暗くなってくるし、これからどうしたらよいものか、一瞬、遭難、家族、連絡などの言葉が頭の中を駆けめぐる。茄子紺の空の

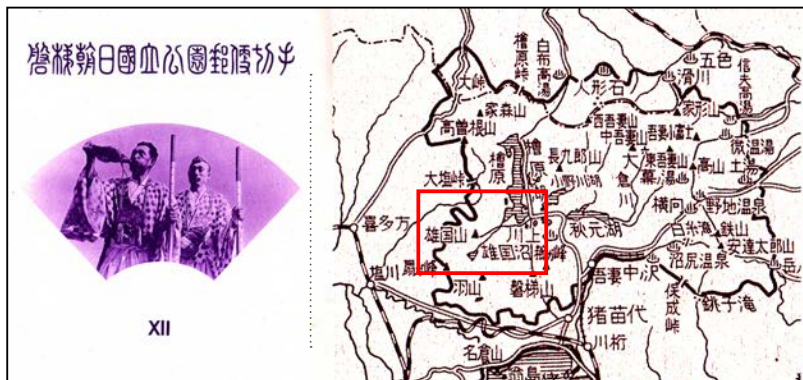
が残っているが、徐々に夕闇が谷間から迫ってきている。ほかのルートをとる時間の余裕はない。この心細い踏み跡を下ることにした。暗くなりかけた道を駆け下りた。途中、チューインガムの包み紙が落ちているのを見て人の痕跡を確認し、だいぶ下に下りてきたなあとと思っていると、突然、人家が現れた。子供を負ったおばあさんが庭先に立っていた。「こんばんは」「こんばんは」と言葉を交わした瞬間、なんともいえない暖かい気持ちになり、暗い谷間の道をバス停に向かって降りていった。やがて来たバスに乗って、五日市の駅に向かったのだった。明るい車内と対照的に外は暗闇で、ただ谷川の音だけがうるさかった。これが私の初めての山歩き、単独行の始まりである。

早大切手研の夏合宿の思い出

1年生の時と2年生の時に、福島県の横磐梯と静岡県の井川湖に行った。

横磐梯へは、喜多方から、炎暑の道をえんえんと歩いた。そのときバイク用の真っ赤なチョッキを着ていったのを、卒業までお付き合い頂いた当時4年生？だった横山先輩に、帰ってからしばらくからかわれた。雄国沼のほとり

下、谷間の村々は既に夕闇に包まれつつあった。しばらくして、これは引き返す以外にはないと、今思えば当然の判断を下して登り返した。もうすぐ稜線に出るという少し手前で、さらに薄い踏み跡が小さな沢に向かって下っているのに気がついた。山の上はまだ明るさ



磐梯朝日国立公園切手小型シートに記載された雄国沼 (部分拡大)

の小屋に着いて、みんながトランプか何かゲーム（まさか麻雀ではないと思うが）をしているときに、小屋の爺さんと裏手の雄国山に登った。遠望した飯豊（いいで）山を爺さんは「いいとよ」と言っていた。地元ではそう呼ぶのかなと思った。小屋に戻ってきたとき、池山先輩に俺も登りたかったなと言われた。当時の雄国沼周辺は今よりずっと静かな別天地だった。

井川湖では大日峠までハイキング、夜はキャンプファイアー。キャンプファイアーのとき、小川がズルズルと湖に落ちたのをわたしが湖岸に飛び降りて助けた。また、1年先輩の大原さんが単独で南アルプスの3000m峰、塩見岳を信州側から登ったあと大井川の源流をえんえんと下ってきて、井川ダムのカンパ地に合流したのを、うらやましく思ったのを覚えている。3～4年生の時の夏合宿の記憶がないのは多分参加しなかったからであろう。

穂高初見参と最初の3000m峰

私の最初の3000m峰は槍ヶ岳であった。会社員になった翌年の夏、25歳のときである。梓川沿いの明神の小屋と槍ヶ岳肩の小屋に泊まる2泊3日のプランであった。島々からバスに乗り、今はダムができて立派な道が通っているが、当時はでこぼこ道を延々と揺られていった。最後に手掘りでくり抜いたかのような薄暗い釜トンネルを抜けるのだが、そのときの感動は今も忘れない。そのころ、田部重治や深田久弥の



書いたものをむさぼり読んで、上高地から見た穂高の山並みをぜひ見てみたいと思っていた。釜トンネルを抜け出たとたん、大正池の向こうに、夢にまで見た穂高の稜線が

目に飛び込んできたのである。人の一生でいつまでも忘れない感動の一瞬というものはだれにもあると思うが、特に青春時代に経験したものは一生の宝となる。余談になるが、やはり、このころ、スウェーデンのソプラノ歌手ビルギット＝ニルソンのリサイタルを上野の東急文化会館で聴いたときの感動も忘れがたい。第一声で、その声量のすごさに圧倒されてしまった。そのころは肉声の魅力に取り付かれていて、来日したイタリアオペラの「仮面舞踏会」や「ドン・カルロ」など生で聴きに行っていた。

さて、明神の



小屋で1泊し、梓川の左岸の道をゆっくりと上流に向かい、槍沢の急斜面を登って肩の小屋に着いた。

夜、起き出して、槍の穂を少し登って満天の

星を眺めていた。カラカラ、カラカラと落石の音がする。遠く松本の上空あたりがぼんやりと薄明るい。大きな槍の穂が背後に覆いかぶさっている。悠久の時の流れの中に一瞬の身を置いている自分を感じ、しばし感慨にふける。

現実に戻って、寝床に帰ると、自分の寝ていた隙間がない。昼1昼に3人寝ている、しかも頭と足が互い違いになって寝ている。強引に割り込んで横になる。

翌朝、一方通行になっている槍の頂上への登路を登り、北アルプスのど真ん中、360度の絶景を堪能して、来た道を上高地に下ったのだった。

1000山と1001山目の山

2009年6月、静岡の大光山（おおびっかりやま）に登った。この山が私の1000山目の山であった。そして、その9日後に1001

山目の山、群馬県の天丸山（てんまるやま）に登った。一つ一つの山行が、私の山歩き人生の一こま一こまであって、1000という数字はその積み重なりだ。

大光山、天丸山の山行は私の山歩きの一つの典型を示している。つまり、静かで、地味な大光山と、明るく、展望のよい天丸山。始発電車を使つての大光山、そしてマイカーでの天丸山。しかも、いずれも日帰り登山で、単独行というものである。

大光山は、山深い感じの、静かな山であった。自宅のある横須賀線 JR 東戸塚駅を朝5時前の始発電車に乗り静岡駅へ。静岡駅から梅ヶ島温泉行きのバスで2時間、安倍川の源流に近い終点のいくつか手前のバス停が登山口であった。そこから急峻な山腹の道を登り、山頂へ。南アルプスの山並みは霧がかかって見えなかったが、かえって深山の趣が感じられた。下山は、針葉樹の稜線を少し歩いた後、やせ尾根を急降下、登山口から2つ、3つ奥のバス停に下りてきた。本日の行動時間は7時間。来たときと同様、バスで静岡駅まで戻り、普通電車を乗り継いで、夜10時過ぎに帰宅した。

天丸山では、頂上直下30mをロープと鎖で這い上がって山頂に立ち、広々とした展望を楽しんだ。車（フィット）で朝4時過ぎに家を出て、横浜環2、第3京浜、環8を通して関越道に入

り、本庄児玉ICで下りて、神流川に沿って上流へ。上野村で野栗沢沿いの道に入り、急斜面にへばりついたような奥名郷の集落を通り過ぎて登山口に到着。家を出発してから約4時間のドライブであった。天丸橋から沢沿いの道を詰めて、稜線に出る。稜線を20分ほどたどり天丸山直下まで。帰りは、更に眺望の優れた大山へ寄って眺めを堪能し、登山口に戻った。ここは往復4～5時間。展望と少しのスリルを楽しんだ山行きだった。

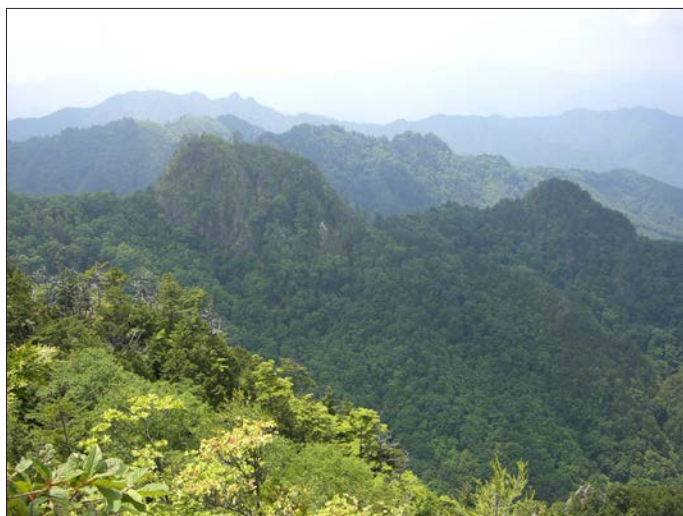
平成24（2012）年11月11日現在、登った直近の山は11月6～7日の群馬の高岩と谷急山。高岩は上信越自動車道の軽井沢インター近くから間近に望める岩山、谷急山は妙義山塊の最高峰（といっても、標高1162m）。1147～8山目の山である。

65歳からの海外トレッキング

40年以上勤めた出版社を辞め、引き続き同じ所でバイトの身分になったところで、一度外国の山を見てみたいと思うようになった。大手旅行会社のスイスアルプス、続いてニュージーランド南島へのツアーに参加したが、大人数で、しかも乗り物中心の旅だったので物足りなかった。ちょうどそんなとき、勤め先（明治書院）で発行している高校教科書の著者S先生からカナディアンロッキーのトレッキングに行かない

かとの誘いがあり、二つ返事で参加することにした。一行は、私を含む5人の客とガイドの女性Tさん、それに現地ガイド2人、一人は現地在住の日本人、他の一人は日系カナダ人の計8人。Tさんは、今はカナダ在住だが、ネパールのエベレストビューホテルに10年近く勤めていた人で、私がその後ヒマラヤトレッキングに行くようになったのもTさん率いるこのカナダツアーの仲間とである。

このカナディアンロッキーの旅（2008年6月～7月）はよかった。



名前のとおりの天丸山（左の岩峰）



カラパタールから仰ぎ見るエベレスト（左奥）。右の鋭峰はヌブツェ

アンナプルナ南峰を仰ぎ、遠くにダウラギリ連峰を望む大展望台、プーンヒル（3198m）への3泊4日のトレッキングが始まる。途中、グルカ兵の部落を縫うようにつけられた山腹の階段状の道をどこまでも登っていく。夜明けのプーンヒル山頂では白人の若者数人が裸になって騒いでいる。馬鹿なことをしてふざけるのは若者の特権だ、でも、なんでこの寒空にと思っ

豊富な残雪をいただく岩山に囲まれた、広い高原が真っ黄色になるほど、一面、カタクリの花でうめつくされている。また、別の日、フェアビュー山（2744m）に登った。元は火山だったのか、道はガラガラ石の山腹をジグザグに登っている。この旅で山頂に登ったのはここだけだったが、360度の大展望を満喫した。更に、カナディアンロッキーの最高峰マウントロブソンの裾までヘリで飛び、湖畔にテントを張ってキャンプした。ここでは、食料はすべて木の上につるさねばならない。熊が出るのだ。翌日、眼前に氷河を見ながら、スノーボードパス（2400m）まで登る。峠から雪の急斜面をラッセルして回りこむと視界が急に開け、反対側は見渡す限りの氷原である。登ってきた谷を振り返ると、ロブソン山がそびえている。ここは北緯53度、樺太北端の緯度にあたる、雪と岩の世界だ。

このカナダの旅を皮切りに、毎年海外の山に行くことになる。

2009年3月～4月には、ネパールのカトマンズから国内線でポカラに飛び、ポカラから車で登山口の村まで行く。ここから、間近に

てしまうのは年寄りのやっかみか。帰りの道では、強盗が出るという薄暗い谷間の道を足早に通り過ぎたりした。そして、カトマンズに戻り、更にルクラに飛んで、ルクラからエベレストビューホテルまでの同じく3泊4日のトレッキングをした。こちらはエベレスト街道と呼ばれるほど登山者も多く、中心の村ナムチェバザールにはインターネットのできる店もある。携帯電話を持っている現地人も目に付く。街道沿いの村々もだんだん裕福になってきており、子供たちに虫歯が多くなったという話も昔話になるかもしれない。

翌2010年4月には、またネパールへ。ルクラからエベレスト街道を歩いて、ナムチェバザールの裏山にあるエベレストビューホテルまでは昨年と同じ道、そこから街道最大の仏教寺院のあるタンボチェを通り、タムセルクやアマダブラムなど美しい山々を眺めながら、エベレストを間近に仰ぐカラパタール（5545m）の丘まで。途中、石の林立する賽の河原のような場所がある。山で命を落としたシェルパの墓だ。

同年6月～7月はスイスアルプスとシャモ

ニートレッキング。原色の花の美しさに目の洗われる思いがした花盛りの旅であった。

続いて8月～9月にはパキスタンのカラコルムに行った。インダス川上流の渓谷沿いの、車がやっと1台通れるほどのガタガタ道を突っ走る。丸1日、車にしがみつки、はるか下の谷底に肝を冷やしながら、やっと出発点の部落に着く。ここからバルトロ氷河をさかのぼり、カラコルムの8000m級の山々を間近に仰ぐコンコルディアへ。更にK2のベースキャンプ(5200m)まで行く。氷河に沿った近くの崖の上には、K2や周辺の山で死んだ登山者の墓標代わりの金属板が所狭しと打ち付けられていた。

2011年2月にはケニアとタンザニアに行く。麓ではアフリカ水牛の出現に驚かされ、赤々と岩壁の輝く夜明けの山頂に立ったケニア山レナナ峰(4985m)、軍隊蟻の列にうっかり踏み込んで足に噛み付かれたりしながら、山頂までの長い長い道のりを歩き、最後に標高差1200mの急斜面を登りきって、更に火口壁を2時間、やっとたどりついたキリマンジャロ山ウフルピーク(5895m)。なんと山頂近くに氷河、その大きさと美しさにただ圧倒され

た。そして、ついに念願のヒマラヤ6000m峰を目指すことになる。

70歳でヒマラヤの6000m峰、

アイランドピーク登頂

エベレストビューホテルのオーナー宮原さんは、今は帰化してネパール人になっているが、かつてエベレストに挑戦したとき、ベースキャンプを守っていたのがTさんである。Tさんは私たちのカナダトレッキングをガイドしてくれた女性である。そして、宮原さんのエベレスト登攀をサポートしたのがNさん。Nさんは民放テレビのお笑いタレント、イモトの出演している山の番組のコーディネートをされていて、ときどきテレビ画面にも顔を出している。エベレストに2度登頂していて、今は山のツアー会社の顧問をしている。そのNさんを紹介してくれたのがTさんである。K2B.C.とキリマンジャロはNさんのガイドで行った。

そして、今回のヒマラヤの雪山6160mのアイランドピークもNさんのガイドである。日程は平成24(2012)年3月27日～4月20日の25日間。羽田からバンコク経由

でカトマンズに入り、1泊してネパール国内航空でルクラに飛び、ルクラからトレッキングが始まる。一行はNさんのガイドで、客は私ともう一人の二人。もう一人は女性で、Nさんの同級生。内輪の最小登山隊だ。ほかに現地クライミングシェルパが二人、コック一人、キッチンボーイ二人、キッチンヘルパー二人、それとゾッキョ(ヤクと牛の合いの子)。コック以下のメンバーでキッ



コンコルディアから氷河の奥にK2を望む



アイランドピーク（西方のトレッキングルートから）

を高度5000mまで登る。翌日最後のロッジのあるチュクンに到着、ここでまた2泊する。そしてまた高度馴化に、チュクンリの前衛峰（5200m）に登る。翌日、ルクラから10日目にアイランドピークのベースキャンプ着。こ

チン関係の荷を運んでいく。さらに、テント、我々の荷などを運ぶためのポーター二人。この現地コックは日本料理が得意で、日本隊には引っぱりどころらしく、同じ時期に8000m峰14座目のダウラギリを目指していた竹内隊もこのコックに依頼したが、すでに他の隊に予約されていて駄目だったとのこと。

さて、私は、日本料理主体の食事だったにもかかわらず、歩き始めて3日目に腹の調子が悪くなり、ずっと悩まされた。下痢が続き、4日目の昼食後、嘔吐した。これも高山病の症状の一つで徐々に慣れるしかない。6日目ディンボチェのロッジで、エベレストに登るというカメラマンの村口さんと74歳の渡辺玉枝さんに会った。我々のガイドのNさんとは顔なじみで一緒に歓談したが、渡辺さんはここまでの道筋でも、我々が2日かけた道を1日で歩くというすごいおばさんである。日本に帰ってから、二人がエベレストに登頂したという記事を朝日新聞で読んだ。渡辺さんは自分の持つ女性の世界最高齢登頂記録を更新した。村口カメラマンは7度目のエベレスト登頂で、これも自分の記録を更新して、日本人最多登頂者だ。ディンボチェで1日滞在し、高度馴化のため、近くの山

ここからはテント泊まりとなる。このテントサイトは雷鳥が多く、雷鳥はネパールでは神の使いとして尊重されている。ネパールの雷鳥は縞模様があり、まるまると太っていて、かつてNさん思わず、うまそうだなとシェルパに言って、白い目で見られたという。日本隊のシェルパは日本語を話す者が多い。登頂日を決めるのに重要なのは言うまでもなく天気予報だ。驚いたのは日本の気象予報士と通信衛星を通して連絡を取り、ネパールの山の天気の情報を得ていること。その情報により、11日目にハイキャンプ（5500m）へ出発、12日目に登頂と決まる。ハイキャンプの夜、血中の酸素濃度が低くなっているというので、酸素を吸った。指に挟んで計る大きい洗濯ばさみのような器具（パルスオキシメーター）で、トレッキング中、毎日、朝夕の食事の前に計ってきた。登頂の当日、未明の2時に起き、3時にヘッドランプをつけて出発した。夜中に降った雪で歩きにくい。急な岩稜を登り、クレバスの脇を通って、平原状になった氷河を詰めると、雪壁にぶつかった。高さ150mほど、この壁をロープ伝いにユマールで登る。実はこのアイランドピーク登頂のために、日本で冬山の訓練をしてきた。12月に



冬山訓練をした谷川岳

八ヶ岳の天狗岳、1月に同じ八ヶ岳の硫黄岳、そして北アルプスの西穂高岳独標、2月に谷川岳。そして、逗子と横須賀の境にある鷹取山の岩場。この間に、氷瀑などを登り下りしながら、ユマールでの登り方、エイト環を使っの懸垂下降などの練習をしてきた。しかし、訓練と本番では、環境が違う。酸素が平地の二分の一しかないの、からだも頭もいうことをきかない。長い時間をかけて雪壁を登りきって稜線にたどり着き、そこから山頂までやせた雪稜を伝ってやっと山頂に着いた。眼前には8000m峰ローツェの南壁が雲間に聳え立ち、振り返

ると、近くにアマダブラム、遠くメラピークほかの山々が目の高さ、あるいは眼下に広がっている。手袋をはずすのがおっくうで写真を撮る気にならない。Nさんに撮ってもらう。念願のヒマラヤの山頂に今立っているという満ち足りた思いのひとつときであった。下りの雪壁で白人の女性が懸垂下降の途中、クレバスに落ちてぶら下がるというハプニングがあり、我々のシェルパが急行して事なきを得たが、我々は無事ベースキャンプに到着した。帰りの道中は、のんびりとエベレスト街道からわき道にそれ、谷の奥の村に行き、そこの寺院を訪ねたり、また、途中で、昨年雪崩に巻き込まれて亡くなった若いシェルパの経営していたロッジに寄って、その奥さんを弔問したりした。そのシェルパはNさんとTさんがサポートした、宮原さんのエベレスト挑戦のときのシェルパだった。私も過去2度Tさんのガイドでネパールに来たが、一度はナムチェバザールの市場で、二度目はカラパタールの麓のロッジ、ゴラクシェプで会っている。優しそうな目が印象的な、小柄な人物で、エベレストには19回登っていた。シェルパの中で2番目の多さで、必ず1番になると言



アイランドピーク山頂にて（平成24年4月9日）

われていた。雪崩にあったのは、アイランドピークと目と鼻の先の、バルンツェという7000m級の山だった。カトマンズに戻った後、飛行機でポカラに飛び、街を見物したり、山岳博物館を見学したり、近くの山の上から、マチャプチャレやアンナプルナ連山をながめたりして、観光客に戻って過ごした。

“Indonesia 2012” 参観記

和田 文明

(はじめに)

6月18日から24日まで7日間、インドネシアの首都ジャカルタのコンベンションセンターで、FIP 国際切手展 “Indonesia 2012” (図1) が開催されました。同展の“航空郵趣”(Aero Philately) 部門(セクション・ファイブ)に『アメリカ郵政の公用航空郵便史、1911～1945』というコレクションを5フレームで出品しました。



また、中国、インド、インドネシアというアジアの新興国を表す“チャインドネシア”という

図1 “Indonesia 2012” のロゴマーク 造語も生まれ、経済発展が著しい“アセアンの大国”インドネシアのクレジットカードやICカード電子マネーに関する業界専門誌の取材を兼ねて、6月21日から24日まで3泊4日のスケジュールで、ジャカルタを訪問し、“Indonesia 2012” を参観し、ジャカルタ郊外にあるテーマパーク“タマン・ミニ・インドネシア・インダー”にある切手博物館も見学して来ました。

・“Indonesia 2012”

今回のFIP(国際郵趣連盟)主催の“Indonesia 2012”(写真1)は、2008年にジャカルタで開催されたFIAP(アジア郵趣連盟)アジア国際切手展“Jakarta 2008”から4年を経ての開催です。インドネシアでは、過去1993年と1995年、2008年の3度FIAPアジア国際切手展を開催し、1996年には青少年のユース世界国際切手展も開催しています。



写真1 会場入り口の案内

今回の切手展のマスコットキャラクターには、(図2)のように、インドネシアの“コモドオオトカゲ”を擬人化し、ルーペを持って民族衣装を纏った人形を採用しています。主催者の発表では、日本からの15作品(文献を除く)をはじめ、アジア、ヨーロッパ、アメリカ、中東、アフリカから62ヶ国が参加し、会期中に2万1,000人が来場したとの事です。日本からの15作品の出品は、日本開催や隣国である韓国、台湾、中国、香港で開催される国際展、アジア展を除くとこれまでになく多くの作品が出品され、大金賞2作品、金賞2作品と優れた成績を残しました。

今回のインド



図2 “Indonesia 2012” のマスコットとそれを配した記念カバーのマスコット人形

ネシアにおける国際切手展は、インドネシア共和国建国67周年、並びにジャカルタ(旧ジャヤカルタ1527年～、旧バタビア1619年～)開都485周年、インドネシア郵趣協会設立90周年をそれぞれ記念しての開催だそうです。また、同展は2012年度に開催される唯一のFIP世界展であり、ワールドスタンプチャンピオンシップも兼ねています。

今回の切手展で大変残念であったのは、6月18日のオープンに会場のコレクションの展示が間に合わず、展示が全部揃ったのはなんとオープンから3日後の6月21日でした。展示フレームの造作は悪く、強度不足もあり、多くのリーフがフレーム内で脱落していて大変見苦しい状態でした。日本からの出品作品に、こ



写真2 “Indonesia 2012” の会場

切手展の出品者への配布はなんと最終日の午後で、参観のガイドブックとしての役には立たず、切手展出品の“記念品”となっていました。

・今回の私の出品作への評価

私の今回の出品作は、“U. S. Post Office Department/ Official Business Airmail, 1911 ~ 1945” (アメリカ郵政の公用航空郵便史、1911 ~ 1945) (写真3) で、10年以上全日展やJAPEXに挑戦し続けて漸く2011の全日展で金銀賞を獲得し、国際展へのエントリー資格を得たものです。今回出品作品は、これまでの国際展出品作品のように“郵便史”(Postal History) 部門ではなく、“航空郵趣”(Aero Philately) 部門にエントリーし、評点75点の“大銀賞”(Large Silver) を受賞しました。

航空郵趣部門の多くの作品がいわゆる“フィラテリックカバー”(収集家自から作成した郵趣カバー) で構成されるケースが多いなか、私が今回出品した航空郵趣コレクションは、アメリカ郵政の部局や郵便局が実際の業務に関して差し出した実逄の公用航空郵便カバーで90%以上を構成しているのが自慢です。また、航空事故に係る事故郵便物を転送する公用航空郵便



写真3 “大銀賞” を獲得した筆者のアメリカ“航空郵趣”のコレクション

カバーを16リーフ(1フレーム)で展開しています。今後、各国で航空郵便100周年を迎えます。ますます航空郵趣が盛んになることを期待しています。

昨年のインド展で金賞(評点:93点)を獲得したアメリカ郵政の書留業務郵便に関する郵便史のコレクションも、国際展へのエントリー資格である国内展での金銀賞の評価をなかなか得られず、漸く7年前に最初に出品した台北アジア国際切手展(2005年)では、銀賞からのスタートでした。このコレクションもこれから国際展への出品を重ねて精進し、賞の更なるランクアップを目指していきたくと思っています。

今回頂いた受賞メダルは、大金メダルの受賞者も銅メダルの受賞者も全員同じ金メッキのメダル(写真4)で、私としては“得”した思いでした。ちなみに、昨年7月に横浜で開催された日本国際切手展は、金・銀・銅の扇型のメダルがそれぞれの受賞者に贈呈されましたが、昨年11月に中国の無錫で開催されたアジア国際切手展では、賞のランクに関係なく全員同じ銅製の大型のメダルで、大金銀賞を獲得していた私は“損”をした思いを抱いていました。FIPやFIAPの国際展開催のレギュレーションでは、この辺のところはどうなっているのでしょうか?

・オフィシャルホテル - スルタンホテル



写真4 “Indonesia 2012” の受賞メダル

今回の“Indonesia 2012”のオフィシャルホテルは、旧ジャカルタヒルトンホテルであった“スルタン”(イスラム世界における“君主”の称号)ホテル(写真5)で、会場のジャカルタコンベンションセンター近くに立地しています。5つ星ホテルの割

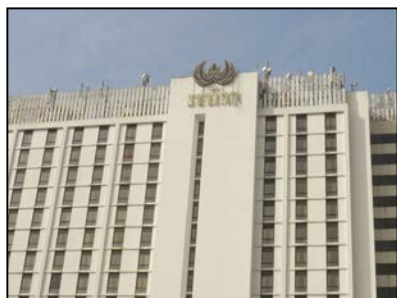
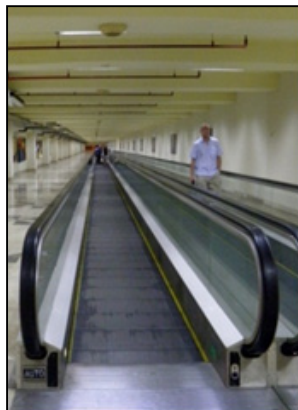


写真 5,6 オフィシャルホテルと切手展会場のコンベンションセンターを結ぶトンネル



に、宿泊代はオンライン予約で 1 万円を切る割安価格で宿泊ができました。インドのデリーでは、古い何の変哲もないホテルが 1 泊 3 万円以上と高額な宿泊代であったのとは大違いでした。

広大な敷地に建つホテルには、塔や門などの旧跡も多く有り、早朝の涼しい時間にホテルの敷地内を散策しました。また、国際切手展会場のコンベンションセンターとホテルを結ぶ地下トンネルが国際会議に合わせて建設されており、暑い中、ホテルと会場の移動に大いに助かりました。切手展の運営には問題が多々あったものの、このオフィシャルホテルに関しては素晴らしく、高い評価を与えられると思います。

・“Australia 2013” のブース

切手展会場には、2013 年 5 月 10 日から



図 3 “Australia 2013” のロゴマーク

15 日までの 6 日間、オーストラリア(豪州)の第二都市であるメルボルン

市で開催される FIP 国際切手展 “Australia 2013” (図 3) のブース(写真 7)が出版していました。同展の正式名称は、“オー



写真 7 “Australia 2013” のオフィシャルブース

ストラリア 2013 ワールドスタンプ EXPO” で、メジャースポンサーにオーストラリア郵政が名乗りを上げ、切手展の会場はカールトン・ガーデンのロイヤル・エキシビション・ビルディング(王立展示館)で開催されます。ブースでは、切手展のブリテンやパンフレット、記念切手、記念カバーなどを入手しました。

・タイナイトパーティ

2013 年 8 月に郵便制度施行 130 周年を記念し、タイの首都バンコックで開催が予定され



図 4 “Thailand 2013” ロゴマーク

ている FIP 国際切手展 “Thailand 2013” (図 4) は、オーストラリアのように専用のブースは出店していなかったものの、タイ郵便事業会社の女性社長やタイ郵趣協会の会長(写真 8)



写真 8 タイ郵趣協会会長の挨拶

など多数の関係者が出席し、コミショナーやディーラー、審査員など各国の多くの切手展関係者を招待

して、“タイナイトパーティ”(写真 9)を会期中の 6 月 21 日にオフィシャルホテルのパーティ会場で開催し、同切手展の PR と切手展への出品・出店や参観を招請していました。

私は 21 日にジャカルタ入りをしたので、このパーティに間に合わないかと心配していましたが、受付開始の午後 6 時 30 分過ぎには着替えを済ませて、無事パーティ会場に着くことができました。日本からの参加者は、私一人でなかったかと思います。尚、来場者には “Thailand 2013” のブリテンやタイ郵便会社のマスコット人形などがプレゼントされました。

・パルマレスナイト

パルマレスナイトパーティ(受賞パーティ)(写真9)は6月22日の19時からオフィシャルホテルのパーティ会場で開催されました。私は、出品し参観する国際展のパルマレスナイ



写真9 パルマレスナイトのチャームな女性司会者

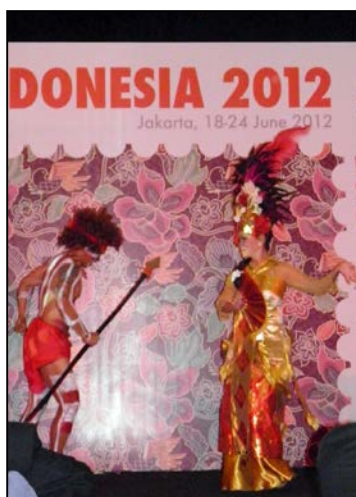


写真10 パルマレスナイトのアトラクション「バリダンス」

トパーティには極力出席するようにしています。各国のパルマレスナイトパーティで披露される歌舞(写真10)・音曲は、切手展参観の楽しみの一つです。

今回の切手展では、公式カタログが最終日に

配布されるなど問題が多々ありましたが、パルマレスナイトパーティには、90ページもある立派なカラー刷りの受賞者目録が配布されました。公式カタログより受賞者目録を先に手渡されるというチグハグさも南国インドネシアでは許されるのでしょう。

昨年7月に横浜で開催された“日本国際切手展2011”のパルマレスナイトでは、2012年2月にインド国際切手展でインドの実行委員長から引き継いだ“FIP旗”が、(写真12)のように日本からインドネシアの実行委員長へ引き継がれました。今回のインドネシア展のパルマレスナイトでは、2013年5月にオーストラリアのメルボルンで開催される“オーストラリア



写真11 “日本国際切手展2011”のパルマレスナイトでの“FIP旗”の引き継ぎ

2013”の実行委員長へと引き継がれていきました。

・切手博物館

インドネシア滞在最終日に、観光ガイドで見つけたジャカルタ郊外にあるテーマパーク“タマン・ミニ・インドネシア・インダー”内の切手博物館(写真12)にインドネシアのガイドさんに案内してもらって、行って来ました。

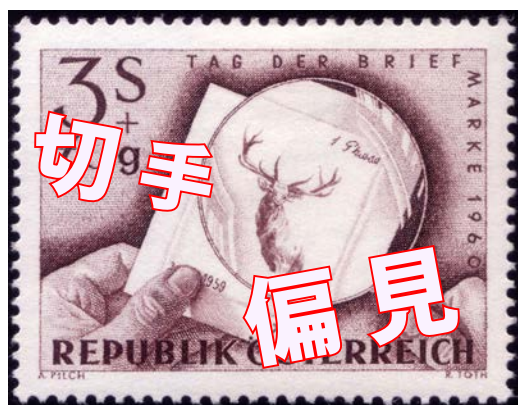
クーラは故障中とのことで、館内は蒸し風呂状態のため、せっかく片道1時間以上ドライブして訪ねた切手博物館の参観も15分で切り上げざるを得ませんでした。国際切手展の開催中でもあり、もっと沢山の参観者が来ていると思っていたのですが、参観者は私一人でした。クーラは故障ではなく、参観者がいないので、スイッチを切っていたのではと疑ってしまいました。



写真12 切手博物館入口で記念写真



写真13 切手博物館に展示されていた19世紀の郵便ポスト



会報 38 号で近年発行される切手の横文字使用に疑問を呈した。その一因に切手発行がシートでの発行に主眼がうつり、シートで発行の趣旨、目的等を表現し、デザインされている。切手は刺身のつま、付録、つけたしのようになり、一枚の切手を見ただけで発行趣旨、表現の意味を理解できないものが多くなっていると感じる。また、グローバルな社会である現在、外国語は従来とは異なる基準で使用される必要を感じる。国際関係事項の特殊切手に外国語表示が無かったり、横文字を単にデザインとして位置づけたり、日本語より大きくしていたり、その意図を考えさせられるものまで目にする。さらに、切手の種類を英語で普通切手と表示し、額面価格を 5 つも表示された奇妙なものまで出現したことを考えてである。

切手は国際的に情報を提供できる印刷物である。当然、外国語表示のあり方が慎重に検討されて然るべきである。そこで、日本切手に印刷された外国語という観点でしらべてみることにした。外国文字、外国語、主にアルファベットが切手に印刷されているのは国名、通貨名称、発行趣旨・目的の 3 点である。

国名

国名は 3 つ形で日本語以外で表示されている。まず大日本帝国の英語表示は 1876 年から 1892 年に発行された旧小判、新小判切手と 1894 年と 1896 年発行の記念切手（明治銀婚、日清戦勝）、計 36 種の切手に見られるだけである。菊切手以後は 1966 年にローマ字で NIPPON が表示されるまですべて漢字表示のみである。

1876 年旧小判切手からの 36 種には英語で国名表示されている。この英語表示には 2 種類の表示がある。記念切手 6 種と小判 5 厘型、1 5 銭型

の 22 種は大日本帝国郵便に対応して IMPERIAL JAPANESE POST と表示されている。対して、1877 年を中心に発行された 5 銭から 12 銭の 5 種の 5 銭型の新旧小判切手 8 種は JAPANESE EMPIRE POST と表示されている。

この違いは外国郵便等の使用目的とは考えられ



最初の NIPPON 表示切手



IMPERIAL JAPANESE POST



JAPANESE EMPIRE POST

2 種の大日本帝国表示

ず、発行時期でも理解できないものである。勉強不足の身で不遜であるが、これは単にデザイン上の文字数からではないかと考えたい。EMPIRE 小判 8 種は他の小判切手と異なり、デザインが統一されておらず表現されている物も異なる。額面表示もアラビア数字、ローマ数字、漢字が混在して使用されており、他の小判切手と異なる特徴を持っており文字配置の観点で使用したと考えたくなる 8 種の切手である。

額面表示

数値表示は竜文、竜銭切手 8 種と特殊切手 8 種（大正婚儀、日韓通信合同、明治神宮鎮座、台湾行啓、神宮式年遷宮）の 16 種が漢字だけで表示されている以外はすべてアラビア数字が表示されている。注意されるのがここでも 5 銭型新旧小判切手 8 種である。

この 8 種はアラビア数字、漢字、英語で数値を表示している以外に、5 銭切手ではギリシャ数字の V が用いられ、8 銭切手では漢字「八」が毛筆で表記されている。

貨幣単位をアルファベット・ローマ字表示したものは 250 種程度発行されている。単位名称は桜和紙カナ無し手彫り切手から小判切手までは銭は SEN と表示されていたが、小判切手から簡略記号 (?) が使用され、厘 = R' n、銭 = S' n、円 = y' n



アラビア数字、ギリシャ数字、毛筆漢数字での額面表示



ENでの額面表示

で簡略記号は斜め長四角で表示され、アルファベットも大文字、小文字の使用に混乱があるようである。厘をRINと表示した切手はなく、上記R'n表示か、すべてが5厘表現であるため1/2SEN、1/2S'n表示になっている。



SEN表示

円表示は新小判切手でY'Nの簡略表示を最初に、1951年発行普通切手'らでん模様'YEN'表示までであるが、その間にYENとENの2種の表示が出現している。昭和自紙の神功皇后まではYEN表示である。

戦時色の中、横文字は禁止かと思ったが、1945



2種の円 y'N、YEN表示

年までの高額普通切手に“YEN”でなく“EN”として敵国文字が使われている。1939年発行普通切手'鎌倉の大仏'から1947年7月発行'梅花模様'までの18種の普通切手と1946年発行の郵便開始75年記念1円切手の計19種はEN表示になり、その後は1948、1951年発行普通切手'らでん模様'の2種だけがYEN表示切手であった。

その後はYEN表示はなく、2009年発行普通切手'恵喜童子像'にYENが変則的な形で4つ表示されて復活したようである。

このYEN、EN表示の混乱は2つの観点を考慮する必要があるようだ。

1. ローマ字表記の観点 ヘボン式ローマ字が確立したジェームス・カーティス・ヘボンが和英辞

書『和英語林集成』第三版(1886年版)に至って、「円」と格助詞の「へ」以外、「エ」は全て「e」に改定されており、すでに「円」は「yen」として定着していたと考えられる。

2. 発音の観点 YENと決定したことには日銀貨幣博物館より下記のような意見を受けた。

①発音上の理由

「EN」は外国人が発音すると「エン」よりも「イン」に近いものとなるので、子音「Y」をつけて「YEN」としたとの見方です。

因みに、幕末に日本を訪れた外国人の記録には、「江戸」を英語で「YEDO」と表現されています。

②諸外国との語句との区別

「EN」は、オランダ語では、「〜と」、「そして」の意。スペイン語やフランス語では、「〜の中に」の意で頻繁に使用されるため、これらとの混同を回避したとの見方があります。

③中国の「圓(ユアン)」からの転化

中国の「元」紙幣には「表に〇圓」、裏に「YUAN」と表示されていました。これが「YEN」に転化したとの見方があります。

ヘボン式ローマ字表示を無視してまでEN表示にした理由は全くわからないが鬼畜米英の時勢、何らかの形で従来の表示に変更を加える必要があったのかと考える。同時期の1938年から1941年に発行された国立公園小型シートの表示には英語でなくフランス語が用いられており、この辺の事情を考えさせる。

また、旧、新小判切手に見られた貨幣単位の簡略表示(厘=R'n、銭=S'n、円=Y'n)の斜め長四角が1894年明治銀婚で丸点になりS・Nとなり菊切手以降1938年までR・N、SEN、S・N、YENが横文字で使われている。この四角略記号がどのような経過で丸点になったのかも知りたいものである。

ついでながら、国名、通貨表示とも漢字の一文



フランス語と紀元年が表示された小型シート



小判切手は斜め口、菊切手は○を使用

字縦書きが最後に使用されたのは 1948 年 3 月発行の採炭夫 50 銭切手の“便郵國帝本日大”、“銭拾五”が最後だろう。(横右書、右横書という表現は間違いらしい。参考：新潮新書「漢字は日本語である」)



最後の一文字縦書き
国名表示切手

切手発行内容、目的

単語としての外国語使用を整理すると最初の記念切手明治銀婚切手に IMPERIAL WEDDING 25 ANNIVERSARY の表示が最初に見られている。その後は小型シート(国立公園小型シート 1938-41 年にフランス語、1946 年郵便創始 75 年、1947 年憲法施行に英語)がみられが、戦後 1947 年までは見られず、共同募金切手の COMMUNITY CHEST と表示した共同募金バッジを描いた切手が最初である。しかし、これも表示文字として明確に表示したものではない。その後、化学記号、UPU、放送局のアルファベット、を表示したアルコール専売 10 年、UPU75 年、放送 25 年の切手



IMPERIAL WEDDING
25 ANNIVERSARY



COMMUNITY CHEST

と赤十字・共同募金、国立公園の小型シート上に英語は存在するが、切手上の英語としては 1949 年発行の別府湾と高崎山を描いた別府観光切手"BEPPU 別府"である。終戦直後の混乱期、海外に向けての観光 PR 切手としては考えにくく、在日駐留軍族を意識し英語の使用が意図されたとも考えたい。また、1950 年をはじめにきじ航空切手が航空切手としては最初にして最後に "AIR MAIL" を表示し発行されていることも占領下の日本を考えさせるといのはかなりの偏見であろうか。



BEPPU

AIR MAIL



最初の記念切手、明治銀婚切手から約 70 年、切手の発行目的等が英文でやっと表示されたのは最初の多色印刷切手の 1955 年国際商業会議所東京総会切手の "XVth CONGRESS OF I.C.C. TOKYO" である。その後は年に最低 1 枚の切手に英文が表示されており、1958 年以降は国際文通週間切手に代表されるように英語を表示する切手が多くなり、1 枚の切手の持つ情報は従来にも増して無視できなく、新たな利用方法があるのではないかな。しかし、現状の切手の英語表示(外国語表示)の発行目的内容による基準もしくは尺度が判然としない感を強くしたので、



XVth CONGRESS OF I.C.C. TOKYO

この点を少し検討してみた。

外国語表示を検討するのであるから、切手発行目的内容には、国際、世界、親善、外交、国交といった語が含まれる場合には外国語での発行趣旨表示が期待されるので、これらの語を中心に大雑把に検討してみた。他に、動植物の学名等があるが、今回は除いた。

国際の文字を使用した特殊切手は約 400 種存在するようである。そのうち団体・機関、会議、運動等のマーク、ロゴの横文字を含めて英語を中心に横文字が表示されているのは 80% 以上、約 270 種になる。しかし、ユネスコのような著名なマークと相応しい図案であれば、切手の持つ意味はつかめるが、多くの切手に対して、その発行目的を海外で理解をどの程度期待したのかと疑問を感じざるを得ない。例えば、1984 年国際内科学会議、1987 年世界歴史都市会議記念切手に英語で会議名が表示されていたら情報量の意味するところは、と考える。また、1977 年国際看護婦協会大会、1990 年国際助産婦大会の切手、図案から発行の漠然とした意味はつかめても国際大会までは考えないであろう。蛇足ながら 1977 年国際看護婦協会大会切手は発行以来切手商日本切手カタログでは 50 年近く 全国看護婦協会大会 の誤りのままであり、英文表示があれば、と失笑を禁じ得ない。

世界という文字を使用した切手は約 100 種あるが、スポーツ関係が多いせいか半数以上に英語表示はないようであり、検討されてしかるべきであろう。

また、統一した方が良いのでは考えるのが、国際地球観測年にはじまり、今年の国際森林年までに 40 種近く発行されている国際年の表示である。英語表示は少なく、世界統一マークを表示しても小さい表示が多く理解ににくい切手が多いように感じるのは更なる偏見であろうか。

最近感じるのが、郵便会社のシート単位販売重視にともなう一枚の切手の持つ情報量の減少



略記でない会議名が英語表示されていれば？

である。例えば、過去にサミット記念切手は TOKYO, OKINAWA, TOYAKO と 3 件 13 種発行されている。TOKYO, OKINAWA の 3 種には英語が表示されているのに洞爺湖サミットの切手からは英語が消えて、代わりに、シートに日本語の 4, 5 倍の大きさで G8 HOKAIDO TOYAKO SUMMIT 2008 と表示されている。この英語が各切手に上記に示したように表示されていれば、わずかでも北海道の観光事業にプラスとなったのではないかと考えたい。外国人がこの切手を 1 枚、目にしたら、公園切手か、動物保護切手かと考えてしまいはしないか。このようなシート重視、切手軽視の発行が続くことを危惧する。

因みに、2011 年に発行された切手のシートと単片としての切手に表示された外国語を整理してみたのが表 1 である。シートには半数以上に英語、独語 (1) が表記されているのに、切手自体に外国語が表記されたのは非常に少ない。すべてに外国語表記が必要ではないのは勿論であるけど、国際的な事項に関して発行された南極条約発効 50 周年、世界体操東京大会、自然保護という国際的課題に関連する自然との共生を訴える切手などに外国語 (英語) 表示があれば発行の意味がより深まりはしなかったかを感じる。

また、自然との共生シリーズは発行を増すにしたがい日本の自然の豊かさを広く知ってもらうためにも動植物の学名表示がないのが悔やまれる切手になりそうだと考えてい



TOKYO(1 種), KYUSU-OKINAWA(2 種) SUMMIT の表示あるサミットの切手と自然公園切手とも考えられそうな HOKAIDO TOYAKO SUMMIT(10 種) 切手



る。今後、動植物をメインに写真、細密画で採り上げる切手は英語での学名表示を期待したい。

次に、英語若

表 1. 2011 年発行切手の外国語表示 シートと切手

通称	シート表示	切手表示
2011 グリーティング・干支文字	無	無
2011 年切手趣味週間・郵便創業百四十周年	Philately Week 2011	Philately Week 2011 JAPANPOST
アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ 第 16 集	無	無
アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ第 15 集	無 (ONEPIECE)	無
グリーティング切手ピーターラビット	THE WORLD OF PETER RABBIT	無
夏のグリーティング	HELLO KITTY & DEAR DANIEL	無
行政相談委員制度 50 周年	無 日本語標語	無
国際文通週間にちなむ郵便切手	International Letter-Writing Week,2011	International Letter-Writing Week,2011
自然との共生シリーズ 第 1 集	Harmony with Nature Series No.1	無
春のグリーティング	GREETINGS	無
星座シリーズ 第 1 集	Constellation Series No.1	無
第 43 回世界体操競技選手権東京大会	ARTISTIC GYMNASTICS WORLD CHAMPIONSHIPS TOKYO 2011	ARTISTIC GYMNASTICS WORLD CHAMPIONSHIPS TOKYO 2011
地上テレビ放送の完全デジタル化	無	無
冬のグリーティング	Greetings・Winter	無
東京国際空港開港 80 周年	The 80th Anniversary of Tokyo International Airport	無
東京文化会館 50 周年	The 50th Anniversary of Tokyo Bunka Kaikan	無
東日本大震災寄附金付	無	無
南極条約発効 50 周年	無	無
日独交流 150 周年	150Jahre Freundschaft Deauchland-Jpan	150Jahre Freundschaft Deauchland-Jpan 1 枚地名
日本のスポーツ 100 年	JAPAN SPORTS 100th ANNIVERSARY	無
日本の山岳シリーズ 第 1 集	Japanese Mountains Series No.1	無
日本国際切手展 2011	PHILA' NIPPON2011	PHILA' NIPPON2011
日本国際切手展 2011	PHILA' NIPPON11	PHILA' NIPPON2011
農林水産祭 50 回	50th FESTIVAL OF AGRICULTURE FORESTRY AND FISHERY	無
ふるさとの花 第 10 集	無	無
ふるさとの花 第 9 集	無	無
ふるさとの祭 第 6 集	Hometown Festivass Series 6	無
ふるさとの祭 第 7 集	Hometown Festivass Series 7	無
ふるさと心の風景 第 10 集	Hometown-Scenes in My Heart	無
ふるさと心の風景 第 9 集	Hometown-Scenes in My Heart	無
季節の花シリーズ 第 1 集	Seasonal Flowers Series No.1	無
江戸名所と粋の浮世絵	無	無
国土緑化・国際森林年	無	INTERNATIONAL YEAR OF FORESTS・2011(1 枚のみ)
第 66 回国民体育大会	The 66th National Sports Festival	無
地方自治法施行 60 周年記念シリーズ 岩手県	無	無
地方自治法施行 60 周年記念シリーズ 熊本県	無	無
地方自治法施行 60 周年記念シリーズ 佐賀県	無	無
地方自治法施行 60 周年記念シリーズ 鳥取県	無	無
地方自治法施行 60 周年記念シリーズ 滋賀県	無	無
地方自治法施行 60 周年記念シリーズ 沖縄県	無	無
旅の風景シリーズ 第 11 集	Travel Scenes Series No.11 Hokkaido Scenes from Winter to Spring	無
旅の風景シリーズ 第 12 集	Travel Scenes Series No.12 Hokkaido Summer Scenes	無
旅の風景シリーズ 第 13 集	Travel Scenes Series No.13 Hokkaido Scenes from Autumn to Winter	無
旅の風景シリーズ 第 14 集	Travel Scenes Series No.14 Tokyo.Omotesandou Area	無
年賀平成 24 年用	無	無

しくは横文字をデザインとして重視して日本語表示の存在を忘れないでほしいことである。切手趣味週間切手は日本語での切手趣味の表示はなく 98 種発行されてきた。1970 年まではビードロを吹く娘の切手の大きさが切手趣味週間記念を感じさせるものであったが、1971 年からは大きさの特徴が無くなり、他の特殊切手との判別は難しくなっている。2002-2008 年と今年の趣味週間切手に PHILATELY WEEK (YEAR) 文字等が特殊な印刷表示でなされている。一般の人が PHILATELY を切手収集と理解できることは期待できない。せめて切手趣味週間という日本語を小さく入れたほうが発行目的に沿うのではと思われる。

次に使用外国語の観点からは、修好条約、交流年等、外交で戦後約 30 件 120 種の切手が発行さ



PHILATELY WEEK より
切手趣味週間と表示があれば

れているが、外国語の使用に統一性が見られない。モンゴル、ギリシャ、チリ等 20 ケ国に関係する切手が発行されているが相手国言語と日本語の 2 ケ国語表示と日本語のみ表示の切手があり統一性に欠ける。スペイン語、モンゴル語、ギリシャ

語、ハンガリー語などを用いて2ヶ国語での発行意義を伝えている切手があると思うと、意外な国との切手が日本語表示のみであったりする。特に、隣国の中国、韓国については7件発行されているが日本語のみの表示である。両国の漢字の変化、漢字使用の実態を考慮すれば現在の中国漢字、ハングル等での表示が検討されてしかるべきであろう。



モンゴル語、スペイン語、ハンガリー語の表示

これとは対照的に、2ヶ国の文字の大きさのバランスの点から疑問を感じざる得ないものがある。2010年安保改定50年記念切手では

日本語と英語の文字の大きさが4倍以上異なり、日本語は1行なのに、英語は改定50年を除いて3行に表示され、デザインで日米関係を象徴した表現をしているのではと、勘ぐりたくもなる。



発行した国を疑いたくなる文字の大きさ



逆に不必要とかんじる外国語表示も存在する。2009年発行300円普通切手である。JAPANPOST DEFINITIVE STAMP 300YEN という英語が上下、左右の4辺に表示、日本語は日本郵便の4文字だけである。普通切手発行の

慣例から今後の普通切手が当分この JAPANPOST DEFINITIVE STAMP ○○ YEN が表示されることを覚悟せねばならないのであろうか。このような表示の是非はともかく、せめて1辺にとどめ、他には金剛峯寺恵喜童子像と表示されていたらどんなものであろう。

宣伝

切手に表示される文字情報は広くは広報ととらえられるが、少ないが宣伝の意味合いが非常に強いものがある。観光宣伝を強く意図した外国語表示が存在する。観光切手別府は地名 Beppu を、岐阜、沖縄のふるさと切手はふさわしいかは疑問でだが Beautiful Okinawa と表示している。外国観光客誘致のためであるなら一定の基準と発行頻度を決めて発行することを検討してみても良いのではないかと考える。



Beautiful Okinawa
バイナップル・沖縄県



心のふるさと飛騨・岐阜県
Beautiful Hida

沖縄県、岐阜県のふるさと切手に見られる観光宣伝

以上、切手の外国語表示に偏見に満ちた苦言を呈したが、外国語表示に一定の原則、基準が見えないことが残念である。英仏西等主要言語以外を使用する国の実情も調べる必要を感じるが今回はご容赦をください。

(編集子)

2012 年日本切手発行状況

2012 年は過去最多の切手が発行された年になった。表 1 のごとく毎日、1 種類が発行されても間に合わない数、44 件 384 種が発行された。窓口でシートでなく、1 種 1 枚ずつですと局員に念を押し、手に入れるのでさえ、年間 28506 円 (シール切手はシート購入)、月平均約 2400 円が必要となる状況である。このような状況では切手集めの楽しさを子供たちに話すのめ気が引ける思いである。

発行切手の一覧は表 2 のとおりで

表 1 2012 年発行切手件数と種類

分 類	件数	種類数
ふるさと切手	14	97
特殊切手	29	283
年賀切手	1	4
総 計	44	384



7 年ぶりに 1 件 1 種発行の日中平和条約記念切手と 2005 年中部国際空港記念切手

表 2 2012 年発行切手一覧

	通 称	種類数
特	1 グリーティング切手「ディズニーキャラクター」春	20
	2 グリーティング切手「ディズニーキャラクター」秋	20
	3 秋のグリーティング	20
	4 ふみの日 (百人一首)	15
	5 グリーティング切手「冬のグリーティング」	15
	6 夏のグリーティング	13
	7 IMF・世界銀行年次総会	10
	8 春のグリーティング	10
	9 アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ 第 18 集	10
	10 アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ 第 17 集	10
	11 いけばなの歴史 550 年	10
	12 沖縄復帰 40 周年	10
殊	13 干支切手	10
	14 季節のおもいでシリーズ 第 1 集	10
	15 近代競馬 150 周年	10
	16 星座シリーズ 第 2 集	10
切	17 第 3 次世界遺産シリーズ〈第 5 集〉「小笠原諸島」	10
	18 第 3 次世界遺産シリーズ〈第 6 集〉平泉	10
	19 伝統的工芸品シリーズ 第 1 集	10
	20 東京国立近代美術館開館 60 周年 京都国立近代美術館開館 50 周年	10
手	21 浮世絵シリーズ 第 1 集	10
	22 米国への桜寄贈 100 周年	7
	23 自然との共生シリーズ 第 2 集	5
	24 牧野富太郎生誕 150 年	5
	25 古事記編纂 1300 年	4
	26 切手趣味週間	3
	27 国際文通週間	3
	28 国連 PKO 協力 20 周年	2
	29 日中平和友好条約 40 周年記念	1
ふ	30 国土緑化	10
	31 季節の花シリーズ 第 2 集	10
	32 季節の花シリーズ 第 3 集	10
	33 季節の花シリーズ 第 4 集	10
る	34 旅の風景シリーズ 第 15 集	10
	35 旅の風景シリーズ 第 16 集	10
	36 第 67 回国民体育大会	5
さ	37 地方自治法施行 60 周年記念シリーズ 大分県	5
	38 地方自治法施行 60 周年記念シリーズ 沖縄県	5
	39 地方自治法施行 60 周年記念シリーズ 宮崎県	5
	40 地方自治法施行 60 周年記念シリーズ 秋田県	5
と	41 地方自治法施行 60 周年記念シリーズ 神奈川県	5
	42 地方自治法施行 60 周年記念シリーズ 栃木県	5
	43 ふるさとの祭 第 8 集 天神祭	2
	44 平成 25 年用年賀郵便切手	4

* 7 月 2 日発行 500 円普通切手 (グラビア、国立印刷局印刷) は対象外

ある。表を見て注意されるのが1種類のみ発行の切手の存在が7年半ぶりに見られることである。日中平和友好条約40周年記念切手である。今後、昔懐かしの1件1種類発行が復活することが期待される切手である。日中関係の切手は、国交正常化と平和条約の観点から18種発行されているが今回の発行は前回30周年の10種類から1種類と正常化10年と同じで1種類と最も少なくなっている。

また、表をながめるとシリーズ、グリーティングというカタカナが目立つので、この観点でシリーズ、グリーティング、趣味週間と国体の定期発行、その他の4種類で整理してみると、表3のようになった。カタカナ2種のグリー

ティング、シリーズ切手が件数で6割、種類で7割を占めており、改めてその多さを感じるものである。また、記念切手という言葉が普通であったころの切手はその他と毎年定期発行切手であろう。この過去の記念切手に該当する2種だけでさえ16件109種も発行されていた。

21件167種と圧倒的に発行の多いシリーズ切手、2012年11月現在でどのようなものが発行されているのか整理してみると、表4のようになる。発行予定も含めると13シリーズが発行されており、最近2年間に発行開始されたシリーズが半数以上に達している。中でも、2005年発行開始のアニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズが2種の日本切手カタログの編集者泣かせの存在になっている。

表3 2012年発行切手発行形態別一覧

発行形態	ふるさと切手		特殊切手		年賀切手		総 計			
	件数	種類	件数	種類	件数	種類	件数	%	種類	%
グリーティング切手			7	108			7	16%	108	28%
シリーズ切手	12	82	9	85			21	48%	167	43%
その他(記念切手)			10	69			10	23%	69	18%
毎年発行切手	2	15	3	21	1	4	6	14%	40	10%
総計	14	97	29	283	1	4	44	100%	384	100%

毎年、シリーズにつづく切手番号を変更したり、準備した予定番号では間に合わず変則的なアルファベットをつける必要を迫られるほどの発行が続いている。今後、ど

表4 現在発行中のシリーズ切手

	通 称	発行 開始年	既発行 件数	既発行 種類数	分 類
1	旅の風景シリーズ	2008	16	160	ふるさと切手
2	地方自治法施行60周年記念シリーズ	2008	24	120	ふるさと切手
3	ふるさとの祭	2008	8(9)	47	ふるさと切手
4	季節の花シリーズ	2011	4(5)	40	ふるさと切手
5	アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ	2005	18(19)	175	特殊切手
6	第3次世界遺産シリーズ	2006	6	60	特殊切手
7	星座シリーズ	2011	2	20	特殊切手
8	自然との共生シリーズ	2011	2	10	特殊切手
9	日本の山岳シリーズ	2011	1(2)	10	特殊切手
10	季節のおもいでシリーズ	2012	1	10	特殊切手
11	伝統的工芸品シリーズ	2012	1	10	特殊切手
12	浮世絵シリーズ	2012	1	10	特殊切手
13	(海外の世界遺産シリーズ 2013.3 発行)	2013	0(1)	10	特殊切手

() 内数字は本年度3月末での発行件数

表5 年別グリーティング切手
発行件数、種類

年	件数	種類
1995	1	5
1997	1	5
1998	1	5
1999	1	5
2003	1	10
2004	2	25
2005	2	20
2006	3	26
2007	4	40
2008	5	60
2009	3	31
2010	4	46
2011	5	70
2012	7	108
総計	40	456



2012年に始まったシリーズ 季節のおもいで、浮世絵、伝統工芸品シリーズ切手(各10種)

表6 件別発行枚数順に見た切手一覧

通称	集計
グリーティング切手ディズニーキャラクター	16000
夏のグリーティング	6300
秋のグリーティング	6000
平成 25 年用年賀郵便切手	4365
冬のグリーティング	4300
季節の花シリーズ第 2 集	4000
季節の花シリーズ第 3 集	4000
季節の花シリーズ第 4 集	4000
星座シリーズ第 2 集	4000
ふみの日 (百人一首)	3000
春のグリーティング	2000
切手趣味週間	1800
干支切手	1800
季節のおもいでシリーズ第 1 集	1800
アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ第 17 集	1500
アニメ・ヒーロー・ヒロインシリーズ第 18 集	1500
いけばなの歴史 550 年	1500
第 3 次世界遺産シリーズ第 5 集	1500
第 3 次世界遺産シリーズ第 6 集	1500
浮世絵シリーズ第 1 集	1500
米国への桜寄贈 100 周年	1500
旅の風景シリーズ第 15 集	1500
国土緑化	1300
近代競馬 150 周年	1200
自然との共生シリーズ第 2 集	1200
東京国立近代美術館開館 60 周年 京都国立近代美術館開館 50 周年	1200
牧野富太郎生誕 150 年	1200
旅の風景シリーズ第 16 集	1200
国際文通週間	1100
古事記編纂 1300 年	1000
地方自治法施行 60 周年記念シリーズ宮崎県	1000
地方自治法施行 60 周年記念シリーズ神奈川県	1000
伝統的工芸品シリーズ第 1 集	1000
日中平和友好条約 40 周年記念	1000
IMF・世界銀行年次総会	800
ふるさとの祭第 8 集天神祭	800
沖縄復帰 40 周年	800
国連 PKO 協力 20 周年	800
地方自治法施行 60 周年記念シリーズ大分県	700
地方自治法施行 60 周年記念シリーズ栃木県	700
第 67 回国民体育大会	600
地方自治法施行 60 周年記念シリーズ沖縄県	600
地方自治法施行 60 周年記念シリーズ秋田県	600
総 計	95165

グリーティング切手の主流になってきた人気キャラクター切手
合計 60 種発行表7 発行枚数別
切手種類数一覧

発行枚数	集計	合計
60	5	300
80	20	1600
100	10	1000
120	45	5400
130	10	1300
140	10	1400
150	86	12900
180	20	3600
185	年賀 83 円 1	185
200	22	4400
240	10	2400
300	53	15900
380	年賀 80 円 1	380
400	56	22400
500	20	10000
540	2	1080
600	9	5400
720	切手趣味龍虎 1	720
1000	日中平和 1	1000
1500	年賀 53 円 1	1500
2300	年賀 50 円 1	2300
総計	384	95165

こまでつづくのであろうか。

次に、グリーティング切手をみると、途中、国際文通グリーティング切手という現在は発行されていないものが 4 件発行されたりした。現在は季節ごとにディズニーキャラクターなど人気キャラクターが 20 種発行されているが、文化財的なものを取り入れて多少は落ち着きを持った飽きのこないグリーティング切手が発行されるのを希望するのは無理なのであろうか。

発行枚数をみると、表 6、7 のようにキャラクターグリーティング切手 4 件で 3 億枚ちかく発行され、普通切手以外では最も使用頻度高いと思われる年賀切手 4 種の発行

枚数が 4300 万枚であることを考慮すると、この 3 億枚の切手の発行意図は郵便料金使用を前提としているのか考えさせられてしまう。また、日中平和条約、2012IMF、沖縄復帰、国連 PKO といった本来の記念切手と考えられる切手の発行枚数が 1000 万枚より少なくなっていることも併せて留意させられる。

額面別に発行種類数は表 8 に示すようになっていた。80 円切手が 4 分の 3 を占め、例年と変わらない割合であるが、ふるさと切手に 50 円切手が多く発行され、50 円切手が昨年より 20 種多く発行されていたことは、絵てがみを愛好する方々にとっては、多少は選択の狭さが解消できたことであろうか。

表 8 料額額面別発行種類一覧

額面	ふるさと切手		特殊切手		年賀切手	全体	
50	32	33%	50	18%	1	83	22%
80	65	67%	225	80%	1	291	75%
90			6	2%		6	2%
110			1	0.4%		1	0.3%
130			1	0.4%		1	0.3%
50+3					1	1	0.3%
80+3					1	1	0.3%
合計	97	100%	283	100%	4	384	100%

最後に、印刷方法、印刷機関を整理すると表 9 のようになり、昨年よりもオフセット印刷の割合が少なくなり、グラビア印刷がかなり増えている。しかし、切手を美術品として位置付けてもと考えさせる凹版印刷

刷の切手は今年も発行されないでしまった。凹版切手発行をふり返って探すと、凹版だけで発行されたものは 16 年前の 1996 年発行された 1000 円普通切手の雪村の描く重要文化財、松鷹図の切手が最後のものである。郵便会社にな



人物描写に凹版印刷の良さを感じさせる 2003 年発行の北里柴三郎、齋藤茂吉、文化人切手

り普通切手の変更がみられる中、この唯一の凹版切手がなくなることを祈りたい。更に、他の印刷方法に凹版印刷を加えての切手すら 9 年前の文化人切手北里柴三郎、齋藤茂吉の切手の人物像を凹版で描いたグラビア切手である。印刷機関はフランス Cartor Security Printing 社が去年と同じくオフセット印刷の 82% を印刷し、384 種の切手の半数を印刷するという、我々の記憶にある日本で外国の切手を印刷したことが新聞記事になった時代を懐かしく思い出させるものである。

表 9 2012 年発行切手の印刷方式と印刷機関



1996 年に発行された最も新しい凹版印刷の切手。現在、郵便窓口で購入できる唯一の凹版切手であろう。

種類 印刷機関	種類			機関			総計	割合
	ふるさと切手	特殊切手	年賀切手	Cartor Security Printing	国立印刷局	凸版印刷		
オフセット	37	153		143		47	190	49.5%
オフセット エンボス加工		10		10			10	2.6%
オフセット ホログラム 箔押し		10				10	10	2.6%
グラビア	60	107	2		155	14	169	44.0%
グラビアメタリック マルチイメージ		3			3		3	0.8%
グラビア 凸版			2		2		2	0.5%
総計	97	283	4	153	160	71	384	
割合				39.8%	41.7%	18.5%		

JP タワーの東京中央郵便局

7月、丸の内に戻り営業を始めた東京中郵、その建替えは取り壊しか、保存かで新聞を賑わせました。どの程度、保存がされたか、内部も含め覗いてみました。

建物外観はほとんど変わらず残されたように見えますが、近づくとなかなり変わったところがみられます。床面が歩道と段差がなくなり、入口の階段がなくなっています。下写真のように、中央郵便局の表示がなくなり入口周りは彫像の付いた UPU ポストもなくなりかなりすっきりしたようです。

逆に以前より存在感を増したのが東側入口（東京駅側）です。間口も広がり、ガラス張りの雨よけとそれを支え



JPタワーを空撮
SankeiBIZより



改装前正面玄関



段差が消えた正面玄関



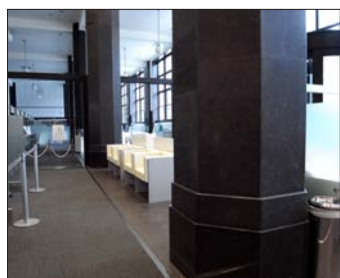
改装前駅側東入口



正面玄関になった感の駅側東入口



改装前ほとんどが展示物で囲まれていた黒大理石八角柱



改装後、全体で美しさを見せる黒大理石八角柱

る太い柱がどっしりと建ち、こちらが正面玄関かと感じてしまう造りです。

以前の回転ドアをしのぶ正面の円形自動ドアから中に入ると、改築前は掲示用のパネルで囲まれてその存在をあまり意識させられなかった黒大理石張りの八角柱が目に入ってきます。外壁の白と対比となるよう配慮されたという八角の漆黒の大理石柱、改めてその価値を認められたか、展示で隠されることもなくその存在を見せています。

懐かしき趣味の切手コーナーは改装前とほぼ同じ位置に切手展示方法を変えて窓際にカウンター様にのこされていました。はがき、シール、フレーム切手、その他の郵便会社販売グッズ陳列台を背にした切手帳・解説書の展示ケースの上です。切手シートを挿んだざっと70枚位の種類別の見出しをつけたパネルが本のように並んでいます。所定用紙に希望切手のパネル番号を記入します。平日は19時、土日は15時まで開いています。ふり返ったところ

に 2,300 円の中央郵便局のフレーム切手、その中に中郵の地下に郵便物の鉄道が敷かれていたようすの切手があり、その存在を初めて知りました。

再開発した高層ビル「JPタワー」内の商業施設名「KITTE（キッテ）」が、来年3月開業します。その時、中央郵便局入口にどのような表示がなされ、局内から商業施設へのどのような動線が意図されるか……。このJPタワーの6階からの東京駅の眺めはダイナミックだそうです。



改装なった建物の2ショット



郵便会社販売グッズスペースを
背に特殊切手が並ぶ



切手シート挿んだパネル
シートでしか買えない雰囲気・・・

切手研 OB 秋の叙勲で授章

公認会計士功勞により、

尾内 正道氏 旭日小綬章を受章

尾内氏は日本公認会計士協会副会長、日本会計士協会東京会会長を歴任、公認会計士の業務の向上に尽力されました。

尾内氏は昭和40年商学部卒業、昭和38年度切手研幹事長、文化団体連合会役員などで学生時代も活躍された。

・ 会計より

・ 25年度会費未納の方は納入ください。

・ 振込口座番号

・ 00110-0-560458

切手教室

第92回 10月6日 切手をPCで楽しもう

講師：小川 義博氏

第93回 11月10日 ギリシャ神話の英雄達

講師：福元 勝治氏

常設展



編集後記

小西会長が退任されました。長い間、多くの貴重な情報、活動場所、資料等の提供を稲門フィラテリーは受けました。本当にありがとうございました。今後ともご指導ください。(小)

発行日：2012年12月1日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉沢 忠一 池澤 克就

小川 義博

稲門フィラテリー

第 47 号

2013 年 3 月 1 日発行

郵趣失敗ばなし

岡田 芳朗

「命長ければ辱多し」という言葉があるが筆者の体験から「郵趣長ければ失敗多し」となる。

筆者が切手に興味を持ち始めてのは小学校二、三年生（昭和十三、四年）の頃、親の所に来た年賀状から年賀切手をガムシヤラにはがしたことを記憶している。

切手集めに夢中になって、もともと好きでない勉強がそっちのけになったのは、昭和十八年に早稲田中学に入学してからのことで、切手集めの知識もそれなりに覚えだした。

1. 比島切手集めでの失敗

その頃、人気をあつめていたのは南方占領地の切手で特にいわゆる正刷切手が次々に紹介され、戦勝気分もあいまって誰もが集めていた。馬來（マレー）や蘭印（オランダ領インド）などの加刷切手は、情報不足もあり、子供向きではなかった。

筆者の親類に開戦前フィリピンの日本商社に勤めていた人があり、開戦と同時に現地で敵国人として収容されたが、日本軍によって解放され、そのままフィリピンで活躍していた。彼の親御さんに尋ねたところ、数通の手紙がきているとの

ことであった。

早速おねだりして、それを頂戴した。筆者のおもわくでは、比島郵便の正刷切手か、あるいは占領加刷の貼ってあるものと期待していたのであったが、案に相違して日本の切手（昭和一次の四銭東郷だったか）が貼ってあるではないか。

今だったら、各占領地で最初に内地の切手がそのまま使用されたことを証明する貴重な実通便というわけであったが、当時の中学一年生には、つまらない現行切手としか理解できなかった。やがて、封筒から切り取られ、他の現行切手と一緒に水はがしされ、そのうちどこかへ消えてしまった。

2. 乃木二銭菊の御紋章エンボス

昭和一次の乃木二銭は、使用期間が長かったせいもあって、さまざまな変化をすることになるが、まだ平台とゲーベル印刷の二種しか知られていなかった昭和十九年頃のこと、多分ゲーベル版の方で、百面シートのうちに、三枚の割で菊の御紋章だけが浮き出してエンボス状になったものがあった。

それが何番切手であったか、記録してなかったがどのシートにあるというわけではなく、数シートに一シートという程度であったから定常変種ともいいかねるものであった。印刷の際の圧力の加減で偶然出現したものではないだろうか。



1943 年ビルマ、比島で発行の占領地での切手

とにかく、数枚の実物を大切にストックブックに収め、切手に無知の友人などに「これは皇室専用の切手だ」などとでまかせを言って見せびらかしていたが、昭和四十年頃、我が家に空き巣が入り、何冊かのストックブックやシートファイルとともに盗難にあった。そして、御紋章切手は消えてしまった。

他に金目のものがなかったのは確かだったが、切手だけを盗って行くとは変わった泥棒もいたものだ。

3. 幻の終戦の日消印

昭和二十年八月十五日、当時中学三年生だった筆者らはお堀端の中央气象台に勤労働員されていた。正午に終戦の詔勅を聞いて意気消沈をしたが、二、三の切手集め仲間と「これから中央郵便局に行って"敵国降伏"の十銭切手に今日の消印を押してもらおう、いい記念になるぞ」ということになった。

中央气象台から二重橋の前あたりまで行ったところで、「今日は早く帰ったほうが良さそうだ」ということになり、中央郵便局行きはご破算になって、八・一五勅語消印は幻に終わってしまった。（このことは前に一度書いています。）

その後、当時の新聞に次のような記事が載っていた。アメリカ兵が横浜あたりの郵便局で、何枚かの現行切手にミズーリ号で降伏文書調印の九月二日の消印を遡って押印することを要求し、局では拒みきれず、偽の日付印を押印した。



日本人にとっては八月一五日が、連合国側では降伏文書調印が勝利の日（Victory Japan Day）と意識されたわけである。

この年の年末頃であったか、銀座の露

店で後押印の Victory Japan Day デー・カバーを売っているのを見たような気がする。

4. 郵便創始七十五周年記念シート

郵便創始記念七十五周年記念の小型シートは東京では中央郵便局の他、飯田橋にあった通信博物館で発売された。発行日は昭和二十一年十二月十二日で朝はかなり寒いころであったが、何度か行ったことがある通信博物館の方を選んで長い行列の後に並んだ。この時、館では記念小型シートの印刷実演を見せていた。

この日入手したのは多分いわゆる初刷りの四色一度刷りのものであった。ところが、長い間にアルバムから消えてしまい、その後、切手商から後刷のものを入手した。

今となっては、行列して購入したのが本当に初刷りだったのかも確かめようもないわけである。



5. 新憲法施行記念エラー小型シート

新憲法施行記念小型シートは五十銭切手と一円切手の組合せになっているが、どちらか片方の印刷漏れのエラーシートが存在する。

エラー小型シートを売価（二円）の五十倍で友人から譲ってもらい、大切なコレクションにしていた。その頃、毎月一回原宿駅前の高田クラブ（後のフクオ）で切手交換会が開催されていた。あるとき、戦争中ドイツで発行された先鋭部隊を画く賦課金切手のセット（一九四三年発行）が出品さ



れた。出品者は筆者の愛蔵エーラー小型シートをみて、それとの交換を望んだ。結局それを受諾したわけである。

いまになってみると、大分損な交換をしたわけだが、その時はそのドイツ切手に深い思い入れがあったので、そういうことになったのである。というのは、昭和十九年の初め頃であったか、その頃、銀座裏の昭和通りにサンサン（サンだったか？）洋行という切手屋があって、写真入りの販売目録を発行していたが、そのある号に、最近ドイツ潜水艦によって二セット日本にもたらされたとしてこの戦争シリーズが紹介されていた。

その価格は中学生にはとうてい手のとどくものではなかった。そして、その切手の絵柄は戦時中の子供たち（大人もそうであっただろう）の憧れの的であった。



そのとき受けた強い印象が残っていたから、つい交換に応じてしまったわけである。

6. サザーランド商会の発見

幕末か明治初年頃サザーランド商会が発行した「サザーランド切手」は、長崎あるいは上海で使用されたといわれてきたが、この商会についてはっきりしないところがあった。

筆者は明治6年に実施された太陽暦への改暦について調べていたが、昭和二十九年頃、早稲田大学図書館で、明治四年以降の「ザ ジャパン・ウィークリー・メール」という横浜で発行された英字紙を購入したので早速閲覧させてもらった。すると、何か所かにサザーランド商会という馬車会社の広告が掲載されているのが目に止まった。

サザーランド商会は横浜と東京との間に馬車便を運行していた。そして、間もなくコブ商会という馬車会社に併合されるのである。広告には切手のことは書かれていないが、サザーランド商会が

NOTICE.

The business hitherto carried on under the name of
SUTHERLAND & CO.,
 Livery Stable Keepers and Coach Proprietors, Yokohama and Yedo will from the
1st February Next,
 be conducted under the style or firm of
COBB & CO.

NOTICE OF REMOVAL.

COBB & CO.,
LATE SUTHERLAND & CO.
 Will Remove to their New Premises
NO. 61 A,
On the 1st February Next.
 Yokohama, January 25, 1872. tr.

「ザ ジャパン・ウィークリー・メール」に載ったサザーランド商会のコブ商会への併合広告



サザーランド切手（参考画像）

横浜にあったことが明記されていた。

これについての簡単な報告をその頃北品川郵便局長田辺さんのお宅で毎月(?)開催されていた郵便史の研究会で述べたことはあったが、きちんとしたレポートを発表しなかったのが、発見者の名誉を得ることができなかったのは残念である。

今日では、サザード商会やサザード切手について、優れた研究が公にされている。

7. 「鳴門の渦潮」の定常変種

昭和三十八年発行された第二次国立公園シリーズの「瀬戸内海」の十円切手「鳴門の渦潮」の十九番切手は他の十九枚の切手に比べて図案がやや不鮮明で、白抜きの文字が太目である。恐らく実用版を作製する時のミスであろう。どのシートにも見られる定常変種であるが、このようなグラビア印刷の切手では起こりえないことと思われるためか(実際に他の切手では見うけられない)、全然注目されていない。

筆者は、かつてその頃の『少年マガジン』誌にチラシと記事を書いたことがあったが、正式に報告していないから認知されないままである。



鳴門渦潮の18番切手と19番切手(右)

8. 琉球百円加刷切手

琉球第2次普通切手シリーズの二円首里城正殿切手に「改訂100円」と加刷した切手は琉球中一番入手の難しい切手とされており市場価格も非常に高い。

この百円はB円(注)の百円で、日本円の三倍であったから三百円切手ということになり、もともと発行額面が高かった。発行後間もなく、渋谷東急の切手売場の貼込帳に使用済み切手が二百円で出ている。その時、百円切手の使用済みが二百円とは高すぎると思って買わなかった。

買わなかった理由に、当時、那覇に郵趣の友人がいて、新切手は必ずシートか田型で送ってくれていたから、そのうち未使用で入手できると思ったこともあった。しかし、高額切手であったためか、田型はおろか単片も送ってもらえなかった。

というわけで、いまだに筆者の琉球切手のアルバムには、この切手が空白のままになっている。

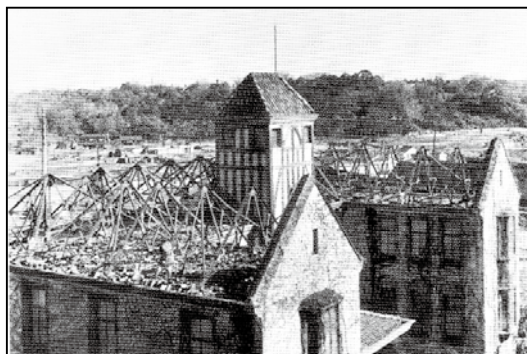


琉球100円加刷切手
参考画像

(注) 1945年から1958年9月まで、米軍占領下の沖縄県や鹿児島県奄美群島(トカラ列島含む)で、通貨として流通したアメリカ軍発行の軍票。1948年から1958年までは、唯一の法定通貨だった。日本国内で法定通貨とされた唯一の外国軍票であり、本土地域でも短期間少量流通している。正式名はB型軍票。英語表記は、Type "B" Military Yen で、Yen B type、B-yen などとも表記される。(ウィキペディアより)



恩賜記念館



終戦直後の大学キャンパス

演劇博物館

切手から切符へ

横尾 勝彦

卒業して 50 年近くになりますが初めて投稿させていただきます。

昨年 10 月 1 日午前 9 時頃、東京駅は多くの人で溢れていました。私は全く知らなかったのですが、東京駅のリニューアル工事が完了し、記念式典が行われていたのです。写真を撮った後、皇居二重橋・靖国神社・浅草・スカイツリー等を見物し（スカイツリーを除いては島倉千代子の「東京だよ、おっ母さん」のコースそのままです）、夕方、早稲田大学を訪れ、大隈講堂以外はすっかり変わってしまった大学や周辺の学生街を大変懐かしく思い出しながら散策



リニューアルの見本となる建設当時の東京駅

すっかり変わった浅草、浅草寺

学生時代の皇居、日比谷交差点方面の風景



しました。

私は入学後すぐに切手研究会に入会し、卒業までの 4 年間大変快適に過ごさせていただきました。その間、早稲田祭の展示作品の共同制作や夏季合宿（雄国山・井川ダム・男鹿半島・西伊豆）にも全て参加しましたが、「切手の研究」に関しては知識も乏しく研究心もあまり旺盛でなかったように思います。



3 年夏の合宿で訪ねた男鹿半島

我国郵趣界のトップクラスの方々をはじめ現在でも多くの諸先輩や後輩の皆様が、卒業後も「稲門フィラテリー」に発表されているように研究活動が続けられていることについては只々感心し

尊敬するばかりです。

一方、入会早々に横山大先輩や同期の近藤君等に御指導頂いた「麻雀」活動においては非常に熱心であつたし、これはこれで就職後も先輩社員との交遊に大変役立ったと思っています。

私は大阪から出てきたばかりで当然大阪弁しか話せなかったのですが、同時期に大阪出身の浅井君と小林君が入会したので、4 年間ずっと大阪弁で過ごすことができました。当時は大阪弁が現在のように広く認知されていなかったの、奇異な感じを持たれた方も多かったと思います。翌年にも芦屋出身の五十野君や四日市出身の賀沢君が入会し、いわゆる関西弁が自由自在に飛び交う状況でした。

卒業後は西日本を中心に各地を転勤致しましたが会社の休暇等に家族で旅行する機会が増加し、逆に切手に関する興味は徐々に薄れてゆきました。退職後しばらくはブラブラしていましたが、何か目標をもって老後を過ごすことを考え、全国の JR 路線の完全乗車にチャレンジす

ることにし、現在も継続中です。本日までの乗車率は98%で未乗車区間は九州新幹線（全線）と東北新幹線（八戸―新青森）及び 在来線では可部線（広島県） 岩泉線（岩手県）です。このうち岩泉線は東日本大震災の前年に起きた土砂崩れにより既に不通となっていました、更に大震災に追い打ちをかけられ、そのまま廃線が決定したようです。大震災の影響により、現在でも常磐線、仙石線、大船渡線、山田線等に不通区間がありますが、これらの区間の一日も早い復興と被災者の皆様方の立ち直りを祈るばかりです。

私は三陸地区を大震災の半年前に訪れ気仙沼の漁港や魚市場を見物しましたが、その後テレビで見る限り当時の面影が全くなっており大変残念です。

各線の乗車に際しては事前に時刻表等により計画を立てて出かけますが、中には接続の関係やその他の事情で乗りにくい路線もあります。



2 時期 4 種発行された
陸中海岸国立公園切手
のうちの 2 種

例えば 下記の路線等です。

1. 江差線（北海道）
函館・木古内間は特急街道だが終着駅江差へは1日4本
(私は江差から奥尻島に渡りましたが共に美しい風景でした)
2. 札沼線（北海道）
盲腸線で距離も長く終着駅（新十津川）迄は1日3本のみ
3. 三江線（広島・島根）
全区間運転は1日3本 接続が悪い
4. 芸備線（広島・岡山）
全区間運転は1日3本 接続が悪い
5. 只見線（福島、新潟）



札沼線 新十津川駅（北海道）

以前は留萌本線の石狩沼田駅まで通じていたが、昭和47年に当駅から先が廃線となった。駅名は以前のまま現在に至っている。奈良県十津川村からの移住者が当地を開拓したので新十津川町と名付けられた。



冬の北海道の小さな
駅の雰囲気を感じさ
せる
ふるさと心の風景
第3集の切手
北海道網走市
釧網本線
北浜駅のイメージ



宗谷本線稚内駅（北海道）

日本最長盲腸線の終着駅で日本最北駅、特急も発着。

反して、最南端の駅は駅舎の無い無人駅。
指宿枕崎線 枕崎駅（鹿児島）次頁 写真

全区間運転は1日3本 接続が悪い
(一部区間運休中)

6. 小野田線・支線（山口）
距離は2.3kmと短いが運転は通勤通学時の朝2本、夕1本
最近では未乗車区間も少なくなってきたの



枕崎駅（鹿児島県）

カツオ漁で有名な枕崎漁港の入口駅である。

で、旧 JR に所属していた路線で現在第 3 セクターにより営業中のもの（会津鉄道・しなの鉄道・信楽高原鉄道等）も対象に入れ、鉄道旅を楽しんでいます。前記の東京見物は会津鉄道に乗車するため 9 月 29 日東武鬼怒川線・野岩鉄

道と乗り継いで会津若松に行った翌々日のことです。会津若松に宿泊の翌朝、有名な喜多方ラーメンを食べた後、五色沼を歩きました。五色沼へは猪苗代駅から路線バスに乗りましたが、バスの乗客は日曜日にもかかわらず終点まで私一人の貸り切り状態で、運転手の話ではここでも大震災以後観光客が激減し地元観光業界も深刻な打撃を被っているとのこと、大変心の痛む現状です。

さて、今後、新幹線の伸延も予定され、私のチャレンジ目標達成には時間がかかりそうですが、自分の健康の許す限りこれからも頑張っ



小野田線の近くの山口線 貴婦人 C57 が走る



新たに未乗車区間となった九州新幹線

思い出に残る終着駅



石巻線 女川駅（宮城県）津波により流失



弥彦線 弥彦駅（新潟県）



鹿児島本線 門司港駅（福岡県 国指定重要文化財）



留萌本線 増毛（ましけ）駅（北海道）
増毛を期待した入場券、まったく効果なし

UAE と Sharjah2012

和田 文明

(はじめに)

UAE(アラブ首長国連邦)の七つの首長国の一つであるシャルジャ首長国で、エミレーツ(首長国)郵趣協会主催、UAE 郵政後援の第 28 回アジア国際切手展“Sharjah2012”が 2012 年 11 月 20 日から 6 日間開催されました。この切手展に私のアメリカの航空郵趣のコレクションを出品し、アラビア半島の砂上のスマートシティ“ドバイ”での仕事の取材を兼ねて同切手展を参観して来ました。

UAE(アラブ首長国連邦)

今回の UAE の玄関であるドバイ国際空港へのフライトは、マイレージ会員でありいつも利用する JAL(日本航空)は残念ながら現在ドバイへの直接乗り入れはしていないので、航空運賃やフライト時間などを勘案して航空会社の選定を行ないました。筆者が住む九州・福岡から成田経由で ANA(全日空)もしくは UAE の航空会社であるエミレーツ航空で行くか、あるいは JAL マイレージポイントを獲得するために香港経由で JAL が加盟するワン・ワールドアライアンスのキャセイパシフィック航空で行くか、それとも運賃がより安いバンコック経由でスターアライアンスのタイ国際航空で行くか、福岡に近い仁川国際空港経由でスカイチームの大韓航空で行くか悩みました。結局、一番安価(およそ 10 万円)でかつ搭乗時間が少なく済む大韓航空(写真 1)を利用することにし、



(写真 1) 仁川国際空港の KAL(大韓航空)の A380

大韓航空のウェブサイトで航空券を手配しました。往復とも福岡 - ソウル間の便はほぼ満席であったものの、ソウル - ドバイ間はおおよそ 4 割の搭乗率で、行き 10 時間、帰り 9 時間のフライト中、横 3 つ分の座席を占有して横になって寝ることができたのはなによりでした。

UAE アラブ首長国連邦は、アラビア半島の北端部に位置し、1971 年 12 月にイギリスから独立して、アジマン、アブダビ、ウムアルカイワイン、シャルジャ、ドバイ、フジャイラ、ラアス・アル＝ハイマの 7 つの首長国からなる連邦君主制国家です。アメリカの州境に検問所が無いように、アラブ首長国間での“出入国”は自由です。人口は約 826 万人(2010 年推定値)で、国土面積は 83,600 キロ平方メートル、首都はアブダビで、公用語はアラビア語ですが、英語も準公用語に近く何ら支障はありませんでした。人口に占めるいわゆる“UAE 市民”の割合はおおよそ 15%で、その他はインドやパキスタン、バングラディシュ、フィリピン、中国、韓国などからの出稼ぎ労働者や西欧や日本、オーストラリアなどからの長期滞在の駐在員が占めています。

UAE は、現在世界 7 番目の石油埋蔵量を誇っています。UAE の GDP は 2011 年度の名目ベースにおいておよそ 3,600 億ドル(約 28 兆 8,000 億円)で、成長率は年 4.9%の増加を示しています。一人当たりの GDP は日本のおおよそ 2 倍である約 67,000 ドル(約 536 万円)と世界でもトップクラスの裕福な国です。人口の多くを占めている出稼ぎ労働者も待遇が良いのか、街の風陰気もギスギスしたところもなく犯罪も少ないようで、日本で報道されている同じ中東のシリアやイラク、ヨルダン、イエメンなどの暗いイメージは全くありませんでした。中国人の旅行者は増えているようですが、日本を含むアジアからの UAE への旅行者は少なく、寒い国のドイツ、北欧やロシアからの観光客が多いようでした。

ドバイはバブルの崩壊といわれて久しいですが、相変わらず市内各地で高層ビルの建設が行われて

おり、市内を縦横に走る 12 車線もの高速道路網や無人鉄道、林立する高層のオフィスビルやホテル、マンション、巨大ショッピングモールなど正に砂上の“スマートシティ”という景観でありました。

日本企業の UAE への事業展開は韓国企業や中国企業などに比べて低調のようでしたが、近年再び増加傾向を示しているといわれています。街を走る自動車の多くは、トヨタや日産、ホンダ、三菱などの日本車でした。

アジア国際切手展 “Sharjah2012”

第 28 回アジア国際切手展 “Sharjah2012” (写真 4) は、FIAP 加盟国の中から 24 ケ国 200 以上のコレクションが出品・参加して、2012 年 11 月 20 日から 25 日まで 6 日間シャルジャ首長国のメガモール (写真 4) という 2006 年にオープンした



(写真 2) ドバイの世界一高い
バージ・カリファ (828 メートル)



(写真 3) ジュメイラ・モスクにて

大きくゴージャスなショッピングモール (写真 5) で開催されました。規模としては小さめのアジア国際切手展でした。

私は 20 日の夜 8 時にホテルからの迎の車でホテルに付きましたが、なんと切手展は夜 10 時まで開催されているというので、ホテルにチェックイン後覗いてみるとモールの 1 階並びに 3 階イベントスペースなど 4 ケ所に分散してコレクションが展示されており、驚きを隠し得ませんでした。文献の展示も (写真 6) のようにモ

ールの入口付近の空きスペースに小さなテーブルを置きならべているだけでした。郵政ブースや切手商ブースも 1 階から 3 階までのモール内の通路に分散して出店させられていました。モールはゆったりとしたスペースで建てられているため通路も日本のショッピングモールと比べるとお



(写真 4-1) モールのイベント
スペースに分散展示



(写真 4-2) オープンスペースでの分散展示の様子



(写真 4-3) オープンスペースでの分散展示の様子

そ 1.5 倍の広さがあり可能であったと思いますが、コレクションの展示はオープンスペースで行われており警備の面で不安を感じました。全日本切手展も昔はデパートの催事場で開催されていたのを思い出した次第です。“アラブ時間”と申しますか、夜遅くまでモールは営業しており、モールが開い



(写真5) 会場のメガモール入口

ている限り切手展を参観できる状況でした。また、イスラム教国の UAE では、金曜日が休日とされ、金曜日のモールは午後4時からオープンで、ドバイの地下鉄 RTA メトロは午後1時まで運休していました。

また、国際切手展には恒例の記

アラブの青年は知らないとのことで、郵趣協会のパンフレットを渡されてしまいました。切手展カタログは開催日から4日目に漸く郵趣協会のブースにおいて無料で配布しましたが、よく見ると表紙に「カタログ」とすべきところを「パルマレースブック」という誤植が有り、シールで隠していました。配布遅れの原因はこの誤植とシール訂正であったと思われます。(ちなみに、訂正・修正された正式のカタログは、パルマレースナイトの会場で配布されました)

パルマレースナイト

5日目の24日(土)の夜、パルマレースナイトパーティがオフィシャルホテルとは別的高级ホテルの宴会場で開催されました。金満 UAE ならではの豪華なホテルで豪華なパーティを期待して出席したのですが、パーティは質素なモノでした。イスラム教国ではお酒はご法度なので、ジュースもしくはコーラなどのソフトドリンクのみで、パルマレースナイトパーティ恒例の歌舞婉曲はアラビア美人による妖艶なアラビアダンスを期待したのですが、エミレーツ郵趣協会主催の会員と思われる男性による日本の盆踊りのようなアラビアン踊り(写真8)のみでした。

グランブドノールは、オーストラリアの Gary Brown 氏(写真9)の『第1次大戦までの Aden 郵便史』が獲得しました。ちなみに、私のアメリカの航空郵趣のコレクションは、インドネシア国際切手展と同じ大銀賞でした。今回頂いた受賞メダルは、賞のランクに関係なく四角形の金メッキのメダルで、とても気に入っています。



(写真6) 文献の展示コーナー

念切手の発行は無く、特別の記念郵便印も用意されていませんでした。私を含む参観者の多くは、止む負えず別途用意されていたキャッチェット印で記念カバー(写真7)を作っていました。エミレーツ郵趣協会のブースはモール3階に設営されましたが、切手展の案内コーナーもありませんでした。『切手展の出品者ですが、切手展のカタログはありますか』と聞いたのですが、ブースにいた



(写真7) キャッチェット印で記念カバー



(写真8) アラビアン踊り



(写真 9) グランプリを受賞された
オーストラリアの Gary Brown 氏

私が注目したコレクション

今回の切手展で私が一番注目したコレクションは、ニュージーランドの Jeff Long 氏の配達証明書郵便のコレクション『New Zealand's Advice of Receipt Service 1892 - 2009』で、私が現在国際展を目指して全日展や JAPEX に出品している『The U.S. Return Receipt Registered & Avis de Reception to 1970』のコレクションとは対象としている国は違うもの同じ分野、同じテーマのコレクションでした。Long 氏のコレクションは収集が困難と思われる初期の配達証明書郵便のマテリアルは少なく、上位入賞は困難かと思っていましたが、5 フレームの国際展初出品で見事 85 点の大金銀賞を獲得されました。

パルマレスナイトパーティで出品者の Long 氏を探したのですが、今回は参加されておらず、私からのメッセージをニュージーランドのコミッショナーである Banfield 女史に託したところ、後日 Long 氏からメールが届きました。Long 氏とは今後配達証明書郵便に関する情報交換やコレクションリーフファイルの交換などを行うことに合意し、2013 年 5 月に開催される Australia2013 でお会いすることを約束しました。

終わってみればなかなか味のある国際切手展

主催団体のエミレーツ郵趣協会の会員数は 373 名と大変少なく、人手不足は深刻で、会場の展示準備や撤去作業にコミッショナーもフル回転の作業を強いられてようです。撤去作業においては(写真 10)のようにグランプリ受賞者の Brown 氏も汗をかかれておりました。

日本・福岡からソウル経由で十数時間をかけて切手展を参観して来ましたが、最初はショッピング



(写真 10) グランプリ受賞者
Brown 氏もリーフを撤去作業

グモールの空きスペースを使った分散展示で、展示コレクションの数も少なくややガッカリしましたが、エミレーツ郵趣協会の会員による心のこもった切手展ではなかったかと思っています。ショッピングモール内にはいくつかの立派なコーヒーラ

ウンジやアラビア料理の美味しいレストランもあり、休憩や食事をする場所には困りませんでした。これまでの国際展の中では特にジックリとコレクションを見ることができたと思います。

ミスで発行が遅れた切手展カタログでしたが、(写真 11)のようにデザインは斬新で、これまでの切手展のカタログの中では最も気に入ったデザインでした。このデザインは、ポスターや新聞広告などにも使われていました。



(写真 11) 切手展カタログ

京の片隅に住まいして

上田 克己

まさか京都で余生を送ることになるとは思っても居ませんでした。

ただ、関西（滋賀県）出身の身としては、家内



ふるさと 滋賀 彦根城

も同じ滋賀の出身でもあることから意識の何処かに、何れは琵琶湖の近くでとの考えもあったようです。さいたま市（大宮）に住まいして丁度50年を過ごしたことになります。大宮駅

から殆んど毎日、東京へ1時間近くを費やして通ったものです。能がなかった所為か、勤務先も東京に終始したので大宮（さいたま市）から離れることなく、結婚し、娘が生まれ、自宅を建て替えて過ごして来ました。とは言え、自宅で過ごした時間よりも、学校や勤務先のある東京での時間のほうが圧倒的に長く、そのためでしょうか、50年を送ったと言っても埼玉の地には自分でも驚くほどに執着を感じませんでした。

それでも永く首都圏で過ごして来ると、学校や



大宮市は さいたま市 になり

職場などで得た友人、知人の数は多く、リタイアした後の長い時間を考えると遠く離れることには心配も大きかったことは事実です。しかし、一人娘が京都の大学に進み、そこで伴侶を得て生活の基盤を築くことになり、加えて職場を離れると家内共々、西の方に目をやるが多くなっていることにも気付かされました。

そんな時、丁度身体の方も心臓に疾患が見つかって手術をし、職場も非常勤として週に一、二度顔を出すだけとなっていた頃、娘から出産するので近くに来て手伝って欲しいと言って来ました。そのため自分自身の健康状態のことも考慮して、この機会に京都に移り住むのも良いかと決断したところでした。家内も隣県の滋賀には親戚も多く、京都は学生生活を送ったところでもあり、趣味の茶道を通じての友人も多く、喜んで賛成してくれました。

急遽、転居の準備に取り掛かり、仕事の後始末、自宅の処分と京都での住まいの確保と将に盆と正月を一緒に迎えたような忙しい日々が始まりました。夏が終わって娘の出産が近付いた9月、永年お世話になった職場を月末に退かせて貰うことになり、それと平行して探していた京都での住まいも見つかって10月半ばに引越すことも決まりました。途中で建て替えたとは言っても50年間もすんでいると、家具をはじめ荷物は山のようにです。よくもこれだけ溜まったものだ和我ながら驚くほどで、不要なモノの処分に頭を悩まし、汗を



団地より虹の向こうに嵐山方面を望む

流す毎日の連続でした。それでも友人、知人、ご近所の方々のお世話になりながら、何とか京都へ移り住むことが出来ました。取り敢えずの住まいを娘夫婦宅の近くにある公団住宅に定め、生まれて初めての団地生活、それも11階建ての6階と、これまた初体験の高いところでの毎日が始まりました。汗をかいて処分に努めましたがまだまだ荷物も多く、そこへ出産後しばらくは娘が同居するための部屋が必要で、年金生活の老夫婦には贅沢ですが広めの部屋を借りました。京都市の西の外



散歩も足をのびせば
桂離宮へ

れ、洛西の地に昭和50年ごろに開かれたニュータウンにある団地で、東京の多摩ニュータウンを小型化したものではないか(実際にこの目で多摩ニュータウンを見たことはありませんが)と思われ、周辺には幾つかの

公団住宅の他、市営、府営など様々な団地が集まっており、人口は約2万8千人と聞きました。ただ、最寄りの駅は阪急京都線の桂駅または洛西口駅、JRなら丁度その頃出来たばかりの桂川駅ですが、いずれもバスで15分~25分ほどかかり、通勤通学には決して便利ではありません。当初は地下鉄を引き込むとの話があって期待されたようですが、実現しないままに今日に至っており、そのためニュータウンは不人気で人口が減少気味とも言われています。

しかし、住まいすることになった団地の東側には小畑川が流れ、その兩岸は公園や遊歩道となっており南側のベランダに出ると眼下に木々の紅葉(春には満開の桜並木)が見られ、その向こうには長岡京の街が遠望出来、初めて経験する眺望に喜んだものです。また、北側のベランダからは遠く嵐山など低い山並みの向うに、火伏せ、防火に霊験があると信仰をあつめる愛宕山の山頂部が見えます。初めての団地生活で意外に思ったのは冬暖かく、夏は南北にベランダがあって風通しが良く涼しかったことです。冷暖房の心配は杞憂に終



嵐山今昔

嵐山、渡月橋と桜

浮世絵 広重
六十余州名所図会
山城 あらし山
渡月橋
浮世絵シリーズ切手

わりました。

そうこうして、慌しく10月中旬に住み慣れた大宮を離れて京都に転居したわけですが、11月はじめには待望の初孫が誕生、娘と共に我が家にやってきました。元気な男の子で大きな泣き声が家中に響き渡りました。

それから約3年経った一昨年秋頃、娘一家が何れはと考えていたという二世帯住宅を建て、我々老夫婦と同居しようとの計画が急に進展し実現に向かって走り出しました。いくつかの土地を見に行ったり、住宅展示場や実際の建築現場の見学から建築会社との打ち合わせと忙しい日々が続きましたが、昨年夏、いくつかの候補地の中から、ここ西院の地を新しい住居地に定め、新築工事が始められ、あれよあれよという間に1年が経ち、11月中旬に完成に至りました。

そして再び、4年前同様にバタバタと大騒ぎしながら引越しをしたものです。大宮からの転居時は68歳と70歳代の手前でしたが、今回は70歳を2年も越えています。その間、二度目の冠動

脈ステント手術と前立腺癌の放射線治療を経験、それもあって体力、気力の衰えは如何ともしがたく、4年という時間の大きさに驚かされたことでした。前回の引越しで不要品はあらかじめ処分したつもりでしたが、まだ十分に片付いては居らず、こちらに来て年が改まってからも開けていない段ボール箱が残って邪魔になっている始末です。何でもかでも集めて残したがる悲しい習性から離れられないようで、それに加えて整理下手と来てはどうにもなりません。

もう一つ、今年新年早々、我が家にとって一大ニュースが出現しました。前回京都へ引越した途端、孫が誕生したのと同じに今回も二人目の孫が誕生しました。新居には朝から赤子の泣き声が響いています。4歳になった長男の相手をしながら、新たに家族に加わった長女がどんな女性に成長するのだろうかと思い巡らせ、老妻と代わる代わる抱いて喜んでいきます。

こんな次第で4年と数ヶ月を京都の地で過ごしたわけですが、最初の頃は自らを「定住型観光客」などと称しては時間の許す限りあちこち見学して廻って愉しんで来ました。ところがこのところ、次第に京都に馴染んでくるに従って出歩く回数が減っているように感じられます。もっとも二度目の引越し、自分の病気、孫の誕生などに時間をとられていることもあります。様子が分かってくると次の機会にしようなどと無精心が頭をもたげて来たように思われます。折角京都へ転居したのだから、元気に動き回れる内に歩き回りたいもの

と改めて反省している今日この頃です。幸い京都市は老人が進んで外出するように「敬老乗車証」を発行してくれています。無料ではありませんが安価に設定されており、市バスと地下鉄が利用出来る他、市立美術館や二条城の入場料が免除されます。このような折角の特典をもっと利用したいものです。過日、掛かりつけの医師から、万歩計を付けて神社仏閣など観光地を歩き回ってはどうかと勧められてもいます。

大分、京都の地理も様子も分かってきて、バスの乗り方（経路）も心得て楽に利用できるようになりました。それに新しい自宅は西大路通りを少し西に入ったところで、地下鉄東西線「西大路御池駅」や阪急京都線の「西院（さいいん）駅」に近く、バス停や嵐電「西院（さい）駅」なら2～3分とかかりません。ニュータウンと比べると格段に便利になり、老人が散歩にあちこち歩き回するには絶好の地となりました。

ご存知のように京都市の中心部は東西南北に道路が碁盤の目のように作られており、わらべ歌の一つに、この京の通りを詠ったものがあります。京都へ来られたときの参考にして頂く為に、ご紹介しておきます。お聞きになった方も多いでしょうが、全文を改めて読んでみて下さい。

先ず例の「まるたけえびす……」で始まる東西の通りを覚える歌です。

「丸、竹、夷、二、押、御池、姉、三、六角、蛸、錦、四、綾、仏、高、松、万、五条、雪駄ちゃらちゃら、魚の棚、六条、三哲とおります、七条こえれば、八、九条、十条東寺でとどめさす」
（まるたけえびすにおしおいけ、あねさんろっかくたこやくし、しあやぶったかまつまんごじょう、……と読みます。）

この歌に出てくる通りは、丸太町通、竹屋町通、夷川通、二条通、押小路通、御池通、姉小路通、三条通、六角通、蛸薬師通、錦小路通、四条通、綾小路通、仏光寺通、高辻通、松原通、万寿寺通、五条通、雪駄屋町通（別名＝楊梅くようばい>通）、魚の棚通（現在は六条通）、六条通、三哲通（現在は塩小路通）、七条通、八条通、九条通、十条通で現在とは



敬老乗車証でフリーの
二条城
市立美術館に所蔵される
金島桂華の「画室の客」

ば同じです。そのため今でも利用価値が高いためか、最もポピュラーなわらべ歌のひとつとなっています。

次に南北の通りを教えるわらべ歌です。

「寺、御幸（ごこう）、麩屋に富、柳、堺、高間（たかあい）の東は車屋町、烏、両、室（もろ）、衣、新、釜、西、小川で堀川の水、葎屋（よしや）、猪の黒、大宮へ、松、日暮に智恵光院、浄福、千本、果ては西陣」

（てらごこふやとみやなぎさかい、たかあいひがしくるまやちょう、からすりょうがえむるころも、しんまちかまんざにしおがわ、あぶらさがいでほりかわのみず、まつひぐらしにちえこういん、じょうふくせんぼん、はてはにしじん）

この歌で詠まれているのは、寺町通、御幸町通、麩屋町通、富小路通、柳馬場通、堺町通、高倉通、間之町通、東洞院通、車屋町通、烏丸通、両替町通、室町通、衣棚通、新町通、釜座通、西洞院通、小川通、油小路通、醒ヶ井通、堀川通、葎屋町通、猪熊通、黒門通、大宮通、松屋町通、日暮通、智恵光院通、浄福寺通、千本通です。（西陣は通りの名称ではありません）

この南北の通りを詠んだ歌は江戸時代前期に活躍した近松門左衛門が書いた浄瑠璃「堀川波鼓」に見られ、「寺、御幸、麩屋、富、柳、堺町、相（間）の東は玉敷の、御垣に囲ふ五つ緒の、車、烏丸、両替、室、衣、新、釜、西、小川、油、醒ヶ井、堀川の、岸の平砂を白波に、照らせば今も夏の夜の……」に基づいていますが、それと比較して見るとこちらは“高倉通り”が欠落しています。

また、寺町通りより東側、千本通りの西側の通りは詠まれていませんが、憶えておく結構便利です。このように昔のままの通りが生き残っているのは、何ととっても京都ならでのことです。また、京都は狭い土地に名所旧跡が密集しています。この先、健康を維持するためにも、これらの道（通り）をゆっくりと歩き回って昔を偲んでみたいものです。きっと面白く楽しい事が見つかりそうです。

もうすぐ花の季節を迎えます。あちらに、こちらにと花の名所は数多く、人々を待っています。



京のさくら
疏水沿いのさくら

意外と美しさが
知られない
京都府立植物園の
しだれ桜

地方自治法施行60周年
記念シリーズ 切手

今から何処へ行こうかと楽しみです。花の名所は京都ばかりではなく、全国津々浦々、至る所に存在しますが京都の桜には、また違った味わいがあるように思われます。それが何なのか、皆様方もこの季節に京都へいらっしゃいませんか。

次の2ページに京に関係する切手をまとめてみました。京の散策の参考にしていただければ幸いです

取り留めもない私事を書き連ねましたが、お読み頂いて誠に恐縮です。会報に投稿するようにとのお誘いに乗ってしまったものの、さてどうしようかと考え、承諾してはいけなかったかと反省も致しましたが、締め切りが近くなって最早お断りする時期を失い、このような拙文を書いてしまった次第です。京都には話の種がいっぱいあります。文中には書きませんでした。こちらに来て名所旧跡めぐりに併せて「習字」（書道というのが恥ずかしい）を始めました。それが結構面白く、先生から「嵩峰」などという物々しい雅号を頂いて毎週、書道教室に通いベテランの方々に混じって楽しんでいます。

また機会がありましたら、もう少しお読み頂いて面白く、京都散策の参考になるようなものを書かせていただきたいものと思っている次第です。

京で見られる切手の風景、作品

種類	額	発行年月日	切手通称	場所・内容 1	場所・内容 2
ふるさと切手	50	2006/4/3	近畿の花	サクラ・花	友禅染
ふるさと切手	80	2008/9/1	旅の風景シリーズ 第 1 集	保津川	トロッコ列車
ふるさと切手	80	2008/9/1	旅の風景シリーズ 第 1 集	愛宕念仏寺	地蔵
ふるさと切手	50	2003/5/1	京の催事	葵祭り	葵祭り
特殊切手	80	2001/12/21	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財 3	宇治上神社拝殿と本殿	
特殊切手	80	2001/12/21	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財 3	宇治上神社本殿「かえる股」	
特殊切手	8	1951/8/1	観光地百選	宇治川	ラインくんだり
特殊切手	24	1951/8/1	観光地百選	宇治川	橋
ふるさと切手	80	2000/10/20	京の四季	円山公園	かがり火
特殊切手	80	2001/8/23	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財 2	延暦寺にない堂	
特殊切手	80	2001/8/23	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財 2	延暦寺根本中堂	
特殊切手	80	2001/8/23	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財 2	延暦寺不滅の法灯	大津市
ふるさと切手	80	2008/9/1	旅の風景シリーズ 第 1 集	化野念仏寺	石塔
特殊切手	80	2001/6/22	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財	賀茂御祖神社狛犬	
特殊切手	80	2001/6/22	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財	賀茂御祖神社東本殿	
特殊切手	80	2001/6/22	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財	賀茂別雷神社細殿・舞殿・土屋	
特殊切手	80	2001/6/22	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財	賀茂別雷神社楼門	
ふるさと切手	80	2008/10/1	旅の風景シリーズ 第 2 集	鴨川	夜景・川床
ふるさと切手	80	2000/10/20	京の四季	鴨川・川床	夏風物
ふるさと切手	62	1990/9/25	舞妓と京の街並み	祇園	京都府
特殊切手	10	1964/7/15	お祭り	祇園祭	山鉦
ふるさと切手	50	2003/5/1	京の催事	祇園祭り	祇園祭り
ふるさと切手	80	2008/9/1	旅の風景シリーズ 第 1 集	祇王寺	苔庭
特殊切手	60	1986/3/13	伝統工芸品	京扇子	京扇子
特殊切手	60	1986/3/13	伝統工芸品	京扇子	京扇子
特殊切手	80	2012/10/25	伝統的工芸品シリーズ 第 1 集	京扇子	
特殊切手	60	1986/4/28	天皇在位 60 年	京都御所	
特殊切手	60	1982/9/29	日中国交 10 年	京都国立近代美術館蔵	雲中天壇・梅原龍三郎
特殊切手	130	2011/10/7	2011 国際文通週間	京都国立近代美術館蔵	「たけくらべの美登利・鎭木清方
特殊切手	80	2012/6/1	東京・京都国立近代美術館 60 周年	京都国立近代美術館蔵	窓辺読書・太田喜二郎
特殊切手	80	2012/6/1	東京・京都国立近代美術館 60 周年	京都国立近代美術館蔵	後苑雨後・徳岡神泉
特殊切手	80	2012/6/1	東京・京都国立近代美術館 60 周年	京都国立近代美術館蔵	婦人像・安井曾太郎
特殊切手	80	2012/6/1	東京・京都国立近代美術館 60 周年	京都国立近代美術館蔵	花の習作・福田平八郎
特殊切手	62	1989/9/18	ユーロバリア日本祭	京都国立博物館蔵	阿国〔おくに〕歌舞伎図屏風
特殊切手	70	1989/9/18	ユーロバリア日本祭	京都国立博物館蔵	阿国〔おくに〕歌舞伎図屏風
特殊切手	110	2006/10/3	2006 国際文通グリーディング	京都国立博物館蔵	四季花鳥図屏風・酒井抱一
特殊切手	60	1986/4/15	1986 切手趣味週間	京都市立美術館蔵	南波照間・菊池契月
特殊切手		1995/4/20	1995 切手趣味週間 大震災寄附	京都市立美術館蔵	画室の客・金島桂華
特殊切手	15	1968/9/2	第 1 次国宝シリーズ	京都神護寺	源頼朝像
ふるさと切手	80	1997/6/18	京都大学時計台	京都大学	京都大学
ふるさと切手	80	2009/3/2	ふるさと心の風景 第 4 集	京都府京都市	「れんげ畑」
ふるさと切手	80	2008/10/27	地方自治法施行 60 周年記念	京都府立植物園のしだれ桜	
特殊切手	80	1999/4/20	1999 切手趣味週間	京都府立堂本印象美術館蔵	兎春野に遊ぶ・堂本印象
特殊切手	80	2012/7/20	古事記編纂 1300 年	京都府立堂本印象美術館蔵	木華開耶媛
特殊切手	100	1976/10/6	1976 国際文通週間	京都北村美術館所蔵	鳶鳥図・与謝蕪村
特殊切手	40	1988/10/14	第 43 回国民体育大会	金閣寺	
普通切手	50	1939/6/11	第 1 次昭和	金閣寺	
特殊切手	60	1984/10/8	国際内科学会議	銀閣寺	
普通切手	110	1966/12/5	第 1 次ローマ字入り	桂離宮	
ふるさと切手	80	1995/4/3	牛若丸と弁慶	五条大橋	
特殊切手	24	1958/10/5	1958 国際文通週間	三条大橋	広重・浮世絵
普通切手	600	1981/3/16	花・貝・文化財	仏隆寺	弥勒菩薩
特殊切手	80	2001/12/21	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財 3	高山寺石水院	庭園
特殊切手	80	2001/12/21	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財 3	高山寺表参道	庭園
ふるさと切手	80	2008/10/1	旅の風景シリーズ 第 2 集	高台寺	庭園
ふるさと切手	80	2008/10/1	旅の風景シリーズ 第 2 集	高台寺	庭園
国定公園	10	1964/1/25	国定公園 若狭湾 京都府	高浜海岸	
ふるさと切手	80	2008/10/1	旅の風景シリーズ 第 2 集	三寧坂	石畳
特殊切手	80	2002/2/22	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財 4	慈照寺銀閣	庭園
特殊切手	80	2002/2/22	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財 4	慈照寺雪の銀閣	庭園
ふるさと切手	50	2003/5/1	京の催事	時代祭り	時代祭り
特殊切手	80	2001/12/21	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財 3	鹿苑寺秋の金閣	庭園
特殊切手	80	2001/12/21	第 2 次世界遺産 古都京都の文化財 3	鹿苑寺雪の金閣	庭園
ふるさと切手	80	2008/9/1	旅の風景シリーズ 第 1 集	常寂光寺	多宝塔
普通切手		1975/4/22	第 4 次ローマ字入り	浄瑠璃寺	吉祥天立像
年賀切手	20	1977/12/1	年賀昭和 53 年用	京都伏見	飾り馬

種類	額	発行年月日	切手通称	場所・内容 1	場所・内容 2
特殊切手	80	2001/8/23	第2次世界遺産 古都京都の文化財 2	仁和寺五重塔	御室桜
特殊切手	80	2001/8/23	第2次世界遺産 古都京都の文化財 2	仁和寺御殿	
特殊切手		1947/8/19	京都切手展	清水寺	
普通切手	2	1946/12/1	第1次新昭和	清水寺	
普通切手	2	1948/1/10	第2次新昭和	清水寺	
特殊切手	80	2001/6/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財	清水寺西門と三重塔	
特殊切手	80	2001/6/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財	清水寺本堂	
特殊切手	60	1982/1/29	近代洋風建築	聖ヨハネ教会堂	京都河原町(明治村)
特殊切手	60	1984/11/2	伝統工芸品	西陣織	西陣織
特殊切手	60	1984/11/2	伝統工芸品	西陣織	西陣織
特殊切手	80	2001/12/21	第2次世界遺産 古都京都の文化財 3	西芳寺庭園「霞島」	庭園
特殊切手	80	2001/12/21	第2次世界遺産 古都京都の文化財 3	西芳寺庭園「向上閣」	庭園
ふるさと切手	50	2003/5/1	京の催事	送り火	送り火
特殊切手	80	2001/8/23	第2次世界遺産 古都京都の文化財 2	醍醐寺五重塔	
特殊切手	80	2001/8/23	第2次世界遺産 古都京都の文化財 2	醍醐寺三寶院庭園	庭
ふるさと切手	80	2008/10/1	旅の風景シリーズ 第2集	智積院・障壁画	松に秋草図
ふるさと切手	80	2008/10/1	旅の風景シリーズ 第2集	智積院・障壁画	松に秋草図
特殊切手		1968/3/15	万国博覧会募金	智積院・障壁画	桜図
特殊切手	50	1977/11/16	第2次国宝シリーズ	智積院・屏風	松に草花図
ふるさと切手	80	2008/9/1	旅の風景シリーズ 第1集	鳥居本神社	紅葉
ふるさと切手	80	1999/7/16	日本三景	天橋立 京都府	
ふるさと切手	80	2008/10/27	地方自治法施行 60 周年記念	天橋立 京都府	
特殊切手	10	1960/7/15	日本三景シリーズ	天橋立 京都府	
特殊切手	80	2001/12/21	第2次世界遺産 古都京都の文化財 3	天龍寺	庭園
ふるさと切手	80	2000/10/20	京の四季	渡月橋	
ふるさと切手	80	2008/9/1	旅の風景シリーズ 第1集	渡月橋	嵐山
特殊切手	80	2001/6/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財	東寺大威徳明王	
特殊切手	80	2001/6/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財	東寺南大門と五重塔	
特殊切手	80	2001/6/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財	東寺如意輪観音	
特殊切手	80	2001/6/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財	東寺不空成就如来	
特殊切手	60	1981/11/9	近代洋風建築	同志社礼拝堂	
ふるさと切手	80	2008/10/27	地方自治法施行 60 周年記念	南丹市美山町 かやぶき屋根	
特殊切手	60	1987/11/18	世界歴史都市会議	二条城	
普通切手	20	1972/1/21	第3次ローマ字入り	二条城襖絵	
普通切手	20	1972/2/1	第3次ローマ字入りコイル	二条城襖絵	
特殊切手	80	2002/2/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財 4	二条城松鷹図	障壁画
特殊切手	80	2002/2/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財 4	二条城松鷹図	障壁画
特殊切手	80	2002/2/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財 4	二条城二の丸御殿	彫像物
ふるさと切手	80	2008/9/1	旅の風景シリーズ 第1集	二尊院	釈迦如来と阿弥陀如来
特殊切手	80	2011/9/22	日本の山岳シリーズ 第1集	比叡山・京都府	
ふるさと切手	80	2008/10/1	旅の風景シリーズ 第2集	舞妓	白川
特殊切手	10	1961/4/20	1961 切手趣味週間	舞踊図屏風	京都市蔵
普通切手	60	1981/1/20	花・貝・文化財コイル	平等院	梵鐘
特殊切手	41	1991/5/24	1991 国土緑化	平等院鳳凰堂	北山杉
特殊切手	80	2001/8/23	第2次世界遺産 古都京都の文化財 2	平等院鳳凰堂	建築物
特殊切手	80	2001/8/23	第2次世界遺産 古都京都の文化財 2	平等院鳳凰堂	雲中供養菩薩像南 20 号
普通切手	24	1950/11/1	昭和すかしなし	平等院鳳凰堂	
普通切手	24	1957/3/19	第1次円単位	平等院鳳凰堂	
普通切手	30	1959/4/1	第1次円単位	平等院鳳凰堂	
普通切手	150	1971/3/29	第3次ローマ字入り	平等院鳳凰堂	金銅鳳凰
普通切手	150	1976/1/25	第4次ローマ字入り	平等院鳳凰堂	金銅鳳凰
ふるさと切手	80	2008/9/1	旅の風景シリーズ 第1集	保津川下り	
ふるさと切手	80	2008/10/1	旅の風景シリーズ 第2集	法観寺	八坂の塔
ふるさと切手	80	2008/10/1	旅の風景シリーズ 第2集	法観寺・清水寺	八坂の塔
ふるさと切手	80	2000/10/20	京の四季	北山杉	北山杉
特殊切手	80	2002/2/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財 4	本願寺書院	
特殊切手	80	2002/2/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財 4	本願寺唐門	
特殊切手	80	2002/2/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財 4	本願寺飛雲閣	
特殊切手	90	2006/10/3	2006 国際文通グリーティング)	陽明文庫蔵	四季花鳥図屏風・酒井抱一
特殊切手	50	1978/6/21	第61回ライオンズ国際大会	養源院(京都市)蔵	唐獅子図杉戸絵・宗達
特殊切手	80	2002/3/1	日本ライオンズ 50 年	養源院(京都市)蔵	唐獅子図杉戸絵・宗達
ふるさと切手	80	1998/3/2	日吉ダム	淀川	
ふるさと切手	80	2008/9/1	旅の風景シリーズ 第1集	落柿舎	俳人 / 向井去来の閑居跡
特殊切手	80	2002/2/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財 4	龍安寺方丈庭園	庭園
特殊切手	80	2002/2/22	第2次世界遺産 古都京都の文化財 4	龍安寺方丈庭園	庭園
特殊切手	80	2012/8/1	浮世絵シリーズ 第1集	六十余州名所図会 渡月橋	広重・浮世絵
ふるさと切手	80	2008/10/27	地方自治法施行 60 周年記念	和東の茶畑と海住山寺五重塔	

愉しみな切手冊子

年に1,2回、我が家に届く素敵な切手に関する小冊子があります。アイスランドから届くFrimerkjabladid (dはアイスランド文字) というアイスランド郵政(推測)が発行する冊子です。なんで我が家に届くようになったか判然としません。20年前にレイキャビックの郵便局で切手を求めた時に住所を書くように求められたことを思い出します。しかし、それから10年以上たってからの配達です。



美しいオーロラを背景にオーロラ小型シート(北欧切手展)の表紙

古いエンタィア、消印を图示した記事、船舶印・特殊印の記事などが多く、かなり専門的なものと考えてます。文章が理解できなくともこの冊子のページをめくるのはとてもたのしみです。なぜかという、カラー印刷の美しさです。コート紙を使用してあるので非常に鮮明な印刷です。その印刷で写真ではなく、切手のためにデザインされた切手がのっています。北欧風のすっきりして、しゃれたデザインの切手、美しい鳥、特異な自然、船舶等の切手が見られるので

この冊子、A4版でコート紙にカラー印刷、20ページ、まったく広告なし、のもんです。アイスランド語でしか記述されてないので、内容はまったく理解できません。わずかに新発行切手の説明があり、

す。美しい切手を更に美しく見せる工夫がされています。ふつう黒地、灰色地をバックに切手を表現してます。この冊子では白地に切手を表現してます。おかげで紙面に切手を置いてあるような感じです。この表現切手周囲に淡灰色のシャドウ効果を施しています。紙面と切手にわ



シャドウ効果で表現された切手

ずかな空間があり、うきあがった感じを持たせています。これを稲門フィラテリー紙面で試みましたが難しい。

内容でも啓発される記事があります。ヨーロッパ先住民族に日本の土偶に似たものがあることを知り参考文献を探させられる日々を持つことができました。また、チェスからのデザインの豊かさを。これからどんなものを見せてくれるか、楽しみな冊子です。

(編集子)



古代ヨーロッパへ関心を持たせてくれた小型シート(国連)

絶滅危惧趣味フィラテリーの保護

小川 義博

いまや絶滅の危機に瀕しているフィラテリー、その保護をいかに図るか。従来の生息地であるストックブック、アルバム、郵便局等に限定し保護していたのではもはや繁殖は無理であろう。まったく異なる分野に少しでも生息地をもとめる視点で絶滅回避を考えてみたい。

時間にゆとりができ、いろんなメディアに触れる機会が増した。なにげなくぼんやりしていると切手が目に飛び込んできて、気をとりなおすことがある。そんな生息地をよく観察し、生息地の多様化をはかり、わずかでも繁殖増が図れればと思う。

映画、ドラマで郵便物が映し出されるのは、一瞬であるが、時代考証がされている普通切手が貼られた封書、はがきがほとんどである。時には切手が重要な脇役となっているものがある。代表的なものはオードリー・ヘップバーン主演の「シャレード」であろう。しかし、ここで使用された切手は架空の切手であった。



シャレードに映った3枚で26万ドルのSCOTTにない切手

最近、目にとまったものはアラン・ドロン、ジャン・ギャバンが出演する「シシリアン」である。護送車から逃亡したアラン・ドロンが助けをもらうためにジャン・ギャバンの扮するマフィアの顔役に切手を提供する。2つの映画とも現金の代わりに高額な切手がちいられているが、すこし、利用のされ方が異なる。「シャレード」では非常に高額な切手3枚（合計で約26万ドル）を封筒

に貼って用いられている（会報22号19頁参照）。対して、「シシリアン」では1冊の重厚な切手アルバムが用いられている。字幕だけでは評価額はわからない。映画ではその中の2種の2ページが映されているが、こちらも残念ながらSCOTTには載っていない切手のようである。



アラン・ドロンがジャン・ギャバンに切手アルバムを渡す

1種類はブラジルの牛の目を想定したものであろう。もう1種は、1930年代の仏領モーリタニア航空切手を想定したらしい。仏語のモーリタニア、貨幣単位はフランでなく、シリングを表す10'が記された珍しい切手になっている。画面をキャプチャーしてみると、エラー切手を並べ、エラー個所を矢印指示したページであることがわか



ブラジル 牛の眼か



仏領モーリタニア切手を想定か



鑑定人が厳重に鑑定する。航空機、ラクダが印刷もれだったり、色違いであったりしている。映画ではルーペを使用して鑑定人が評価するシーンが映し出される。

4～5秒程度でもエラーの説明とその評価の会話があったら、切手収集への興味、関心が持たれたかと、残念な思いである。

次に、テレビのドキュメント番組で多くの切手を資料として有効に活用したものがあつた。一昨年、NHKBSHで放送された世界一番紀行シリーズの”世界一孤立した島～南大西洋 トリスタン・ダ・クーニャ～”という番組である。この島の自然、歴史、生活の一部を切手を用いて紹介していた。このように切手を重要な参考資料にした番組は記憶にない。視聴された会員も多いと思いますが、紹介したい。

この島、南大西洋の吠える南緯 40 度海域にある小豆島と同面積ぐらいの海底火山でできた島で人口 260 人の英国自治領。年間予算 140 万ポンド、



空路なく年 10 便のケープタウンから 10 日要する定期運航船が運航する



テレビ画面に映し出された島に生息する貴重な動植物の切手

ド、ロブスターの輸出と切手が収入源。貴重な固有の動植物が生息していることを画面に切手で紹介。この島に最初に移住した人、ウィリアム・グラスを切手で紹介し、その一生を描いた小型シートでその一生を説明し、加えて 7 代目の子孫も紹介。スエズ、パナマ運河が開通前で主要航路上に位置し、さらに捕鯨船も多いクーニャの周囲は座礁等の遭難が多かったようだ。この島に助けられた者の子孫 2 名の島民が切手とともに紹介されていた。

この方々、この島の基本精神、平等、分かち合い精神のもと、一人当たり 2 頭の羊と決められた畑の管理等をしているとのこと。番組で紹介された島の生活、歴史に興味を持ち SCOTT をひらくと、さらに、この島の放送された場面が切手に描写されていた。年に 10 回だけ届く郵便物の到着の様子が小型シートになっている。さらに、描かれた内容を小型シートの中で説明するスペースを持っている。小



最初の住人グラスと 7 代目グラス (警官)



グラスは1816年、ナポレオンのセントヘレナ島からの脱走に備えて他の兵士とこの島に上陸。翌年の帰国に際して家族を呼び寄せ、島に残り島の最初の入植者になる。男女8人、16人の子宝にめぐまれ、島に漂着した5人と公平という島の基本の規則をつくり、島に一生をささげた。



2ヶ月に1回、船で届く郵袋、小型トレーラに載せ、集会場に運ぶ、空のボンベをたたき郵便到着を島民に知らせる



他の祖先と一緒に墓地で眠るグラス



左・米国捕鯨船員子孫で牧場を管理するロジャー氏
右・嵐で海岸に漂着したイタリア帆船とその船員の子孫で電子技師ロビン氏

さな島とはいえ日常の生活の様子を切手に描くことは、切手の持つ意味を考えさせ、絶滅危惧趣生息地拡大の一つの方法とも考えたい。

この島も火山島の宿命、三宅島と同じく住宅の至近で火山の噴火があり、イギリス本国に全島避難を2年間強いられている。帰島は避難した島民の90%の希望で決定した。その経過も切手になっており、きちんとしたドキュメント番組の重要な資料のとして役割を果たしている。

次は、トピカル収集された切手が学術放送番組の前後に興味深く流れているのに出くわした。放送大学の「身近な統計」という半期15時限講座の放送である。たぶん、二人の担当教授のどちらかが絶滅危惧趣個体なのであろうか、「統計」に関係する人物、統計グラフを描いた切手が美しく数式と共に画面に流れて行く。

画面をスキャンしてみると人口統計ピラミッドを描いた2枚の切手が目についた。一枚は1979年オーストリー発行の中央統計局150周年記念切手。



統計図表、統計学者の切手を中心に
次々とズームアップされてくる



切手が四方に大きくなって消えていく



人口統計チャートと計測器を持ったバロック時代の童子



3時代の人口構成を比較する切手
 ンテーションを考えるとときなどに参考になるものであろう。また、一枚の女性の切手が興味深い。戦場より、野戦病院で戦死者が圧倒的に多いことを統計的に示し、野戦病院の衛生、医療改善に努力したナイチンゲールの切手である。看護の精神で有名なナイチンゲールを統計学者としてズームアップした画面である。このようにわずかな時間もうけられ、画面に注意してもらえよう配慮がされれば、繁殖地がわずかも増え、絶滅の危惧が少なくなるかと感じる。

民族文化の学問的な資料として2枚の切手が意外な俳優と共演している。樹木希林のNHKの韓国骨董を紹介する番組「温故希林」である。韓国伝統衣装”チムチョボリ”の切手。500年に及ぶ韓国王朝時代、身分によってチムチョボリの色、材質が厳格に決められていたことを切手で見せている。注意されるのは平民のチムチョボリのものが発行されていないのか、切手に似せてデザインされたものを並べていた。ここまでして、この2枚の切手を使用したのは資料的な価値のある図柄を描いた切手なのだろうか。

対象が異なるが、ひょんなところに絶滅危惧趣の

人口統計ピラミッド型
 チャートと計測器を
 持ったバロック時代の
 童子をデザインした切
 手。チャートの色分け
 使いなどグラフ表現を
 考える上で参考となる
 ものである。もう一枚
 は1989年ドイツ発行
 の年金保険100周年
 記念切手。年金の問

題を過去、
 現在、未来
 の人口統計
 表から考え
 させるもの。
 プレゼン



繁殖地を見つけることがある。孫の絵本を探して
 目にとまったものである。『ふしぎなえ』（福音館
 書店）を著した画家、安野光雅の『おとぎの国の
 郵便切手』（岩崎書店）である。切手を描きたい
 主人公ペンタと自分でも切手を描きたい王様との
 話で10種類の切手シートが描かれた本である。
 内容も然ることながら、最終ページに著者の絵が
 実際に切手になったふるさと切手（萩・津和野）
 の実物が貼付しており、その前頁のあとがきに下
 記の解説が載っている。



あとがき

この国の大臣はどうしても郵政省というものを
 作りたいと思っていますし、大臣は王様が絵を描か
 れたら困ると思っています。かわいそうなペンタ
 は、その後も、絵の勉強をつづけているという話
 です。いつかは、ペンタが切手の絵を描ける日が
 くるかもしれません。

次頁は私の描いた、ふるさと切手のシリーズの
 一枚で、萩・津和野をテーマにし、中国郵政局が
 発行したものです。この切手は記念にこの本に
 貼ってあります。

萩は山口県の城下町で、吉田松陰、高杉晋作た
 ちが育ったところです。津和野は島根県の城下町
 で森鷗外、西周の生地です。
 今はどが走っていることでも
 知られていません。機会が
 あったら、萩・津和野へ行っ
 てみてください。自然の残る、
 とてもいいところです。

安野光雅

このように意外なところで切手を目にして、切手の利用をもっと広げることで絶滅危惧種を増やしていけると考えたのであるが、甘い夢であろうか。

保護対象として切手に描かれた日本カワウソが絶滅種となり、郊外に行けばごく普通に見られた田メダカが絶滅危惧Ⅱ類として切手に描かれているのを見るにつけ、フィラテリーがその生息場所をアル



バム、ストックブック、切手展、同好会、郵便局等に狭めていないで、他の種族が切手を時

に利用してみたいと思わせるような環境拡大づくりを意図した営巣(収集)が必要ではないであろうか。過去の異常繁殖した状態は望ましくないが、絶滅危惧種として繁殖に意を注がなければならないと考える。



2013年「切手と屏風カレンダー」の11月

最近のネットを中心とした情報メディアの多様化を考慮した時、切手画像の電子FILE化が不可欠であろうと考える。加えて、それは利用の汎用性の高さを持つFILEであることが重要である。近年の画像処理方法の多様化と簡便化と印刷方法の手軽さを考えると、どのようなメディアでも利用可能なFILEの準備と提供が大切である。そのためには高画質、高解像度の切手の電子FILE化が求められる。切手に興味、関心を持ってもらうためには、切手の内容と美しさを分かりやすく示す必要がある。稲門フィラテリー常設展の展示、切手博物館の展示等のように少なくともB5版程度に切手を高画質で出力して利用できることである。残念ながら、現状ネットから利用できる切手FILEには切手の魅力を示せる大きさで印刷、電子画像での出力に耐えられるものは非常に少ない、多くが端末画面表示で名刺大が限界である。記憶媒体の拡大と低価格化、そしてウェブの進化を考えると、FILE容量のおおきさは問題にならないであろう。次に、用意できた高画質

FILEの整理方法が重要になる。希望された事項に該当するものを少なくとも100FILE位すぐ提供できる環境が準備できればと考える。国、動物、植物、魚、昆虫、美術別等ごとに対応できるような生息環境である。危惧種個体が自分の営巣を電子FILE化し、準備して、日常生活で利用したり、他からの求めに応じられるようにしたら危惧種への関心が広がり絶滅を少しでも遅らせられるのではないだろうか。私事で恐縮であるが、退職後の名刺、便箋、一筆箋、賀状等の片隅に相手の好み、季節を考慮した切手を印刷しひんしゅくをかったりしている。そんな中、意外と好評だったのが美術品の切手とその原画を組み合わせたカレンダーであった。今後も、少しでも多く絶滅危惧種の素晴らしさを発信していきたい。

訃報 小熊 忠三郎 会員

平成 25 年 (2013 年) 1 月 19 日、小熊忠三郎様 (昭 31 商学部卒) が逝去されました。小熊様は早大切手研究会 O B として、稲門フィラテリー設立から平成 16 年まで副会長として、稲門フィラテリー発展に大変ご尽力下さいました。昨平成 24 年 10 月の第 13 回 稲門フィラテリー総会には元気な姿で出席され、懇親会では大いに酒を楽しんでおられました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



切手教室

第 94 回 2 月 2 日「切手で知るブルターニュ」

講師：甲斐 正三

第 95 回 3 月 2 日「日本切手上的の外国語表記」

講師：小川 義博

第 96 回 4 月 6 日「旧約聖書」

講師：野口 喜義

稲門フィラ常設切手展

第 20 回 「ロンドン・オリンピック終わる！
(ロンドン・パラリンピックも終わる！)」

開催日時：2012 年 9 月 5 日～11 月 30 日

場所：新宿北郵便局

第 21 回 「昭和～平成 巳年の年賀郵便切手」

開催日時：2012 年 12 月 1 日～2013 年 3 月 1 日

場所：新宿北郵便局

3 月 2 日から 6 月上旬の第 22 回常設展は「新宿北郵便局の近くにある郵便局の風景印」を予定。

編集後記

切手研会報、稲門フィラテリーのデジタル化が済んで関係機関に保存された。それだけの意味のある内容かはともかく、デジタル化＝長期資料保存とはいかないようだ。近代美術館の映像資料はアナログフィルムで理想的な環境の中で保存の努力がされ、近年のデジタル映画も名画はアナログフィルムに逆変換して保存が意図されている。とんだデジタルストレスである。稲門フィラテリーがアナログの印刷物として継続することも重要だ。(お)

第 14 回稲門フィラテリー総会は 10 月 20 日 (日)

早稲田大学は平成 25 年度ホームカミングデー、稲門祭の開催日を 10 月 20 日 (日) にすると発表しました。

稲門フィラテリー総会、懇親会も例年どおりこの日に開催します。総会・講演会は 7 号館、懇親会は高田牧舎を予定しています。

詳細は改めてご案内します。

C D 「早大切手研究会会報」と 「稲門フィラテリー」 通信総合博物館に寄贈

会報前号で紹介した「早大切手研究会会報」電子化による C D を通信総合博物館に寄贈しました。

また、博物館に「稲門フィラテリー」を寄贈することになり、創刊号から最新号まで揃えて 2 月末に寄贈しました。

現在「稲門フィラテリー」を寄贈しているのは早稲田大学図書館、早稲田大学大学史資料センター、切手文化博物館、切手の博物館です。今回の寄贈で通信総合博物館が加わり、5 ヶ所の機関となります。

JAPEX2012 稲門フィラ会員の入賞

大銀賞

National Air Mail Week May 15-21, 1938

和田 文明

大銀賞

再独立リトアニア郵便史 1988-1994

荒木 寛隆

銀賞・ベストオープン賞

都の西北 早稲田大学 125 年の足跡

池澤 克就

発行日：2013 年 3 月 1 日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4 階

(株) 英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉沢 忠一 池澤 克就

小川 義博

稲門フィラテリー

第48号

2013年6月1日発行

神楽・まつり・そして神楽

池山 眞彦

「フランス料理が世界遺産？」

2003年ユネスコ総会で採択された無形文化遺産の定義を見てみると「無形文化遺産とは慣習、描写、表現、知識及び技術並びにそれらに関連する器具、物品、加工品及び文化的空間であって社会、集団及び場合によっては個人が自己の文化遺産の一部として認めるもの」とある。よくわからん定義である。

世界各地にある人類の文化遺産として認定しその保護、援助を行う制度であることは有形文化遺産と同じであるが厳しい審査を経て認定、記述される世界文化遺産、世界自然遺産とは異なり単に「無形文化遺産」と呼ばれ条約本文においてもWorldは冠しないのである。

日本の代表一覧表に記載、登録された無形文化遺産には重要無形文化財としての能、歌舞伎、人形浄瑠璃など又民俗文化財として早池峰神楽、壬生の花田植など22件記述されている。

我が国では法隆寺金堂壁画焼損を契機に昭和

25年文化財保護法が統括的法律として制定され、文化財を有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群と分類し重点的に保護、活用をしている。

これから進める「神楽」は民俗文化財のうち無形民俗文化財278件、更に記録作成等の措置を講ずべきもの600件のうち約1割の92件を占めている。その上全国都道府県・市町村によって指定されたもの更には津々浦々に存する無名のものを入れれば夥しい数の神楽が地域の特性や地方性を絡めながら存続、継承されている。

一般的に「神楽」とは神社の祭礼時に神楽殿などで行われる歌舞、舞楽などの芸能といわれるが語源は「神座」かみくらが転じたとされる。かみくらとは神の宿る所を意味し、巫女が人々のけがれを祓ったり神懸かりして人々と交流しながら五穀豊穡、無病息災、子孫繁栄などを祈願し感謝する文字通り神に楽しんでもらう場である。遡れば古事記、日本



歌舞伎



重要無形文化財
文楽



能



重要無形民俗文化財

壬生の花田植え



早池峰神楽

書紀の岩戸隠れにアメノウズメが舞った舞が起源とされ、日本の古典民俗芸能の原点と位置づけられている。

やっとめぐり会えた生涯学習テーマ。5年前の偶然を縁に、新たな出会いを求めて神々と村人たちの交流の場「神楽」を訪ね歩いています。その神楽巡礼の一端を披露させていただきます。

神楽事始めは日向国 椎葉村嶽之枝尾神楽

平家の落人伝説、ひえつき節、焼畑農耕、九州脊梁山脈の奥懐、秘境椎葉村は人口3000人ほどの村である。この隔絶された集落には数百年の歴史そのままに夜を徹して舞続ける神楽が26座も残っていると言う。

12月大雪の時節、真っ暗な山道を慎重にハンドル操作をしながら凜々たる山の精霊たちの領域にはいる。前方に一對の幟が星空を背に屹

立している。見上げると山の中腹に冷気を切り裂いて明るく輝く一角が遠望できた。嶽之枝尾集落である。

折しも「注連縄引き鬼神」という演目の真最中、莫座を敷いた外神屋といわれる空間に白衣に真っ赤な鬼面を付けた舞人が、御幣を結びつけた12本の太い笹竹に通した紅白の布ひもを太鼓、笛に合わせ唄を吟じながら激しく力任せに引っ張り揺する。地主神が山の神を呼び込む勇壮且つ迫力満点の舞である。

煌々と輝く光の中を荒々しく舞続ける鬼人の姿に神々しさと美しさが交錯し、黙って見とれるだけ……いきなりの異次元空間、妙に落ち着かない……。

神人一体となる座着き（会食）の場となる。冷え切った体にあたたかい蕎麦が供せられ、焼酎の酒盛りがはじまる。全員に地元の主婦たちが心込めた弁当が振る舞われる。雨戸をすっかり取り払った神楽宿、間断なく浸食してくる冷気は次第に暖かく和やかになってきた。ふと見ると先ほどの鬼人が当たり前のように焼酎を飲



椎葉 神楽宿



注連縄引き鬼神



み談笑している。延岡の病院を抜け出してきた当主があいさつ。丁度 100 年前、地方官吏だった柳田國男がこの家に当宿、見聞きした狩猟文化を書きとめた「後狩詞記」が日本の民俗学の祖となった。したがって神社で催していた神楽を昔の姿そのままの神楽宿でやりたかったのだと……。 (民俗学発祥之地の碑が敷地内にあり当時の様子が記してある。) 当夜は記念すべき神楽だったのだ。

神楽宿は山の斜面に平行して 20 帖ほどの部屋が 3 部屋並んでいる。真ん中の部屋が御神屋と呼ばれ、神棚には猪頭、山の幸、米、野菜、御酒などが供えられており、中央には注連縄や飾り物で彩られた天蓋が設えられ文字通り神の領域として、舞人以外足を踏み入れることができない。

御神屋を挟んで上手、下手から交互に歌合戦が始まる。輝く星空のもと大自然を背にした民謡には澄んだ透明感があり、その歌唱力に圧倒されてしまうが歌詞は意味不明。判ればもっと楽しいのだろうが、そのうち舌戦になり雰囲気は拍手と笑いとヤジで最高潮に達する。もともとは男女に別れての古代の歌垣のなごりで、こ

れも神事のひとつとして出番が決まっているのだろう。

神の依り代である榊、幣束、鈴、扇、太刀などを手に舞人や仮面神の舞が笛や太鼓、神楽のリズムに合わせて一人舞、二人舞、四人舞、一時間以上のハードな舞が当たり前のごとく次々と山の靈氣に吸い込まれていく。翌朝まで実に 33 番粛々と舞い続けられるのだ。圧巻は夜も白々と明けるころ、天照大神が天岩戸から顔を出し元の世界にもどるときお迎えする岩戸舞の場面となる。夜明けという荘厳な自然現象を背景に絶妙な演出が古より伝えられているという。

残念ながらこの場面を見ることなく数時間の歴史絵巻を体験するに終わってしまったが、真っ暗な山道を辿りながら、脳裏に焼きついた荘厳且つ力強い幻影と響きそしてそれを楽しむ村人たちの笑顔を何度も何度も呼び起こしていた。翌朝、宿舎の鶴富屋敷で朝食をとっていると、前夜の疲れを物ともせず嶽之枝尾出身の仲居さんが大きな御幣を土産に届けてくれた。

南信州阿南町 新野の雪まつり

新野は長野県阿南町の最南端、900メートルの山々に囲まれた高原の盆地で1500余人の人々が暮らす集落だ。歌人の折口信夫が「風の吹きたまりのような所で古代芸術のふきたまり」と紹介したように多くの民俗芸能が残っている知る人ぞ知る山里である。

降りしきる雪を稲穂の花にみたくて田畑の稔を呼び、雪に五穀豊穡の祈りを込めたことから「雪まつり」と呼ばれ、小正月の行事としておこなわれる。訪れた時は雪不足で、わざわざ山から雪をもってきて伊豆神社の境内に敷かれていた。

雪曇りの街道を2キロほど離れた諏訪神社から「お上がり」というみこしの行列がやってきた。30メートルほど先を娼が清水を入れた鉢を持ち、南天の小枝で道を清めながら歩いていく。正装した総代を先頭に緋の袴に普段着の柄物羽織を着た3人の少女、後ろにわらじを下げている紋付袴の男衆、ささらや太鼓を首からさげた若衆、子供衆、長靴を履いた消防団、手作りの被り物や白い衣装を付けた一団、それぞれ

自分の出番に合わせた衣装なのだろうが、華やかさとは無縁の質素、素朴な行列がゆったり伊豆神社まで続く。

街道筋にある家々の玄関先に供えられた、薪で作ったハサギや、丸太を切った米俵から成る1メートル程の素朴な小正月の松飾りが祭の風情を醸し出している。



小正月の松飾り



「お上がり」行列



ササラの舞

出迎え役の鬼の松明に誘導され100段近くの石段を登りきり、神社の境内に到着。神楽殿でササラ衆による田楽舞、それぞれの衣装での神楽舞などの後、本殿では御祭神をお迎えする「本殿の儀」がおこなわれる。

雪まつりに相応しく小雪がちらつき始めた深夜1時ころ。薪を片手にした消防団の青年たちが舞の仮面がおさめられ、舞人達の支度部屋になる庁屋の壁を「乱声(らんじょう)、乱声」と大声で叫びながら乱打する。それを合図に境内に立てられた5メートルほどの大松明に点火、猛烈な煙と火の粉が辺り一面に降りかかる。いきなり3大コンセプト「寒い」「煙い」「眠い」の洗礼である。境内の庭を舞台に舞人達が次々と舞う夜を徹しての舞台「庭の儀」がはじまる。

最初に庁屋から出てくるのは五穀豊穡を司る新野の農耕神で最高位の神、幸法(さいほう)である。左右の手に松とうちわを持って1時間にわたって舞い続けるが、その間9回庁屋を出たり入ったり、何とも忙しい。突然幸法神が腰に下げていたホッチョウという木の棒をもって群衆の中に分け入り、若い女性の頬にすりつける。子宝を授ける縁起のいい仕草なのだが、女性は逃げまどい、それを又追いかける。その内小さな少女や年寄りまですり寄り、場は大きくざわめき歓声、嬌声に揺れる。続いて面形、仕草、装束が幸法神そっくりの「茂登喜」が現れ、舞う。古典芸能でよく見られる主役を真似る滑稽役、ひょっとこみtainな役柄だというのが、要は「幸法もどき」なのである。

正月の松飾りに火がはいり、松の燃える臭いと煙が境内に充満、地元の人達の設営した売店や屋台には老若男女を問わず人が群がり、飲食したり会話をしたり祭の雰囲気が一層華やかになる。

雪まつりの花形、競馬(きょうまん)と呼ばれる楽しい舞には、馬の造り物を身につけた2人の舞人が手綱をさばいたり、弓を射ったり、横跳びをしたり、時にはすり寄ってエロチックな仕草をしたり、舞人も村人も一体となって声援を送る。「お牛」と呼ばれる神事では宮司が牛の造り物をつけ石段と本殿屋根に向かって矢を放つ。緊張の一瞬である。ササラ衆の舞、鬼がでたり天狗がでたり、田楽、舞楽、神楽、猿楽、



幸法（さいほう）



茂登喜（もどき）



競馬（きょうまん）

田遊びなど伝統古典芸能の原型が笛、太鼓、囃子の響きに合わせ夜明けまで繰り広げられる。どの場面が何に該当するのか不勉強な身にはよくわからないが何はともあれ楽しく充実感のある祭なのである。朝の冷気が足元を覆い尽くす頃、750年続くこの伝統ある祭りの重みを感じながら、村人たちの神に対する畏敬の念に素直に感動したのである。

安倍川上流 有東木の神楽

有東木（うとうぎ）という名が気になって調べていたら、この地に伝統的な神楽と盆踊りが残っていることが分かり、興味津々、早速出かけることとなった。

静岡市の北方、安倍川を遡ること30数キロ、更に左岸の曲がりくねった山道を3キロほど、標高600メートル級の山に囲まれた戸数70戸程の集落である。「静岡のチベット」と呼ばれるこの地にも大阪夏の陣で敗れた真田軍の落人伝説が残っている。



山葵とお茶の有東木集落

10月中頃、遠く安倍川の流れが光る、山葵田と茶畑の緑に囲まれた静かな山里、杉木立に囲まれた白髭神社では待ち焦がれた秋の祭典が行われた。午後1時過ぎ、境内では赤々と燃える焚火と煙の中、本殿での神事祭礼の準備を慌ただしく進めている。禰宜、町内組長、来賓などが集まり拝殿上では、粛々と神事、直会、続いて奉納の神楽が始まった。焚き火で暖を取りながら見ていると振る舞いの酒や暖かいおでんが運ばれ、気がつくや御馳走や飲み物を広げた大勢の村人達が杉の根元に敷いたゴザに座って賑やかな雰囲気になっている。



神楽は駿河神楽と呼ばれ、安倍川、大井川の流域の山間部に約30数か所分布しており、天蓋の飾りつけ方法や舞の仕草等いくつかの共通項があるものの、いずれも交通の便の悪い高齢化の進む過疎地だけに維持継続には苦労があるようである。

鈴、幣束、扇子、などの採り物をもって舞うものや、太刀の舞、火の舞のような曲芸的な要素を見せるもの、恵比寿、大黒のような面をつけたものなど十数番演じられ、特に周りの明かりをすべて消し暗闇の中での火の舞は炎だけが拝殿を照らす厳粛な舞であった

当番組の女性たちは少し離れたところで竈を作り、おでんやお酒の準備や接待に、薪をくべていたおじさんがそのままの姿で篠笛を吹き、子供たちはグループを作っておしゃべりを楽しんでいる。舞う人も見る人もそして静かに暮れる山里の佇まい、すべての事物が一体となった何とも暖かい「これぞ神楽」という情景を見せてくれた。

午後6時、忍び寄る山の冷気に冷たくなった手を擦りながら近くの梅が島温泉へと向かった。

秘境五家ノ荘の樅木神楽、藤枝の高根白山神社古代神楽、華やかな奥三河の花まつり、小野の御柱まつり、そして鷲宮神社の催馬楽神楽や品川神社の太々神楽、江戸里神楽など、そのほかいずれにも古代から連綿と続く伝統のすばらしさが秘めやかに宿り、それを舞い続ける地域の人達の比類なき誇りが見る者の心を常に新しくしてくれる。

折しも2011年3月三陸沖を震源地とする東日本大震災、復興の遅れから未だ多くの被害者が経済的、生活的苦難を余儀なくされているが、被災の直後のあり様について海外より賞賛の声が上がったことも記憶に新しいところである。又、「絆」の文字がその年の漢字として大きく墨書された場面も忘れない。

誇るべきは世界に冠たる国民の精神性の高さ、根源を探れば生まれ育った土地に対する郷土愛であり、「和をもって貴しとなす」伝来の隣人愛なのかもしれない。

<ここには神楽がある。> ところ和む風景や神楽でつながる人々の素朴な生活が全国いたるところで息づいている。

西に行きましても 東に行きましても
土地土地のおあにいさん、おあねいさん
とにかくご厄介をかけがちな未熟な神楽巡礼でござんす。

粉骨碎身人一倍はげもうと思っております。
以後よろしくお見知りおきをお頼のもうしあげます。

竜切手に用いられた用紙の分類

坂下 泰一

◎日本最初の竜切手用紙は

脆弱な唐紙（竹紙）だった？

東京通信博物館創設の功労者樋畑雪湖氏は、1920年の初め頃、手彫切手研究の第一人者で、名著「大日本及全属国の郵便切手」の著者として知られているウッドワード氏に次のような書簡を書き送っている（同書 51 頁）。「手彫切手には唐紙が、次に和紙が、そして更に後になって洋紙が使用されたが、これらは東京の商人から買い入れたものである」。ここで、樋畑雪湖氏が日本最初の切手の用紙は和紙ではなくて、当時中国から輸入した唐紙（竹紙）であった、と言っていることは注目に値する。何故なら、明治 4 年 3 月発行予定の竜切手用紙として、政府が最初に準備していた用紙は、まさにこの脆弱な唐紙（竹紙）であったからだ。（図 1）



図 1 唐紙（竹紙）
竜半銭 2 版 竜 1 銭 1 版

◎脆弱な唐紙（竹紙）の素性

中国では唐代から紙の生産が盛んで、特に宋代以降は竹の繊維を主原料とする竹紙が大量に生産された。この竹紙は、三桮や雁皮に比べると繊維の長さが短く、緊密生に欠け、粘着力も弱く、だいたい脆く、裂けやすい性質を持っていたが、墨汁の吸収力がよいため、写経や書画用として、また表装の裏打ちとしても好まれた。わが国でも、一部の地方で竹紙の生産は行

われていたが、竹から繊維を取り出す作業が手間暇のかかる大変きつい作業（100 日以上の水漬けや 8 昼夜の煮熟など）で、大麻、雁皮、三桮、楮（こうぞ）などの製紙用植物が多く自生したり、栽培できるので、早い頃からわが国では竹紙の生産を止めてしまっていた。

◎政府の用意したもう一つの

脆弱紙（半透明無地紙）の素性

唐紙（竹繊維 100%）同様に、政府がわが国最初の切手用紙として用意したものに半透明無地紙（大麻繊維 100%）があった。この紙は和紙のなかでただ一つの非繊維質紙である。生産地はどこか明確でない。ヨーロッパ説を唱える専門家もいる。また大麻の繊維を細かい繊維状にするには、200～300 回に及ぶ「打ち紙」と呼ぶ作業〈木槌によるフィブリル化〉が必要であった。また半透明無地紙は別名ペルアー紙とも言うが、Pelure は仏語で「(玉葱などの)薄い皮」の意味。文字通り極薄紙を表すのにふさわしい命名だ。薄くて、かさばらないため、辞書や聖書の本文用紙として使用されてきた。この紙を粗悪紙と呼ぶのには疑問があるだろう。

印刷局朝陽会で出版した本の表 1（196 頁）の中で、竹紙も大麻紙もどちらも唐紙となっている。これは一つの示唆を与えてくれるもの、と言える。（図 2）



図 2 半透明無地紙（ペルアー紙）
竜半銭 1 版 竜 2 銭

表1 わが国の古い切手の繊維組成

竜 100 文	明治 4 年 3 月発行	三桎 100%	和紙
竜半銭	明治 5 年 2 月発行	竹 100%	唐紙
竜半銭	明治 5 年 2 月発行	大麻 100%	唐紙

「郵便切手製造の話」 印刷局朝陽会発行

この脆弱で、破れやすくまた自給が難しい、およそ切手用紙としてはふさわしくないとされる唐紙（竹紙）や半透明無地紙（ペルアー紙）を何故政府は日本最初の切手用紙に決めていたのだろうか。

◎前島の2度使用に対する防止策

それに関しては、日本郵便の父前島密氏の著書「郵便創業談」（昭和11年12月刊行）に述べられている。それによると、郵便創業以前、前島密の頭を最も悩ましていたことは、どうしたら切手の再使用を防げるかであった。消印を押す、と言う簡便な方法に気が付かなかったため、切手を極薄の破れやすい紙でつくったら、封筒に貼った切手をはぎ取ろうとすれば切手が破れて、2度使用は出来なくなるだろうと考えて前島は脆弱な中国産の竹紙を日本最初の切手用紙に選び、用意させた。

◎前島のイギリス出張

ところが、明治3年6月、前島は英国へ出張を命ぜられ、横浜を出帆することになった。偶然乗り合わせた船が米国の郵便船で、その船長と郵便の事について話している時に、消印という便利な方法があることを知った。直ちに、彼は脆弱な粗悪紙に代わって、丈夫な紙の使用を進言する書簡を杉浦駅通権正宛に書き、途中出会った日本航路の船に託した。

◎唐紙に代わって国産の三桎和紙の使用

消印の存在を知った前島の助言で、日本最初の竜切手は腰の強い、丈夫な三桎和紙に印刷された。残された唐紙（竹紙）は、破棄されずにそのままお蔵にストックされることになった。この三桎100%の国産和紙は文単位の竜切手（「竜文切手」と呼ばれている）すべてに使用された。（図3）

この竜文シリーズに使われた三桎和紙が



図4 各額面の強靱紙（三桎和紙）

次の竜銭シリーズに用いられると強靱紙として注目され、大いに珍重されることになる。（図4）

◎新貨条例による呼称の変更

明治4年5月の新貨条例により、貨幣の単位が文から銭に変更になり、切手も新たに銭表示が必要となった。すでに、新図案の桜切

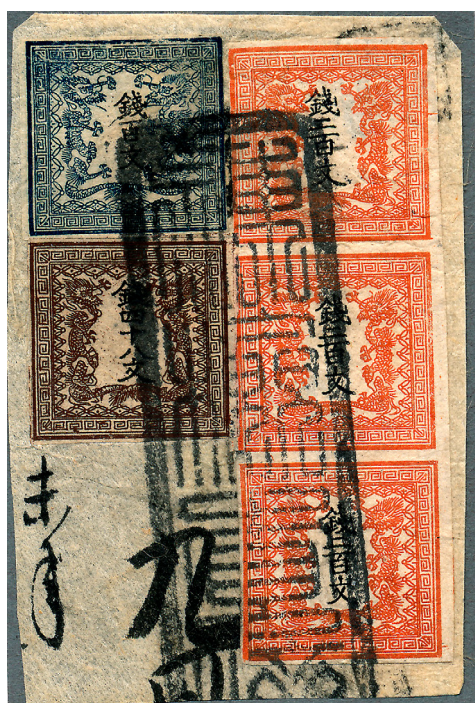


図3 最初の竜文切手（三桎和紙）
明治4年使用

手の発行が予定されていたので、それまでのつなぎとして、単に文を銭に変えただけの竜銭切手4種が5年2月に発行された。切手用紙も、政府の節約の方針に従い、破棄

されずにストックされていたあの破れやすい竹紙が利用された。そしてまた、この竜銭切手から、政府は外国人に評判の悪かった目打なし、糊なしを改めることになった。製造者（松田工房）は薄くて、脆弱な紙に目打ちを入れたり、糊ひきするのに大いに苦労したことだろう。竜銭切手の後期には厚くて、丈夫な強靱紙や極厚紙など竜文には無い用紙が少数ではあるが、出現するのは、紙の不足を補うために間に合わせ的に購入したから、と言うよりは、政府の要望に応えるべく、いろいろな紙の試作や糊の改良を模索している、その努力の現れ、と見る方が当を得ているだろう。

◎使用済みのない竜切手の存在

竜切手の中には、今まで一度も使用済みの発見されてない、つまり市販されてない切手が極わずかではあるが存在する。図5は竜銭に見られる材質改善のための填料（澱粉や炭酸カルシウムなど）の添加がないことから、竜文の残存用紙が試験的に使用されたと考えられる。

図6の2枚の用紙は極端に厚い。標準的な三極和紙の厚さは60～100ミクロンだが、この2枚は、竜半銭2版が120ミクロン、竜



図5 竜1銭2版未使用糊無三極和紙

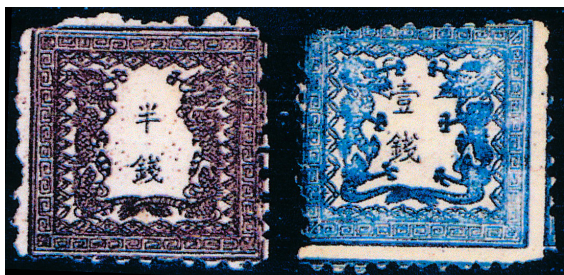


図6 竜半銭2版強靱紙 竜1銭1版脆弱極厚無地紙

1銭1版が150ミクロンもある。組織分析の結果この2枚は藁紙である事が判明している。藁から紙をつくる技術はまだその頃は日本になかったから、藁用紙は外国からの輸入品と考えてよいだろう。「大蔵省印刷局百年史資料編」の中に、紙幣頭から出納助宛の依頼状が残っている。その中に洋紙を海外から取り寄せて印刷させたことが記されている。

◎竜切手に用いられた用紙の分類

1) ウッドワードの分類

竜切手に限らず、切手を分類するにはまず、順序として額面、版別で大きく分類し、そのあとで、紙質、色調、目打などによって細分するのは、今も昔も変わらないであろう。が、なかでも紙質の分類が一番困難で、人により意見が分かれるところであろう。紙質に関しては、単に無地紙と縞紙に分けるのが当時の一般的な方法であった。しかし、ウッドワードは竜切手の用紙をⅠ～Ⅳの4種類に分類するだけでなく、更に、ⅠA（極厚無地和紙）をⅠの変種とし、Ⅱの縞紙は縞目の模様によって、ⅡA～ⅡDの4種に細分類した。

Ⅰ（無地和紙）変種 ⅠA（極厚無地和紙）

（例）竜1銭1版のみ

Ⅱ（縞和紙）変種

ⅡA（細縦縞和紙）（例）竜1銭2版のみ、

竜文には多い

ⅡB（広縦縞和紙）（例）竜文、竜銭どちらにも多い

ⅡC（横縞和紙）（例）竜100文2版、竜500文（黄緑）
1銭2版、5銭

ⅡD（格子縞和紙）（例）竜文にあるが、竜銭では未見

Ⅲ（ペルアー紙）「半透明無地和紙」唯一の非繊維質
紙薄くて、もろい、竜銭にだけ使用

Ⅳ（極厚縞和紙）竜銭にだけ使用、明瞭な縞紙未見

このように、無地、縞の他に、Ⅲ（ペルアー紙）「半透明無地和紙」とⅣ（極厚縞和紙）を、大分類項目に加えたのは画期的なことであったと思う。現在では、科学的な紙質分析によってⅢ（ペルアー紙）は大麻、Ⅳ（極厚縞和紙）とⅠA（極厚無地和紙）は藁、と紙質の違いが明らかになっている。無地、縞による分類は必ずしも紙質の本質的な違いを示す物ではなく、いろいろな縞

模様ができるのは、紙を漉くとき使用する漉き具の縞目模様の違いによる。したがって、紙質が同じであっても、同一シートの中で縞、無地が混ざっていることがある。「手彫専門カタログ」（2007 年刊行）では、縞の有無以外に紙質が同じであると判断される場合は、縞、無地を区別していない。

2) 樋畑雪湖の分類

彼は、1933 年に出版した著書『日本郵便切手史論』の中で、竜切手の紙質について触れ、次のように述べている。「日本の初期切手を印刷した用紙は、2 種類あって、その 1 つは、和唐紙（中国の唐紙をまねて漉いた和紙）と呼ばれる縞紙で、もう 1 つは、駿河地方で漉かれる駿河半紙に似た無地紙（三桎を原料とする）である」。

竜銭切手発行の際、最初に使用した用紙（第 1 次縞紙）は、中国から輸入したと思われる唐紙（竹繊維 100%）であった。が、その後、紙が底をついたとき取り寄せた紙（第 2 次縞紙）は、竹繊維と藁繊維を混合して漉いた和唐紙と言われる紙で、混合の割合は、竹繊維 40%（±10%）と藁繊維 60%（±10%）であったと思われる。日本では当時、竹紙は製造していなかったため、竹紙の買い置き品か漉返し（再生紙）を使用したのだろう。

3) 日本郵券商組合（代表者吉田一郎）

「大日本郵便切手標準型録」（昭和 11 年版）

発行所 日本郵券倶楽部（非売品）の分類

このカタログの竜銭の項目を見ると、縞、無地や色調別の分類の他に、竜半銭 2 版と竜 1 銭 1 版にのみ、「極厚紙」がリスト・アップされ、高い評価（普通品の 14 倍～20 倍）が与えられている。すでに、当時から、この紙質が注目されていたことが分かる。また、カタログでは、未使用と使用済が同値になっているが、ウッドワードの示すとおり、これらの使用済は、まだ発見されていない。参考までに、この 11 年版のカタログ評価とウッドワードの評価（単位円）

を次に記しておく。

NO.5	半銭 2 版	（未）	（済）
	普通品	5.50	4.50
	極厚紙	80.00	80.00
ウッドワード評価		60～120	—
NO.6	1 銭 1 版	（未）	（済）
	普通品	10.00	10.00
	極厚紙	200.00	200.00
ウッドワード評価		150	—

ちなみに、「手専 2007」での評価は、NO.5 の「極厚紙」は 33 万円、NO.6 の「極厚紙」は 100 万円、いずれも未使用の値段である。

4) 市田左右一博士の分類

ドクターは竜銭切手の用紙を、ただ無地、縞で分けるのではなく、用紙の科学的な分析を行って材質を解明するという、今までにないものだった。博士は、竜銭切手の用紙の分類を、「全日本郵趣」（1969.2.月号）に発表。それによると、用紙を次の 3 種類に分類した。

- A 半透明脆弱無地紙「ペルアー紙」（大麻のごく短い繊維を原料としたもの）
- B 脆弱紙（竹のごく短い繊維を原料としたもの後期のものに竹に藁の混じったものがある）
- C 強靱紙（楮が混入しているようで厚く「竜 1 銭 1 版」は特に厚い）強靱で、折り曲げても決して亀裂は入らない。それ以外は三桎紙と思われる竜文用紙と似て柔らかく強い紙質もごくまれにある。これらを総称して強靱紙と称する）

強靱紙の説明がいまひとつハッキリしないのは、当時の分析技術がいまほど進んではいなかったため、紙質を正確に知るには切手を、一部分にせよ破壊検査をする必要があった。が、強靱紙のように高価で、貴重な切手を、傷ものにすることは出来ないため正確な分析はほとんど不可能に近かった。現代の分析技術では、切手を破壊しなくても、目打部より繊維を数本採取し、J I S P に規定された顕微鏡下での目視確認と C 染色液を使用した識別確認によって繊維を判定することが可能になった。その分析によると、強靱紙と言われている紙は、三桎か藁ということが確認できた。

表2 竜銭切手用紙の材料一覧表 白井二実、坂下泰一 作成

繊維の名称	× 100 光学顕微鏡 物理定数等	C 染色液反応色 JIS P-8120
タケ (日本産の竹)	繊維長 1～3mm 繊維幅 20 ミクロン 繊維先端 尖る	濃青～灰青
クランプバンブー (東 南アジア、中国)		濃青～灰青
稲ワラ	繊維長 0.5～2mm 繊維幅 数ミクロン 円筒形 先端尖り 鋸歯状非繊維細胞あり 俵型・長方形の非繊維細胞多し	濃青～灰青
麦ワラ	稲ワラより非繊維細胞は大きく、竹なみ	濃青～灰青
大麻	繊維長 非常に長い 短く切断して使う	濃赤茶
苧麻 (ちょま)	繊維長 非常に長い 短く切断して使う	濃赤茶
三桮 (みつまた)	繊維長 3～5mm 繊維幅 10～30 ミクロン	オリーブ色

表3 竜切手用紙の分類 手彫切手研究会 作成

ウッドワードの分類	市田博士の分類	手専 2007 の分類	対象となる 竜銭切手	分析結果	産地
II B(広縦縞和紙)	脆弱紙	脆弱紙	4 種全部の版	竹、竹+ワラ	中国?
III (ペルアー紙) 「半透明無地和紙」	ペルアー紙	ペルアー紙	半銭 1 版 1 銭 2 版 2 銭、5 銭	大麻	ヨーロッパ? 中国?
I (無地和紙)	強靱紙	強靱紙	半銭 1 版 1 銭 2 版 2 銭、5 銭	三桮	日本
I A(極厚無地和紙)	強靱紙*	脆弱極厚無地紙	半銭 2 版 1 銭 1 版	ワラ	日本? 外国?
IV (極厚縞和紙)	強靱紙*	脆弱厚無地紙	半銭 2 版 1 銭 2 版 1 銭 3 版	ワラ	日本? 外国?

*市田氏は極厚紙を強靱紙に分類していたが、材料分析の結果、現在ではワラ紙と判明している。

表4 手彫切手用紙の厚さ測定資料 手彫切手研究会 作成

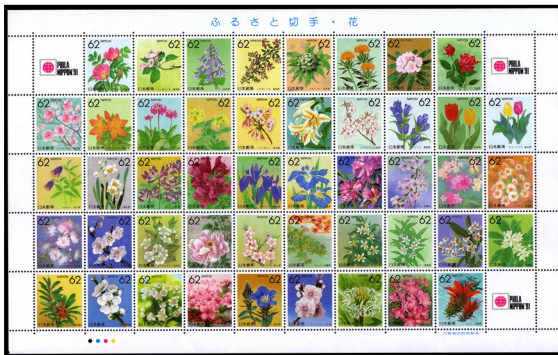
切手の種別	用紙の呼称	紙の素材	縞、無地	紙厚 μ	備考
竜文	三桮和紙 (厚紙あり?)	三桮	縞、無地	60～100	竜文の厚地の測定データなし
竜銭	脆弱紙	竹 竹+ワラ	縞、無地	40～60	
	脆弱厚無地紙 (半銭に限定)	ワラ	無地	80～90 120 *	半銭 2 版にのみ存在する 特殊な紙
	脆弱極厚無地紙 (1 銭 1 版と 3 版に限定)	ワラ	無地	130～150 *	データは 1 版のもの 3 版のデータはない
	半透明無地紙 (ペルアー紙)	大麻	無地	40～65	
	強靱紙	三桮	縞、無地	75～90	紙質は不揃い
和桜 (松田)	硬質無地和紙	三桮	無地	60～100	
和桜 (政府)	柔かい和紙	三桮	縞、無地	60～130	紙質は不揃い

* 1 枚のみ存在を確認

新潟県の花鳥

高橋 仁

全国都道府県はシンボルとして「県の花、鳥、木」を制定している。「県の花」は昭和29(1954)年、NHK や日本交通公社などの共催で牧野富太郎博士らによって選定された「郷土の花」がそのまま制定されたものが多い。



ふるさと切手・花

その後、昭和38(1963)年に「鳥」が、昭和41(1966)年には「木」がそれぞれ制定された。

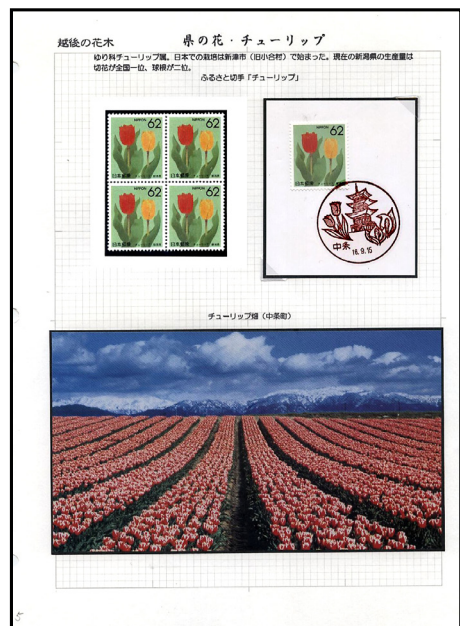
新潟県のシンボルといえば、「県の花」はチューリップ、「県の鳥」はトキ、「県の木」はユキツバキである。さらに京都府と共に「県の草花」をも指定した。それは「雪割草」である。

<県の花・チューリップ>

新潟県はチューリップ球根国内生産発祥の地であり、現在でも切り花出荷量は日本一、球根出荷量は富山県に次いで二位と重要な位置を占めていることが選定の理由である。

中央アジアが原産のチューリップはヨーロッパへ渡り、特にオランダで改良が加えられた。我が国では明治37(1904)年、イギリスから持ち帰られた球根を、大日本園芸会長大隈重信侯の温室(現早稲田大学大隈庭園)で栽培を試みたがうまく育たなかった。

その後、新潟県来迎寺村(現長岡市)で球根を譲り受けて栽培したところ、花を咲かせることに成功した。そして大正8(1919)年、オランダと気候風土がよく似ている新潟県小合村(現新潟市)で商業生産が始められたとされている。



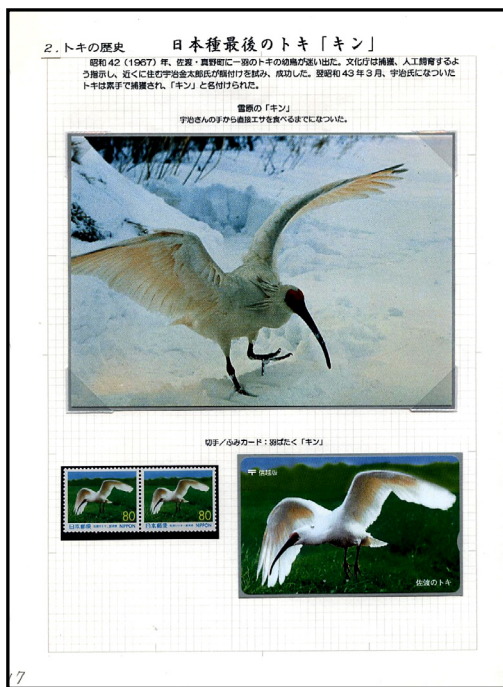
(上) チューリップ切手と中条局風景印
(下) 胎内市のチューリップ畑

新潟県ではオリジナル品種の開発に取り組んでおり、新潟に飛来する白鳥の羽ばたく姿をイメージした白色の「ホワイトスワン」や、J1 サッカークラブのチームカラーであるオレンジ色の「アルビレックス」などと名付けられている。市場に出回るまでには、交配後20年がかかるといわれる。

<県の鳥・トキ>

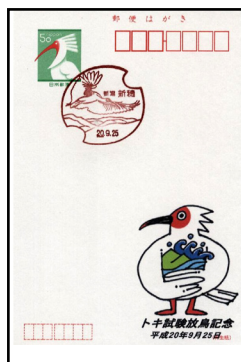
トキは *Nipponia nippon* の学名をもち、昭和27(1952)年に特別天然記念物に指定され、

さらに昭和 35（1960）年には国際保護鳥に選定された。ところが乱獲や環境の悪化により生息数が激減したため人工飼育による繁殖が計画され、昭和 56（1981）年、佐渡に生き残っていた野性の 5 羽全てが捕獲された。ついに日本の空からその姿を消してしまったのである。そして昭和 43（1968）年に保護されていたキンと共に人工繁殖が試みられたが失敗に終わり、平成 15（2003）年のキンの死亡により日本種は絶滅した。



（上）野性のキン
（下）キンの切手とふみみカード

しかし、平成 11（1999）年に中国から贈られていた友々・洋々ペアからの繁殖に成功し、自然放鳥が可能な個体数を確保することができるようになったのである。初めての自然放鳥は平成 20（2008）年 9 月 27 日、佐渡市新穂で行われ 10 羽が再び大空に飛び立った。そして、これまで 7 回に渡って合計 108 羽が放鳥され、平成 25（2013）年 3 月末現在、63 羽の野性下での生存が確認されている。



放鳥記念（新穂局風景印） 地方自治法施行 60 周年（新潟）



さらに平成 24（2012）年には放鳥したトキ 3 組のペアから 8 羽の雛が誕生した。これは自然界では 36 年振りといわれる。平成 25（2013）年 3 月末現在、8 羽すべてが生きている。



放鳥トキのフレーム切手

<県の木・ユキツバキ>

ユキツバキはヤブツバキの亜種で、新潟県を中心とした日本海側の雪の多い山間地に自生している。雪や寒さに負けない幹や枝となると丈夫で強いという印象があるが、実際はしなやかで雪に埋もれても折れずに春を待ち、花を咲かすのである。

ヤブツバキの花との違いは、ヤブツバキは花卉がポトリと落ちるが、ユキツバキはサザン

力と同じように花びらが散る。またオシベは基部まで割れていてヤブツバキが筒状なのとは異なっている。



(上右) ユキツバキ切手と加茂局風景印
(下) 国土緑化運動切手と黒川局特印

ユキツバキの変種に新潟県長岡市(旧栃尾市)で見つかったチャとの交雑の「炉開き」という品種がある。チャは晩秋に開花するが、ユキツバキは春に咲く。通常は交雑することはないのであるが、旧栃尾市は有数の豪雪地で、チャが開花する前に雪が降ってしまい、蕾のまま雪に埋まって春を迎えたのだ。そのため春に花が咲き、ユキツバキと交雑したと考えられている。

それが開花したのはチャの花の時期の11月であった。茶道には11月上旬に「炉開き」という行事があり、茶花としても使われることが



チャノハナ切手



炉開きの花

らその名が付けられた。原木は今でも旧栃尾市の個人宅に残っている。

＜県の草花・雪割草＞

「雪割草」とはキンポウゲ科オオミスミソウやミスミソウなどの別名である「ユキワリソウ」の園芸品種のことである。オオミスミソウは主に北陸以北の日本海沿いの山地と佐渡に自生していて、文字通り雪解けと共に開花し、梅や桜よりも早く新潟に春が来たことを教えてくれる。それらの園芸品種が「雪割草」と表記され、江戸時代から栽培されてきた。

自生種の花は一重咲きで、色は赤、青や白である。それを交配して作出された園芸種には、雄しべを変化させた二段咲きや花弁を変化させた八重咲きなどがある。

新潟での稲門フィラテリー見学旅行の折、宿泊した旅館のロビーに「雪割草」が置いてあった。初めてご覧になった方が多く、女将に「ユキワリソウ」と説明をうけた。すると怪訝な顔をした会員がおられた。サクラソウ科に「ユキワリソウ」という正式和名をもった植物があり、関東地方での「ユキワリソウ」は概ねサクラソウ科のそれを指すのをご存知だったのであった。



雪割草切手



八重咲きの雪割草

新潟県には、このように独特の気候風土に育まれた生物分布がみられる。しかし、トキは自然復帰が始まったばかりであり、ユキワリソウの自生地では盗掘が後を絶たないと聞いている。課題は沢山あるが、この豊かな自然をいつまでも残していきたいものである。

両神山、秩父の切手など

長谷部 晃

新切手のニュースで日本の山岳シリーズ第2集に「両神山」を見たときは驚いた。そんなに有名な山かよ、と思った。富士山や筑波山なら誰でも知っている。しかし両神山がそれと名を並べるほどの山とは思われない。秩父で名を知られた山といえば、雲取山、武甲山について三番手くらいか。まあ日本郵便会社の選定する切手の題材は「あらゆる標準」にあっているわけではないから「まあいいか」というところか。

日本の山岳シリーズ第2集発行の2月22日に両神郵便局に出かけた。かつては両神村の集配局だったが町村合併で小鹿野町になり、郵政改革で集配は秩父郡市が秩父局に統合された。郵便局は昔のままの佇まいだ。風景印、丸形黒活、ロール印の三種の消印があった。シートを貼った初日カバーをつくった。また黒活と風景印を両神山切手二枚に押したのもつくった。郵便局の若い窓口係は親切にも「好きなように押していいですよ」と消印を貸してくれた。カッシーは当日途中で撮影した両神山の遠景だ。初日指定局は東京中央郵便局だったので、両神局を訪れたのは私が一番だった。

切手には遠景に

両神山を配置し、前景は臘梅である。臘梅で知られるのは長瀨の宝登山、正月過ぎから花見客が訪れる。切手の原風景を探してみようと、宝登山に登った。宝登山神社の近くからロープウエーが往復しているし、徒歩で登っても一時間ほどのハイキングである。山頂駅の前に広場があり、両神山を遠望できる。しかし臘梅の間から両神山を遠望するには、山頂付近までのぼる必要がある。今年は寒さのせいで臘梅の開花は遅れ、二月末でも花が咲きほこっていた。ただ臘梅の枝は毎年剪定するので切手の原画と同じ場所を確定することはできなかった。

関東花紀行Ⅱ 臘梅



私が秩父に移ったのは1964年、大学を卒業してすぐ秩父高校に赴任し秩父市内に下宿した。戦後のベビーブームの子供たちが高校生になる時代で、55人学級11クラスというマンモス高校の状況だった。



埼玉県小鹿野町 両神郵便局



た。教員も毎年 10 人もの新人が採用された。高校生は新人教員に親近感をもち休日には下宿先に訪ねてきたり、山に行こうと誘いに来た。だから最初の一年の間に三峰山、武甲山、雲取山、両神山に登った。両神山は紅葉がきれいだったので勤労感謝の日に誘われて登った。秩父鉄道の秩父駅から西武のバスで栃尾（小鹿野町）までゆき、その先を清滝口から登る。山頂下の清滝小屋で泊まる。翌日山頂に登り日室鉾山におりる。日室鉾山は戦国時代に武田信玄の開発に始まり、江戸中期には平賀源内も滞在したといういわくがあり、昭和の戦争の時代には朝鮮人強制連行の秘史もある。日室鉾山と秩父駅の間には一日二往復のバスがある。このバスは屋根の両側がカットされているという特別製だった。山間の狭い道を走るので崖との接触を避けるように特製になっていた。その後道路が広げられ滝沢ダムがつくられる中で普通のバスが運行するようになっている。埼玉県で一番奥にある小鹿野高校では両神登山を恒例の行事としている。校庭を出発、ゴールとする競歩で、清滝口から登り清滝小屋を折り返してくる一日がかりの行事だ。

両神山登山コースは清滝口のほかに白井差口があった。紅葉の時期にここから登ったこともある。しかし 10 数年前からこの登山コースは閉鎖された。登山口付近が個人所有の山で、登山客のマナーが悪いという理由で登山口を閉鎖してしまったのだという。少なくない登山愛好家が交渉したが、所有者の許可は下りないままである。

秩父が切手に登場したのは第一次国立公園シリーズの「秩父多摩」が最初。5 円（p82 日専番号、以下同じ）、10 円（p 83）と組み合わせ小形シート（p84）の三種で秩父の風景としては「雲取山」が 10 円の切手になった。雲取山は埼玉県と東京都の境にあり奥秩父、奥多摩の分水嶺である。



第二次国立公園シリーズでは 7 円が雲取山（p121）と 15 円が秩父湖（p 122）の写真が使われている。ともに清水武甲氏が撮影している。清水氏は秩父市内に写真館を構える写真家で「秩父」「秩父悲歌」などの写真集を残すとともに、登山家としても知られている。武甲山の麓の羊山公園に顕彰碑がある。

風景の切手ではふるさと切手に長瀨と梨（R 684 d）と長瀨の桜（R 694 a）が登場している。



長瀨の風景に
名産の梨とサクラ

秩父夜祭りは 12 月 3 日を中心に行われる。養蚕が盛んで絹市が盛大に行われた時代から続く祭礼で、秩父の人々の誇りである。おまつりシリーズで切手の題材になり（c406）、ふるさと切手でも屋台（R 438）と傘鉾（R 439）とが題材になった。冬の夜空を焦がす花火は屋台の上に垣間見られる。



1964 年発行
お祭りシリーズ
秩父夜祭





秩父郵便局員
長谷川貞夫氏が
描いた
絵葉書と郵ペン

広告付きはがきでは「加藤近代美術館」（1982年）が発行されたが、地元では評判はよくなかった。というのはこの美術館のオーナーは加藤卓二氏で当時自民党の代議士だった。自己のコレクションを昭和初期の商家（絹織物売買商）の建物を改造し収蔵、公開したものだが、自己宣伝の場とみられていたからだ。この後秩父郡の町村の観光宣伝のはがきも出ている。吉田町の龍勢は農民ロケットとして知られている。大滝村の紅葉もみものであった。2つの町村とも現在はなくなった。町村合併でいずれも秩父市に合併した。秩父市は面積



から言えば埼玉県一の市で、県の五分の一位をしめる。その一方で人口は減少続きで過疎の限界集落が多くなっている。

秩父を題材としたはがきには絵入り年賀はがき、官製絵はがき、広告入りはがきなどいくつかあります。なお、ふるさと切手の「都道府県の花 1990 年」の埼玉県はさくらそうでしたが、その原画を描いたのは長谷川貞夫氏で当時秩父郵便局員でした。長谷川氏は秩父夜祭りの「絵はがき」の原画も描いたし、郵ペンの秩父版の表紙絵も描いています。退職後に知り合いになりました。



両神山から始まって秩父、切手といろいろ書きましたが秩父に住んで半世紀、秩父人になったつもりですが、秩父生まれではないのでよ者扱いされることもまだあります。そんなところに郷党意識の強い土地柄なのでしょう。



切手偏見



久しぶりにアルバム整理をしだして、シート単位での発行がここまで来たかという思いを抱かせる切手にぶつかった。それは2009年発行動物愛護週間制定60周年記念の寄付金付切手10種である。このような発行形態が今後とも取られていくことに疑問と不安をいだいた。



10種発行された動物愛護週間制定60周年記念

この10枚の切手、かわいいイヌ、ネコが描かれ、動物切手収集家を中心に魅力があるから、完売したのであらうと思われた。販売期間は6ヶ月、完売であれば5000万円の寄付金が期待されるものであった。ところが、郵便事業会社の報告書によると寄付金は4167万円であった。発表発行枚数1000万枚のうち、単純計算で166.7万枚、16万シート(16%)が売れ残ったことになる。この4167万円、社会福祉の

増進、災害被災者救助、災害予防、青少年の健全育成、地球環境保全を目的とし、動物とかかわりを持つ事業を行う団体の24団体(介助犬福祉協会、福井犬・猫を救う会等)に配分されたと報告書にある。ふと、この切手で郵便会社は寄付金額より多くの目に見えない寄付金(シートホルダーに保存された切手金額)を受けておるのでは?と勘繰るのは、年間、切手収集に3万円近くを強いられている者のかなり屈折した偏見であろうか。

さらに、大災害をもたらした東日本大震災復興寄付金付切手についてみると別の問題が見えるようである。20円の寄付金で7000万枚発行されているので14億円の寄付金が期待されている。しかし、報告寄付配分金総額は8億9296万円である。この金額、寄付金カモメール分を含んでのものである。計算上は1ヶ月販売期間を延長し3ヶ月にしても2535万枚、36%がなお売れ残ったことになる。このあたり、切手のデザイン、販売期間、寄付金額の多少等から検討する必要がある。ここで寄付金付切手について知識のないことを反省させられ、日本を含め世界の寄付金付切手の発行をすこし整理してみる必要を感じた。

わが国で発行された寄付金付切手は51件、116種で総発行切手種類数の約2%であり、ふるさと切手2件4種、特殊切手28件70種、年賀切手21件42種がその内訳となる。分類することに難しさがあるが、強いて発行目的で表1に整理した。毎年発行される年賀切手等の福祉全般を目的とする発行が多く、次いでオリンピック開催等と関連するスポーツ振興を目的とするものが多くなっている。切手料額にたいする寄付金額を寄付割合として整理した数値がスポーツ振興目的が他より高くなっているのは東京オリンピック種目別切手

表1 目的別寄付金付切手発行件数と種類

目的	件数	種類	平均寄付%	発行切手通称 一部
スポーツ振興	9	27	79%	オリンピック、FIFAカップ
災害復旧	4	10	25%	東日本、阪神淡路大震災、有珠山噴火
疾病対策	1	2	38%	がん制圧運動
戦費調達	3	7	58%	戦前、愛国募金、シガポール陥落
福祉特定領域	3	12	11%	障害者年、世界ろうあ者会議、動物愛護
博覧会開催	6	8	18%	万国博、科学博、海洋博、花と緑博
福祉全般	23	45	9%	共同募金、年賀切手
文化財保護	2	5	19%	古墳壁画、キトラ古墳
総計	51	116	31%	

* 寄付% = 寄付金額 ÷ 切手料額

表2 寄付金総額と寄付金の割合

通 称	期 待 寄 付 総 額 万円	平均 寄附 %
切手趣味週間 阪神淡路大震災	100000	25%
東京グリーンが三宅島噴火	30000	25%
東日本大震災	140000	25%
北の大地 II 有珠山噴火	4000	25%
ガン征圧運動	23000	38%
国際障害者年	24000	17%
世界ろうあ者会議	20000	16%
動物愛護週間制定 60 周年記念	5000	10%
2002FIFA ワールドカップ	45000	13%
東京オリンピック	88250	100%
長野オリンピック募金	40000	13%
札幌オリンピック募金	20000	33%
2004 日本国際博覧会	5100	13%
沖縄海洋博覧会	25000	25%
国際科学技術博覧会	25000	17%
国際花と緑の博覧会	33000	13%
万国博覧会募金	15000	27%
古墳壁画	70400	23%
特別史跡キトラ古墳	20000	13%
年賀平成 04 年用	9000	6%
年賀平成 05 年用	8400	6%
年賀平成 06 年用	8100	6%
年賀平成 07 年用	7500	5%
年賀平成 08 年用	7500	5%
年賀平成 09 年用	7500	5%
年賀平成 10 年用	7500	5%
年賀平成 11 年用	7500	5%
年賀平成 12 年用	7500	5%
年賀平成 13 年用	6900	5%
年賀平成 14 年用	6300	5%
年賀平成 15 年用	5100	5%
年賀平成 16 年用	5550	5%
年賀平成 17 年用	16050	5%
年賀平成 18 年用	6960	5%
年賀平成 19 年用	5940	5%
年賀平成 20 年用	5310	5%
年賀平成 21 年用	4455	5%
年賀平成 22 年用	4455	5%
年賀平成 23 年用	4455	5%
年賀平成 24 年用	5055	5%

の 5 + 5 円切手 20 種の寄付率 100 % のためである。福祉全般目的が低い数値であるのは年賀切手が同一デザインの寄付金なし切手の発行を考慮してか寄付割合を 2 種で 5 % 弱にしているためである。最後に、発行目的の寄付金の額（期待？）であるが戦後復興後のオリンピック募金以降の金額を寄付金単価 × 発行枚数から算出したのが表 2 である。年賀切手以外の寄付金はほとんどが億単位で中でも大きな災害復興のための阪神淡路、東日本大震災に十億円以上の金額が計算されていること、文化財保護（古墳壁画）に対してより手厚い配慮がされていること、平成 17 年用年賀切手の寄付金が高松塚古墳保護寄付金付切手とほぼ同数発行枚数のためである。なぜ、この年だけ発行枚数が多くなったかは不明である。

次に、世界の寄付金切手をながめてみる。古い参考文献で恐縮であるが 2006 年 版 SCOTT の SEMI-STAMP として扱っている切手を寄付金付切手として表 3 に整理してみた。郵便開始から寄付金付切手発行までの期間、寄付金付切手数、その切手総数に占める割合等を主だった 44 ケ国に見ると表 2 のようになる。意外なのはアメリカ、イギリス、中国、オーストラリアといった大国と位置付けたい国の発行がほとんどないことである。反対にベネルックス三国、ドイツ、フランス、スイスとヨーロッパの中心に位置する国の寄付金付切手発行の多いことが目立つ。更に、切手を外貨獲得にする小国の発行が少ない傾向が見られるのと、アジア諸国も発行が少なく、文化、社会事情の違いが反映されていることを少なからず感じるものであった。ちなみに、2006 年版 SCOTT で、アメリカの寄付金切手はがん研究基金、9.11 被害者救済基金、家庭内暴力禁止キャンペーン目的の 3 種のみ、イギリス



20 種発行されたオリンピック切手



東日本震災寄附金付切手



突出発行枚数の年賀切手

表3 目的別寄付金附切手発行件数と種類

国名	STAMP		SEMISTAMP		
	開始年	種類	開始年	種類	割合
ARGENTINA	1858	2301	1944	189	7.6%
AUSTRALIA	1913	2304			
AUSTRIA	1850	1975	1914	374	15.9%
BELGIUM	1849	2037	1910	1169	36.5%
BRAZIL	1843	2937	1934	13	0.4%
CANADA	1851	2089	1974	13	0.6%
CHILE	1853	1423	1940	10	0.7%
CHINA	1949	3407	1984	10	0.3%
DENMARK	1851	1291	1921	89	6.4%
EGYPT	1866	1914	1940	51	2.6%
FINLAND	1856	1223	1922	265	17.8%
FRANCE	1849	3064	1914	708	18.8%
東ドイツ	1948	2852	1948	204	6.7%
GERMANY	1872	2333	1919	952	29.0%
GREAT BRITAN	1840	2272	1975	5	0.2%
ICELAND	1873	1032	1933	24	2.3%
INDIA	1852	2084			
INDONESIA	1950	1731	1951	185	9.7%
IRAN	1870	2903	1948	36	1.2%
IRELAND	1922	1591			
ISRAEL	1948	1584			
ITALY	1862	2630	1915	48	1.8%
JAPAN	1871	3569	1937	56	1.5%
KOREA	1895	2157	1953	53	2.4%
北朝鮮	1946	2616			
LICHTENSTEIN	1912	1314	1925	24	1.8%
LUXENBOURG	1852	1153	1921	444	27.8%
MONACO	1885	2365	1914	112	4.5%
NETHERLAND	1852	1176	1906	740	38.6%
NEW ZEALAND	1855	2007	1929	180	8.2%
NORWAY	1855	1424	1930	70	4.7%
REPUBLIC CHINA	1950	3595	1954	4	0.1%
RUSSIA	1857	6881	1905	185	2.6%
SAN MARINO	1877	1633	1917	39	2.3%
SOUTH AFRICA	1910	1345	1933	18	1.3%
SPAIN	1850	3332	1926	205	5.8%
SWEDEN	1855	2508	1916	52	2.0%
SWITZERLAND	1850	1212	1913	692	36.3%
THAILAND	1883	2175	1918	87	3.8%
TURKEY	1863	2929	1918	278	8.7%
United Nation	1951	873	2002	1	0.1%
URUGUAY	1856	2099	1930	12	0.6%
USA	1847	3894	1998	3	0.1%
VATICAN CITY	1929	1307	1933	4	0.3%

2006年 SCOTT による

は1975年障害者基金、1985年慈善金付クリスマスだけである。このわずかな検討の範囲であるが、日本の寄付金付切手は世界で平均的発行状況であるかと考えたい。

更に、詳しく寄付金付切手の発行目的と切手料額に対する寄付金額の割合を検討してみた。発行目的をSCOTTに加えて、JPSで発行されている外国切手カタログの助けを借り、ドイツ、フランス、スイス、オーストリー、韓国について整理してたのが表4である。2種の参考文献をしても寄付金附切手の発行目的を正確に把握することは難しく、知りえた目的と切手の通称を混在させて整理した。5ヶ国を通じて見られるのが社会福祉向上、スポーツ振興、疾病対策切手の発行である。注意されるのがヨーロッパの4カ国に見られるのがフィラテリー関係発行である。切手展の切手は展覧会開催資金調達のための発行であろうが、切手の日にちなむ切手はフィラテリー普及のためか、何のための発行であろうか知りたいところである。日本で切手趣味週間の切手に寄付金を課したらどのように評価され、寄付金配布先は？と考えてしまう。ドイツを除くヨーロッパ3カ国をみると戦災復興、戦争障害者、帰還兵、戦争被害者救済を明確にする切手が発行されているが、敗戦国ドイツにそれに類する切手発行はない。これは日本にも言えることであり考えさせる



オーストリア ウィーン 国際切手展寄附金切手

ものがある。災害被災救済目的発行切手にも各国の実情がうかがえるものである。震災、噴火災害救済目的の日本に対して、水害、雪崩災害救済目的の発行がこれらの国にあり、自然条件のちがいが寄付金付切手の発行にみられ

フランス 切手の日寄附金切手
ピカソ 手紙を読む女 スラニアが版を彫る

表 3 5ヶ国に見る寄付金付切手

オーストリー				ドイツ				フランス				スイス			
通称	件数	種類		通称	件数	種類		通称	件数	種類		通称	件数	種類	
ウイーン国際切手展	3	15	航空郵便展	1	1	1	パリ国際切手展	1	1	1	切手展	4	4	4	
国際切手展	4	4	国際切手展	6	7	7	切手の日	56	57	57	スポーツ振興	4	4	4	
切手 125 年	1	1	国際郵便文献展	1	1	1	切手の日・赤十字	2	2	2	カベル橋修復	1	1	1	
切手の日	47	47	国際郵便連合国際会議	1	2	2	郵政博物館	1	1	1	スイス航空	1	1	1	
郵便協会 50 年	1	1	青少年切手収集	4	20	20	通信戦後救済	1	1	1	航空 50 周年	1	1	1	
インスブルックオリンピック	1	8	切手 100 年	1	1	1	オリンピック	4	4	17	児童福祉	62	286		
オリンピック参加費用基金	2	2	切手の日	6	6	6	BCG 国際会議	1	1	1	社会福祉	58	247		
パリオリンピック大会	2	2	切手展	4	9	9	イギリス軍上陸 5 年	1	1	1	社会福祉都市計画	1	1	1	
障害者スポーツ世界大会	1	1	郵便連盟会議	1	1	1	がん撲滅	1	1	1	水害被災者基金	1	1	1	
ウイーン大賞レース競馬	1	1	オリンピック 100 年	1	4	4	フランス相互援助	1	1	1	赤十字	1	1	1	
ウイーン美術館	1	10	オリンピック基金	6	25	25	フルニエ	1	1	1	戦争犠牲者救済基金	1	1	2	
ウイーン芸術家の贈	1	7	スポーツ振興	26	83	83	プロバンスの土人形	1	1	6	総計	135	549		
オーストリア大賞レース競馬	1	5	国際山岳年	1	1	1	会戦勝利 50	1	1	1					
オーストリア復興基金	1	4	クリスマス	35	57	57	解放 20、30、45 年	3	8	8					
カール・レナー大統領	1	4	コンボ	1	1	1	海軍慈善	1	1	1					
カトリックの日	1	1	バツバ死去 200 年	1	2	2	教会再建	1	1	1					
ケルンテン国民投票	1	3	ベルリン救済事業	1	2	2	結核予防	2	2	2					
ザルツブルグ大聖堂再建基金	1	8	環境保護	4	8	8	元帥、ボツダム条約	1	1	1	オリンピック基金	4	36		
ハンガリー難民救済	1	1	記念シート?	1	1	1	国際赤十字 125 年	1	1	1	卓球体育館建設基金	1	1	1	
ルーテル派学校再建	1	5	洪水被害救済	1	1	1	国内相互援助	1	4	4	サーチャイト献納基金	1	1	1	
帰還兵、捕虜の救済義捐金	3	11	国境碑文	1	1	1	寺院、職業、彫刻シルズ	4	13	13	ベトナム派遣将兵援助	1	1	1	
結核予防基金	1	10	国立博物館	1	1	1	自由への道	1	1	1	ヘリコプター献納基金	1	1	1	
健康保全慈善切手	1	6	自然エネルギー	1	1	1	神学者死去 400 年	1	1	1	結核撲滅基金募金	1	1	1	
建国 950 年	1	1	社会福祉	78	230	230	水害救済	1	1	1	国土防衛基金	1	1	1	
国際連合	1	1	聖マリア教会	2	2	2	世界難民年	1	1	1	災害救済基金	4	4	4	
児童保護基金	2	4	青少年育成	1	2	2	赤十字 (ウイスマ切手含)	53	87	87	児童福祉募金	1	1	1	
春の見本市	1	8	青少年福祉	58	153	153	大気浄化運動	1	1	1	水害救済募金	4	5	5	
聖堂再建基金	1	10	東独峰起 50 年	1	1	1	著名人シルズ (赤十字寄附)	54	305	305	赤十字募金	1	2	2	
雪崩犠牲者救済	1	1	熱帯雨林保護	1	1	1	廃兵院	1	1	1	総計	20	54		
反ファシズム展	1	8	熱帯生物生息地保護	1	1	1	保健衛生	1	1	2					
復興基金	1	10	万博	1	6	6	法王	1	1	1					
労働組合運動 60 年	1	1	連邦労働組合	2	10	10	連帯アジア・津波救済	1	1	1					
総計	88	201	総計	251	642	642	総計	201	524	524					



オーストリア
帰還捕虜義捐金切手 捕虜救済切手



韓国
国土防衛基金 ベトナム派遣将兵援助

る。また、ヨーロッパの国には宗教を、そして韓国には軍事的緊張を感じ、各国の文化、国情が寄付金切手に反映している。更に、ドイツ、フランスが自国だけの問題ではなく、熱帯雨林保護、熱帯生物生息地保護、世界難民年、大気浄化運動、連帯アジア・津波救済といった世界全体、国際問題の解決への援助に寄付金切手を発行していることは考えさせるものがある。特に、フランスの連帯アジア・津波救済切手はスマトラ島沖地震（2004年）のわずか18日後に発行されていることは驚嘆し、かつ敬服したくもなることである。

最後に、切手料額に対する寄付金額を表5に整理してみた。国によってかなりバラツキに差がみられるが、戦争直後の数年間に発行された切手に料額と同額、もしくはその2倍もの寄付金をつけた切手が発行されている。発行目的を見るとオーストリアは聖堂再建基金切手に料額の4から5倍の寄付金を附けた切手を9種、スイスは戦争傷病者救済基金に3倍の寄



付金をつけた切手を発行している。戦後の経済の大変な時期にこのような切手を発行できる、国民性と信仰心の厚さを感じさせるものである。このように寄付金付切手の発行を整理して我が国の寄付金付切手を考えると、切手料額に料額の5倍の寄附金 オーストリア 聖ステファン大聖堂再建基金 対しての寄付金額の割合を検討すること、10種の動物愛護切手のような多種類同時発行の再考、そしてなによりも、スイス、ドイツ、フランスのようにデザインに優れ、美しく、話題性に富み、使用を誘うような魅力ある切手の発行がのぞまれる。一連のスイスの鉱物、化石を美しく描く社会福祉切手、ドイツの4集で一つの童話を描く社会福祉切手のように、寄付目的の枠にとらわれない発想の切手を見たいと考える。最後に、寄付金の額と配布先が郵便局の窓口で公開されることも検討されてしかるべきであろう。



スイス 社会福祉切手 紫水晶 めのう



ドイツ 社会福祉切手 オオカミと七匹の子ヤギ

表5 5ヶ国と日本の料額に対する寄付金額の割合

国	オーストリア		スイス		ドイツ		フランス		韓国		日本	
	種類	%	種類	%	種類	%	種類	%	種類	%	種類	%
8-25%	65	32%	39	7%	40	6%	319	61%	3	6%	81	70%
26-40%	19	9%	65	12%	60	9%	136	26%	1	2%	5	4%
41-50%	80	40%	331	60%	534	83%	29	6%	50	93%	7	6%
51-100%	26	13%	112	20%	8	1%	27	5%	0	0%	23	20%
200-500%	11	5%	2	0.4%	0	0%	12	2%	0	0%	0	0%
平均	62.8		55.1		46.3		33.5		44.4		31.3	
SD	85.2		31.8		18.0		6.0		3.9		68.5	

小熊 忠三郎さんを偲ぶ

青木 常男

4月20日、80歳前後の男・女(1名)計34名、現在住所が判明している150名へ、連絡した結果の集いである。千葉県立安房中学に、昭和21年入学、27年安房一高を巣立ち、それぞれの行路を辿ることとなる。連絡可能な150名中、この1年で鬼籍に転じた5名。来年は145名へ連絡ということになる。高校の同期会。"安房27会"に触れたのは同年代、小熊さんが、此の席に居ても、違和感のない雰囲気だったからである。

同年次、同学部、同じ切手研究会と、多くの共通項を持った学生時代は、それなりに充実したものといえるだろう。

ましてや、卒業後も"一商31会"の運営について会長(平成10年まで)であった私のアドバイザーを努めて頂いたことを忘れてはならない。

私の現町内に、KDDI千倉海底線中継所がある。ふるさと心の風景・第5集「花の風景」に採用された「花畑」とともに、町内でデザインされた事例である。

1989年5月"第3太平洋横断ケーブル開通記念"・62円切手が発行された。この切手が発行されてからしばらくして小熊さんから架電があり、「切手談義」を交わしたいとのこと。当日は恵比寿界限で久しぶりに面談、早速、郵趣関係の話題となった。コレクションのごく一部を持参、これからは電信、電話をテーマに、マイコレクションを構成したいとのこと。事実、持参コレクションは電信・電話に関連した現

物で満たされていた記憶がある。そして、その中に「太平洋横断ケーブル開通記念」・62円切手があり、「青木君のお宅で、切手研の合宿があったんだね」とのコメントまで頂いたものだった。

ところが、当時私的には郵趣傾倒とまでは行かず、云わば中休み状態の当方、折角の談義に水を差すことになったのでないかと、いささか、自責の念にたえない。もちろん、この件は小熊さんにつたえることはないままであった。

稲門フィラテリーの発足に際しても小熊さんの尽力は地味ながら堅実なものであった。吉沢さんをはじめ、設立のスタートから多方面にわたる検討をスピードを持って進行するチームが今日の"稲門フィラテリー"の充実した活動に繋がっていると評価して良い。

会報47号の巻末に小熊さんの訃報が載せられている。そこに記されているとおり、このスタート時から、平成16年まで副会長として会の運営に努力され、役員のみなさんの活動を前向きベクトルに求心力を発揮されたものと推測される。

平成10年末、房総半島の先端に移住、東京へは2時間のアクセスながら、いろいろな会合にはすべて欠礼の現況である。

齢80、旧知の人々の消息が気にかかるようになってきた。永年にわたる"付き合い"が、終止符をうったことを一つの節目と捉えねばならないのであろう。

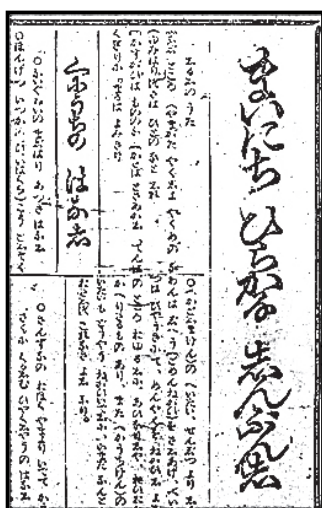


1989年5月発行
第3太平洋横断ケーブル開通
記念切手

前島密のもう一つの顔

前島密は熱心な漢字廃止論者でもあった。江戸幕府 15 代将軍慶喜に「漢字廃止之議」を提出するなど、国民に学問を広めるために難しい漢字を廃止し、ひらがなを国字とすべきであると主張した。

そして、明治 6 年 (1873) には、一般の人にも新聞を読んでもらおうと、全文ひらがなで書かれた「まいにちひらがなしんぶんし」を発行した。しかし、民衆にはまだ新聞を読む習慣がなく、全く売れなかった。その結果、わずか 1 年で新聞の発行は終わってしまった。(高橋 仁)



編集担当幹事交代

永らく編集を担当してきました池澤幹事が海外赴任されました。ありがとうございました。代わり、総務担当幹事青柳氏が編集幹事を兼務します。

編集後記

編集作業で使用した資料をゆうパックで返送にコンビニを訪れた。料金を郵便局のように切手で支払えると思い、切手で済ませようとしたら、現金でしか受け付けないと断られてしまった。郵便切手が郵便料金支払いに使用できないという理解に苦しむ経験が今後、郵便会社のサービス拡充の中、増えていくのであろうか。郵便切手が郵便局切手になってしまったのであろうか。

「稲門フィラテリー」カラー版をお届けします

この度、会報を印刷依頼時に作成できるカラー版の稲門フィラテリー電子版 (PDF) を前号から皆様にお届けすることになりました。会員名簿に MAIL ADDRESS を記載された方には送付いたしました。まだ、お手元に届いていない方、名簿にアドレスを記載してなく、電子版を希望される方は下記 編集幹事まで連絡ください。

y-ogawa@wine.plala.or.jp 小川義博

全日本切手展 2013 の稲門フィラ会員

特別展示「震災切手発行 90 周年記念」出品

鎌倉 達敏

郵政史部門 銀賞

The U.S.Avis de Reception 1886-2011

和田 文明

切手教室

第 96 回 4 月 6 日

「旧約聖書」

講師：野口 喜義氏

第 97 回 6 月 6 日

「絵はがきの楽しみ」

講師：生田 誠氏

稲門フィラ常設切手展

第 22 回 「新宿北郵便局の近くにある郵便局の風景印」開催日時：2013 年 3 月 2 日～6 月

場所：新宿北郵便局

第 14 回稲門フィラテリー総会は 10 月 20 日 (日)

平成 25 年度ホームカミングデー、稲門祭の開催日は 10 月 20 日 (日) に決まりました。稲門フィラテリー総会、懇親会も例年どおりこの日に開催します。

発行日：2013 年 6 月 1 日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4 階

(株) 英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉沢 忠一 青柳 次男

小川 義博

稲門フィラテリー

第 49 号

2013 年 9 月 1 日発行

切手教室 100 回を振り返って

宮鍋 益治

平成 14 年(2002 年)4 月 14 日に稲門フィラテリーによる第 1 回の切手教室が始まって、11 年間 第 100 回を迎えることができました。新宿北局郵便局、折衝に当たっていただいた磯野さん、忙しい中を講師を勤めて下さった稲フィラ会員の方々、部外講師の方々のご協力の賜物と感謝しております。

「50 回を振り返って」として会報 24 号(2007 年 6 月 1 日発行)に書きましたが、あれから 6 年が経過しましたので、もう一度 11 年間の変化を振り返り、今後についてもご意見を賜りたいと思います

1. 郵政省・郵政公社の委託事業の切手教室を開催した時期(第 1 回～第 38 回)

①稲門フィラテリーが切手教室を継続して開催することになった経過

新宿北郵便局で稲フィラ分科会活動として切手教室を開催して、教室終了後稲フィラ役員会の名目で会場を使わせていただくようになった経過は、前回書きましたので省略します。この 11 年の間に、郵趣の普及と文通の振興を目的に切手教室の開催を委託してきた郵政省は総務省になり、郵政局は平成 15 年(2003 年)4 月 1 日に日本郵政公社と変わり、平成 19 年(2007 年)10 月 1 日には民営化され、郵便事業会社と郵便局会社に分割され、新宿北郵便局内でも事業会社の会議室を郵便局会社が借用して、稲門フィラテリーと切手教室を共催する形式になった。

日本郵政公社になってからも 17 年度までは切手教室(第 38 回)の委託業務は引き継がれたが、18 年度は打ち切られた。

②講師謝礼金のプールの実施

稲フィラとしては切手教室を毎月(1 月と 5 月を除き)年 10 回開催したが、国からの委託事業としての回数は年 4～7 回となり、残り

は稲フィラ独自開催です。委託事業の切手教室(2 人/回)の講師には、1 講義につき 6,300 円(7,000 円－税金 700 円)が謝礼金として郵政省から支払われていた。稲フィラ独自教室の講師との公平を考え、内部の講師の方にはプールさせていただき最初のうちは 1 回につき 4,000 円、その後 3,000 円を謝礼としました。そのプールした積立金で打ち切られた 18 年度は何とか講師謝礼を支払うことができた。

2. 稲門フィラテリー独自開催で継続

①中断の 1 年間

日本郵政公社に移ってから、それまで各地の郵便局の会議室を利用していた郵趣会から会議室使用が有料になったとの情報が入っていたが、新宿北郵便局からは公社委託の切手教室でもあり有料の話は出なかった。ただし、毎年年間予定で会議室の借用を磯野さんが折衝していたが、はっきりとした返事はなかなかもらえず、磯野さんも苦勞していた。ついに平成 19 年 6 月 2 日の第 51 回を最後に新宿北郵便局の会議室は 10 月 1 日の民営化の準備のため、当分の間は貸せないとの連絡が入り、第 52 回(2007.7.7)は急遽、開店前のピアグラを借りて

「早稲田大学創立 125 周年」講師：池澤克就
で実施した（参加者 12 人）。しかし、明るさ
など切手教室の会場としては無理があり、その
後は新しい会場が決まるまで休会となった。

③切手教室の予算化（講師謝礼金を会より支出）

切手教室を開催するには、経費として会場費、
案内 P R（はがき、パンフレット）、講師謝礼、
レジメ代などがかかる。

幸い、今までは郵政委託事業でしたので、郵
便局の全面協力をいただき、稲フィラとしての
支出は会員への案内はがき代（1 回約 5,000 円、
年 5 回 25,000 円）だけで済んでいた。

郵政公社からの委託事業の終了で、講師謝礼
金の収入がなくなり、プール金の枯渇後の講師
謝礼金をどうするか、役員会で審議し、分科会
活動として切手教室を継続することが決まり、
総会にて予算も承認されました。

新宿北郵便局は協力的で会場使用料は請求さ
れず、ポスターも印刷の上、郵便局正面表通り
に掲示してくださっております。

稲フィラの負担は、講師謝礼金 3,000 円（交
通費、レジメ代すべて込み）、案内はがき代
（5,000 円／2 か月分）のみとなっています。

③会場の確保

平成 19 年 10 月 1 日民営化が行われた。
平成 20 年度より再度会議室が借りられるよう
になり、第 53 回（2008.6.7）1 年ぶりに「外
国切手の中の日本」講師：甲斐正三氏で再開が
できた。

この切手教室の再開、会議室の借用には、稲
門フィラテリーが郵便局 1 階フロアでの常設
展の開催で郵便局への貢献度が評価されたこと
によると思います。

④切手交換会の実施と中止

切手趣味の会の大きな楽しみは情報の交換と
収集品の入手です。教室の後に交換会を行って
ほしいとの希望もあり、稲フィラ独自開催の
切手教室の時に、前半 1 時間は講義で、後半
に交換会を 3 月に 1 回位入れることにしてい
た。しかし、会場借用が再開された時、時間が
13:00～16:00 に短縮されてからは、講
義が 1:30～3:00 で役員会が 3:00～4:
00 となり時間に余裕がないので交換会の実施
を見送っている。

⑤参加者の推移

切手教室への参加者は初期の郵政省委託教室
の頃も毎回平均 20 人前後で、内、稲フィラ会
員が 17 人前後、一般参加者が 3 人位であった。
教室再開の 5 3 回以後の 9 8 回までも延べ 46
回の参加者総数は 775 人で 1 回平均 17 人で
少し減っている。切手教室終了後に毎回役員会
がある関係で都合のつく役員は毎回出席するの
で稲フィラ会員が 14 人前後、一般参加者が 3
人前後になっている。一般参加者は当初は「て
いぱーく」での切手教室の生徒の流れもあり、
数人が継続しての出席、中でも原口辰夫さんは
毎回早めに来て、磯野さんと会場作りから、受
付を現在まで手伝って下さって稲フィラ会員よ
り参加率は高いのではないかな？。

再開と時を同じくして平成 20 年（2008 年）
6 月 14 日、地下鉄副都心線「西早稲田駅」の
開業があり、切手教室への交通の便がぐっと良
くなった。教室の案内はがきに P R してみたが
参加者の増には繋がっていない。但し、部外講
師の先生に新宿北郵便局への道順を説明するの
は簡単になった。

⑥郵趣誌での広報の始まり

小西会長の英国郵趣代理部に取引のある J P
S の担当者が出入りしていた関係で、稲フィラ
が毎月新宿北郵便局で切手教室を開催している
こと知り、「郵趣」誌のイベント情報に掲載し
ていただけることになった。平成 21 年（2009）
年 2 月号のイベントスケジュールのページに
「つどう」第 58 回切手教室 13:30～15:00
新宿北郵便局会議室「日本切手データベース」
講師：小川義博氏、主催：稲門フィラテリー。
日本切手の全貌が 1 枚のディスクに収められ、
各種検索の他プリントアウトも可能です。問い
合せ先：宮鍋益治 と掲載され、その後、毎回
掲載されるようになった。

⑦講師の先生方

教室としては 100 回であるが当初は 1 回に
つき 2 講座であった関係で講義数は 137 であ
る。137 講座のうち、稲フィラ会員による講
師は 29 人で 114 回、会員外講師 15 人で 23
回を担当していただいた。1 回から 29 回まで
の 54 講義はすべて稲フィラ会員で担当したが、
30 回から 73 回までの間は教室への一般参加

者の8人に9講座をお願いした。

74回以降は、稲門の中だけでは講師が見つからず、74回～100回の27講座のうち約半分の14講座を会員外の先生をお願いする状態になった。

稲フィラ会員講師29人114回担当の内訳を見ると、別表の通り、稲フィラ会員は多士済々で、すべての講座を担当できますが、東京近辺で土曜日の午後に限られ、交通費も出せない状況では遠方の会員をお願いできない状況です。

第86回(2012.3.3)に登壇いただいた森田基治先生(元日本切手デザイナー)は英国郵趣代理部の店に見えた時、たまたま居合わせた五十野会員が稲門フィラの切手教室の話をして、講師をお願いしたところ、快く引き受けてくださり実現した。郵趣誌でのPRもあり当日は立ち席も出る(受付サインで31人)最多の参加者で熱心な講義が行われた。(稲門フィラ第44号掲載)

⑧東日本大震災の影響

2011年3月11日東日本大震災が発生した。新宿北郵便局では大きな被害はないようであったが、交通事情や電力事情の混乱があり、4月2日予定の第79回教室をどうするか検討した。郵趣誌へのイベントスケジュールは既に掲載済みであったが、臨時休講とし様子を見た上で再開することにして、急遽案内はがきを郵送した。

第79回は6月4日甲斐講師による「フランスの女性像」で再開された。

⑨日本国際切手展の見学会

この年は日本国際切手展が横浜で開催され、稲フィラ会員が6人(坂下、稲葉、鎌倉、小林、和田、榎沢)7作品が出品しているのが判り、分科会活動切手教室の一つとして切手展を見学、可能ならば出品者に作品解説をお願いすることになり、切手教室案内はがきで参加を募った。7月31日(土)午後1時会場入り口には出品者を含め10人が集まり、見学を開始、出品者6人の内5人の方に6作品を解説していただき、大変有意義な見学会となった。(稲門フィラ第42号掲載)

⑩懇親会会場「ビアグラ」→「庄屋」

切手教室終了後は稲フィラ会員の懇親会を毎回、高田馬場駅前の「ビアグラ」で行っていた。参加は自由で、教室には欠席でビアグラへ直接参加される会員もいる。ビアグラが2012年2月閉店になったので、現在同じビル地下1階の「庄屋」に場所をかえて懇親を深めている。

3. 今後の切手教室・課題

稲フィラの切手教室は切手趣味の普及に少しでも役に立てばとの高邁な目標と共に、早稲田大学で切手収集という趣味を通して結ばれた仲間との懇親を維持する機会になればと分科会活動として開催してきた。早大切手研究会が消滅し、学内に部室がなくなった現在、新宿北郵便局というすばらしい場所で年間9回であるが第1土曜日の午後に行けば仲間に会えるという拠点が確保されていることは意義のあることである。これは郵便局1階ロビーの常設切手展、切手教室、役員会(郵趣会)の3つがあって継続が保たれていくと思います。

その中で、切手教室が抱える問題は、講師の確保がスムーズに出来るか?です。稲フィラ会員内での講師依頼に限界が来ているので、最近では全日展、スタンプショウ、J A P E Xなどの切手展出品者、あるいは面識のあるコレクターなどに、2ヶ月前に講師をお願いしている。このため、常に切羽詰った講師探しとなっている。

今後も切手教室を継続維持するためには、年間を通じての方針・計画が必要と痛感しております。実施月が2・3・4・6・7・8・9・10・11月の第1土曜日、計年9回と決まっているのでテーマをいくつか決めて、それを講義して下さる講師を皆様の協力で探し要請するしかないのではないかと。ご希望のテーマがあれば是非お聞かせください。また、今まで講師を担当なされていない会員の方には是非1回でもお話をいただければとお願いいたします。

大学に直近の新宿北郵便局の教室会場に10年間で1回でも来ていただいた稲門フィラ会員は35人ほどです。現在、稲門フィラ会員は95人です、機会がありましたら第1土曜日の午後に立ち寄ってください。

切手教室 100 回の講義内容

1 回から 50 回の内容は会報 24、37 号に掲載

2007.6.2 51 回
切手に聞く 厠の香り 小川 義博氏
2007.7.7 52 回
早稲田大学創立 125 周年 池澤 克就氏
(この間、会場の都合で中断)
2008.6.7 53 回
外国切手の中の日本 甲斐 正三氏
2008.7.5 54 回
手彫切手の楽しみ 坂下 泰一氏
2008.8.2 55 回
楽しい切手集め 宮鍋 益治氏
2008.9.6 56 回
切手と飛行機 金成 嘉一氏
(葛飾郵趣会)
2008.10.4 57 回
郵便物自動読取区分機見学会 磯野 昭彦氏
2008.11.1 58 回
英語であつめナイト 小西 邦彦氏
2009.2.7 59 回
切手を PC に集めよう 小川 義博氏
2009.3.7 60 回
アメリカの郵趣雑誌から 小熊 忠三郎氏
2009.4.4 61 回
日本の城と切手 甲斐 正三氏
2009.6.6 62 回
切手展作品鑑賞の壺 長野 行洋氏
(葛飾郵趣会)
2009.7.4 63 回
手彫切手の楽しみ 創業期の郵便料金の変遷につ
いて 坂下 泰一氏
2009.8.1 64 回
郵便料金の変遷と切手 宮鍋 益治氏
2009.9.5 65 回
韓国の有形・無形文化財 孫 敬子氏
(下谷荒川郵趣会)
2009.10.3 66 回
ちょっと変わった外国のカバー 甲斐 正三氏
2009.11.7 67 回
切手に描かれた建物 占野 靖長氏
2010.2.6 68 回
郵便に関する絵はがき 西村 寿一郎氏
2010.3.6 69 回
切手にトリミングされた文化財 小川 義博氏
2010.4.3 70 回
手彫切手の楽しみ 坂下 泰一氏
手彫期の外国郵便料金
2010.6.5 71 回
横浜にあったフランス郵便局と外国人居留地 (1) 小林 彰氏
2010.7.3 72 回
横浜にあったフランス郵便局と外国人居留地 (2) 小林 彰氏
2010.8.7 73 回
新宿北郵便局物語 磯野 昭彦氏
2010.9.4 74 回
櫛型日付印 野口 喜義氏
(足立北郵趣会)
2010.10.2 75 回
オリンポスの神々 福元 勝治氏
(習志野郵趣会)
2010.11.6 76 回
北海道郵便印 長野 行洋氏
(葛飾郵趣会)

2011.2.5 77 回
旧約聖書物語ー天地創造からバビロン捕囚までー 福元 勝治氏
(習志野郵趣会)
2011.3.5 78 回
都市の公共交通ー発展の背景と役割ー 榎沢 祐一氏
2011.6.4 79 回
フランスの女性像ーマリアンヌにまつわるお話ー 甲斐 正三氏
2011.7.2 80 回
切手と文学 池澤 克就氏
2011.8.6 81 回
くらべてみると I 野口 喜義氏
(足立北郵趣会)
2011.9.3 82 回
くらべてみると II 野口 喜義氏
(足立北郵趣会)
2011.10.1 83 回
新宿北郵便局風景印の秘密 磯野 昭彦氏
2011.11.5 84 回
世界の国際切手展 小西 邦彦氏
2012.2.4 85 回
日本の少年団運動 五十野 和男氏
2012.3.3 86 回
郵便切手の原画とデザイン 森田 基治氏
(元切手デザイナー)
2012.4.7 87 回
国内郵便料金の変遷と切手 宮鍋 益治氏
2012.6.2 88 回
郵便に見る元号ー明治・大正・昭和 野口 喜義氏
(足立北郵趣会)
2012.7.7 89 回
外国向け郵便料金の変遷 宮鍋 益治氏
2012.8.4 90 回
日本の浮世絵切手 斉藤 敏郎氏
(墨田郵趣会)
2012.9.1 91 回
風景印文学散歩 池澤 克就氏
2012.10.6 92 回
日本切手のデータベース 小川 義博氏
2012.11.10 93 回
ギリシャ神話の英雄たち 福元 勝治氏
(習志野郵趣会)
2013.2.2 94 回
切手で知るブルターニュ 甲斐 正三氏
2013.3.2 95 回
日本切手上的の外国語表記 小川 義博氏
2013.4.6 96 回
旧約聖書 野口 喜義氏
(足立北郵趣会)
2013.6.6 97 回
絵はがきの楽しみ 生田 誠氏
(絵葉書研究家)
2013.7.6 98 回
世界のサル 藤波 誠治氏
(足立北郵趣会)
2013.8.4 99 回
牧野富太郎博士によせて 澤口 尚子氏
(パソコン郵趣会)
2013.9.4 100 回
切手でゴルフを楽しむ 杉山 光雄氏

ここは地の果てアルジェリア

小林 彰

はじめに

2013年1月、アルジェリア・イナメナス In Amenas, Algérie の液化ガスプラントがテロリストに襲われ日本人10名を含む数十人が犠牲となった事件は連日テレビや新聞で大きく報道された。

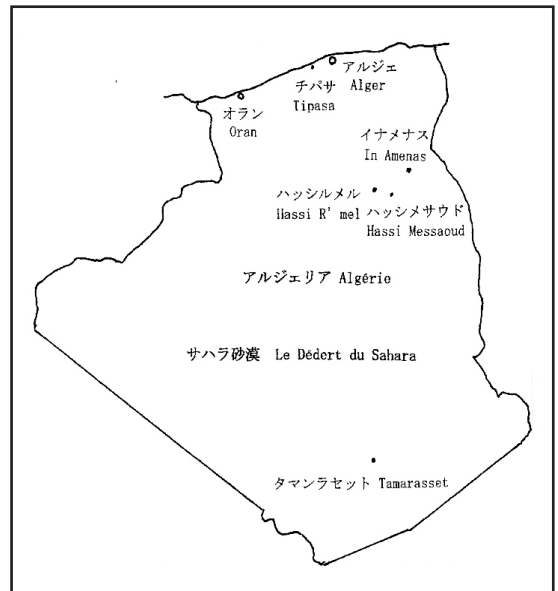
商社勤めだった筆者は1974年から1985年までアルジェリアとの取引に携わり、8年間で首都アルジェ Alger で過ごした。1962年の独立後社会主義国家となり、駐在時にはすべての商談は公団が窓口だったが、現在はそのほとんどは民間企業が相手という。

当時、液化ガスプラントはサハラ砂漠の中心地ハッシルメル Hassi R' mel だけにしかなく、また石油プラントは近隣のハッシメサウド Hassi Messaoud で稼働していた。この両プラントは日揮が建設したもので、筆者は2カ所を見学させてもらった。現場は正に戦場の最前線というべきで、四方が鉄条網で囲まれ、兵舎のようなプレハブの簡易宿舎が何棟も建っていた。この露营地では広場中央に日の丸が掲げられ、昼休みになると演歌が流れていたことを思い出す。イナメナスのプラントも近年日揮が海外企業と組んで受注したものだ。

ベルリンの壁崩壊を機に社会主義体制が終焉を迎えたが、アルジェリアも例に漏れず民主化へ移行した。反面、新たにイスラム原理主義者によるテロ活動が活発化し一時期日本の商社を始め大部分の外国企業が事務所を閉鎖してパリなどに拠点を移した。その後10数年をかけたアルジェリア政府の強硬姿勢が功を奏しテロ活動も一段落し海外に逃避していた企業も現地に戻ってきていたが、イナメナスで悲劇が起こった。アルジェリアの略図 [図-1]。

アルジェリア独立戦争

フランスは1830年から1962年までアルジェリアを植民した。アルジェリアのフランス人はスペイン系、イタリア系、ユダヤ系あるいは本国から逃げてきた犯罪者など貧困層が多かった。現地住民アルジェリア人の構成はアラブ系80パーセント、ベルベル系20パーセントで、彼等による独立運動は第二次世界大戦以前から散発的に起こっていたがそのたびに制圧された。



[図-1] アルジェリア略図

アルジェリアは他の植民地と違い地理的にフランス本国に近いことと現地フランス系住民の不平・不満を抑えるために行政上アルジェリア県として特典が与えられていた。別な言い方をすればフランスの植民時代にはアルジェリア国は存在しなかった。因みに当時アルジェはパリ、マルセイユに次ぐフランス第3の都市であった。

これに対し同じ北アフリカの仏領モロッコ Maroc とチュニジア Tunisie は国として認められていたので、アルジェリアに比べフランスとの結び付きは弱かった。

アルジェの海岸通り [図-2] など主要な地域を「犬とアルジェリア人は立入り禁止」にするなど占領側と被占領側では露骨な差別があり、やがてアルジェリア人による独立運動へと収斂していく。



[図-2] アルジェ海岸通 Boulevard de la République

第二次大戦に際し、フランス政府はアルジェリア人に対し参戦を強い、大戦が終われば独立を認めると甘い言葉で懐柔し欧州戦線に大多数のアルジェリア兵士を送り込んだ。しかし、大戦が終わるとフランスはこれを反古にし、相変わらず独立を認めようとしなかった。これに業を煮やした7名のアルジェリア人を中心としてアルジェリア独立運動を組織的に行うべく国民解放戦線 Front de Liberation Nationale (FLN) が1954年結成され7年半にわたる内戦へと突き進んでゆく。アルジェリア独立戦争の詳細は「早大切手研究会」会報に最初のアルジェ駐在から帰国した直後に本稿と同じ題名「ここは地の果てアルジェリア」で寄稿した。ご興味があれば旧号(1979年46号)を一読いただきたい。

余談。アルジェ駐在中にアルジェリア独立戦争関連文献をダンボール5箱が一杯になるほどアルジェとパリで入手し東京に持ち帰ったが10年ほど前に処分した。神保町の洋書扱いの多い古書店がすべて引き取るから送料着払で送って欲しい、到着後精算して代金を支払うと言ってくれた。念のため前払いで送付し宅急便料10000円を支払った。やがて書店からダン

ボール5箱に詰められた書籍の買い値は8500円に過ぎないと連絡を受けた。

時のフランス大統領ドゴール Charles de Gaulle がアルジェの総督府で行った演説は有名だ。アルジェリア人に対してはいかにも直ぐに独立を与えるような思わせぶりの態度を示し、他方フランス系住民に対してはあくまでも独立を認めずフランスのアルジェリア Algérie Française として守り抜くと強調し離反を防いだ。しかし、現実には1962年アルジェリアは独立した [図-3]。

裏切られたフランス系住民は秘密軍事組織



[図-3] アルジェリア1963年発行
左：独立戦争勝利記念 右：平和回復記念

Organisation Armée Secrète (OAS) でアルジェリア人の教師、弁護士、医者などの知識階層を中心にテロ活動を活発化させた。ドゴールを標的にしたフォーサイス Frederick Forsyth のサスペンス小説「ジャッカルの日」The Day of Jackal がジンヌマン Fred Zinnemann により映画化されたのは1973年、イタリア人ポンテコルボ Gillo Pontecorvo 監督による「アルジェの戦い」La Battaglia di Algeri が封切られたのは1966年のことだった。いずれもFLNとOASとの戦いが背景にあり現地を知る筆者には興味深かった。

アルベール＝カミュ Albert Camus

カミュ [図-4] は1913年にアルジェのモンドヴィ Mondovi で誕生した。父はフランスからの入植者で農業労働者、母はスペイン系大家族の娘だったという。1932年にアルジェ大学文学部に入学。1937年処女作「裏と表」L'Envers et l'Endroit を上梓した。その後、1942年に小説「異邦人」L'Étranger、「シーシュポスの神話」Le Mythe de Sisyphe、1947年「ペスト」La Peste など小説、戯曲、エッセー、短



〔図-4〕アルベール＝カミュ

左：スウェーデン1990年発行ノーベル文学賞受賞者シリーズ（甲斐氏よりの恵贈品）

右：フランス1967年発行有名（作家）シリーズ

編を相次いで発表し、1956年にはノーベル文学賞を受賞した。受賞後、フランス・プロヴァンス地方のルールマラン Lourmarin, Provence に移り住んだ。

「異邦人」はカミュの死後、1967年にヴィスコンティ Luchino Visconti 監督、マストロイアンニ Marcello Mastroianni 主演で映画化されたが評判は芳しくなかった。筆者は映画を見逃しており、パリに行くたびにDVDを探しているが未だに入手できない。どなたかお持ちならぜひ拝借したい。

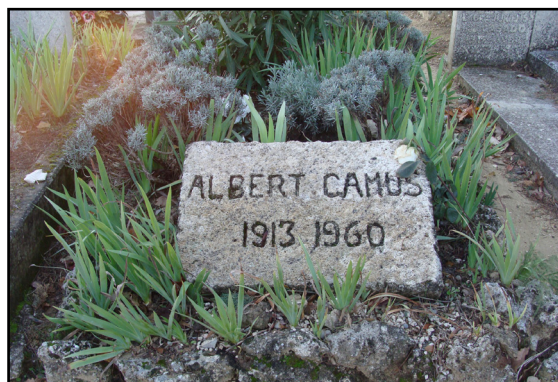
1960年1月4日午後1時45分、パリに向かう一台の車がヨンヌ県ヴィルブルヴァン Villeblevin, Yonne で路傍の街路樹、プラタナスに激突。助手席に乗っていたカミュは即死、運転していたミシェル＝ガリマール Michel Gallimard も数日後に息を引き取った。ミシェルは著名な出版社ガリマールの社長の甥。カミュの遺体はルールマランの墓地に埋葬されている。筆者は2009年と2012年の二度墓参した〔図-5〕。

カミュを語るには現地の占領側フランス人と被占領側アルジェリア人との関係を理解しなければならない。

フランス系アルジェリア人は本国のフランス人からはピエ・ノワール Pied Noir、足の黒いフランス人と蔑められた。半分は黒人の意味で黒人に対するのと同じ偏見である。このように本国のフランス人からは侮蔑され劣等感に苛まれる裏返しにアルジェリア人に対しては見せか

けの優越感を顕わにして弾圧した。カミュもピエ・ノワールの子供として生まれ育った。だから、彼が物事を屈折した視点で眺めるのは不条理ではなく条理なのだ。

「焼けつくような光にたえかねて、私は一歩前にふみだした。私はそれがばかげたことだと知っていたし、一歩体をうつしたところで、太陽からののがれられないことも、わかっていた。それでも、一歩、ただひと足、わたしは前に踏みだした。すると今度は、アラビア人は、身を起さずに、ヒ首を抜き、光を浴びつつ私に向かってかまえた。（中略）。額に鳴る太陽のシンバルと、それからヒ首からほとぼしる光の刃の、あい変わらず眼の前にちらつくほかは、なにひとつ感じられなかった。焼けつくような剣は私の睫毛をかみ、痛む眼をえぐった。そのときすべてがゆらゆらした」。これはカミュの代表作「異邦人」（新潮文庫、窪田啓作訳）のクライマックスで主人公ムルソー Meursault がアルジェ海岸で太陽に眼がくらみ、アルジェリア人に発砲するくだりだが、これは占領者フランス人の被占領者アルジェリア人に対する恐怖、すなわち、フランス系住民は各地でアルジェリア人立入り禁止地区を設けるなどさまざまな差別をし弾圧を加えていた事実があり、これが良心の呵責を生み潜在的恐怖となって、ムルソーをして太陽をきっかけにアルジェリア人に対し引金を引かせたと言える。要するにムルソーの行為は不条理ではなく完全に条理である。



〔図-5〕カミュの墓石（ルールマラン墓地）

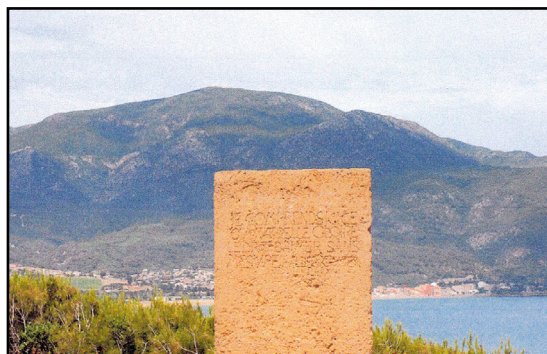
日本の多くの作家や文芸評論家がアルジェリアの歴史的背景を十分に理解も吟味もせず表面的な事象のみを捉え、カミュは不条理の作家と論評しているのは滑稽としか言いようがない。

ところで、アルジェから地中海に沿って西に30キロほどの所にチパサ Tipasa という小さな町がある。ローマ遺跡で有名だ [図-6]。



[図-6] チパサのローマ遺跡

カミュもこの町を愛し、「チパサでの結婚」Noce de Tipasa という小品を著わしている。この記念碑も建っている [図-7]。碑文「栄光と呼ばれるものは際限なく愛する権利である。この世にはただ一つの愛しかない。女の身体を抱きしめること、それは天空から海上に降りてくる不思議な喜びをしっかりと受け止めることだ。少し後で身体に芳香を浸み込ませるため自らアブサンに浸るとき、あらゆる先入観に抗して真実を究明することを自覚する。これは太陽の真実であり、わが死の真実でもある」(筆者訳)。筆者もチパサが大好きで8年間の駐在中に何度足を運んだことだろう。カミュ関連地域略図 [図-8]。



[図-7] カミュ「チパサでの結婚」の記念碑



[図-8] カミュのアルジェリア・フランス関連地域略図

ここは地の果てアルジェリア

デュヴィヴィエ Julien Duvivier 監督、主演ギャバン Jean Gabin [図-9]、助演バラン Mireille Balin の「望郷」Pépé le Moko [図-10] は1937年の作品で日本でも人気がある。舞台はアルジェのカスバ Casbah。カスバはアラブ人が中東から大挙押し寄せ定着する以前、オスマントルコ全盛時にトルコ人がやって来て築いた密集住宅街で蟻の巣のような迷路で出来ている [図-11]。前述の「アルジェの戦い」ではF L Nのメンバーの多くがここを拠点にフランス軍と戦った。

「望郷」。官憲に追われパリからアルジェに逃げてきたペペ Pépé はカスバに潜み、現地の愛人や仲間と退屈で無為な毎日を送っていた。ペペとは幼児語で「おじいちゃん」という意味、モコ le Moko は南仏の港町トゥーロン Toulon 出身者、特に船乗りを指す俗語。

ある日、洗練されパリの香りを漂わせるギャビー Gaby が現れる。彼女は両親とアルジェに来て、カスバに足を運んだのだ。彼女にパリを感じたペペは一目惚れ。彼女も両親の反対をよそにペペに恋心を抱きカスバでの逢瀬。彼女と共にパリに戻ろうと決心するペペ。ところが嫉妬に狂う愛人の密告で追いかけてきた警官にマルセイユ行きの客船に乗船寸前逮捕される。待てど来ぬペペを船のデッキから必死に探すギャビー。ペペは船上のギャビーを見つけ埠頭の鉄柵に手



〔図-9〕ジャン＝ギャバン
フランス1998年発行有名人（映画人）シリーズ



〔図-10〕望郷 Pépé le Moko ポスター
（甲斐正三氏提供）

をかけ顔を押しつけ「ギャビー」と叫ぶ。その時、汽笛が鳴り響きギャビーは思わず両手で耳をふさぐ。ペペの叫び声は無情にもかき消され、ギャビーはペペに気づかない。そして船は岸壁を離れて行く。絶望したペペは隠し持っていた短刀で腹を刺し崩れ落ちていく。苦痛でペペの手は鉄柵を保持できず、ずれ下がっていくラストシーンが印象的だった。その鉄柵は現在も当時のまま残っている〔図-12〕。

この映画を題材に作詞・大高ひさお、作曲・久我山明、歌・エト邦枝の「カスバの女」が1955年にリリースされ一世を風靡した。歌詞の一節「ここは地の果てアルジェリア」。



〔図-11〕カスバの路地



〔図-12〕アルジェ埠頭の鉄柵

おわりに

「アルベール＝カミュと不条理」を書き始めたが途中で止めた。一時期はやったサルトル Sartre の実存主義やカミュの反実存主義はすでに忘れ去られている。村上春樹や東野圭吾がもてはやされるご時世だ。カミュは早世したので作品はさほど多くない。他方、カミュの研究書は山ほどある。古本屋に売る積もりはない。かといってカミュ一辺倒では食傷するので、「ここは地の果てアルジェリア」として対象を拡げた。問題は郵趣的記述がまったくないことだ。筆者はカミュやギャバンの切手さえ持っていなかった。急遽、これらの切手を新宿のフクオで入手し挿絵代わりに利用したけれど、会員諸兄姉の寛大さに甘えるばかりはない。なお、本稿作成に当たり資料の提供や助言をいただいた甲斐正三氏には紙上を借りて謝意を表したい。

エンタィアを二度楽しむ

—東京・深川と小津安二郎—

鎌倉 達敏

東京・深川の出身のため、深川局の郵便印を収集しています。これまで、全日本切手展に、2010年「深川のボタ印」、2011年「北深川・南深川郵便支局ボタ証示印の変遷」、2012年「東京・深川の郵便印（二重丸型日付印の変遷）」として、少しずつ纏めながら出品を続けています。今後も、丸一型日付印、丸二型日付印、櫛型印と整理していく予定です。そして、8フレームくらいで、「東京・深川局の郵便印」として、一局の郵便印の歴史を纏めたいと思っています。しかし、丸一型日付印以降は余り進んでおらず、何時になることやらの状況です。

深川のボタ印の自慢品は、現在3点のみ知られている「鏡字ボタ印」（図1）と初期の「フカガワ」ボタ印のエンタィア（図2）です。図1については、JPS日本切手専門カタログの「ボタ印」のページに写真付きで紹介されています。図2の「フカガワ」ボタ印は右下部分が欠けており（図3）、ごく初期にのみ使用されたもので、単片でも深川局と判別できる可能性のある特異なボタ印です。但し、単片での使用例は現在までの所、発見されていません。皆様のお手持ちの東京ボタ



図1 深川支局「鏡字」ボタ印
明治19年12月29日ル便



図2 「フカガワ」ボタ印
深川局開局2日目
明治18年9月2日ヲ便

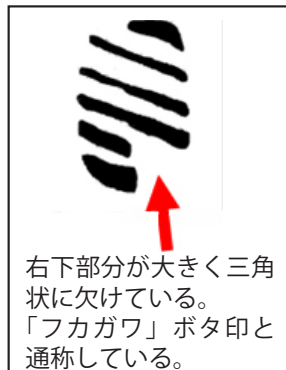


図3 フカガワボタ印

印付きの切手を調べて下さい。発見出来るかもしれませんよ。また、このカバーは郵便史的にも、北深川局と南深川局が深川局に改局された2日目の使用例であり、大変興味深いものです。

ここまでが、エンタィアの郵趣的な楽しみ方ですが、図2のエンタィアについては、差出人の名前に注目して、もう一度楽しんでみる事にしました。差出は「小津」の印とともに、「小津與右衛門」とあります。深川に生まれ育ったものとして、「深川」と「小津」と云えば、映画監督の「小津安二郎」になります。これはと思い、少し調べてみました。

今年、生誕110周年を迎えた、国際的な評価も高い映画監督「小津安二郎」は、東京・深川生まれです。小津の父寅之助は、松坂の肥料商・湯浅屋「小津與右衛

門」の大番頭（東京支配人）でした。湯浅家の遠祖は紀州湯浅の出身で、元和・寛永のころ（1600年代の前半）に、上総に来て鰯漁と干鰯（ほしか）の製造を始め、製品は江戸から関西に送る、江戸での肥料商売の元祖でした。安二郎は明治36年に次男として深川亀住町（現深川1丁目8-8）で生まれました。しかし、父母ともに生粋の三重県人であり、「教育は郷里で」という父親の信条に沿って、大正2年に小津一家は父のみを残して、本店のあった三重松坂に転居しました。安二郎は宇治山田中学を卒業、受験に失敗し、小学校の代用教員を一年間務め、その間に映画に親しむことになりました。

大正12年に上京し深川和倉町に住み、やがて叔父の伝手で松竹キネマ蒲田撮影所に撮影助手として入所し、映画監督への道を歩み始めたのです。ところが、その年9月には、関東大震災があり深川の肥料商はほとんどが灰になり、翌年、小津家は肥料商を廃業しました。

図2のエンタイヤは、明治18年9月「小津與右衛門」差立てのもので、小津安二郎ゆかりの大店差し立ての郵便であり、状態も良く、大変気に入っています。明治の地図（図4）に、亀住町、和倉町が読み取れます。また、左部の小松町に郵便局の印があり、深川郵便局の所在地です。（この当時、東京深川支局でした。）また、小津安二郎（図5）の代表的な作品（図6）についても、下記にあげておきます。特に、東京物語が有名です。

小津安二郎関連の切手では、2003年に生誕100年で三重県のふるさと切手（図5_出ており、演出の合間の本人とミッチェル撮影機が描かれています。生誕地、深川ではなく、青春の地からの発行でした。もう一枚は、2006年に日本映画Iで「東京物語」（笠智衆と原節子）が切手（図7）になっています。

このように、1通のエンタイヤも二度楽しむ事が出来るような郵趣を心掛けていきたい¹と思っています。

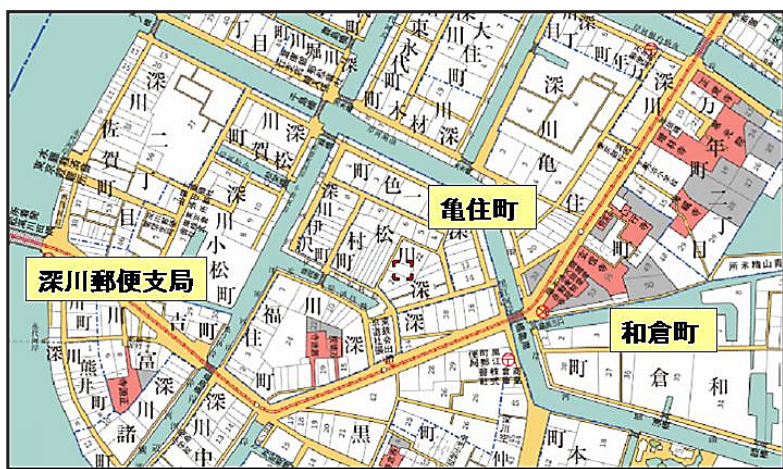


図4 明治39年深川区地図



図5 小津安二郎（1903-1963）



図7 「東京物語」（原節子と笠智衆）



図6 小津安二郎の代表的作品

Australia 2013 参観記

和田 文明

(はじめに)

5月10日から15日までの5日間、オーストラリアの第二の都市ビクトリア州のメルボルンでFIP公認の国際切手展“Australia 2013”(写真1)が開催され、仕事の取材と併せて参観して来ました。オーストラリアは、2001年8月以来12年ぶりの二回目の訪問です。2001年当時のA\$は70円位でしたが、今回は好調なオーストラリア経済とアベノミックスによる円安によるA\$110円のレートで、高いホテル代や食事代に苦慮した旅でもありました。

“Australia 2013”

“Australia 2013”は、オーストラリアで統一された最初の切手“カンガルーと地図”切手(写真2)が1913年に発行されて100年を迎え、これを記念する国際展の開催です。切手展の各種グッズや贈呈シート、受賞メダル、入場券(写真3)などに“カンガルーと地図”切手がデザインされています。



(写真1) “Australia 2013”



(写真2) “カンガルーと地図”切手

会場は、美しいカールトン公園の中のビクトリア調の王立展示館(Royal Exhibition Building)(写真4)で開催されました。王立展示館の前には近代建築のメルボルン博物館がありました。この建物は1878年に完



(写真3) 入場券

成し、1880年のメルボルン万博のメイン会場にもなっています。会場のロングホールの長さは実に152メートルもあり、その面積7,000スクエアのメイン会場と中2階のホールで構成され、床は全面板張りでその全てを切手展の展示とブースで使用しています。(写真5)近代的な建築のコンベンションセンターでの開催も良



(写真4、5) 会場入口と王立展示館

いのですが、ヨーロッパで開催される国際展でも良く用いられているこうした宮殿風の展示館は、古い切手やカバーが展示される国際切手展にはこうした会場が一番似合うように感じました。

このような立派な展示館ですが、一つ大きな



(写真5) 会場内



(写真6) 会場内白い布が掛けられた展示コレクション

欠点があり、天気の良い日は切手の大敵である強い日差しが差し込むことです。御当地のオーストラリア関連の作品が並ぶ展示エリアの一部がこの被害を一番強く受け、一時は展示コレクションに写真6のように白い布が掛けられていました。

出品コレクション

“Australia 2013”には、世界中から684ものコレクション、およそ4,000フレームが出品され、賞を競いました。特にトラディショナル部門には開催地オーストラリアをはじめ、イギリスのペニーブラックやアメリカのフランクリン・ワシントン、日本の手彫切手など多くの国のファーストイシュのコレクションが展示されていました。大金賞49、金賞121という受賞実績が示すようにクオリティの高い国際展でありました。国際切手展につきものの展示辞退の未着コレクションによる空きスペースが今回はほとんど見受けられなかったのも良かったと思います。

また、非郵趣品を50%含めてコレクションを構成できる“オープンフィラテリー”クラス(19作品)(写真7)や発行されて50年以内の“モダントラディショナルリーチャレンジ”クラス(14作品)といったクラスが新たに設けられ、多くの優秀な作品が展示されていました。こうしたクラスの作品は審査員によってジャッジされるものの、メダルの授与はありませんでした。

アメリカの書留郵便史を収集・研究してい

る私が注目したコレクションは、大金賞(96点)を獲得したイギリスの書留郵便のポスタルヒストリー『Secured Delivering leading to the Registration of UK Mail (1450~1862)』(写真8)で、1450年の中世の通信制度からイギリスのロイヤルメールの1862年までを関係公文書や多くのカバーを交えた素晴らしいコレクションで、書込みや展示技法も良くポスタルヒストリーのお手本のようなコレクションでした。



(写真8) イギリスの書留郵便のポスタルヒストリー

また、以前から連絡を取っていたAR(国際書留郵便受領通知)コレクションの収集家であるカナダのコレクターの作品も出品されていました。5フレームの国際切手展初出品で見事大金銀賞(85点)を獲得されていました。彼は今回の切手展には参観していなかったので、写真をデジタルカメラで撮影して送信してあげると大変喜んでくれました。

日本からも私を含め21ものコレクションが出品され、文献部門にも7点が出品され、それぞれ優秀な成績を収めていました。日本で開催された国際展や近隣の韓国や台湾で開催された国際展やアジア展を除いて、これまで海外における国際展への日本からの出品は多くて10点程に限られていましたが、次回2013年8月に開催されるバンコック展を含め多くの作品が日本から出品されるようになりました。

パーソナルスタンプ

2001年と2011年に日本で開催された国際展でもパーソナルスタンプ(写真切手)を発行していましたが、海外で開催される国際展でもよくこうしたパーソナルスタンプが発行されています。私も参観した国際展でパーソナルスタンプが会場で作成されている場合、必ず作成するようにしています。今回もオーストラリア郵政が



(写真7) “オープンフィラテリー” クラスのコレクション

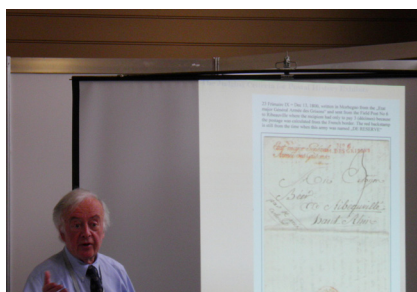
会場でパーソナルスタンプとパーソナルスタンプ葉書を発行していましたが、従来のような人気はオーストラリアでも既に無く、初日でもほとんど待つことが無く撮影を行い、パーソナルスタンプの作成をすることができました。(写真9)は、私のパーソナルスタンプを貼付した記念カバーです。



(写真9) パーソナルスタンプを貼付した記念カバー

郵便史セミナー

国際切手展では会期中、会場内もしくは会場周辺の施設で関連セミナーが開催されますが、今回も数多くの郵趣セミナーが開催されました。私は5月14日にミーティングルームで開催されたFIPの郵便史の専門セミナー(写真10)と5月11日に会場内のオープンステージで開催されたPostiljonenの“トリートメント”を中心とした展示技法に関するオープンセミナーに参加しました。Postiljonenは5種類の展示技法を解説した「Philatelic Summit Papers」シリーズの冊子を刊行し、会場内のブースで販売していました。



(写真10)FIPの郵便史の専門セミナー

スマートフォンアプリ

今回の“Australia 2013”では切手展ガイドをスマートフォンで提供することができるiPhoneやアンドロイドの専用アプリ(写真11)を開発し、無料でアプリを公開しました。スマートフォ



(写真11) Australia2013のアイコン

ンにこうしたアプリを無料でダウンロードすると、携帯しているスマートフォンで切手展の概要の案内や会場マップ、ロイヤルコレクションなど一部の特定展示物の音声ガイドをしてくれるという優れものです。

私は3月に買い替えたアンドロイドのスマートフォンに予め専用アプリをダウンロードし、切手展会場に持参しました。(写



(写真12) スマートフォンの Australia2013 の画面



(写真13) “Australia 2013” アプリで案内されることを示すマーク

真12)は、スマートフォンの Australia2013 の画面の一部です。(写真13)は“Australia 2013”アプリでガイドされることを示すマークで、これにスマートフォンをかざすと当該コレクションの音声ガイドが自動的に行われる仕組みで、国際切手展では初めての試みです。

パルマレスナイト

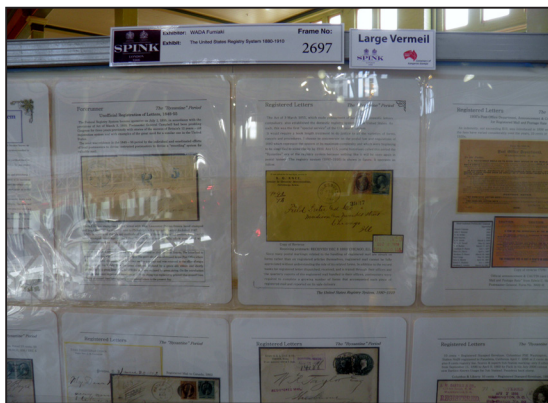
5月14日のPM7時から、イギリスの切手商 Spink(1666年創業)の冠を付けた受賞パーティのパルマレスナイト “Spink Palmares”(写真14)が今回のオフィシャルホテルであるクラウンタワーホテルがあるクラウンリゾート内のBall ルームで開催されました。



(写真14) “Spink Palmares”

会場で、連絡を取っていたニュージーランドのAR(国際書留郵便受領通知)コレクターである Long 氏(写

処で、私が今回出品したコレクションはアメリカ郵便史の「The United States Registry System 1880~1910」(写真 16) は 5 フレームの国際展初出品のコレクションでしたが、大金銀賞 (85 点) を獲得することができ喜んでいました。予想ではよくて金銀賞かなと思っていましたが、次の国際展から 8 フレーム枠で出品できる大金銀賞を獲得することができましたので、2014 年 8 月のソウル FIP 国際展には 8 フレームで挑戦をしようかと思っております。実は今回のコレクションは 2010 年春の全日本切手展に出品し、銀銅賞だった作品を 2010 年秋の JAPEX に再チャレンジし、大金銀賞を受賞して国際切手展へのエントリー資格を獲得したものです。



もう二つ嬉しい受賞がありました。それは、稲門フィラテリーの先輩である小林彰氏が2011年のフィラニッポンに続いてAustralia 2013に8フレームで出品された「The Adminal



Issue of Canada 1911-1925」が大金銀賞を獲得されたこと、西村壽一郎氏の「スウェーデン 1851-1872」が大金銀賞を獲得されたこと、加えて 私が 9 人の執筆者の一人として参画した「Stampedia Philatelic Journal」誌が文献の定期刊行物部門で見事大金銀賞 (86 点) を受賞したことです。

次は、2013 年 8 月にバンコックで開催される“Thailand 2013”へ出品し、参観を予定しています。

49-15

渡辺 勝正氏 新聞一面で語る

杉原千畝研究会代表であり、稲門フィラテリー会員渡辺勝正氏が8月14日の東京新聞朝刊の1面に載った。7月29日に麻生財務大臣が改憲に関して戦前のドイツナチスを引き合いに出して発言した内容について杉原千畝の行為を研究してきた立場から問題点を整理して、強くその発言を批判している。渡辺氏は過去数回にわたり本会報で杉原研究についての文章を載せており、第6回総会では「切手研究と杉原研究」と題し講演している。また第13回総会において「命のビザ・決断と真相 早稲田大学キャンパス内に設置された杉原千畝顕彰碑について」の講演で杉原千畝を熱く語られたのが記憶に新しい。



早稲田大学 14
号館近くの庭園
内に設置された
杉原千畝顕彰碑



麻生発言 世界に不信感



「千畝ちうねの行為無にした」

麻生太郎副総理兼財務相が改憲に絡め、戦前のナチス政権を引き

杉原研究会代表批判

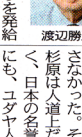


渡辺勝正氏

世界に不寛容を感ぜた。ナチ政権の迫害を受けたユダヤ人に救済を求め、多くの命を救った外交官に杉原千畝がいる。杉原の行動と比較しながら、麻生氏の発言の問題点をあらためて聞いた。渡辺氏は「世界が信頼されるものにならなくした杉原の行為を無にすると批判した。(大杉はるかに



杉原がビザを発給した時の思いは、
 当時、日本政府はドイツ、イタリアと三国同盟を結ぼうとしており、ト



渡辺勝正氏

杉原はビザを発給した。それが、杉原は人道にたがって、日本の名誉の観点から、ユダヤ人を助けるべきだと判断した。この戦争はドイツの側から見て、ユダヤ人を助けるべきではないと思

日本の名誉の

杉原 千蔵（すぎはら・ちゆう） 1900・86年、岐阜県八幡津（お）町生まれ。医者になることを望んだ父親の意向に反し、早稲田大学在学中に外務省の官費留学生に応募。ロシア語習得後、満洲ハルビンの総領事館などに勤務。40年にリトアニア・カウナスの領事館で、ポーランドから逃げてきたユダヤ人に対し、ボエンの訓令に背いてビザを発給。戦後、6000人の命を救ったとして知られるようになった。

杉原千畝のビザ発給をめぐる年表

	大戦の状況	杉原の活動
1933年	ヒトラー内閣成立 ユダヤ人迫害始まる	
39年	ドイツ、ポーランド侵襲 第2次世界大戦開始	リトアニアのカウナス赴任
40年	日独伊三國同盟	ユダヤ系避難者にビザを発給 チェコスロバキアのプラーゼ赴任
41年	日米開戦	ドイツのケーニヒスベルク赴任 ルーマニアのブカレスト赴任
45年	終戦	
47年		外務省退職

ケーニヒスベルクは現在ロシア

ケニー・ヒスベルクは現在ロシア

政治家は言葉の重さ自覚を

[illegible]

アルゲマイ
はそんな理
こゝと報じ
た。麻生氏
の口を踏
で発言し
したとす

持ち回り閣
の発言につ
の手口を踏
で発言し
したとす

「第一次世界大戦で、
背負われされた賠償で、
ドイツ国民は疲弊して、
いた。そこにヒトラー
が現れ、魅力的に映っ

ていない。日本の政
治家は、発言の重さを
自覚してもらいたい」

一戦前のドイツの失
敗から学ぶものは、

[illegible]

ネット徘徊老人の切手鑑賞

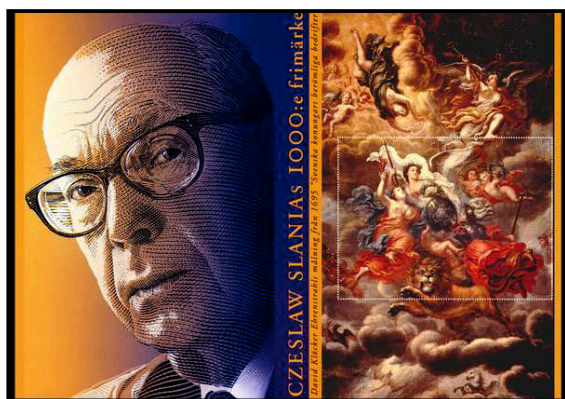
若き頃に楽しんだサイトにも飽き、ネットに切手を求め、オークションを中心に散策していました。なかなか、美しい画像の切手が見られるサイトは少なく、2倍大の画像がどうかドットを気にせず、見られるのがせいぜいでした。そんな中で、想像以上の画質で切手の画像が見られるサイトに出会って切手の楽しみ方を深めています。そんな楽しみのいくつかをお笑ください。

最初のサイトは北欧の Jaysmith という切手商のものです。このサイトは多少ばらつきますがほとんどが 300dpi の画像です。なかなか手に入れ難いものなどをダウンロードしてアルバムに参考にしておけるといいます。国別にメニューで表示できるのは他のサイト並ですが、ひとつ楽しめるものが用意されています。それはスウェーデン王室凹版彫刻師、故スラニアの凹版切手が独立してメニューになっていることです。

ここでは国、地域別に表示でき、モナコ、フェロー島切手など購入しないまでも HD に保存して折りにふれ美しい凹版切手の数々を鑑賞するのは楽しみです。

サイトは下記です。

<http://www.jaysmith.com/index.html>



スラニアと 1000 番目の切手を組み合わせた
スラニア凹版切手 1000 種記念小型シート

2 番目は万国郵便連合のサイトです。約 200 の地域と国の 2002 年から 2013 年に発行された切手が登録されています。国によっては完全にすべてを登録されていませんが、その登録されている切手の画質は 200 ~ 600dpi の高画質で



フェロー島、モナコ発行の
スラニア凹版切手



スラニア彫刻原版の拡大図とその高額切手

す。切手画像には勿論、模造防止の斜線も二重線も入っていません。

国、年を指定クリックし表示された切手サムネイルから希望切手をクリックすると次ページ上、図 1 のような画面になります。発行日、デザイン内容、発行目的、縦横のサイズ、額面、同時発行シリーズ構成枚数、シート構成（複数種同一シートの場合はクリックでシート表示）、目打数、発行、印刷機関が表示されます。英語圏でない国の切手の理解に助けになります。残念なのは印刷様式の記述がないことです。また我が国の発行切手数と照合すると若干各年ともに少ないようで、寄附金付切手は登録されていません。そこから、各国ともすべてを網羅しているとは言えないようですし、どういうわけかドイツが見当たらないことが気になります。

このサイトは切手が主役であり、小型シートは勿論、複数種同一シート（最近の日本切手）の画像は脇役と扱っているのが郵便会社サイト、日本の切手カタログ等の出版物とは異なっています。シートから切り取った単辺切手を第一に扱い、サブメニューでシートが表示されます。ですから、カタログでは文字情報だけでわからないデザインを知ることができ、かなり細かい内容まで教えてもらえます。日本切手について

JP149.08

2008 年発行 江戸名所浮世絵切手
江戸綾瀬川鐘か淵の画面(部分)

Country / Post Japan

Date of Issue 1 August 2008

Primary theme Mankind (Ethnology)

Fine Arts (Painting)

Subject Edo Era Ukiyoe - Edo Sites refined in Ukiyoe

Width 25.0 mm

Height 35.0 mm

Denomination 80 JPY

左下文字列

Number in set 10 ([show set](#))

クリックでシート画像表示

Layout/Format [miniature sheet of 10 of 10 designs](#)

Perforations 13 by 13

Stamp issuing authority Postal Administration of Japan

Printer Cartor Security Printing



[Full Resolution Version](#)

右文字列 クリックで 600dpi の画像に移動



ダウンロード 600dpi 鐘か淵切手画像をズームインすると江戸の漁法が偲ばれる

は日本切手カタログでシートで扱われてなにが描かれているか判らないものも、さすが 600dpi 画像、詳細な画像が見られます。例えば、上の浮世絵切手をクリックしダウンロードした FILE を拡大すれば櫓と棹で舟をあやつる人、四つ手網を上げてる舟、四つ手網を沈めている舟がはっきり見えます。

勿論、SCOTT の説明文を補ってくれます。このサイトを徘徊して切手研時代に培った各国切手のイメージが全く覆ってしまいました。多種印刷、多くのシリーズ切手の中どうにか懐かしくおもえたのがスウェーデンぐらいです。中でも驚いたのがベルギーです。過去、単色で地味な切手の国というイメージでしたが、徘徊するとどこかの国と同じ、ほとんどが多色刷りの切手に変貌し、シリーズ切手が煩雑に発行されています。わが国同様の首をかしげるような内容の切手が毎年 100 種以上発行されています。そ

のうち、懐かしい映画、漫画、味を思い起こさせてくれる切手にぶつかりましたので、ダウンロードしました。お付き合いください。

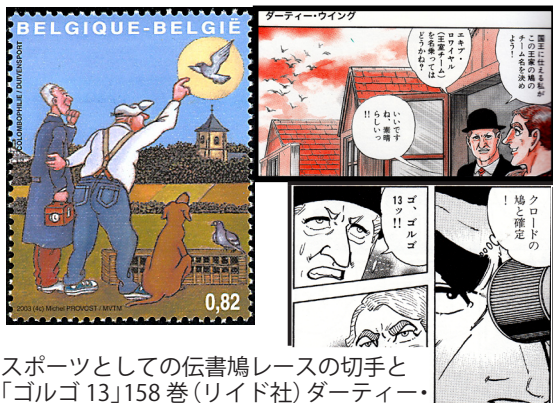
戦争映画の名作「バルジ大作戦」の針葉樹の林の中、タイガー戦車と連合軍との戦いを思い



起こさせる切手を見つけました。英語の注釈でバルジ作戦の情景であることを知りました。

また、漫画の内容がベルギーを中心とした社会の現実を真に表現していることを強く感じさせる切手が目に





スポーツとしての伝書鳩レースの切手と「ゴルゴ13」158巻(リイド社)ダーティー・ウィングの4コマ

とまりました。Sport - Pigeon Racing と注釈の付いた切手です。丁寧な調査に基づく脚本の提供で書かれているゴルゴ13の一話・過熱した伝書鳩飼育熱をとらえた「ダーティー・ウィング」を思い出しました。金と名誉ため伝書鳩の世界にもドーピング技術が入り込んできた裏の話を知った漫画です。

切手展の切手でもこんな切手もいいなと思わせる切手も目に入りました。Remington、Olympia、Royal、OlivettiそしてMacと20世紀のタイプライターをデザインしたものがありました。もうタイプライターも遠い存在になってきたんだなと感じさせてくれるそんな切手です。



Remington

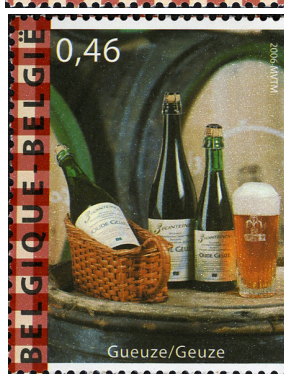


Olivetti

どれも同じ味のような日本のビールとは異なり、いろいろなビールの味を味わわせてくれるのがベルギービールです。そのベルギービールが商標も鮮やかに専用のグラスと一緒に切手にデザインされているのが目に入ってきました。デパートのビール売場であれば必ず目にできる



orval ビールと専用グラス



自然発酵ビール
Gueuzeの数々
トラピスト・ビールの
オルヴァルと自然発酵
ランビックのビールで
す。このようにクリッ

クしながらこんな切手があるのかと驚き、思い出をめぐらせてくれるサイトはこちらです。

<http://www.wnsstamps.ch/en/participating>

徘徊していると、実物はとても手に入れない珍しい切手に出会います。残念ながら高解像度のものはないのですが、普通のサイズで楽しめます。そんな切手をいくつか紹介してみます。

実物を所有する満足感はありませんが、切手を楽しめる一つの手段としてネット徘徊を今後も時に楽しんでいきます。(編集子)



Jenny Invert

Fast-Jenny

Grounded-Jenny



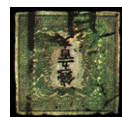
Car Invert



Ship Invert



Train Invert



高値の花も身近に咲かせて????

10月20日(日) 稲門フィラテリー総会 講演は「南部絵暦」

稲門フィラテリー総会時の講演は岡田芳朗会員の「南部めくら暦(字の読めない人のための暦)ー風雪200年、江戸時代の姿そのまま今尚生き続ける民族資料についてー」に決まりました。南部絵暦は南部めくら暦とも言われ、江戸時代、文字の読めない人に和暦を絵とときで表した暦です。岡田会員は暦についての多くの書籍を著わしています。今度の講演には岡田会員の著書、法政大学出版局「南部絵暦」(ものと人間の文化史)を読んでもくと講演が一層興味深くなるでしょう。

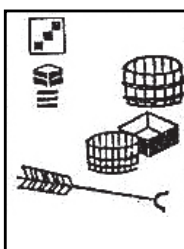
総会は1時、講演会は2時より 7号館 205号室
懇親会は4時より高田牧舎



法政大学出版局
「南部絵暦」



ケシの花に濁点で
夏至



鉢(桶)、お重、
鉢(桶)、矢で
八十八夜

関連参考文献

稲門フィラテリー 47号岡田芳朗会員「郵趣失敗ばなし」のサザンランド商会の発見の内容に関連する書籍があります。コブ商会への併合の理由も含め、当時の郵便事情等がエド・メールという章に記述されている。横浜ー江戸の間の馬車会社、郵便についてもわかりやすく説明されています。

1987年 篠原宏著「明治の郵便・鉄道馬車」

雄松堂出版

編集後記

酷暑の中の編集作業、年々シンドイものになってくるようです。熱中症のニュースを目にするにつけ、我が歳を再確認、冷茶を口にしながらの編集作業、こちらにも熱中できない。いわんや切手収集などに熱中できたのは遠い昔。ふと、落語のまくらに使われる言葉が頭に浮かんだ。

としはとつても うわきはやまぬ
やまぬはずだよ さきがない
やはり、私の趣味はここまでは・・・・

メルボルン国際切手展での会員の活躍

- ・西村 寿一郎
スウェーデン 1851-1872
(伝統郵趣・大金銀賞)
- ・小林 彰
カナダ・アドミラル・イッシュ 1911-1925
(伝統郵趣・大金銀賞)
- ・和田 文明
米国書留制度 1880-1940
(郵便史・大金銀賞)
- ・正田 幸弘
文献の散歩道 (文献・銀賞)

切手教室

第98回 7月6日
「世界のサル」 講師：藤波 誠治氏
(足立北郵趣会)

第99回 8月4日
「牧野富太郎博士によせて」
講師：澤口 尚子氏
(パソコン郵趣会)

第100回 9月4日
「切手でゴルフを楽しむ」
講師：杉山 光雄氏

稲門フィラ常設切手展

第23回
「日本映画スクリーンを彩った名作・名優」
開催日時：2013年6月1日～9月
場所：新宿北郵便局

会員の皆様へお願い

ぜひ 会報に原稿をおよせください。

◎文字数は問いません。

短い原稿大歓迎です。短い原稿は貴重です。

◎どのような内容でも結構です。郵趣・切手にまったく関係ないことでも結構です。

◎写真・切手等は電子化し、お返しします。

◎原稿は手書き、パソコンとも字体、ページ行数、一行文字数等は一切気になさらないで、自由なベタ書き、ベタ打ちで結構です。

電子 FILE 原稿送付先

y-ogawa@wine.plala.or.jp 小川 義博

手書き原稿送付先

〒236-0046 横浜市金沢区釜利谷西 5-8-8

青柳 次男

発行日：2013年9月1日

発行：稲門フィラテリー

発行人：磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4階

(株) 英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：吉沢 忠一 青柳 次男

小川 義博

稲門フィラテリー

第 50 号

2013 年 12 月 1 日発行

稲門フィラテリー第 14 回総会報告

稲田 比島志

10月20日(日)午前11時30分頃、高田馬場駅を出ると、台風の影響で雨が降っていた。出来るだけ濡れない様に大学へ行きたいと思い久しぶりに早大正門行きの学バス(運賃170円)に乗った。

馬場下の交差点では、記念会堂で開催されたホームカミングデーの記念式典に出席した、記念品の入った紙袋をぶら下げた、大勢の校友達、ざろざろ渡っていた。

大隈侯の銅像へ通ずるメインストリートは、例年と違い傘の波で埋まっていた。大雨にも負けず大声を振り上げている売店のスタッフと、傘をさしている校友達の間を抜けて、総会会場の7号館205号室へたどり着いた。

悪天候にもかかわらず、定刻(13時)どおりに、会員25名が出席して、第14回稲門フィラテリー総会が開催された。

まず最初に磯野会長から、次の様な挨拶があった。

切手収集の現状をみると、新しい波がうまれている。例えば、小学館発行の「ビッグコミック」に連載されている、切手マニアの刑事が、切手の知識で事件を解決する「キッテデカ」(寺沢 大介著)が売れている。

また、若い女性達が、インテリア等の実用品として使用するため、切手に興味を持っているという記事が朝日新聞に載っていた。この様に若い人達が切手収集に関心を持ち始めている。私達も、切手収集の輪を拡げて行こうという趣旨であった。

続いて議事に入り、磯野会長が説明した。

第1号議案 25年度活動報告

池澤幹事の海外赴任に伴い、会報の編集担当を、青柳幹事をお願いする事にした。

今年は、12月に会報が50号。また、新宿北郵便局ロビー展示場で開催している稲門フィラ常設切手展が25回、9月に切手教室が100回を迎えた節目の年であり、切手教室では稲門フィラ会員以外の人にも講師をお願い



総会会場の様子

いする事が多くなっている。

1月にアドバイザーをお願いしていた小熊忠三郎氏が逝去された。

9月に、恒例の見学旅行（15名参加）で所沢・東伏見・本庄・菅平・軽井沢のキャンパスをまわったが、訪問する機会の少ない施設ばかりであり、早稲田の現況を理解する上で、非常に参考になった。

26年度の活動については、ほぼ例年どおりの活動を予定しているが、見学旅行については、会津地方等が候補に上がっている

第2号議案

25年度会計報告および26年度予算について、石井幹事が説明し、異議なく了承された。

第3号議案

25年度会計監査報告について、住吉幹事より適正かつ妥当であるとの報告があった。

第4号議案

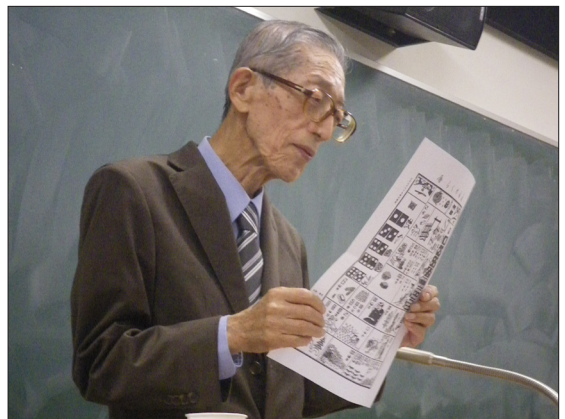
プロジェクター購入について、磯野会長から提案があり、諸田幹事から、バックアップ体制・データの作成等をどうするかを、現在検討中であるとの説明があった。

最後に、今回、心良く講演を引き受けてくださった岡田芳郎会員に感謝の意が表明された。

暫時休憩の後、講演会に入った。

まず、磯野会長から講師の紹介があった。岡田芳郎講師は、昭和28年卒業の切手研究会の大先輩であり、現在、女子美術大学名誉教授・暦の会会長をなさっている。日本およびアジアの暦に関する研究の第一人者であり、「南部絵暦を読む」（大修館書店）等沢山の著書を出されている。

続いて、岡田講師が登壇され、「南部めくら暦」について講演された。最初に早稲田大学と南部家の関係（大隈侯の養子大隈英麿の実家）から話を進められた。持参された「南部めくら暦」の複製品と解説書（詳細は関連記事参照）を配付された後、風雪200年・江戸時代の姿そのまま今尚生き続ける民俗資料の絵ときと魅力および学術的価値について熱弁をふるわれた。講演は時間オーバーで、質問を途中で打ち切らざるを得ない程の大盛況であった。



熱心に講演する岡田芳郎会員

（講演に準備いただいた資料を
6～7ページに掲載しました）

午後4時から、高田牧舎で、24名が出席して恒例の懇親会が開催された。青柳幹事の軽妙な司会で、久しぶりに参加された5名の方々の自己紹介を皮切りに、和気あいあいの雰囲気の中で会は進行した。岡田会員の周辺では「めくら暦」について、更に質問をする会員の輪が出来ていた。

定刻の午後6時、大盛況の内に、来年の再開を期して、会は無事終了した。



高田牧舎での懇親会

「早稲田大学キャンパス巡り」の旅

村井 悌二

稲門フィラテリーの今回の見学旅行は「早稲田大学キャンパス巡り」。

新宿区内のキャンパス以外は行く機会が少ない私達にとって、母校を別の角度から見る旅行となりました。早稲田大学には全国に9つのキャンパスと5つのセミナーハウスがあります。

今回の旅行は9月26日（木）・27日（金）の2日間で、埼玉・東京・群馬の3つのキャンパスと2つのセミナーハウスそして窪島誠一郎氏が開館した「無言館」を巡りました。

参加者は、磯野会長他15名。高齢者集団ながら皆さん元気に2日間の旅を有意義に過ごすことが出来ました。

第一日目、新宿駅西口工学院大学前に午前9時に集合し、バスで最初の目的地「所沢キャンパス」へ。現地では事務センターの三橋氏の説明を受け、キャンパス内を見学。当キャンパスは1987年、人間科学の地平を切り開く豊かな視点を持った真のリーダー育成を目指す目的の「人間科学部」の創設と同時に開設され、現在「人間科学学術院・スポーツ科学学術院の学部・大学

院・関連機関、人間総合研究センター」に約3,000名の学生と研究員が学んでいるとのことです。又、キャンパス開設に当たっての自然環境に配慮した対応が、乱開発が続いていた狭山丘陵の保全に埼玉県が取り組む契機にもなり、現在ナショナルトラスト活動（トトロのふるさと基金）を中心に自然環境と文化財の保全に取り組んでおり、2013年現在36,117㎡の自然林を取得しているとのことです。



所沢キャンパス 大隈重信胸像前で

次に「東伏見キャンパス」へ移動。広大な敷地に各種運動のグラウンド・屋内練習場・学生寮・合宿所等々が完備している。当日は野球部以外練習している学生はおらず、若さ溢れる活動光景を見ることは出来ませんでした。

そして、本日最後の訪問地「本庄キャンパス」へ向かいました。当キャンパスは1970年に竣工。現在本庄ドミトリー・本庄共通教室・本庄倉庫・図書館本庄保存書庫・本庄高等学校（1982年開校）・早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター・環境情報実験棟・I O C本庄早稲田の諸施設が敷地内に点在している。土地



所沢キャンパス 織田幹雄陸上競技場



東伏見キャンパス野球場

不案内(キャンパスの案内図や標識もなかった)の為、ウロウロするうちに時間がきて、バスで敷地内を大急ぎで回り今日の宿泊地の戸倉上山田温泉へ向かいました。

この日の泊りは「千曲館」。温泉に浸かり旅の疲れを取り宴会。そして部屋に集まって恒例の「お宝拝見」、有志持ち寄りのコレクションを拝見。

林さん～最果ての記念証他、久保田さん～自分で撮られたダイヤモンド富士、杉山さん～写真展の前宣、野島さん～アサヒカメラに自身の写真が掲載された件、武井さん～大変珍しい神宮球場の公式球の返却バッチ。最後に高橋さんの「トキ」パート2、「2011・3・11 14:26 その時のトキは」・「トキの好物」・「羽の色の秘密」の写真には感嘆させられました。参加者は互いの近況や思い出話に盛り上がり、疲れて就寝。



本庄早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター

後日知ったことではあるが、千曲館の看板が磯野会長からのメールで会津八一が揮毫したものと知り、良く見ておけばよかったと後悔。

第二日目、先ず「菅平セミナーハウス」へ。菅平郵便局で途中下車。小さな郵便局に15人もの私達が入ると局内は満員、地元の人が入ってきて一瞬戸惑うのを見て譲る一幕も。

一同満足して再びバスに乗り「菅平セミナーハウス」へ。館長の松田さん



菅平郵便局

局内を占拠状態の稲門フィラテリー会員の案内で館内を見学し、説明を受ける。当セミナーハウスは1993年竣工。121名収容出来、施設はセミナーハウス・テニスコート・総合グラウンド・体育館・会議室兼多目的室等がある。夏は8月8日から30日迄はラグビー部優先・冬はスキー部中心とのこと。紅葉にはまだ早い菅平高原のグラウンドから周囲の景色を堪能し、昼食の為塩田平きのこむら「深山」へ向かいました。



菅平運動場
早稲田ラグビーを育むグラウンド



上田市の無言館

昼食後、上田市郊外塩田平の丘陵地に建てられた美術館「無言館」へ。第二次世界大戦中志半ばで戦場に散った画学生達の残した絵画や作品・イ-4ゼルなどの愛用品が収蔵・展示されており、プロの画家とは比べられないが何か彼等の情念・無念さを感じさせられた。

次いで最終目的地「軽井沢セミナーハウス」へ向かう。館長の佐々木氏の説明を聞き、浅間山が背後に美しく見える敷地内を見て回った。当セミナーハウスは1969年竣工、現在ハウスは3棟で320名収容、他にテニスコート・バレーコート・バスケットコート・野球場・雨天体操場の施設がある。

帰路、途中の軽井沢駅で高橋氏が下車し、残り14名元気に帰途につきました。

2日間、無事に且つ楽しく充実した旅行を計画・リードして下さった諸田先輩、又後日種々の資料を送って下さった磯野会長に深く感謝致します。

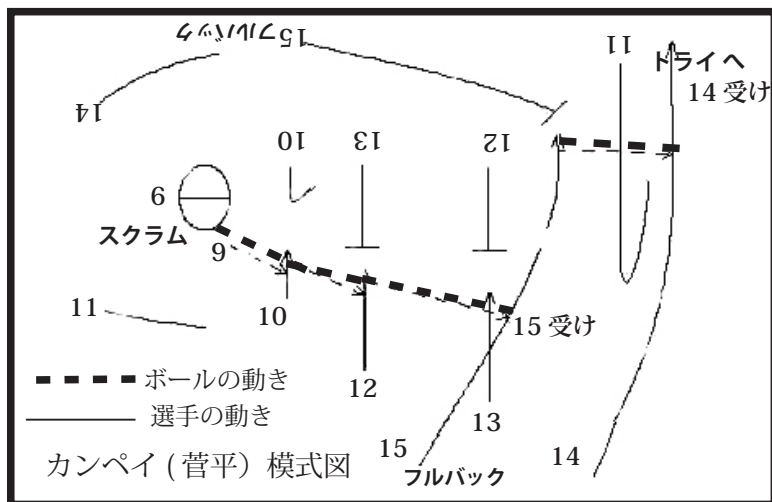
早稲田ラグビーが誇る菅平（カンペイ）

戦後、早稲田ラグビー部の名監督大西鐵之祐氏が編み出したサインプレーとして海外にも知られる。1962年に関東大学対抗戦Bブロック（二部に相当するブロック）に転落した早大監督に再就任し、後に監督になる木本建治主将とともに臨んだその年の夏の菅平合宿で編み出されたものである。草かんむりの菅はカンとは読みにくいが語呂がいいのでカンペイとつけたという。

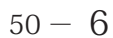
ラグビーでバックスの防御はマン・ツー・マンであって、一番後位置にいるフルバックはキックを防御するため相手を決めています。カンペイはフルバックがライン参加するプレーとして有名になった。



ラグビーを描く4種の切手のうちの1種



次ページに 絵を文字にした暦があります。位置を対応させて読んでください。



第 14 回総会 講演会 (レジュメ)

南部めくら暦 — 風雪 200 年、江戸時代の姿
そのまま今尚生き続ける民族資料について 岡田 芳朗

1. 南部絵暦 (盲暦) は旧南部藩領 (現岩手県と青森県東部) でつくられた絵文字の暦
2. 南部絵暦の 2 系統
3. 南部で絵暦が発行された理由
- (1) 田山暦 (旧二戸郡田山村・現八幡平市) 安永頃 (1772 ~) から明治初年まで 木印のスタンプで作成 小部数
- (1) 領暦の不足
- (2) 盛岡暦 城下町盛岡で作られた。木版 1 枚
- (2) 文字の読めない人が多かった。
- (3) 江戸時代の遊び心 (判じもの) 農民の必要性の結びつき

南部めくら暦 (現在の暦、太陽暦では)

小刀で小の月を表す		平成 二 十 五 年 巳 年				大刀で大の月を表す	
つ い 立 ツイ タチ 朔 日 3/12 二月 丑		ハツ ウマ 初 午 3/17 二月最初の午の日 稲荷を祭る行事		歳 徳 神 万事に吉の方向 巳午の間 南南東		つ い 立 ツイ タチ 朔 日 未 正月 2/10	
6/9 五月 午		カッ シ 甲 子 2/27・4/28 6/27・8/26 10/25・12/24 大黒天の縁日		コウ シン 庚 申 2/23・4/24 6/23・8/22 10/21・12/20 庚申様の縁日		午 三月 4/10	
8/7 七月 巳		ヒ ガン 彼岸入り 3/17・9/20		シャ ニチ 社 日 3/23・9/19		子 四月 5/10	
10/5 九月 辰		昼と夜の時間が同じになる日		産土神に参拝し豊穡を祈願する		亥 六月 7/8	
12/3十一月 卯						戌 八月 9/5	
ニヒャクトウカ 二百十日 9/1		フシ 伏 初伏7/13 中伏7/23 末伏8/12 健康に特に注意す べき日		ハンゲショウ 半夏生 7/2		ゲ シ 夏 至 6/21	
ド ヨウ イ 土用入り 4/17・7/19 10/20・※1/17		タ ウエ テキ キ 田 植 適 期 5/25		セツ ブン 節 分 2/3		カン イ ショウカン 寒の入り (小寒) ※1/5	
トウ ジ 冬 至 12/22		イネカリ テキキ 稲刈り適期 9/25		ハチセン イ 八専の入り 2/15・4/16・6/15 8/14・10/13・12/12 日の干支の五行が重なるため 物事が偏るといわれている		ジツボウクレ イ 十本暮の入れ 3/19・5/18・7/17 9/15・11/14 五行相剋の関係に当たっており 十日間続くため何事もうまくい かず四方八方が暗くなる	

ゴギョウソウショウ
五行相生
木は火を生じ、火は土を生じ、土は金を生じ、
金は水を生じ、水は木を生じるとする。

ゴギョウソウコク
五行相剋
水は火に勝ち、火は金に勝ち、金は木に勝ち、
木は土に勝ち、土は水に勝つ。

4. 明治以後も旧暦で発行され続けたのはなぜか
明治改暦 (1873) 以後も旧暦が使用されていた。昭和 30 年代から旧暦がすたれて、絵暦も実用性がなくなった。

めくら暦に関する参考書

暦を知る事典
岡田芳朗、伊藤和彦他
東京堂出版、平成十八年

田山暦・盛岡暦を読む
工藤紘一、熊谷印刷出版部、
平成十六年

南部絵暦を読む
岡田芳朗、大修館書店
平成十六年
国史大辞典 十三巻
「図録盲暦」吉川弘文館
平成二年

南部絵暦
小杉信夫、(盛岡市文化財
シリーズ第十二集) 盛岡市
教 育委員会、昭和六十年

南部絵暦
工藤紘一、岩手県立博物館
昭和五十八年

南部絵暦
岡田芳朗、法政大学出版部
昭和五十五年

フランス語でないフランス語

小林 彰

はじめに

灼熱のサハラ砂漠の国アルジェリアの駐在を終えて3年、カナダ・ケベック州モンリオール事務所長の発令を受け1986年11月に着任した。この時期すでにモンリオールの街は雪がちらつき朝夕の平均気温は氷点下だった。アルジェリアと12年も付き合い身体はサハラ砂漠の気温に馴染んでおり、50度近い気温差に初年度は順応できず寒さに震えていた。先進国では運転手を雇えず自ら車を運転する。米国GM製の大型フルサイズのビュイックが所長車だ。日本人の中でも小柄な筆者は運転席に埋もれてる。後方がよく見えない。その車で氷

結した慣れぬ道をスリップ事故を起こさぬよう事務所までの40分、緊張してハンドルを握る。モンリオールではすべてのビルに地下駐車場がある。寒さ対策だ。駐車場に着くと緊張が緩み急に寒さをおぼえ尿意をもよおす。事務所のトイレに駆け込む余裕もなく駐車場の片隅で失敬する。しかし2年目からは問題なし。人間の環境への順応性はすごい。だから人類誕生から今日まで生き延びている。

本稿では4年間の経験を踏まえ思い出すまま下記項目にしたがってカナダ・ケベック州モンリオールを紹介させていただく。

- ・カナダ・ケベック州の歴史
- ・フランス語でないフランス語
- ・ホッケー走法、運転免許証、交通違反
- ・ナイアガラ瀑布
- ・あれこれ
- ・和食処
- ・ここだけの話
- ・アドミラル・イシュと郵趣雑話

・カナダ・ケベック州の歴史

カナダの先住民は4万年前の氷河期にシベリアからベーリング海峡が陸続きだった頃新大陸に渡ってきたインディアン（モンゴロイド）だ[図-1]。歴史上最初にカナダを発見したのはイギリスのヘンリー7世が派遣したイタリア人探検家ジョン＝カボットとセントローレンス川を探索したフランス人ジャック＝カルティエ[図-2]。1526年以



図-1 上段左：亜北極圏インディアン（1975年発行） 上段右：イロコイ族（1976年発行） 下段左：平原インディアン（1972年発行） 下段中：アルゴンキン族（1973年発行） 下段右：太平洋岸インディアン（1974年発行）



図-2 ジャック＝カルティエ
左：1934年カナダ発行 右：1934年フランス発行



図-3 シャンプランによるケベック
植民地建設350年記念(1958年発行)

降、フランソワ1世がカルティエをしばしばカナダに派遣しセントローレンス川流域を探検させた。16世紀半ばこの地はフランス領となった。1608年フランスの探検家サミュエル＝ド＝シャンプラン[図-3]がセントローレンス川流域にケベック植民地（現在のケベックシティ）を建設した。

フランスの植民目的はインディアンとの毛皮交易の拠点を創ることで、ルイ13世の宰相リシュリュー枢機卿は1627年ヌーヴェル・フランス Nouvelle France（新フランス）会社を設立し植民地経営を同社に委ねた。同時にカソリック教徒以外の者が入植することを禁止した。

1642年にはモントリオールにも植民拠点が創設されたが、経営は順調ではなく、ルイ14世の下で植民地再編の任についたジャン



図-4 フロントナック伯爵知事就任300周年
(1972年発行)

＝バティスト＝コルベールはヌーヴェル・フランス会社を廃止して植民地を王領とした。1672年にはルイ＝ド＝フロントナック伯爵[図-4]が知事として赴任し長年フランスと対立していたイロコイ族と和解した。

なお、モントリオール市内を流れるセン

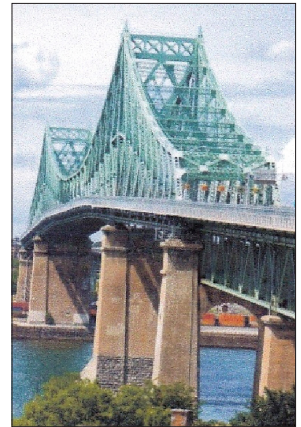


図-5] モントリオール市内セント・ローレンス川に架かるジャック＝カルティエ橋

トロレンス川に架かる橋にはこれらフランス系先人達の名前が付けられている[図-5]。1682年ド＝ラ＝サールがミシシippi川流域をフランス領と宣言し、1712年にはメキシコ湾に至るルイジアナまで拡大した。しかしこの頃から世界各地で英仏の対立が激化し、英国のアメリカ植民地との間に一連の北米植民地戦争が勃発した。この抗争の最後となる7年戦争が始まるとニューイングランドの英軍はケベックを襲撃し、1759年英仏両軍はアブラハム平原で激突。仏軍は大敗し、ケベックは英軍の占領下におかれた。因みにフランスは英仏植民地戦争で勝利したことがない。1763年のパリ条約でフランスはカナダの植民地を放棄しケベックは正式に英領となった。

新たに英国の支配下にはいったフランス系住民は65000人に達し、すべてカソリック信者だった。英国はこれら住民をイングランド国教会（アングリカン）に改宗させることはせず、より穏健な政策をとり、1774年ケベック法を制定しフランス民法典とカソリック教会の存続を容認した。これが今日までケベックにフランス色が残る決定的な役割を果たしている。

翌1775年アメリカ独立戦争が勃発しアメリカ大陸議会がカナダ住民に革命への参加を呼びかけたがフランス系は応じなかった。

1783年戦争が終結し、アメリカ合衆国が成立すると、アメリカのロイヤリスト（王党派）は国内に残ることを嫌い、ノヴァスコシアやケベック東部に大挙して移住してきた。現在でも英国人がアメリカ、カナダいずれかへの移住を選択するとき、この歴史的事実を反映して決心するという。

なお、オンタリオ湖西方のアップパー・カナダ Upper Canada（現オンタリオ州）とロワー・カナダ Lower Canada（現ケベック州）に分離する措置が取られた。

1793年にはアレクサンダー＝マッケンジーがロッキー山脈を越えてフレーザー川流域に達する大陸横断に成功し、英領カナダの領域は西方にも拡大していった。1812年米英戦争が勃発するとカナダは再び米国の占領の脅威にさらされたが米軍の侵攻は撃退された。1840年には合同法が制定され上下カナダが中央政府の管理下に置かれ、これ以後はカナダ・ウエストとカナダ・イーストと呼ばれるようになった。

南北戦争後のアメリカが産業革命によって急速に発展し始めると、再びアメリカに併合される危機が高まり英国議会はカナダを統一するため、1867年英領北アメリカ法を制定し両カナダやノバスコシア、ニューブランズウィックなどを併せた自治領カナダ政府を成立させた。この立法によってカナダは自治権を有する連邦となりオタワに首都が置かれた。しかし外交権はまだ付与されなかった。1885年カナダ太平洋鉄道が完成、大西洋と太平洋が結ばれた。

1965年にモントリオール万国博覧会が開かれたが、この頃からケベック民族主義が顕著となり1969年には英仏両語がカナダの対等な公用語として定められた。1970年にはケベック分離主義者のテロ活動が活発となった。1976年、ケベック分離主義党はケベック州議会選挙に勝利し、1977年にはフランス語をケベック州唯一の公用語と定めて英語の使用

を制限した。ケベック分離については1980年と1992年に住民投票が行われいずれも否決されている。経済的独立の困難さを認識しているからだ。

1982年に英国のカナダ法と、それに続くカナダ憲法の成立によりカナダは真の独立国家としての地位を確立した。現在カナダには10州と3準州があり（下記）、総人口は3400万人、ケベック州は約800万人、モントリオール都市圏約400万人（市街地は170万人）。

州 Province

オンタリオ州 Ontario（州都トロント Toronto）

ケベック州 Québec（ケベック・シティ Québec City）

ノヴァ・スコシア州 Nova Scotia（ハリファックス Halifax）

ニューブランズウィック州 New Brunswick（フレデリクトン Fredericton）

マニトバ州 Manitoba（ウィニペグ Winnipeg）

ブリティッシュ・コロンビア州 British Columbia（ヴィクトリア Victoria）

プリンス・エドワード・アイランド州 Prince Edward Islands（シャーロット・タウン）

サスカチュワン州 Saskatchewan（レジナ Regina）

アルバータ州 Alberta（エドモントン Edmonton）

ニューファウンドランド・ラブラドル州 Newfoundland and Labrador（セント・ジョンズ St. John's）

準州 Territory

ノースウエスト準州 North West（イエローナイフ Yellowknife）

ユーコン準州 Yukon（ホワイトホース Whitehorse）

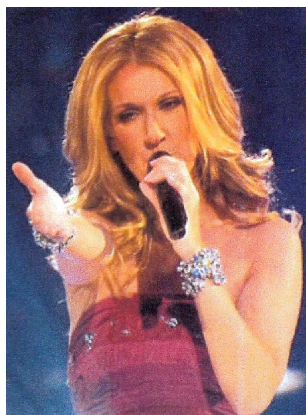
ヌナヴト準州 Nunavut（イカルイト Iqaluit）

・フランス語でないフランス語

モントリオール事務所に着任早々秘書から「Mr. 小林、明日、事務所のスタッフで所長歓迎会を開きたい。ついては夕食の時間を空けて欲しい」と声をかけられた。そして翌日。昼食

に行こうとすると秘書が怪訝な顔をして「何で皆と一緒に昼食に行かないのか」と言う。「今日は全員で食事すると聞いているから昼は簡単に済ませる」。「昼食歓迎会と言ったのだ」。「夕食を共にしながらと聞いていたが・・・」。「いや夕食とは言っていない。昼食と言った」。ここにきてフランス語とモンリオールのフランス語、すなわちケベック語では食事表現の順番が違うことに気がついた。フランス語では朝食 Petit Déjeuner、昼食 Déjeuner、夕食 Dîner、夜食 Souper。ケベック語では朝食 Déjeuner、昼食 Dîner、夕食 Souper と言い、順番が一つづつずれている。

米国と国境を接しているため英米語をそのまま外来語としてケベック語に取り入れている例が多い。「どういたしまして」は英米語では You are welcome。フランス語では Je vous en prie とか De rien。ケベック語では



英米語の表現を借りて Bienvenu (Welcome) だ。また、フランスでは「自動車」はヴォチュール Voiture あるいは俗語でバニョール Bagnole というが、モンリオールでは通じな

図-6 セリーヌ＝ディオン い。オート Auto だ。

反面、フランスでは英米語を外来語としてそのまま使っているのにケベック語では敢えてフランス語に置き換えている例もある。その典型は「ホットドッグ」。フランスではそのままホットドッグという。ケベック語では Hot Dog をフランス語に置き換えて Chien Chaud。赴任当初、秘書をはじめ現地スタッフの表現に奇異を感じたものだった。

発音のイントネーションもフランスとは違いケベック独特だ。はじめの一言でケベック出身者か判断できる。世界的に有名な歌手セリーヌ＝ディオン Céline Dion [図-6] もケベック出身だ。1997年公開の「タイタニック」の主題歌 My heart will go on の世界的大ヒットでディオンは英語圏・仏語圏でのポピュラーミュージック界の大御所となった。1982年初来日。来日初公演は1994年。以来、しばしば日本の土を踏んでいる。パリを拠点に活躍しているがケベック訛りは完全には抜けきれていない。

あるときモンリオール大学で助手を務めるフランス人と知り合った。彼にケベック語が分かるかと聞いてみた。半分も分からないという。彼は真顔で言う「Mr. 小林はいい。分からなければ、もう一度言ってくれと聞き返せる。フランス人ではないからだ。しかし自分は彼等にもう一度とは言えない。なぜならケベックのフランス系カナダ人は、自分たちはフランスに見捨てられたと恨みを持っている。英仏植民地戦争に敗れたフランスは将校だけがフランスに逃げ

帰り、血を流して戦った兵士は置き去りにされた。フランス系カナダ人は哀れな兵士の末裔だからだ」。



図-7 国会議事堂切手帳 (1985~87年発行)
左：表紙 右：ペーン



図-8 アイスホッケー (1956年発行)

カナダでは下院多数党の党首あるいは連立会派の代表が首相に選出される [図-7]。したがって下院選挙で勝利しなければ首相にはなれない。大票田ケベック州での得票が勝敗を左右する。そのために首相候補はフランス語、否、ケベック語での応援演説が必須条件だ。

ケベック語ではフランス語と同じ単語が違う意味で用いられている。だからややこしい。フランス語とケベック語の分厚い辞書多数が店頭に並ぶ。

・ホッケー走法、運転免許証、交通違反

カナダの国技はアイスホッケー [図-8]。ケベック州ではモントリオールにカナディアン Canadiens、ケベック・シティにはノルディック Nordiques というチームがあった。ノルディックは1995年売却され、コロラド・アヴァランチ Colorado Avalanche となった。カナディアンとノルディックの試合を観戦したが、いわば巨人阪神戦で双方のファンの応援は熱狂的で圧倒された。勿論、カナダのチームもアイスホッケーの最高峰、北米のプロ・アイスホッケー・リーグ National Hockey League (NHL) に属している。左右前後にものすごいスピードで駆け抜け相手選手に激突する迫力に興奮する。札幌や長野の冬季オリンピック出場の日本のアイスホッケー・チームには特別な

からいで短期間に日本国籍を取得したカナダの日系選手がかなりいた。

モントリオール市内では出退社時刻にあちこちで車は

渋滞する。しかし老若男女、隙あらば右に左に割り込んで一歩でも先に出ようとする。「ホッケー走法」と命名した。冬の高速道路はさらにひどい。高速道路はモントリオール近郊を除き通常片側2車線で上り下りを中央分離帯で分けている。分離帯は掘り割りだ。冬、高速道路に雪が積もると除雪車が即座に出動し先ず外側車線の雪をかく。ところが除雪を待てない車は雪の積もる内側を走行し渋滞する外側の車列を追い抜いてゆく。が、数キロも行かぬうちにスリップし、10台前後の車が次から次へと掘り割りに転落する。

モントリオールで免許証を取得するには道交法と実地の両試験に合格しなければならない。先ず道交法の試験を受け合格すると次に実地試験が待っている。ケベック州の公用語はフランス語と決められていることはすでに述べた。英語でも受験できるがフランス語で受験の方が試験官の心証がいい。筆者はフランス語で受験。道交法試験は筆記ではなく試験機と向き合い機械から次から次に発せられる質問にボタンで回答する。間違いが限度を超えると機械は自動停止する。後日再試験を受けなければならない。法規に受かりいよいよ実車試験だ。試験官が助手席に座り一般道路を走行する。試験官とフランス語で会話できれば多少運転技術が劣っていてもおまけしてくれる。フランス語の威光だ。実地にも合格し免許証を手にすることができた [図-9]。カナダでは免許証を2年毎に更新する。期限直前に通知がきて所定の金額を払えばよい。日本のように視力検査などではなく試験場に行くこともない。

某月某日、モントリオールから車でオンタリオ州のある町に出張した。カナダでは市内を一歩でると高速道路にほとんど車はいない。制限速度100km/hを30～40キロ超えて気持ちよく走行できる。反対車線に警察のパトロールカー。一瞬スピードを緩めたが、すれ違い直後またアクセルを踏み込んだ。ところがパ

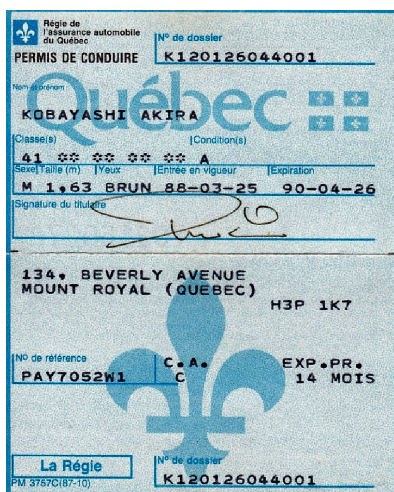


図-9 ケベック州政府発行運転免許証

トカーは突然Uターンしサイレンを鳴らし筆者を追ってきた。一時停止を命じられスピード違反の切符を切られる羽目になった。車はサテライトで監視されている。

捕まった筆者は警官に求められケベック州政府発行の免許証を提示した。しかし、これは免許証ではないという。「何をいうか。ケベック州発給の正真正銘の免許証でカナダ国内どこでも通用する。ノヴァ・スコシア州やニュー・ブランズウィック州でもまったく問題なかった」と反論。ようやく納得した。要するに免許証の形式は各州独自に定めていてカナダ国内で統一されていないので、オンタリオ州の警察官はケベック州の免許証を知らなかったのだ。

また、カナダでは違反すると持ち点12点からその軽重に応じて減点される。零点になると免許停止だ。何度も違反を繰返し持ち点が少なくなると警告書が送られてくる。スピード違反常習の筆者もこの警告書を受取った。警告書を車内に貼りつけて自戒したものだ。

・ナイアガラ瀑布

モントリオール事務所の大きな柱の一つが日本製トラクターの輸入販売。中心街の本事務所とは別にトラクター専用事務所を町はずれの工業団地内に有していた。ケベック州、オンタリオ州、ニュー・ブランズウィック州、ノヴァ・スコシア州に販売網を敷き代理店を設定。顧客への小売はこれら代理店が担当する。代理店の一つがナイアガラの町にあった。瀑布から車で小1時間のところだ。モントリオールから4～5ヶ月毎にこの代理店を訪問した。行き帰りにはナイアガラ瀑布に面する道路を走る。瀑布は米加に跨っているが、滝壺はカナダ側にある。何度滝壺を横目に見たことだろう [図-10]。

ナイアガラといえばマリリン＝モンロー主



図-10 ナイアガラ瀑布

左：カナダ 1935 年発行 右：アメリカ 2012 年発行シール切手



図-11 マリリン＝モンロー と宿泊しているローズ (アメリカ 1995 年発行)

ズ (マリリン＝モンロー) は夫が精神を患っているように装い、愛人パトリック (リチャード＝アラン) と共謀して夫を自殺に見せかけ殺害しようとする。ところがジョージは自分を殺そうとしたパトリックを逆に殺してしまう。ローズの企みに気付いていたジョージはローズを追い詰めて絞殺し、逃げ隠れた船でそのまま滝壺に落ちていく。モンローは劇中で「モンロー・ウォーク」を披露して話題を呼んだ。

最近、ナイアガラ瀑布を臨む欄干に腰を下ろした日本の女子大生が転倒して川に落ちそのまま滝壺に落下、死亡した事故があった。川の流れはほぼ道路と同じ高さで豊富な水量をゆっくりと運んでいる。が、数十メートル下流で突然川は消え馬蹄形の断崖絶壁から滝壺に向かって水飛沫を揚げながら一挙に崩落する。落差は50メートル強。川面が横の道路と同じ高さなので欄干に腰を下しても恐怖を感じないところに落とし穴がある。

・あれこれ

モントリオールはケベック州最大の都市で、トロントに次ぐカナダ第2の都市でもある。モントリオール都市圏の7割がフランス語（ケベック語）を母国語とし、パリに次ぐ世界第2の仏語圏だ。日本でも公演するエンターテインメント・カンパニー、平たく言えばサーカス軍団、シルク・ド・ソレイユ Cirque du Soleil の拠点でもある。

モントリオールは1641年ポール＝ド＝ショメディ＝メゾンヌーヴにより建設され翌年からフランス人の入植が始まった。毛皮取引の中心地となり [図-12]、フランス人探検家の拠点としても繁栄した。現在もその名残で市内に毛皮商が多い。



図-12 毛皮乾燥 (1950 年発行)

以下余談。事務所の秘書の亭主が毛皮店の支配人だった。市価よりかなり安く毛皮や皮革コート

などを仕立ててくれる。ある日、新宿の馴染みのバーの若いママと店の子が訪ねてきた。ミンクのコートを買いたいという。秘書の旦那を紹介し彼女達は思い思いのコートを特別価格で手に入れて満足げ。市内を案内したり夕食に招待したり。翌日、彼女達は日帰りでナイアガラを見物してモントリオールに戻ってきた。空港で見送ってからすでに20数年。彼女達のその後の消息を知らない。

モントリオール Montreal は、市内中央部にある標高233メートルの小山、モン・ロワイヤル Mont Royal (王の山) が語源といわれている。山の東側は賑やかな市街地で西側は閑静な住宅地となっている。毎日、西側から東側にこの山を越えて出勤した。カナダ太平洋鉄道やカナディアン航空などカナダの主要企業の本社はモントリオールに置かれていたが、近年その

多くはトロントに移ってしまった。なお、日本でよく事故を起こす航空機の製造会社ボンバルディアの本社はモントリオールから車で1時間ほど東のサン・ヒヤサントにあり何度か訪問した。

ある日、帰宅すると室内が荒らされてテレビやコートなど一切合財なくなっていた。小箱に貯めておいたコインも総ざらいされた。空巢に入られたのだ。警官を呼んで室内を入念に調べてもらった。半年後、警察から連絡があり犯人を逮捕したという。所轄署に行くと盗まれたテレビやコートがあり返却された。大多数の移民の生活は苦しく盗難事件は後を絶たない。

モントリオール世界映画祭も有名だ。筆者が滞在中に日本から伊丹十三の「マルサの女」が出品され市内の映画館でも上映された。老人が女性の乳首を吸っている冒頭のシーンが評判だった。

・和食処

全米女子ゴルフのメジャーの一つ、ド・モリアックがモントリオール近郊のコースで開催された。岡本綾子がアメリカを拠点にツアーに参戦していた時代でモントリオールにやって来た。週末にギャラリーとして彼女について廻った。岡本の組を追いかけるギャラリーはほんの4～5人。彼女の調子はいまひとつでテレビ・カメラも近づいてこなかった。岡本に師事する橋本愛子がわざわざ日本からやって来て岡本の一挙一動を真剣に目に焼き付けている姿が印象的だった。

モントリオール中心街にサントリーが経営する日本レストランがあった。トーナメント最終日夕刻、友人を誘いこのレストランに行った。すでに岡本綾子が日米の親しい選手を引き連れて一画を陣取っていた。彼女達はよく食べよく飲みよく喋る。橋本愛子の顔も見えた。時計の針が夜9時を回った頃、われわれもビールでほろ酔い気分。岡本綾子のサインをもらおうとい

うことになった。しかし、色紙は勿論、紙を持ち合わせていない。店の箸袋を捻じ裏を利用するしかない。恐るおそる岡本に近づいてお世辞を言いながらサインを求めた。彼女は振り向きざまにじろりと一瞥しおもむろに箸袋に目を落としにこりともせず黙ってサインしてくれた。その箸袋はわが家のどこかにある。

歌手、加藤登紀子の父親は東京でロシア料理のレストランを経営していた。また、実兄は筆者と同じ旧財閥グループの製鉄会社に在職、当時ニューヨーク事務所勤務。筆者の会社の鉄鋼部長から父上がモントリオールに行くのでアテンドして欲しいと要請された。空港で出迎えホテルにチェックイン。一息ついたところで日本食レストランに行きたいという。サントリーに案内した。加藤登紀子のことなど雑談で盛り上がった。帰りがけに商売柄献立表が欲しいという。ホテルに送ると世話になったので東京に戻ったら自分のロシア料理レストランで一献差し上げたいと招待された。

在モントリオールの日本人は100名程度でトロントやヴァンクーバーに比べひじょうに少ない。したがって日本レストランもサントリー経営の高級店や女将と手伝いの女性の二人で切り盛りしている大衆食堂「大阪」など数軒しかなかった。筆者は単身赴任で「大阪」に入り浸っていた。献立表にない料理も造ってくれる。女将はどうしているだろう。

・ここだけの話

モントリオールは清潔な街と評判だ。しかし、夕刻6時を過ぎる頃から中心街をはずれた界限にお姫さまが出没する。ケベック電力会社 Hydro-Québec 本社ビルの近くだ。お姫さまに挨拶したいという出張者。アメリカと国境を接しているためエイズが怖い。くだんの場所までは案内するが後は自己責任で対応して欲しいと釘を刺す。それでも果敢に挑戦する猛者がいる。

モントリオールにはアメリカ・スタイルの

キャバレーが数軒ある。店内は若い踊り子で溢れている。彼女達はかわりばんこ中央の舞台で踊る。一糸も纏っていない。舞台上がっていない時は客が呼ぶと円形の台をもって席にやって来る。1曲5ドル。夜が更けるにつれ5ドル札の需要はますます多くなる。全裸になり台の上で3分程度悩殺的な踊りを披露してくれる。ある夜、出張してきた某社役員を案内した。お気に入りの子を指名して裸踊りを満喫。役員が自分の方だけ向いて踊ってくれと彼女の尻に手を掛けた。とたんに彼女は激怒。手を触れてはいけないのだ。これが過ぎると屈強な男が出てきて客は外に摘み出される。黒服を着た用心棒だ。

カナダはポルノ解禁だ。大人の玩具店が軒を連ねる。その手のビデオも豊富だ。当初新品を購入していたが、半額以下の中古品があるのを知ってもっぱらこれに注力した。帰任する頃にはかなりの数になった。帰国直前に家内が引越荷物の整理にやってきた。女房に見つかりビデオは遺棄すると言ったところ、「あなた、折角だから持って帰りましょう」と成田税関で捕まらないように衣類や食器の間に隠して梱包までしてくれた。できた女房というべきか。お陰で成田では咎められず無事持ち込めた。自宅で夫婦そろってこのビデオを観賞・・・することはなかった。本当。長い間ほったらかしていたらテープが劣化。結局ごみとして廃棄した。

・アドミラル・イシュと郵趣雑話

モントリオールに赴任するまではフランスのクラシック切手とフランス横浜局のカバーを収集していてカナダ切手とは無縁だった。歴史的・語学的にフランスと結びつきの強いモントリオールでは日本よりもフランス切手の在庫が豊富で容易に入手できるだろうと期待していた。いざ来てみると、むしろ日本の方がフランス切手は多く期待を裏切られた。フランス切手は相変わらずパリの切手商から取り寄せざるを得な

かった。他方、折角モントリオールにいるからにはカナダ切手をサイド・コレクションにしようと思った。しかし何を如何に集めるか。6ヵ月ほど各種郵趣文献を読み漁り財政的に手に負えそうで、かつヴァラエティの多いアドミラル・イシュに的を絞ることにした。因みに筆者は狭く深くが性に合っている。しかし収集が進むにつれてひじょうに難しいシリーズであることを思い知らされた。資金的かつ希少性の問題だ。以来、今日までマダガスカルに赴任した期間を除き20年間継続的に収集の拡充に努めている。

アドミラルのタイプ分類を含む研究は マーラー George C. Marler によって確立されたと言って過言ではない。同氏の研究書を何回も熟読した [図-13]。しかし、氏のタイプ分類はひ

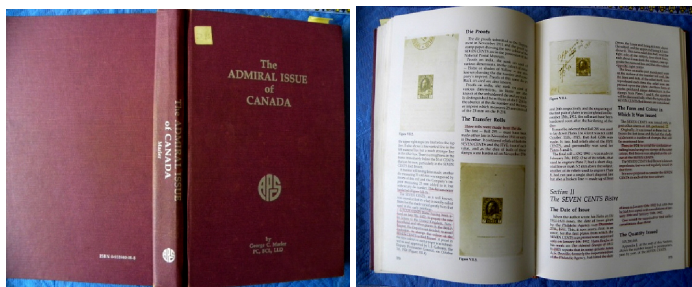


図-13 マーラー著「アドミラル研究書」
左：表紙、 右：本文

じょうに難解で往生した。図示することなく文章で説明されているからだ。したがって自ら図示することに挑戦すべく各額面合わせ約2万枚を入手し、週末に25倍の顕微鏡（ルーペではない）で隅々まで観察。特に冬場は道路は冠雪し気温は氷点下15度にもなるので外出する気も起こらず、ひたすら暖房のきいた所長公館で顕微鏡を覗き続けた [図-14]。現在まで筆者以外でアドミラル全額面のタイプを図示した収集家を知らない。

モントリオール市内には大小合わせて切手店約10軒が点在している。当初は全店に足を運んでいたが、アドミラルに的を絞ってからは高級品の在庫が多い中心街の一点に集中した。その後、カナダ切手専門でもっとも信頼のおける

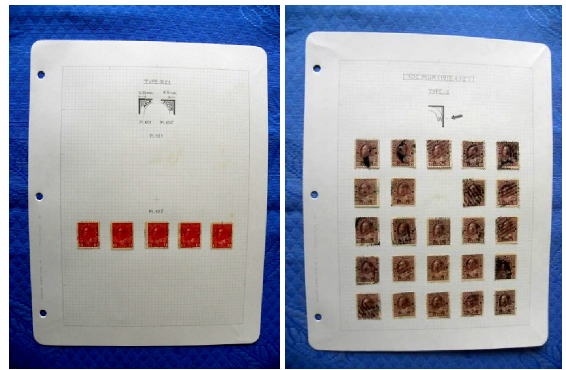


図-14 各額面タイプ図示
左：3c 紅 Type-R 21、 右：10c 茶 Type-1

世界最大の切手商はサスカチュワンにあることを知り、1988年以来今日まで同店のみと付き合いを続けている。彼等はわが収集品の詳細を記録し熟知しているので、所有しないアドミラルを入手すると真っ先に紹介してくれる。

アドミラル・イシュでもっとも難しいのは1セント黄橙、2セント緑、3セント紅それぞれががテート・ベシュになっている切手帳だ [図-15]。現存各7組。2011年横浜での国際切手展開催直前にサスカチュワンの切手商からオファーが来た。1986年にアドミラルに取り組んで以来待ちに待った千載一遇のチャンス。

500万円12か月の延払い。破格の申し出だ。1週間ほど熟慮の末の結論、残念ながら



図-15 アドミラル・テートベシュ切手帳
左：1c 黄橙、 中：2c 緑、 右：3c 紅

筆者の財力では無理。断腸の思いで断りのメールを入れた。目玉がないまま2011年8月の日本国際切手展に5フレーム（80リーフ）で出品し大金銀賞、2013年5月のメルボルン国際切手展では8フレーム（128リーフ）でやはり大金銀賞だった。

モントリオールの各切手店を廻っていた初期の頃、日本人とよく鉢合わせした。当時は何者か知らなかった。後日、カナダで日本切手を仕入れJAP EXの時など一時帰国してブースで販売しているモントリオール在住の切手商であることが分かった。やがてカナダを去り、現在は目白の「切手の博物館」内に常設店を開いている。

筆者は小学生の頃から洋の東西を問わず郵便・郵趣関係文献の入手に努めている。日本関係約3000冊（定期刊行誌を除く）、フランス関係400冊、カナダ関係200冊、その他100冊を有している。アドミラル関係も20冊ほどある。書棚は満杯で大部分は段ボールに箱詰めされ書庫に山積みされている。足の踏み場もない[図-16]。それでも足らず別室を侵略しつつある。このままでは「床が抜けるのでは、大地震に見舞われたら、失火したら」と危惧しながら現在も雑誌を除き年に30冊ほどが増え続けている。

日本でもモンゴメリー L.M.Montgomery の長編小説「赤毛のアン」Anne of Green Gables (英)、Anne, la Maison aux Pignons Verts (仏)



図-16 文献で溢れる書庫。別室にも文献
収納済段ボールが山積

は有名。特に村岡花子訳がだ。プリンス・エドワード島出身のモンゴメリーが同島を舞台に1908年に書き上げた。その切手がカナダと日本で2008年に刊行100年を記念して共同発行された。日本切手の印刷はフランスの

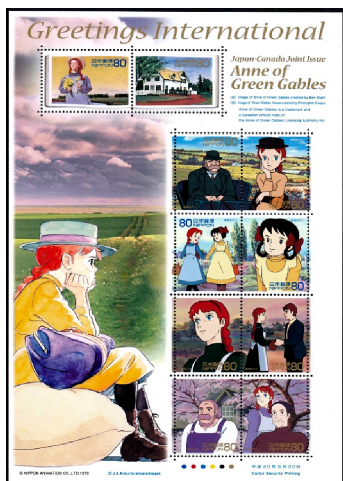


図-17 赤毛のアン
(日本 2008 年発行) 上部2枚
はカナダ発行切手と同一図案

カルトール社 Cartor Security Printing S.A.S. に発注された。シート10枚構成で、上方2枚がカナダ発行の切手と同図案で下方8枚の切手とは離れて配置されている[図-17]。

おわりに

モントリオールから帰国してすでに20数年の歳月が流れた。モントリオールの街並はすっかり変わっているに違いない。

カナダのフランス語はケベック語で、「フランス語でないフランス語」だ。他方、カナダの英語は正に英語であって米語でもカナダ英語でもない。

国土に比して人口がきわめて少ないカナダは国を維持するため移民を積極的に受け入れている。多民族国家だ。かつてはアイルランド、イタリア、ギリシャなどヨーロッパ系が多かったが、近年はアジア、特に中国系の増加が際立っている。言葉の問題から企業はトロントに拠点を移し、大多数の移民はケベック州での定住を避けブリテッシュ・コロンビア州やオンタリオ州に生活基盤を求めている。凋落するケベック。しかし、我が愛するケベック。滞在時の体験を通してケベック州モントリオールの一端でも垣間見ていただけたら望外の幸せ。 [完]

2013 年日本切手発行状況

2013 年、わが国の切手発行はとうとう、ついに、ここまで来たかという感である。発行件数 51、発行種類数 432、購入必要金額 31886 円と、種類数が 400 を超え、購入金額が 3 万円を超え、カリブ海の国々の仲間入りは勿論、その先頭を走っているのではないかと危惧される状況である。

2013 年発行の基本的な数的状況をまとめたのが表 1 である。発行件数はふるさと切手が最も乱発された 2001 年に次いで 51 件と多くなっており、種類数は最多の 432 種類と昨年より一挙に 42 種類も多く発行されている。金

表 1 2013 年切手発行状況

	発行状況		金額別種類数			発行内容・分類					
						グリーティング切手		シリーズ切手		その他の切手	
	発行件数	発行種類数	50 円	80 円	その他	発行件数	発行種類数	発行件数	発行種類数	発行件数	発行種類数
ふるさと	18	116	30	86				16	106	2	10
特殊切手	32	307	60	248	4	8	130	16	140	8	42
年賀切手	1	4	1	1	2					1	4
総計	51	432	91	335	6	8	130	32	246	11	56

額別は 50 円切手 20%、80 円切手 80% で変化は見られない。2013 年で一番気になるのはシリーズ切手の増加である。発行件数、種類数とも 50% 以上になっている。年賀切手、記念切手、切手趣味週間、国際文通週間切手等をその他としてその割合をグラフにしたのが図 1, 2

であり、切手発行内容の偏りとともに、問題を感じさせる。シリーズ切手は 12 月末現在で 16 種類も発行されている。これに世界遺産シリーズ(日本)が待機しているので 17 種類のシリーズが発行を待っていることになる。各シリーズが年に 1 回だけの発行であれば 246 種という数にはならないが、年 1 回七夕にみられるものと思われた星座までが 12 月の寒空にみられるようになってしまったのは仕方がないであろう。ふるさと切手のシリーズ切手の年間発行回数の多いのが目立つ。地方自治法施行 60 周年記念シリーズは 8 回、季節の花シリーズ 4 回も発行されている。

対して、グリーティング切手は発行回数は 8 回と四季に 2 回の発行に留まっているが、1 回の発行種類が 10 種以上と季節毎に 25 種以上発行されている。また、グリーティング切手の大部分がシール切手であり、シート単位での販売であることを考慮すると気軽に手紙に貼れる

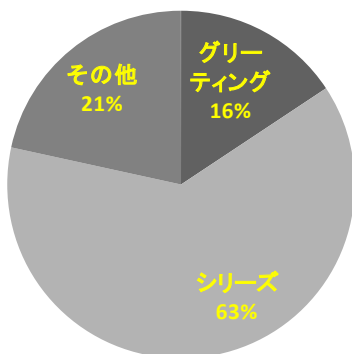


図 1 内容別発行件数割合

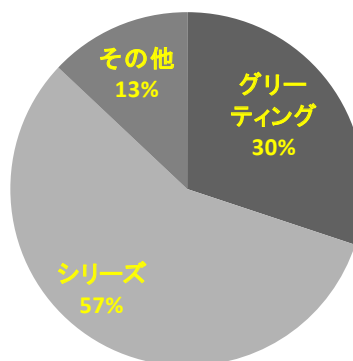


図 2 内容別発行種類数割合

ふみの日の切手、干支切手は発行目的、内容からグリーティング切手と分類した。毎年発行の切手趣味、国際文通、年賀切手と記念切手(国体、国土緑化、救急業務 50 周年、消防団 120 年、野口英世賞、更生保護 50 周年、スペイン交流 400 周年、日本ケニア 50 周年)を加えてその他と分類した。

切手ではなく、無駄に引出しに隠れてしまうことを期待されている感じがする。グリーティング切手もシリーズ切手と同じく郵便事業の赤字軽減のために発行されていくことを危惧する。気軽に希望の1種1枚を求めてグリーティングカードに貼れるグリーティング切手が発行されることを期待したい。なお、シール切手は135種発行されたが、そのうちの105種がグリーティング切手であった。

その他に分類した切手を整理したのが表2である。11件発行されているものを整理すると、他の年と同じく発行される定期発行とでもいべきものが5件(国土緑化、国体、国際文通、趣味週間、年賀)で、2013年だけ、独自のものは6件だけであった。このうち野口英世アフリカ賞は今後シリーズ的な発行になるであろうかと考えると、我々の世代の考える記念切手はわずか5件28種類の発行、10%に満たない発行である。その

発行目的、内容、種類数もなんとなく解せないものである。

今後、記念切手という言葉が聞かれることが少なくなるのであろうか、さびしい限りである。ユ

ネスコ世界記憶遺産、山本作兵衛氏の炭坑の記録画など素晴らしい切手になると考えるし、過

表2 グリーティング切手、シリーズ切手以外の切手

名 称	発行目的	種数	種類	備考
2013年国土緑化 植樹祭記念		10	ふるさと	毎年発行 記念?
第68回国民体育大会記念		5	ふるさと	毎年発行 記念
2013年国際文通週間		4	特殊切手	毎年発行 啓蒙宣伝
2013年切手趣味週間		10	年賀切手	毎年発行 啓蒙宣伝
平成26年用年賀		4	特殊切手	準グリーティング
第2回野口英世アフリカ賞		2	特殊切手	2年連続して発行
日ケニア外交関係樹立50周年		10	特殊切手	
日本スペイン交流400周年		10	特殊切手	
救急業務法制化50周年		2	特殊切手	
消防団120年		2	特殊切手	
更生保護女性連盟50周年		2	特殊切手	

去にいくつか発行されてきた国際年にちなむ切手の発行なども考慮したらどうであろう。例えば、最近4、5年をみると国際森林年、世界化学年、アフリカ系の人々のための国際年、世界獣医年、国際協同組合年、すべての人のための持続可能エネルギーの国際年等があり、2013年は国際水協力年、国際キヌア年であった。他国では発行されており、それを考えるともっと視野を広げて特殊切手の役割、使命を考えて発行してほしい。

次に、印刷方式は例年と変わりなく、表3のようにオフセット、グラビアで約半数ずつ印刷されており、今年も凹版印刷はみられなかった。

表3 印刷方式別発行件数、発行種類

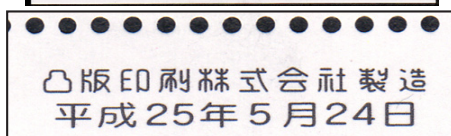
	オフセット		グラビア		グラビア + 凸版		総計	
	件数	種類	件数	種類	件数	種類	件数	種類
総計	28	262	22	168	1	2	51	432

表4 印刷方式別発行件数、発行種類

	Cartor Security Printing		国立印刷局		凸版印刷		総計	
	件数	種類	件数	種類	件数	種類	件数	種類
オフセット	13	112			15	150	18	262
グラビア			19	138	3	30	32	166
グラビア + 凸版			1	2			1	2
総計	13	112	20	140	18	180	51	432

印刷方式に変わりはなかったが印刷機関に大きな変化がみられた。表4に示す如く2009年から印刷種類数一番を占めてきたフランス

Cartor社が凸版印刷社に次いで2番目になったことである。時期的に為替相場の影響とは考えにくい、とにかく国産切手が盛り返しを見せている。更に、凸版印刷社の印刷方式に注目するものがみられた。それはグラビア目打切手の印刷である。2013年国土緑化植樹祭記念切手10種である。2009年から、ふるさ



凸版印刷社のグラビア目打ち切手 植樹祭



凸版印刷社のオフセット目打ち切手 世界遺産と切手のオフセット印刷目打切手、グラビア印刷シール切手は印刷していた凸版印刷社であったが、今年はこのグラビア目打ち切手に加えて、オフセット目打ち切手のシリーズ切手、記念切手を初めて印刷していることも注目された。

その中で12月に発行される記念切手の下記の切手表記に目がとまった。「日ケニア外交関係樹立」の表記である。なぜ、「日本ケニア」

日ケニア外交関係樹立 50 周年切手シート上半部分（凸版印刷株式会社）



表5 外交、国交関係等に関する切手の表記

切手上の発行内容表記	表記の異なり			
	自国表記	外国表記	周年記念	特記
日印交流年	日	漢字		
日韓国交正常化 20 年記念	日	漢字	周年無	
日韓国交正常化 30 周年記念	日	漢字	表記	
日豪交流年	日	漢字		
日中国交 10 年記念	日	漢字	周年無	
日中国交正常化 20 年記念	日	漢字	周年無	
日中国交正常化 30 周年記念	日	漢字	表記	
日中平和友好条約締結 10 周年記念	日	漢字	表記	締結
日中平和友好条約 30 周年記念	日	漢字	表記	
日独交流 150 周年	日	漢字	記念無	
日米安全保障条約改定 50 周年	日	漢字	記念無	改定
日米交流 150 周年記念	日	漢字	表記	
日米修好通商百年	日	漢字	無	
日墨修好通商条約署名 100 周年記念	日	漢字	表記	署名
日蘭交流 400 周年記念	日	漢字	表記	
日ケニア外交関係樹立 50 周年	日	カナ	記念無	樹立
日タイ修好宣言調印 100 年記念	日	カナ	周年無	宣言調印
日本アルゼンチン修好 100 周年記念	日本	カナ	表記	
日本オーストリア交流年	日本	カナ		
日本スペイン交流 400 周年	日本	カナ	記念無	
日本チリ修好 100 周年記念	日本	カナ	表記	
日本ハンガリー交流年	日本	カナ		
日本ブラジル交流年	日本	カナ		
日本ブラジル修好 100 周年記念	日本	カナ	表記	
日本・インド国交樹立 50 周年記念	日本・	カナ	表記	樹立
日本・ギリシャ修好 100 周年記念	日本・	カナ	表記	
日本・スリランカ国交樹立 50 周年記念	日本・	カナ	表記	
日本・トルコ修好 100 周年記念	日本・	カナ	表記	
日本・パキスタン国交 50 周年記念	日本・	カナ	表記	
日本・バングラデシュ国交樹立 30 周年記念	日本・	カナ	表記	樹立

と表記されないのか疑問を持った。そこで外交に関連する事項等を記念する切手の表記内容を整理してみたのが表5である。約25カ国が対象となっていたが意外な国、イギリス、ドイツ、イタリアといった国との外交関連の切手が発行されていないことに気がついた。主要国でないからというわけではないが、なんでと思わざる得ない国も25の国の中にはあり、国策が反映

しているのであろう。

発行内容表記についてみると、関東郵連 81 号で西村会員が指摘した切手名自体の疑問点以外に、国の表現が「日」、「日本」、「日・」の三表現、相手国は漢字、カタカナ表現と非常に表現が大変豊かに出来ることが判った。「日」表示は相手国は漢字表示がほとんどであるのに、今回のケニアはどういう理由か"タイ"に次いでカタカナで表示、「日本」表示にはすべてカタカナ表示がされている。なぜ、"日本ケニア"としなかったのか、どうも外務省表現が縛っている様である。外務省の HP からの印象であるが、それが"日墨"という、切手以外で目にしたら、わが会員でも即、国を答えられる方は少ない表現にも影響しているのであろうか。時初めて風景だけのデザインで発行された 2 種の国体切手



スカイツリー、小笠原諸島の自然を PR する効果は抜群だが？タブを切り離したらとても国体切手に分類するのは難しい、いわんや、競技種目を連想は出来ない。



国際文通初の 70 円切手 白須賀 現 静岡県湖西市
今年で 35 宿に泊まり 残りは 18 宿

間が許せば詳しく調べてみたい事項である。更に、周年記念の表現はなんらかのきまりがあるようにはとても思えないのである。

最後に、気になった事項をいくつか触れたい。国民体育大会切手のデザインに新たに風景だけの切手が加わった。各種競技、競技場、マスコットに新たに開催地の風景が加わった。スポーツ切手として分類に苦慮してしまいそうである。

また、15 年ぶりに 70 円切手が発行された。しかも、国際文通週間切手を 3 種から 4 種に増やしての発行である。はがき航空便料金、今後も発行が続けられるのであろうか。

最後に、写真のカット、トリミングの作品になってしまったかと思われる切手に独自の味わいを求めるのは夢であろうか。

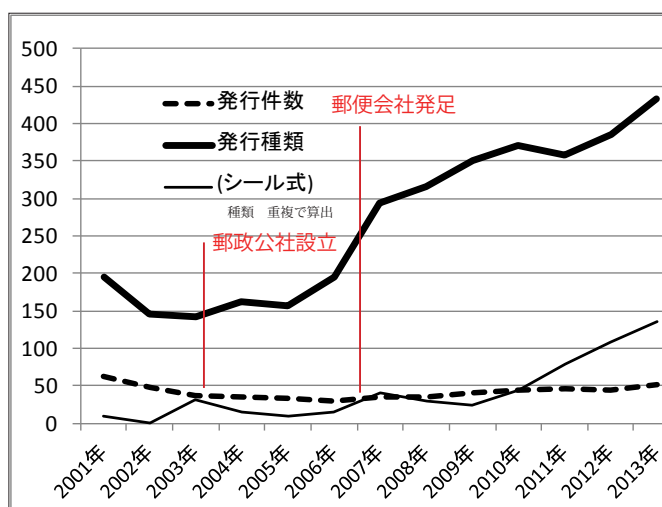
例年、年賀状に忙しく切手の発行が少ない 12 月に 5 件、35 種類も切手が発行された 2013 年、気に入った切手だけを求める姿勢がますます必要になってきた。消費税増税が郵便料金に上乗せされる 2014 年、新たな普通切手の発行、もしや、金額表示が消え、諸外国のように郵便物分類表示切手の出現があるか。この辺で切手発行の推移を整理してふり返っておくことも必要であろうかと、次ページから過去 13 年の切手の発行をグラフに整理してみました。今後の切手収集の参考になれば幸いである。

参考文献

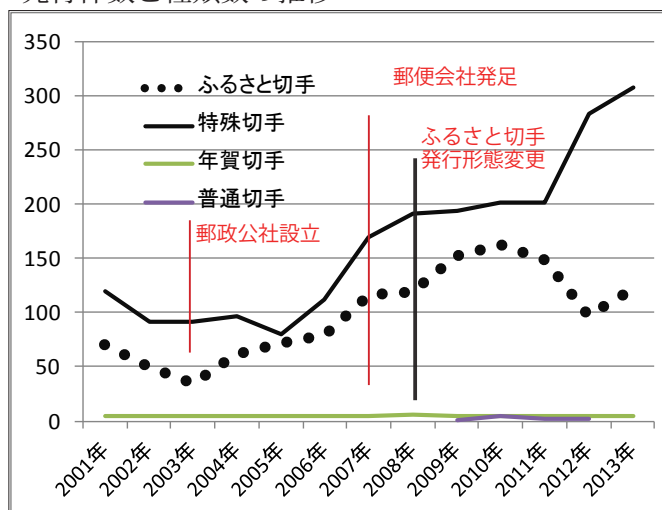
西村壽一郎 不可解な「切手名」のつけかた

関東郵連 81 号 2013.4.20

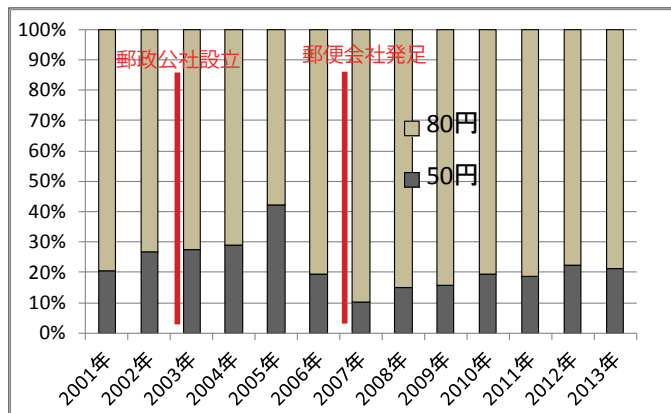
2001 年からの切手発行の推移



発行件数と種類数の推移



切手分類別発行種類数推移



50、80 円切手別特殊切手種類数割合

発行件数はあまり増加はないのに発行種類数は公社、郵便会社と民営化が進行するに従って著しく増加しており、1 件当たりの発行種類数が 2001 年は 3.1 種類だったのが徐々に 6.5 に増加し 2007 年郵便会社になってから 8 種類を超えて確実に多くなっていることがわかる。

2010 年以降のシール切手の増加が目立つがグリーティング切手にとどまらずシリーズ切手にも多く発行されてきていることを示している。2003 年突出は郵便公社設立時に発行された動物キャラクター 12 種の普通切手発行のためである。今後、シール切手の発行は増えることは使用の利便性ということからは望ましいことであるので、バラ売りのシール切手の発行に郵便会社が踏み切れるかどうか、シール切手への評価を左右するポイントになってくるであろう。

2008 年以降郵便会社が一括企画発行するようになってそれまでの乱れ咲きのようなであったふるさと切手は少なくなった印象



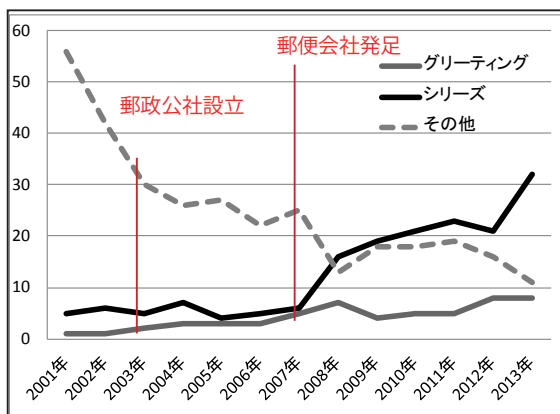
1995 年
最初のシール切手



2003 年
郵便公社設立時発行
シール普通切手

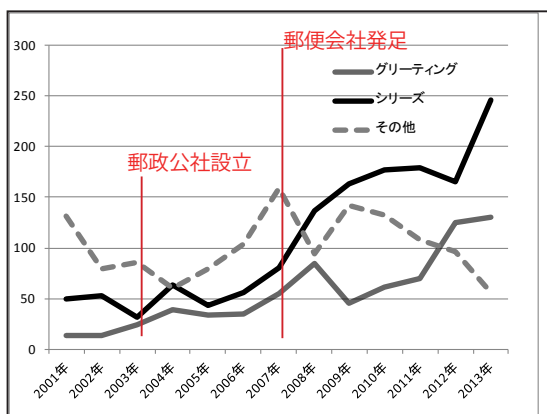
をもつが実はそうでもないことがうかがえる。2008 年までのふるさと切手 934 種を整理してみるとなんと花を扱った切手が約 370 種もあり、それに加えて四国八十八ヶ所の文化遺産切手 90 種も加わってふるさと切手のイメージを悪くしていることが考えられた。これらの切手をのぞいて切手を並べてみると各地方の文化遺産、郷土芸能、建造物など特殊切手では取り上げられないものが多くみられ、ふるさと切手の意味を感じさせるものがある。この点を踏まえてシリーズ切手だけになってしまったような現在のふるさと切手を再考してみる必要もあろう。

額面別の割合も郵便会社発足以降変化が見られるようである。50 円切手の割合が低くなってきている。利用者のニーズによってであればよいが、絵手紙愛好者の声からそうとは思えない。2005 年の 50 円切手の突出はふるさと切手に 50 円花切手が通常は半分程度発行されるのが 60% も咲き乱れたことによる。



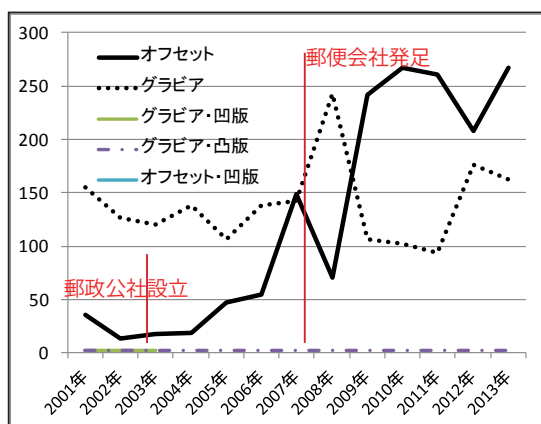
切手発行内容別にみた発行件数

発行内容は大きな変化がみられる。件数でシリーズ切手、種類数でグリーティング切手の増加が著しい。この数的な問題もさることながら、質的面により問題があるのではと考える。切手に描かれた内容である。グリーティング切手の大半が児童向けのキャラクターが描かれていること、シリーズ切手に海外の事項、動物が組まれたことである。



切手発行内容別発行種類数

グリーティング切手の目的は季節に合った切手、手紙内容にあった切手、相手に相応しい切手等を使用できるようにするということであろう。現実には程遠い切手になってはいないか。また、もっと切手に描かれるべき日本文化、自然を検討したシリーズを考えてほしいものである。

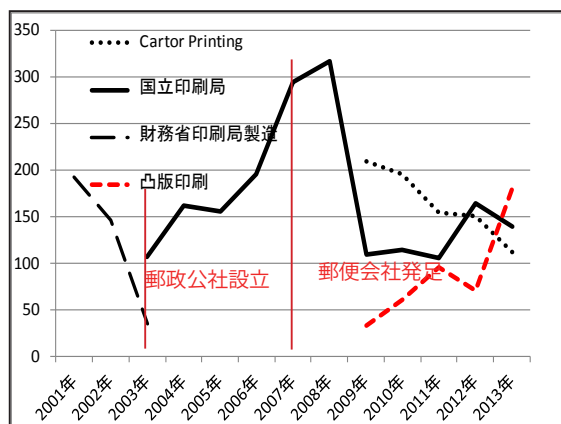


印刷方式別にみた発行種類数

印刷はオフセット、グラビアが大半で徐々にオフセットが主流になっていくことがうかがえる。また凹版は前の2つの印刷を補足に使用されてるにすぎなかったが、せめて年に数種は使用される

表 2013年現在発行中シリーズ切手一覧

通 称	2013年発行
アニメ・ヒーローヒロインシリーズ	第20集
旅の風景シリーズ*	第18集
ふるさとの祭*	第10集
季節の花シリーズ*	第8集
星座シリーズ	第4集
伝統的工芸品シリーズ	第3集
日本の山岳シリーズ	第3集
自然との共生シリーズ	第3集



印刷機関別にみた発行種類数

ことを期待したい。印刷機関は郵便会社設立が民間会社で印刷される引き金になっていることは明らかである。今後、2社以外で印刷されるか注目したい。下記に、現在発行シリーズ切手と今年の発行状況を一覧に整理した。(編集子)

通 称	2013年発行
浮世絵シリーズ	第2集
日本の城シリーズ	第1集
季節のおもいでシリーズ	第1集
鉄道シリーズ	第1集
ほっとする動物シリーズ	第1集
海外の世界遺産シリーズ	第1集
野菜とくだものシリーズ	第1集
地方自治法施行60周年記念シリーズ*	32県目発行

* ふるさと切手

Thailand 2013 参観記

和田 文明

はじめに

5月のオーストラリア・メルボルンで開催された国際切手展に引き続いて、8月2日から8日まで7日間タイ・バンコックで開催されたFIP国際切手展“Thailand 2013”を仕事の取材を兼ねて参観して来ました。タイは今回で3回目、切手展への出品と参観は、2007年のバンコックアジア国際切手展以来二度目です。

当初、学年で1年先輩の震災切手収集家の鎌倉氏と一緒に参観を予定していましたが、急用が生じ、適いませんでした。氏とは切手展のみならず、ラプラタ川ディナークルーズやシャムニラミット観劇、アユタヤ遺跡観光も予定していただけに残念でした。8月6日に、切手展会場で、2年先輩の小判切手収集家の稲葉先輩御夫婦にお会いしました。

Thailand 2013

今回の国際切手展はタイで切手発行130年を祝う記念展で、タイ郵政の全面的なバックアップが行われています。タイの近代郵便制度は、1858年に英国領事館が郵便局を設け、タイとシンガポール、インド、イギリス間で手紙の遣り取りをはじめましたが、タイの国としての郵便制度を初めて導入したのは23年後の1881年で、更にラーマ5世の肖像をデザインした5種類の最初の切手が発行されたのは2年後の1883年です。

国際切手展は8月2日から8日までですが、9日から14日まで会場スペースを3分の1に減らして、各種イベントや切手などのブースが引き続き行われていました。会場は、2007年のバンコックアジア国際切手展と同じく、市内中心部にあるサイアムパラゴン(写真1)という巨大な高級ショッピングモールの5階にあ



(写真1) 会場のサイアムパラゴン フィシカルホテルのデュシュタニホテルから2駅と大変便利で、モール内に沢山のレストランやコーヒESHOPがあり休憩や食事も楽でした。

会場の広さは前回のアジア展の2倍以上で、コレクションの展示場、切手商などブースコーナー、イベント会場の三つのエリアに分けられていました。航空郵趣と宇宙郵趣の展示は、なぜか会場奥の薄暗い別室に展示されていました。また、文献コーナーは当初設けられておらず、会期僅か2日を残す8月7日になって、航空郵趣と宇宙郵趣の展示が行われていた会場奥の薄暗い別室に文献の展示コーナーが漸く設置されました。こうしたちぐはぐな運営もありましたが、切手展カタログや受賞者目録は希望者に無料で配布されるなど参観者にとってうれしいサービスも行われていました。

セレモニー

これまで国内外で開催された多くの国際切



(写真2) オープンセレモニー

手展を参観して来ましたが、オープンセレモニーを見物することができたのは、2001年



(写真3) Korea2014



(写真4) Singapore2015

に東京のお台場のビッグサイトで開催された“PhilaNippon 2001”と今回の“Thailand2013”の二つのみです。“PhilaNippon 2001”の開催セレモニーは朝の10時の実際のオープンに合わせて開催されたのに対して、“Thailand2013”の開催セレモニー(写真2)はオープンから数時間を経た午後2時からでした。

会期中の8月3日に、来年8月に開催予定の“Korea2014”(写真3)のパーティが開催された他、8月7日に会場となりのパラゴンシネマコンプレックスで、2015年8月に開催予定されている“Singaopre2015”(写真4)のパーティも開催されました。今回のThailand 2013も2012年6月にジャカルタで開催された国際切手展Indonesia2016で盛大なパーティを催し、私もこのパーティに参加させてもらうことができましたが、今回の二つのパーティには残念ながら参加することは適わず、会場での見学に止まりました。なお、韓国切手ブースで“Korea2014”のブルテンをもらい、来年



(写真5) なつかしきポスト

の“Korea2014”への出品と参観の計画を練っております。

数百人が着席できるイベント会場や各種パビリオンが設けられ、趣向を凝らした各種イベントや展示が行われていまし

た。日本関係では、日本コーナーが設けられていた他、会場に展示されていた数十の世界の郵便ポストの中に日本のポスト(写真5)があった他、韓国や中国などに交じって、着物を着た女性や明治初期の郵便配達人の衣装を着た男性が今回のイベントのマスコットキャラクターのキンナリーなどと一緒に会場を廻っていました。

パルマレスナイト

8月6日に“Thailand 2013”の受賞パーティ“パルマレスナイト”がタイ郵政のグランドポスタルビルディングで開催されました。一般に“パルマレスナイト”はオフィシャルホテルの宴会場を貸し切って行われることが多いのですが、今回はバンコック中央郵便局に隣接するグランドポスタルビルディングのオープンのお披露目を兼ねて行われました。

参加者は、オフィシャルホテルのデュシュタニホテルに集合し、貸切バス5台で、パトカーの先導により会場に向かいましたが、パトカーの先導にもかかわらず、夕刻のラッシュアワーに巻き込まれて僅か数キロの移動に30分以上時間を要しました。“パルマレスナイト”はドレスコードが“ブラックタイ”もしくはそれぞれの民族衣装による正装となっていますので、前回と同様にタイの正装であるジャケットを着用して臨みました。

通常、“パルマレスナイト”におけるメダルの授与は金メダル以上の受賞者に対して行われるのですが、今回はパーティに参加しているメダル受賞者全員に対して、メダルの授与が行われました。私は、5月にオーストラリア・メルボルンで開催された“Australia2013”で大金銀賞(85点)を獲得し、8フレームの出品資格を得ている「米国書留郵便史1880~1910」を10リーフ程差し替えて、同じ5フレーム(80

ページ) 枠で再度チャレンジしましたが、残念ながら2点マイナスの金銀賞(83点)に止まりました。金銀賞でしたが、パーティ参加者全員へのメダル授与の恩恵を受けて、金銀賞にもかかわらず、(写真6)のように壇上でメダル授与の栄誉を受けました。



写真6) 左から3人目が、タイの民族衣装のジャケットを着た筆者

今回私と一緒に参観を予定されていた鎌倉氏は、2011年に横浜で開催された“PhilaNippon2011”で大金銀賞を獲得して5フレームから8フレーム枠に拡大する権利を得た「震災切手1923~24」を出品し、見事90点で金賞を獲得されました。おめでとうございます。参観できなかった同氏のために、金賞のリボンが付いた同氏のコレクションを写真(写



(写真7) 金賞のリボンが付いた鎌倉氏のコレクション

真7)におさめ、メールにて送信し、受賞を連絡しました。この他に、稲門フィラテリーのメンバーである稲葉氏の「旧小判切手1876~79」が、金賞(92点)を受賞されています。

ホーチミン郵便局

8月5日(月)に仕事の取材を兼ねて、LCC(格安航空)のエアーアジア航空(写真8)



を使って、ベトナムのホーチミン市(旧サイゴン)に日帰りで行って来ました。

(写真8) LCCのエアーアジア航空 聖マリア教会や旧大統領官邸、戦跡博物館などを見学して来ました。聖マリア教会近くには、フランス植民地下の1886年に建てられたコロニアル建築物の中央郵便局(写真9)がありました。この郵便局もホーチミン市の観光名所の一つで、アオザイを着た日本人女性グループなど多くの観光客が訪れていて、館内(写真10)には郵便窓口



(写真9) 絵葉書ホーチミン中央郵便局の外観

の他、絵葉書や人形などの土産もの売場が所狭しと並んでいました。日本のテレビで



(写真10) 中央郵便局内部

も紹介された、郵便局内でベトナム語の手紙を英語に翻訳してくれる翻訳サービス(非公認とおもわれます)を行っている老人も実際にいました。

推薦図書「キッテデカ」？！

磯野 昭彦

書名 キッテデカ (ビッグコミックス)

著者 寺沢大介、高橋遠州

発行所 小学館

発行日 2013年3月5日第1刷

総ページ数 204

本体価格 552円

(添付の表紙写真参照)

本書は小学館発行のコミック雑誌「ビッグコミック」2012年第6～22号、増刊号2011年11月～2012年8月号に掲載された作品集

●推薦理由1

6月切手教室のとき、坂下さんから「面白い本(マンガ)があるよ」と教えられ、翌日書店数軒をまわったが「品切れです」と。最後の書店に注文し、数日後やっと入手。あっという間に読んでしまった。とても面白かった。

●推薦理由2

10月稲門フィラテリー幹事会で「この本を知っている人は」と問うたところ、1名しか知らなかった。娘婿が小学館に勤めているという人も知らなかった。

●推薦理由3

われわれ中高年は、コミックなんぞ愛読しているのはあまりいないはず。愛読するのは若年層と思っている。その若年層が売り切れになるほど「キッテデカ」を買って読んでいるということは、若者間に切手マニアが増えてきているからだと思った。

本の中身をちょっとだけ紹介しよう。

○コンテンツを見ると8つストーリーがある。

・見返り美人 ・前島1円 ・ペニーブラック

・月に雁 ・イセエビ ・蒲原/夜の雪 ・存在しない絵葉書(竜文切手) ・ビードロを吹く娘

この本の裏表紙に8枚の切手が印刷されているが、これらの切手が8つの事件の主役になっている。

○8つのストーリーに共通するのは、主人公は警視庁特別捜査室所属の筋金入り切手マニアのステュアラカ刑事「前島郵雅(28)」と新人刑事「宮園密香(22)」。

事件の謎を解くのに、また犯人を追いつめるのに切手マニアだからこそ、思いがけない手がかりをつかめることができた、というもの。すなわち、切手への情熱が難事件解決に役立っているのである。

普段は仕事への情熱を感じられない気楽なこの刑事に上司の今田室長がなぜか期待をかけているのもおもしろい。

また前島は宮園と結婚して「前島ヒソカ」となることを夢見ている。

○1番目のストーリーは「見返り美人」。

見返り美人切手が貼られた一通の手紙が事件解決の鍵になっている。

「封筒に貼られた切手に押された消印日付」「切手発行日」「郵便料金改定日」から古美術や切手に詳しい者がいる連続窃盗団検挙のきっかけを得たという、だいぶ高いレベルの切手マニア刑事でないと事件解決できなかったとしている。

○2番目以降のストーリーについては読んでからのお楽しみにしよう。



捜査依頼
裏表紙のカラー印刷切手、斜線等なく郵便切手類
模造等取締法に触れずに出版されている事情を調べ
て下さい。
(編集子)

稲門フィラテリー切手教室

第101回 10月5日

オーストリア切手から考える 小川 義博

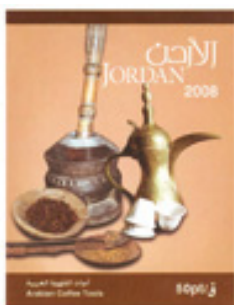
第102回 11月2日

切手で楽しむコーヒー 突々 啓行
(とつとつ・ひろゆき)

突々様が取材協力した全日本コーヒー協会のHPがあります。コーヒーに関係する切手がたくさん紹介されています。コーヒーを知り、よき香りが楽しめそうです。いくつかを紹介しておきます。



上 ハイチ 1928年
コーヒーの花と実
右 ヨルダン 2008年
アラビア風コーヒーの道具



パプアニューギニア
2010年 コーヒーの発芽



オーストリア 2011年
ウィーンの老舗「カフェ・ハヴェルカ」

全日本コーヒー協会のHP アドレス

<http://coffee.ajca.or.jp/webmagazine/wonderland/art/art70>

次回 切手教室予定

平成26年2月1日

郵便で迎えるバルト海の小国

リトアニア再独立の歩み 荒木寛隆

編集後記

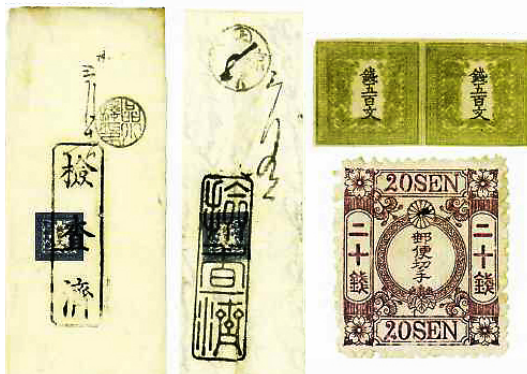
稲門フィラテリーが50号を迎えた。会員皆様の協力、援助でここまで続けられたと思います。切手教室が100回、常設展が25回、新宿北郵便局に集いの場、展示の場を援助いただいていることが大きな力です。ありがとうございます。また、作業の場を提供いただき、何かと心配りをいただいている英国海外郵趣の皆さまにも改めて感謝です。会の力は年々、弱くなるのは自然の流れ、継続は力 を肝に銘じて歳にあった編集を続けていきたいと思います。

故 金井会員のコレクションが
書籍になります

金井宏之コレクション 『日本手彫切手』 平成26年3月記本

第1巻 龍切手 92頁+解説 第2巻 和紙桜切手 180頁+解説 第3巻 洋紙桜切手・鳥切手 195頁+解説
全3巻 布張上製本函入 定価 60,000円 (税込・送料サービス)

200部限定出版 (但し、予約申込数が予定数を越えた場合には、増刷致します。)



予約受付締切日 平成25年12月25日

予約特価 50000円 (税込、送料・サービス)

注文・問い合わせ先

〒651-1401 神戸市北区有馬町663-3

切手文化博物館 TEL 078-904-0024

★稲門フィラテリー常設展

第24回 平成25年9月7日～12月6日

富士山 世界文化遺産登録

新宿北郵便局

第25回 平成25年12月7日

～平成26年3月1日

昭和～平成 午年の年賀郵便切手

新宿北郵便局

発行日: 2013年12月1日

発行: 稲門フィラテリー

発行人: 磯野 昭彦

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当: 吉沢 忠一 青柳 次男

小川 義博